瀬戸内市 市民まちづくり意識調査

－　報告書　－

令和６年８月

岡山県 瀬戸内市

～ 目 次 ～

Ⅰ 調査の概要 ---------- 1
Ⅱ 回答者の属性 ---------- 3
1 性別 ---------- 3
2 年齢 ---------- 3
3 居住年数 ---------- 5
4 職業 ---------- 6
5 現住所への居住のきっかけ ---------- 7
6 家族構成 ---------- 8
7 普段の主な移動手段 ---------- 11
Ⅲ 調査結果 ---------- 13
【1】瀬戸内市のめざす姿に対する実感度と重要度について ---------- 13
1 現在の実感度 ---------- 13
2 現在の重要度 ---------- 19
3 実感度と重要度の相関図による分析 ---------- 25
【2】行動や考えについて ---------- 31
1 人権が守られていることについて ---------- 31
2 慣習やしきたりにおける男女平等意識 ---------- 34
3 「なやみごと相談」窓口認知状況 ---------- 36
4 近所の子どもに会ったときのあいさつや声かけについて ---------- 39
5 生涯学習講座などへの参加状況 ---------- 41
6 地域に貢献する活動状況 ---------- 44
7 運動継続状況 ---------- 47
8 芸術文化活動状況 ---------- 49
9 子育て情報の満足度について ---------- 52
10 「バリアフリー化」進行状況について ---------- 55
11 経済的な理由による日常生活の困難さについて ---------- 58
12 計画的な土地利用について ---------- 61
13 瀬戸内市の景観への満足度 ---------- 63
14 道路の快適性について ---------- 65
15 公園や緑地の整備について ---------- 68
16 公共交通機関の利用しやすさについて ---------- 71
17 キャッシュレス決済の利用について ---------- 74
18 インターネットの活用状況 ---------- 76
19 ごみのリサイクル実践状況 ---------- 78
20 省エネの実践状況 ---------- 80

21　災害時の非常持出品準備状況---------- 82
22　災害時の避難場所認知状況---------- 85
23　「消費生活」に関する相談窓口認知状況 ---------- 88
24　農産物購入時の地元産意識---------- 91
25　水産物購入時の地元産意識---------- 93
26　日常生活品の買い物のしやすさについて ---------- 95
27　「広報せとうち」閲読状況---------- 98
28　「広報せとうち」の情報の有益度について ---------- 100
29　本市ホームページ閲覧状況---------- 102
30　本市ホームページの情報の有益度 ---------- 105
31　広報紙やホームページにより市の情報を入手すること ---------- 108
32　市政への関心度---------- 111
33　市の財政改善状況について---------- 113
34　市役所が行うまちづくりの取り組みへの満足感 ---------- 116
35　地域コミュニティ活動参加状況 ---------- 119
36　ボランティア・ＮＰＯ活動参加経験 ---------- 122
37　ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の認知度 ---------- 125
38　ＳＤＧｓの目標達成のための行動について ---------- 127
39　性的少数者に対する市民の関心の高まりについて ---------- 129
40　性的少数者の瀬戸内市での暮らしやすさについて ---------- 132
【３】瀬戸内市の暮らしについて ---------- 135
1　瀬戸内市の暮らしに関する評価 ---------- 135
【４】瀬戸内市誕生 20 周年について ---------- 139
1　合併後、印象に残っている出来事や事業（自由記述回答） ---------- 139
【５】自由意見 ---------- 140

資料/調査票 ---------- 142

Ⅰ 調査の概要

【調査の目的】

瀬戸内市がめざす将来（2040 年）の姿を、市民の皆様が現在どの程度実感し、どのようなまちの姿を重要視しているかについて把握するとともに、第３次瀬戸内市総合計画の数値目標に対する現状値を把握することを目的として実施した。

【調査対象】

18 歳以上の市民 2,000 人

【対象者抽出方法】

住民基本台帳による無作為抽出

【調査方法】

郵送配布、郵送回収

【調査期間】

令和６年（2024 年）５月

【回収結果】

配布数 --------- 2,000 件
有効回収数 ------- 796 件
有効回収率 ------- 39.8%

◆地区別回収結果（上段：回答件数、下段：構成比%）◆

全体	牛窓地域				長船地域			
		牛窓	鹿忍	長浜		美和	国府	行幸
796	108	55	29	24	263	21	78	164
100.0	13.6	6.9	3.6	3.0	33.0	2.6	9.8	20.6

邑久地域									無回答
	邑久	福田	今城	豊原	本庄	笠加	玉津	裳掛	
390	153	57	55	43	18	15	14	35	35
49.0	19.2	7.2	6.9	5.4	2.3	1.9	1.8	4.4	4.4

※「問4(3)居住地」の回答結果より

【報告書の見方について】

（１）集計は小数点以下第２位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合がある。

（２）２つ以上の回答を可能とした（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は 100%を超える場合がある。

（３）数表、図表、文中に示すＮは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「Ｎ」、該当数を「ｎ」で表記している。

（４）図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数（ｎ）の合計と全体の基数（Ｎ）は一致しない場合がある。

（５）図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。

（６）図表中、クロス集計の項目軸については、長文を省略している場合がある。

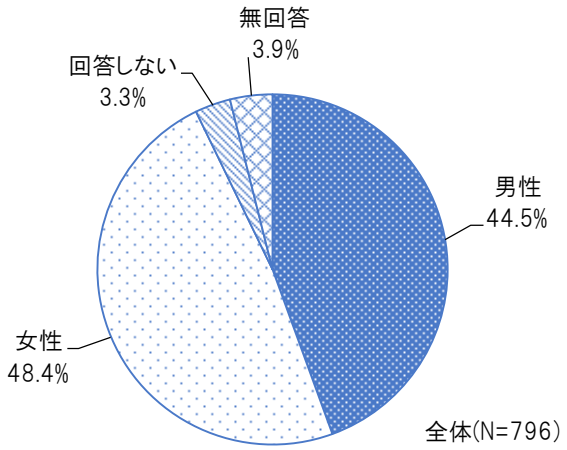
（７）設問によっては、令和４年度に実施した同調査（「前回調査」と表記）との比較を行っている。

（８）上記のほか、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載している。

Ⅱ 回答者の属性

1　性別

性別構成比は、「男性」が 44.5%、「女性」が 48.4%となっている。

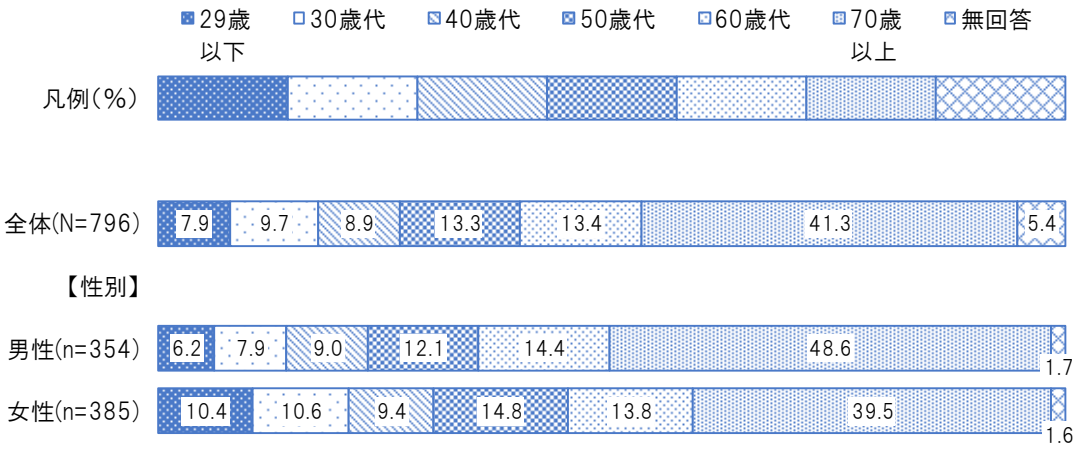


注：調査票では「男」「女」という選択肢表記であるが、本報告書では「男性」「女性」と表記している。（以下同様）

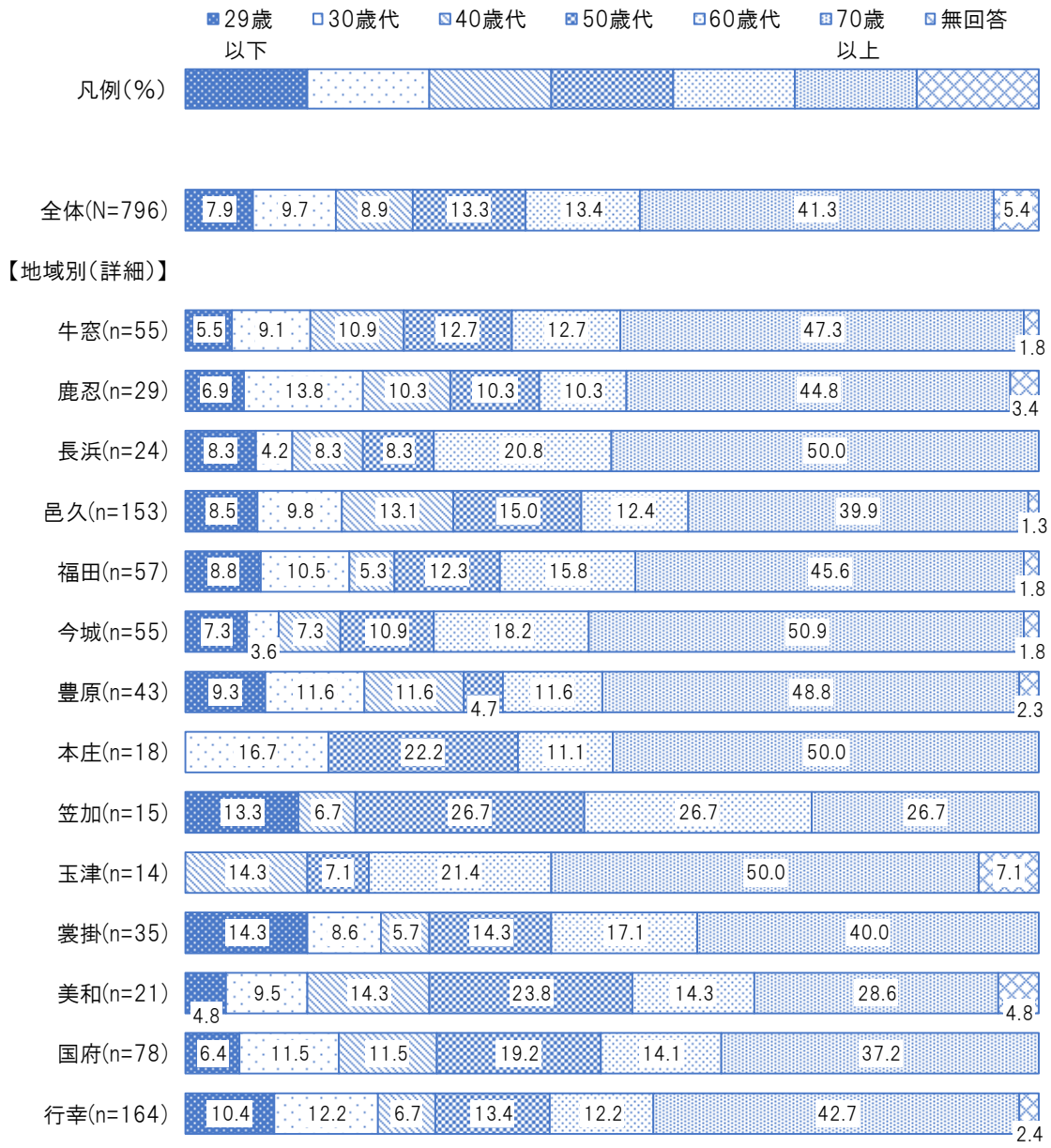
2　年齢

年齢別構成比は、「70 歳以上」が 41.3%と最も高く、次いで「60 歳代」（13.4%）、「50 歳代」（13.3%）の順となっており、「50 歳代以上（合計）」で全体の約７割（68.0%）を占めている。

性別では、男性は女性に比べ「70 歳以上」の割合が高く、女性は「50 歳代以下（合計）」の割合が男性を上回っている。



さらに、年齢別構成を地域別でみると、長浜、今城、玉津で「60 歳代以上（合計）」の占める割合が他の地域に比べて高くなっている。

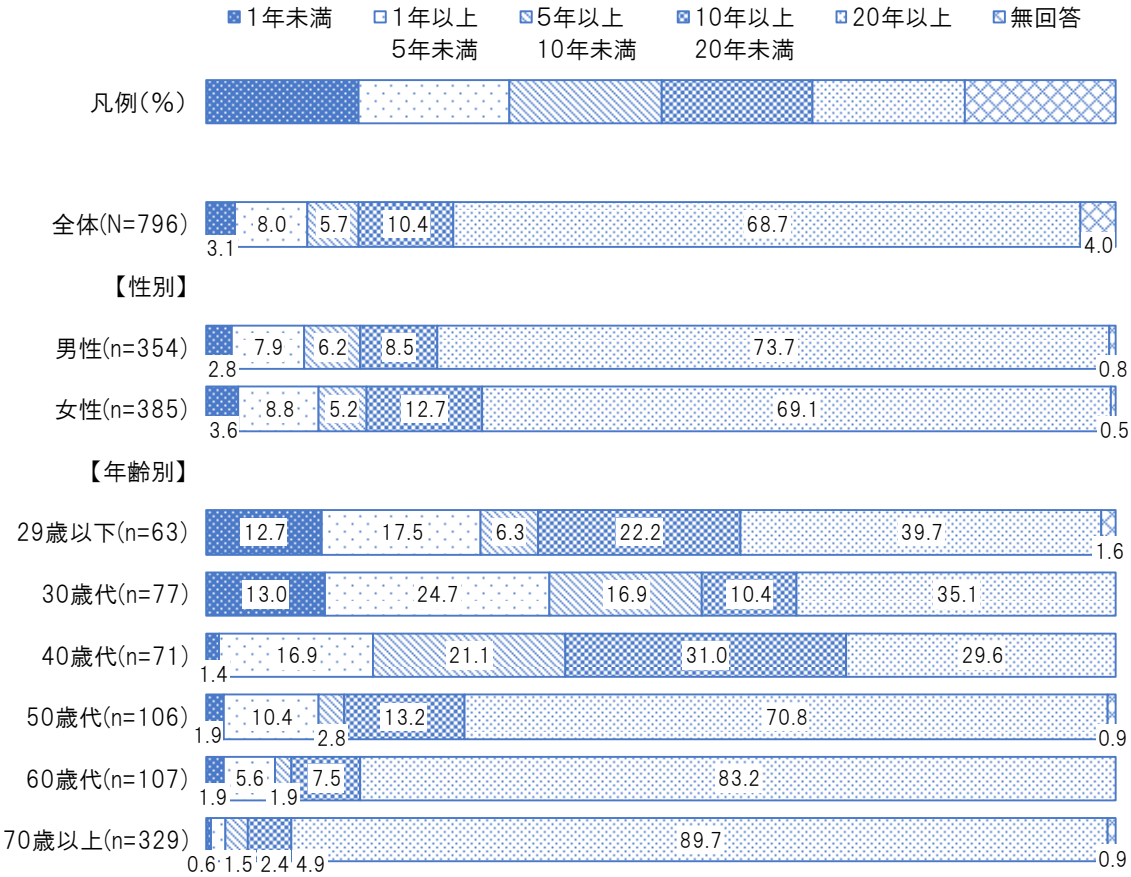


3　居住年数

居住年数は、「20 年以上」が全体の約７割（68.7%）を占め最も高く、次いで「10 年以上 20 年未満」が 10.4%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「20 年以上」の割合が高く、女性は「10 年以上 20 年未満」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、30 歳代で「１年以上５年未満」、40 歳代で「５年以上 10 年未満」「10 年以上 20 年未満」、50 歳代以上で「20 年以上」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

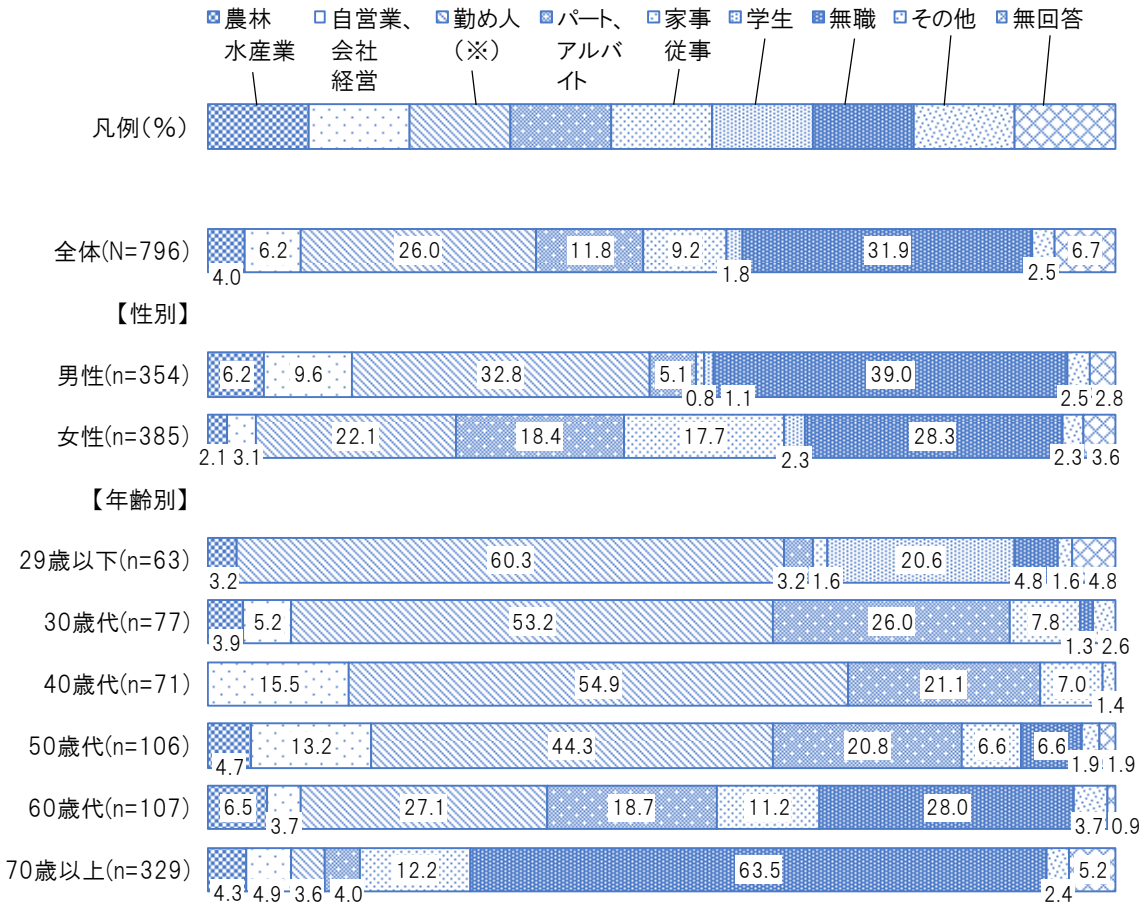


4　職業

職業は、全体では「無職」が 31.9%と最も高く、次いで「勤め人（会社員、公務員等)」(26.0%)、「パート、アルバイト」(11.8%)、「家事従事」(9.2%）の順となっている。

性別では、男性で「勤め人（会社員、公務員等)」「無職」、女性で「パート、アルバイト」「家事従事」の割合がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、29 歳以下で「学生」、70 歳以上で「無職」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。



※勤め人（会社員、公務員等）

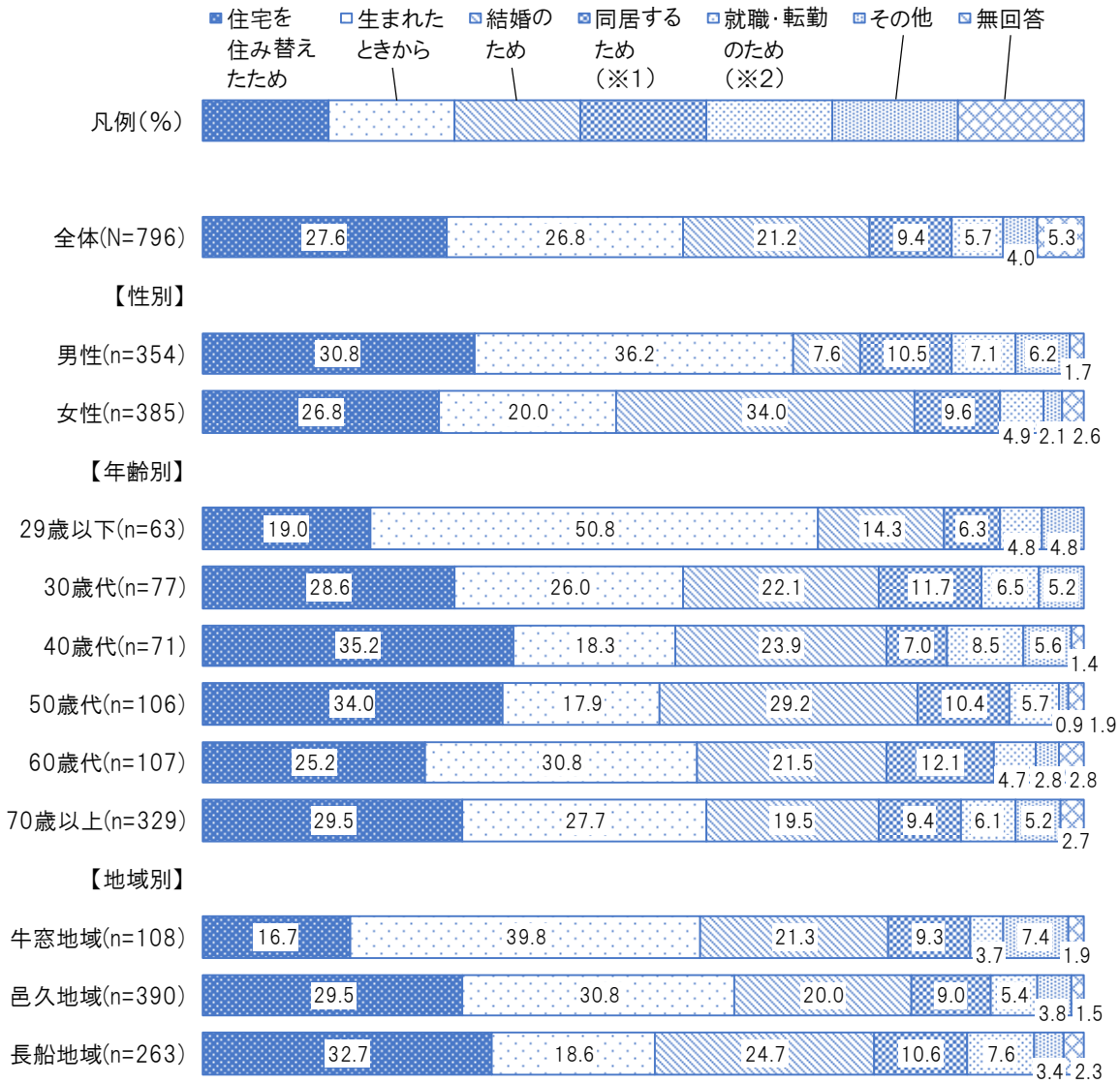
5　現住所への居住のきっかけ

現住所への居住のきっかけについては、全体では「住宅を住み替えたため」が 27.6%と最も高く、次いで「生まれたときから」(26.8%)、「結婚のため」(21.2%）の順となっている。

性別では、男性で「生まれたときから」、女性で「結婚のため」の割合がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、29 歳以下で「生まれたときから」、40～50 歳代で「住宅を住み替えたため」、50 歳代で「結婚のため」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別でみると、牛窓地域で「生まれたときから」、邑久地域や長船地域で「住宅を住み替えたため」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。



※1：親や子どもと同居・近居するため
※2：就職・就学・転勤・転職のため

6　家族構成

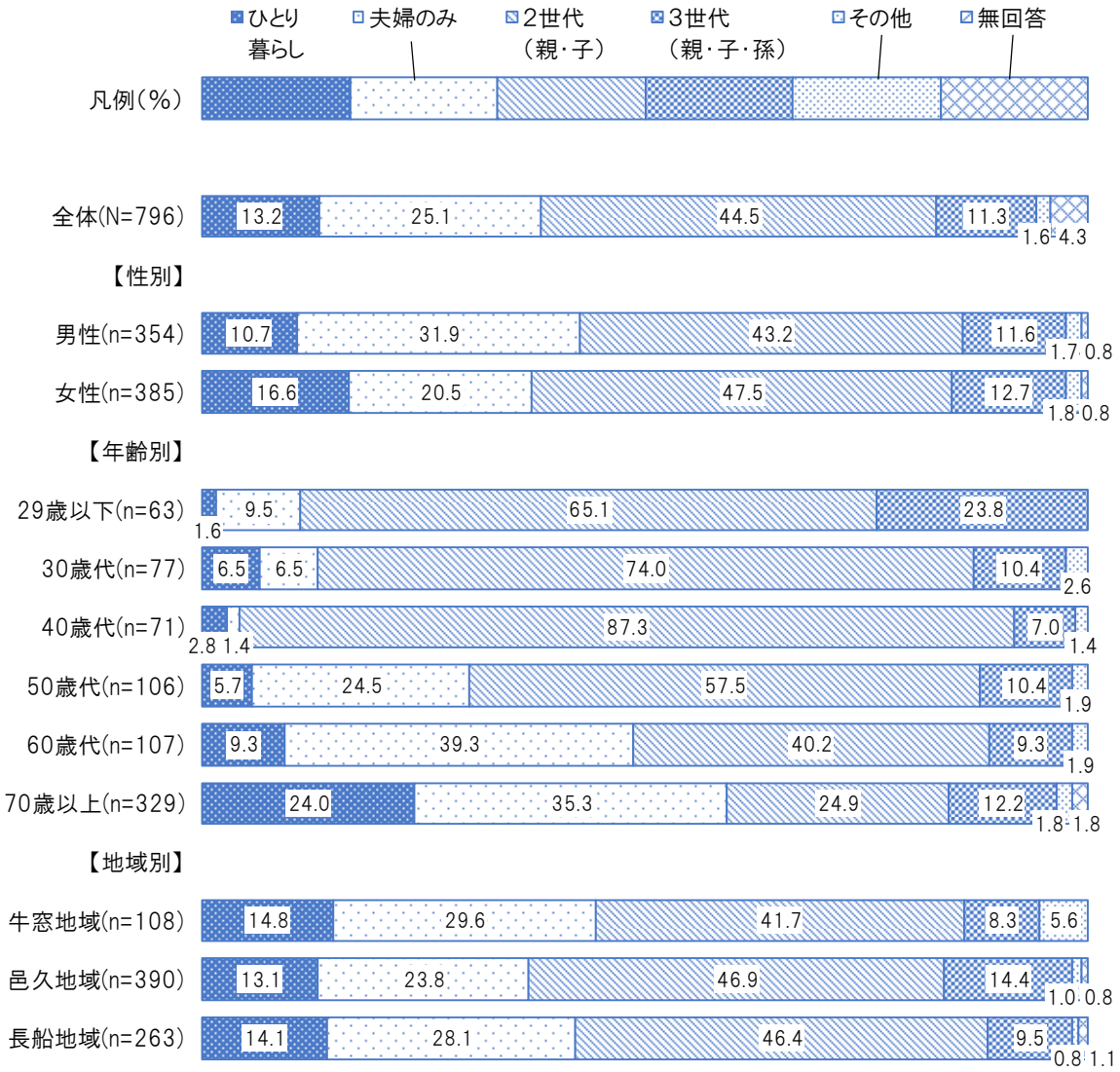
（１）世帯構成

世帯構成については、全体では「２世代（親・子）」が44.5％と最も高く、次いで「夫婦のみ」（25.1％）、「ひとり暮らし」（13.2％）の順となっている。

性別では、男性で「夫婦のみ」、女性で「ひとり暮らし」「２世代（親・子）」の割合がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「３世代（親・子・孫）」、40歳代で「２世代（親・子）」、60歳代以上で「夫婦のみ」、70歳以上で「ひとり暮らし」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別でみると、邑久地域で「３世代（親・子・孫）」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

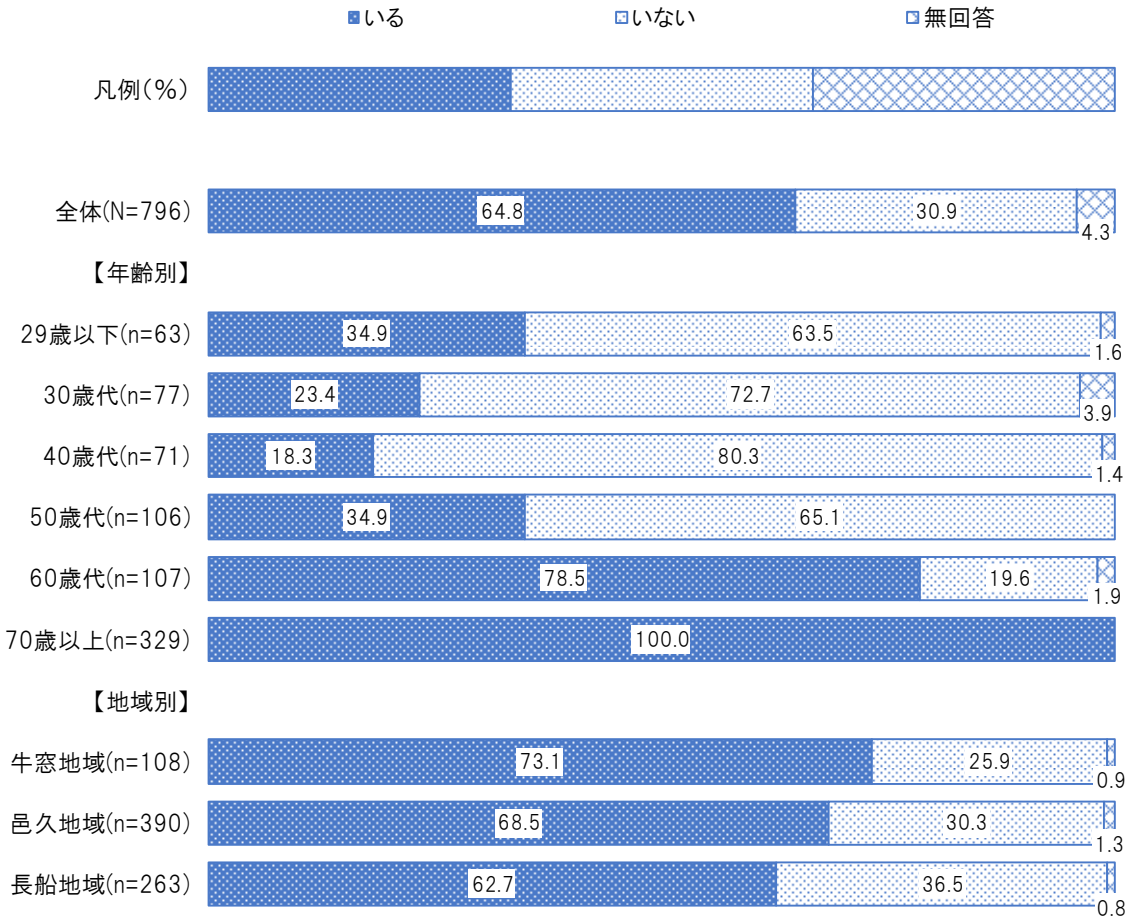


（２）65 歳以上の方の同居有無（自身を含む）

65 歳以上の方の同居有無については、全体では「いる」が 64.8%、「いない」が 30.9%となっている。

年齢別では、自身を含むため 60 歳代以上において「いる」が多くなっている。

地域別では、牛窓地域で「いる」が７割以上を占め、他の地域に比べて高くなっている。



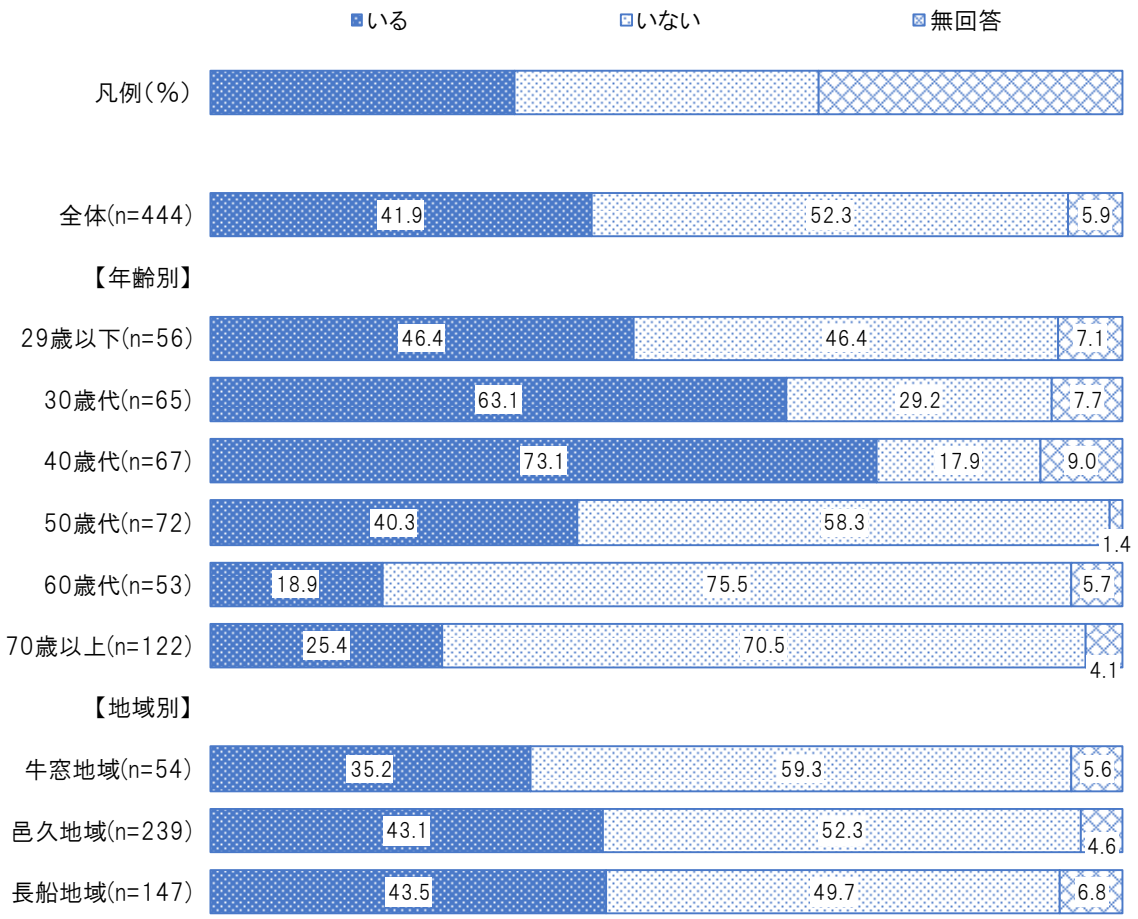
（３）20 歳以下の子どもの同居有無

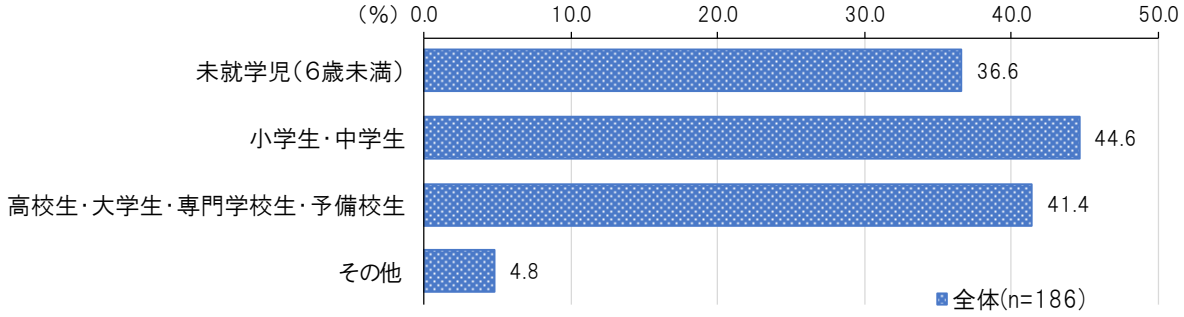
２世代（親・子）または３世代（親・子・孫）の世帯について 20 歳以下の子どもの同居有無を尋ねたところ、「いる」が 41.9%、「いない」が 52.3%となっている。

年齢別では、30～40 歳代で「いる」が６割以上を占めている。

地域別では、牛窓地域で「いない」が他の地域に比べて高くなっている。

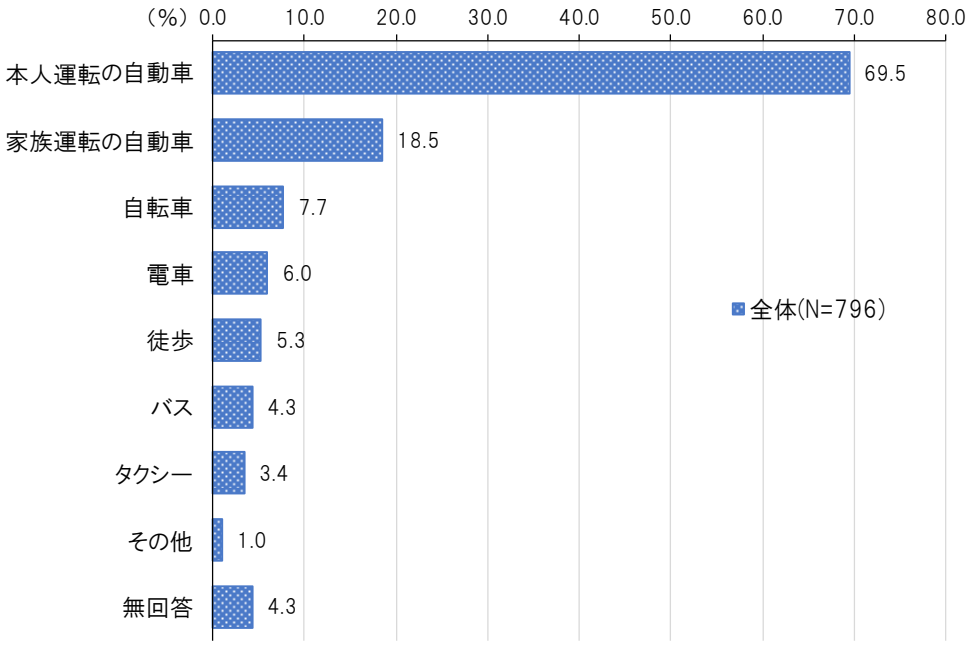
同居している 20 歳以下の子どもは、「小学生・中学生」が 44.6%と最も高く、次いで「高校生・大学生・専門学校生・予備校生」（41.4%）、「未就学児（６歳未満）」（36.6%）の順となっている。





7　普段の主な移動手段

普段の主な移動手段については、全体では「本人運転の自動車」が69.5%と最も高く突出している。次いで「家族運転の自動車」(18.5%)、「自転車」(7.7%）の順となっている。



性別では、男性は「本人運転の自動車」の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、29 歳以下で「自転車」「電車」、29 歳以下や 70 歳以上で「家族運転の自動車」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別でみると、本庄で「本人運転の自動車」の割合が高くなっている。

単位（%）	本人運転の自動車	家族運転の自動車	自転車	電車	徒歩	バス	タクシー	その他
全体(N=796)	69.5	18.5	7.7	6.0	5.3	4.3	3.4	1.0
【性別】								
男性(n=354)	77.1	17.5	7.1	3.7	4.8	3.7	2.8	1.1
女性(n=385)	66.5	20.0	9.1	8.1	6.5	4.9	4.2	1.0
【年齢別】								
29歳以下(n=63)	63.5	25.4	17.5	20.6	7.9	1.6	0.0	1.6
30歳代(n=77)	84.4	18.2	7.8	7.8	6.5	2.6	1.3	0.0
40歳代(n=71)	90.1	9.9	8.5	4.2	2.8	1.4	1.4	2.8
50歳代(n=106)	90.6	6.6	3.8	3.8	1.9	2.8	0.0	0.0
60歳代(n=107)	87.9	12.1	3.7	0.9	2.8	2.8	0.0	0.9
70歳以上(n=329)	55.3	25.8	8.5	6.1	7.3	7.3	7.6	1.2
【地域別(詳細)】								
牛窓(n=55)	67.3	25.5	7.3	5.5	9.1	18.2	1.8	1.8
鹿忍(n=29)	65.5	24.1	10.3	6.9	6.9	17.2	0.0	3.4
長浜(n=24)	66.7	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
邑久(n=153)	67.3	17.6	13.7	9.2	9.8	2.0	3.9	2.0
福田(n=57)	66.7	21.1	12.3	1.8	8.8	1.8	10.5	0.0
今城(n=55)	78.2	20.0	3.6	3.6	1.8	0.0	0.0	3.6
豊原(n=43)	69.8	18.6	7.0	2.3	2.3	2.3	2.3	0.0
本庄(n=18)	94.4	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
笠加(n=15)	80.0	20.0	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
玉津(n=14)	64.3	14.3	7.1	0.0	0.0	21.4	7.1	0.0
裳掛(n=35)	74.3	22.9	0.0	5.7	0.0	8.6	8.6	0.0
美和(n=21)	66.7	28.6	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
国府(n=78)	78.2	14.1	6.4	9.0	3.8	2.6	1.3	0.0
行幸(n=164)	73.8	15.9	6.7	9.1	5.5	1.8	4.9	0.6

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（性別・年齢別など）において最も高い割合を示している。
（例／性別の場合、男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け。）
但し、回答割合が 10%未満の項目及び「その他」については、網掛けは省略している。
また「無回答」は表記から省略している。

Ⅲ 調査結果

【１】瀬戸内市のめざす姿に対する実感度と重要度について

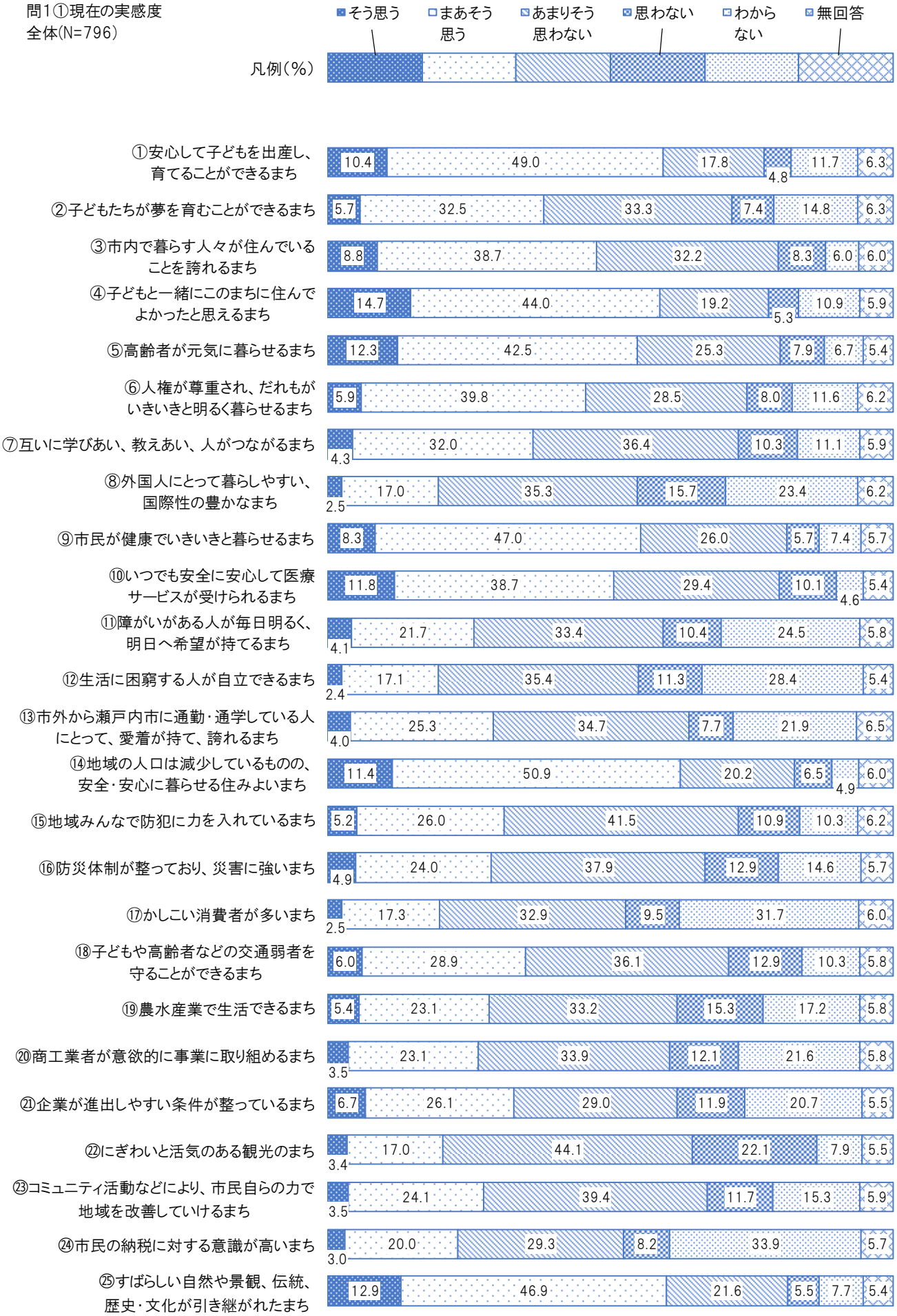
問１　瀬戸内市がめざしている将来（2040 年）の姿に対する次の 25 項目ついておたずねします。あなたが感じている現在の「実感度」と「重要度」について、１～25 の項目ごとに、あなたの考えに一番近いものそれぞれ１つに○印をつけてください。

１　現在の実感度

25 の項目について、現在の実感度を５段階評価で質問したところ、「そう思う」への回答が最も高かったのは「④子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」（14.7%）で、以下「㉕すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」（12.9%）、「⑤高齢者が元気に暮らせるまち」（12.3%）、「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」（11.8%）、「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」（11.4%）などの順となっている。

また、「思わない」への回答が最も高かったのは、「㉒にぎわいと活気のある観光のまち」（22.1%）であり、次いで「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」（15.7%）、「⑲農水産業で生活できるまち」（15.3%）、「⑯防災体制が整っており、災害に強いまち」「⑱子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち」（各 12.9%）の順となっている。

問1①現在の実感度
全体(N=796)



【実感度／平均評定値による集計】

実感度は以下に示す平均評定値（加重平均値）を算出する方法で点数化している。

○「実感度」については「そう思う」「まあそう思う」への回答とともに、「あまりそう思わない」「思わない」「わからない」という選択肢もある。そのため、この「実感度」をより的確に分析するために、平均評定値（加重平均値）による指標化を行った。

○平均評定値（加重平均値）は、「そう思う」に＋２点、「まあそう思う」に＋１点、「あまりそう思わない」に－１点、「思わない」に－２点、「わからない」に０点の係数（ウエイト）を設定し、

【（「そう思う」の回答件数）×２（点）＋（「まあそう思う」の回答件数）×１（点）＋（「あまりそう思わない」の回答件数）×－１（点）＋（「思わない」の回答件数）×－２（点）＋（「わからない」の回答件数）×０（点）】÷【回答者件数－無回答件数】

の計算によって算出し、指標としている。

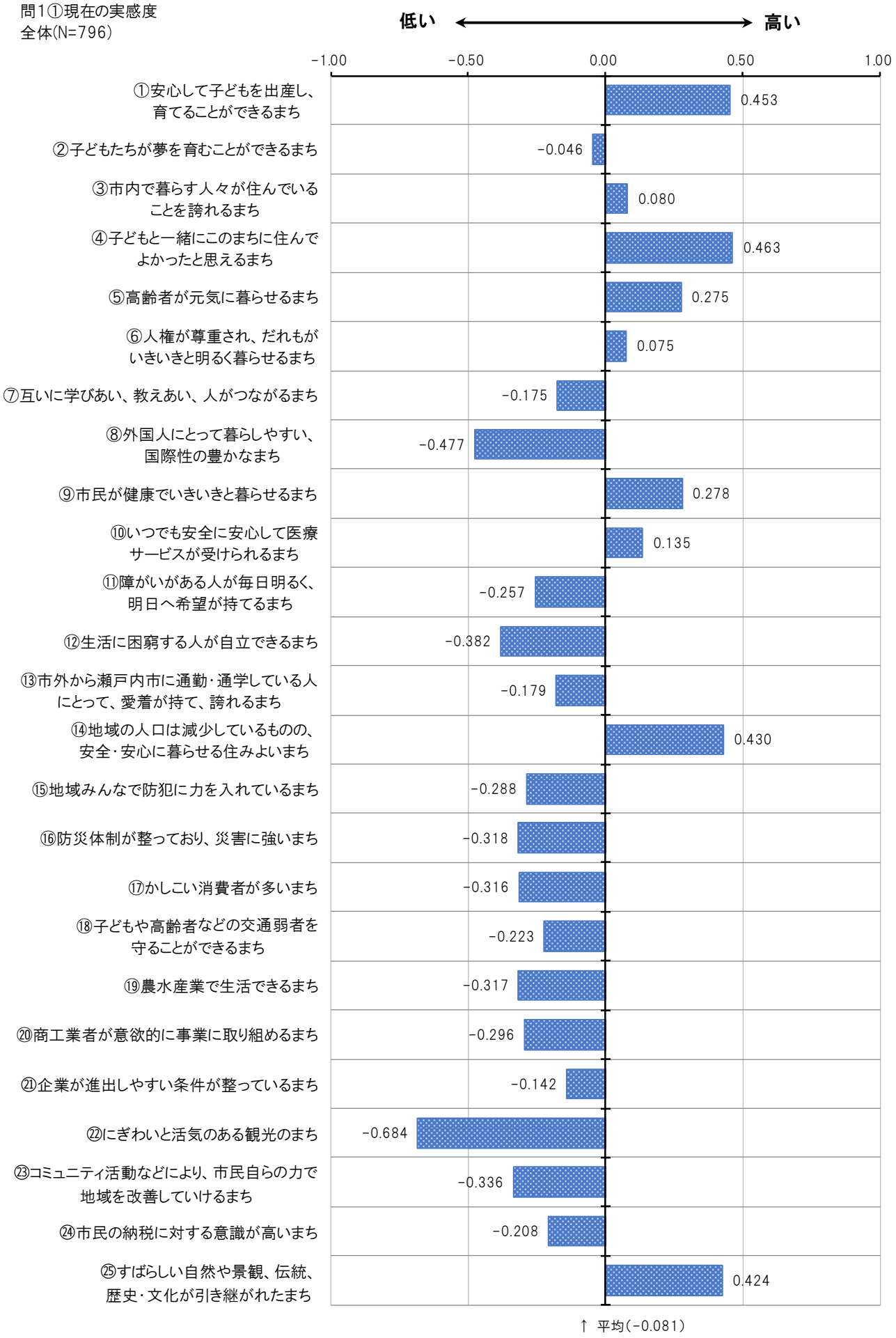
○この指標によって、「実感度」の強弱を、より明確に分析することができる。

この指標による分析結果をみると、実感度評価が最も高い施策は「④子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」(0.463) で、以下「①安心して子どもを出産し、育てることができるまち」(0.453)、「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」(0.430)、「㉕すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」(0.424)、「⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち」(0.278) などの順となっている。

一方、相対的に実感度評価が低い施策としては、「㉒にぎわいと活気のある観光のまち」(-0.684)、「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」(-0.477)、「⑫生活に困窮する人が自立できるまち」(-0.382)、「㉓コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち」(-0.336)、「⑯防災体制が整っており、災害に強いまち」(-0.318) などがあげられる。

全体的な評価の平均は-0.081 となっており、25 項目中でウエイト値がプラス評価だったのは９項目、マイナス評価だったのは 16 項目となっている。

問1①現在の実感度
全体(N=796)

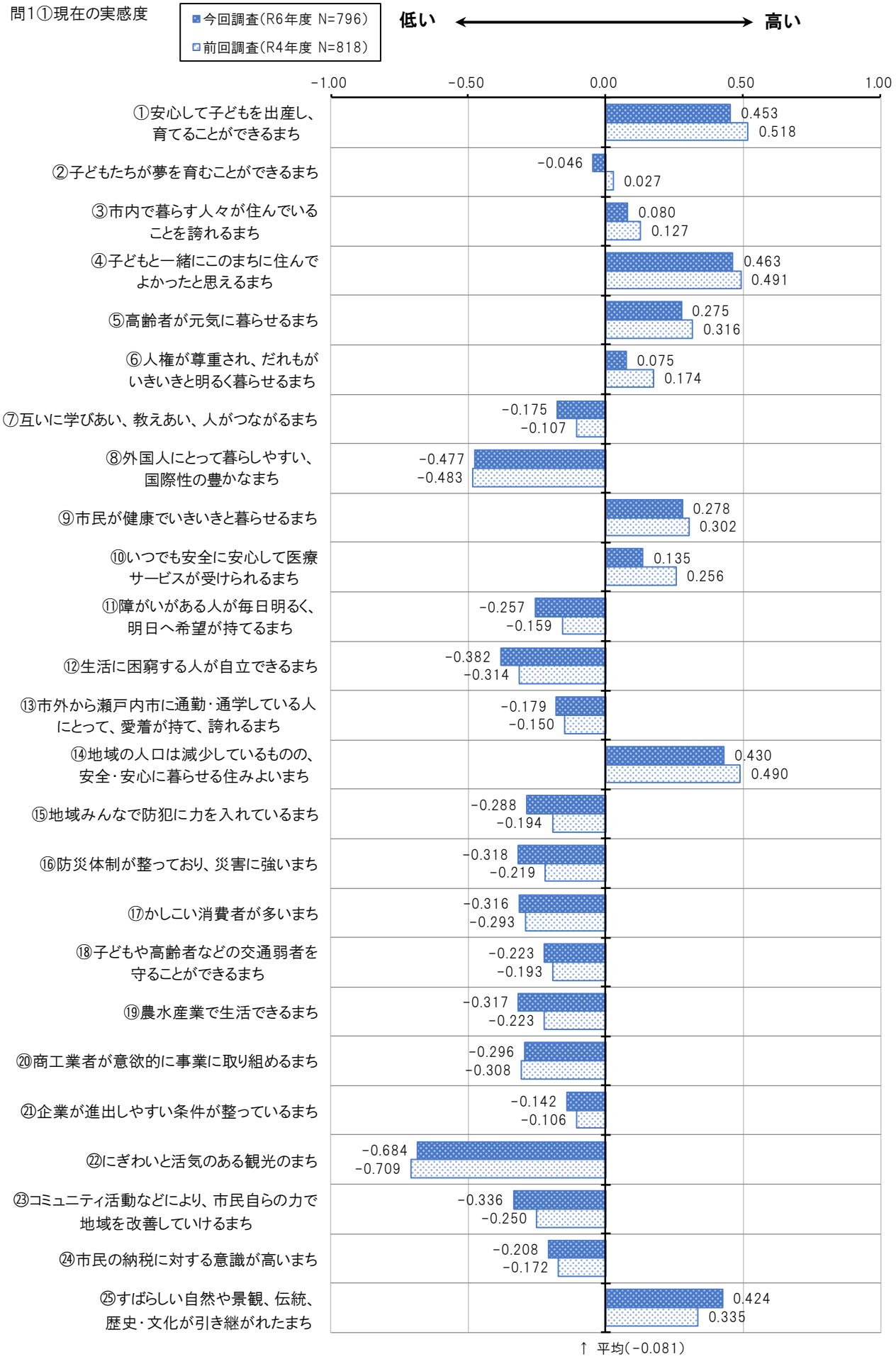


【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、今回、実感度が高くなった項目として、「㉕すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」があげられる。

一方、実感度が低くなった項目としては、「⑥人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち」「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」「⑪障がいがある人が毎日明るく、明日へ希望が持てるまち」などがあげられ、「②子どもたちが夢を育むことができるまち」については、プラス評価からマイナス評価に転じている。

問1①現在の実感度

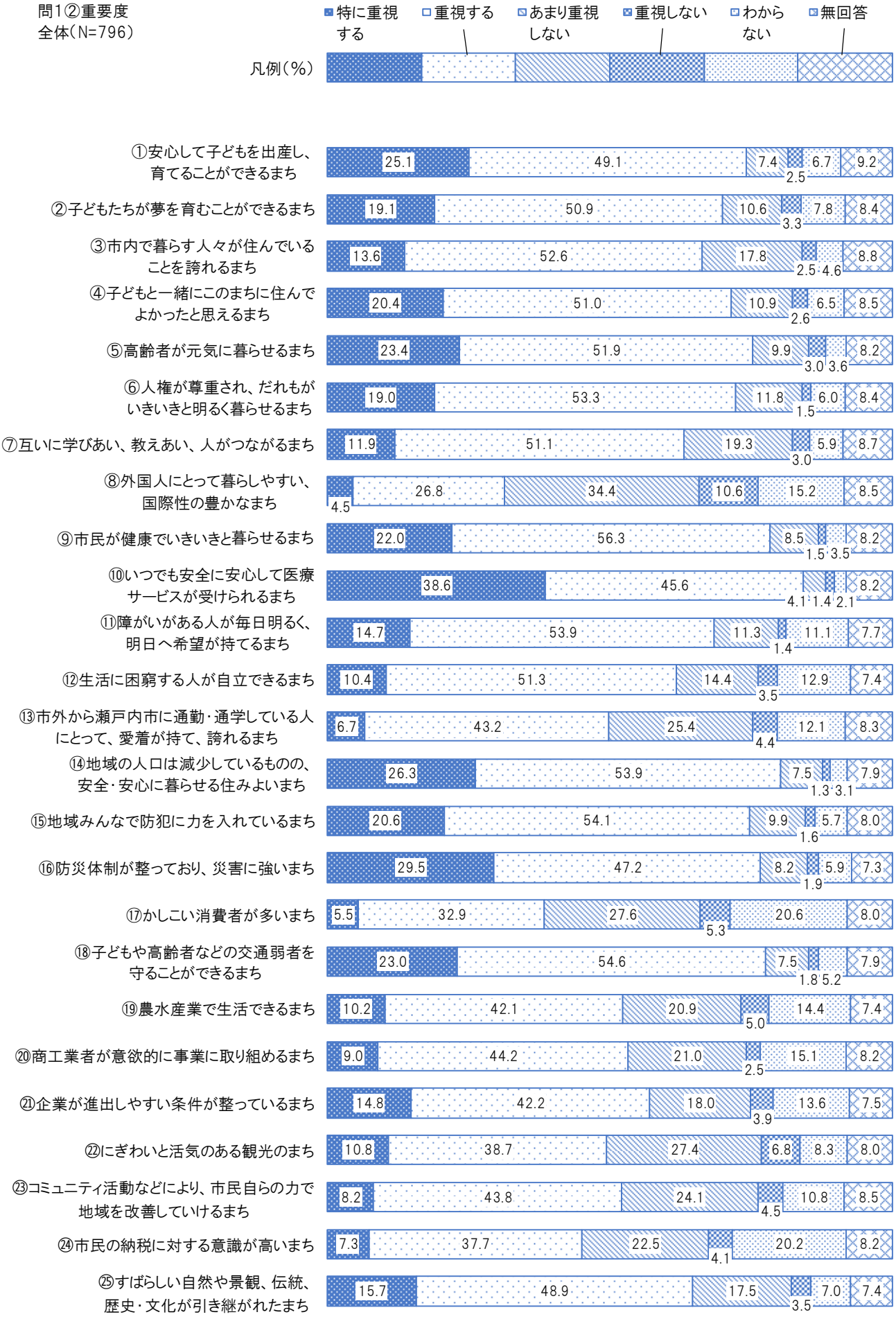

今回調査(R6年度 N=796)
前回調査(R4年度 N=818)
低い
高い
-1.00
-0.50
0.00
0.50
1.00
①安心して子どもを出産し、育てることができるまち
0.453
0.518
②子どもたちが夢を育むことができるまち
-0.046
0.027
③市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち
0.080
0.127
④子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち
0.463
0.491
⑤高齢者が元気に暮らせるまち
0.275
0.316
⑥人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち
0.075
0.174
⑦互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち
-0.175
-0.107
⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち
-0.477
-0.483
⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち
0.278
0.302
⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち
0.135
0.256
⑪障がいがある人が毎日明るく、明日へ希望が持てるまち
-0.257
-0.159
⑫生活に困窮する人が自立できるまち
-0.382
-0.314
⑬市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持て、誇れるまち
-0.179
-0.150
⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち
0.430
0.490
⑮地域みんなで防犯に力を入れているまち
-0.288
-0.194
⑯防災体制が整っており、災害に強いまち
-0.318
-0.219
⑰かしこい消費者が多いまち
-0.316
-0.293
⑱子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち
-0.223
-0.193
⑲農水産業で生活できるまち
-0.317
-0.223
⑳商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち
-0.296
-0.308
㉑企業が進出しやすい条件が整っているまち
-0.142
-0.106
㉒にぎわいと活気のある観光のまち
-0.684
-0.709
㉓コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち
-0.336
-0.250
㉔市民の納税に対する意識が高いまち
-0.208
-0.172
㉕すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち
0.424
0.335
↑ 平均(-0.081)

２　現在の重要度

25 の項目について、現在の重要度を５段階評価で質問したところ、「特に重視する」への回答が最も高かったのは「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」（38.6%）で、以下「⑯防災体制が整っており、災害に強いまち」(29.5%)、「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」(26.3%)、「①安心して子どもを出産し、育てることができるまち」(25.1%)、「⑤高齢者が元気に暮らせるまち」（23.4%）などの順となっている。

また、「重視しない」への回答が最も高かったのは、「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」(10.6%）であり、次いで「㉒にぎわいと活気のある観光のまち」（6.8%)、「⑰かしこい消費者が多いまち」(5.3%)、「⑲農水産業で生活できるまち」(5.0%）の順となっている。

問1②重要度
全体（N=796）



【重要度／平均評定値による集計】

重要度は以下に示す平均評定値（加重平均値）を算出する方法で点数化している。

○「重要度」については「特に重視する」「重視する」への回答とともに、「あまり重視しない」「重視しない」「わからない」という選択肢もある。そのため、この「重要度」をより的確に分析するために、平均評定値（加重平均値）による指標化を行った。

○平均評定値（加重平均値）は、「特に重視する」に＋２点、「重視する」に＋１点、「あまり重視しない」に－１点、「重視しない」に－２点、「わからない」に０点の係数（ウエイト）を設定し、

【（「特に重視する」の回答件数）×２（点）＋（「重視する」の回答件数）×１（点）＋（「あまり重視しない」の回答件数）×－１（点）＋（「重視しない」の回答件数）×－２（点）＋（「わからない」の回答件数）×０（点）】÷【回答者件数－無回答件数】

の計算によって算出し、指標としている。

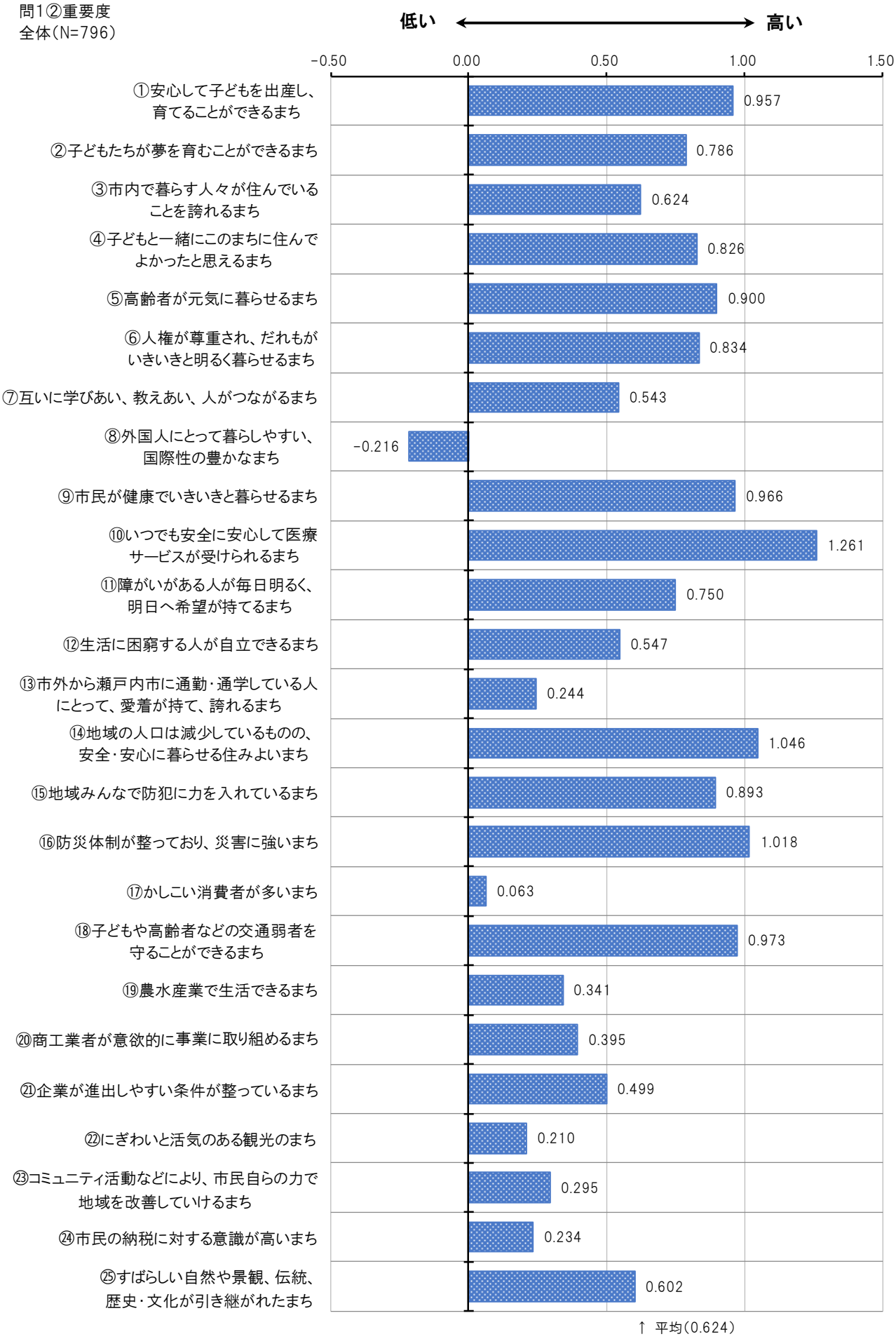
○この指標によって、「重要度」の強弱を、より明確に分析することができる。

この指標による分析結果をみると、重要度評価が最も高い施策は「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」(1.261) で、以下「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」(1.046)、「⑯防災体制が整っており、災害に強いまち」(1.018)、「⑱子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち」(0.973)、「⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち」(0.966) などの順となっている。

一方、相対的に重要度評価が低い施策としては、「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」(-0.216)、「⑰かしこい消費者が多いまち」(0.063)、「㉒にぎわいと活気のある観光のまち」(0.210)、「㉔市民の納税に対する意識が高いまち」(0.234)、「⑬市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持て、誇れるまち」(0.244) などがあげられる。

全体的な評価の平均は 0.624 となっている。

問1②重要度
全体(N=796)

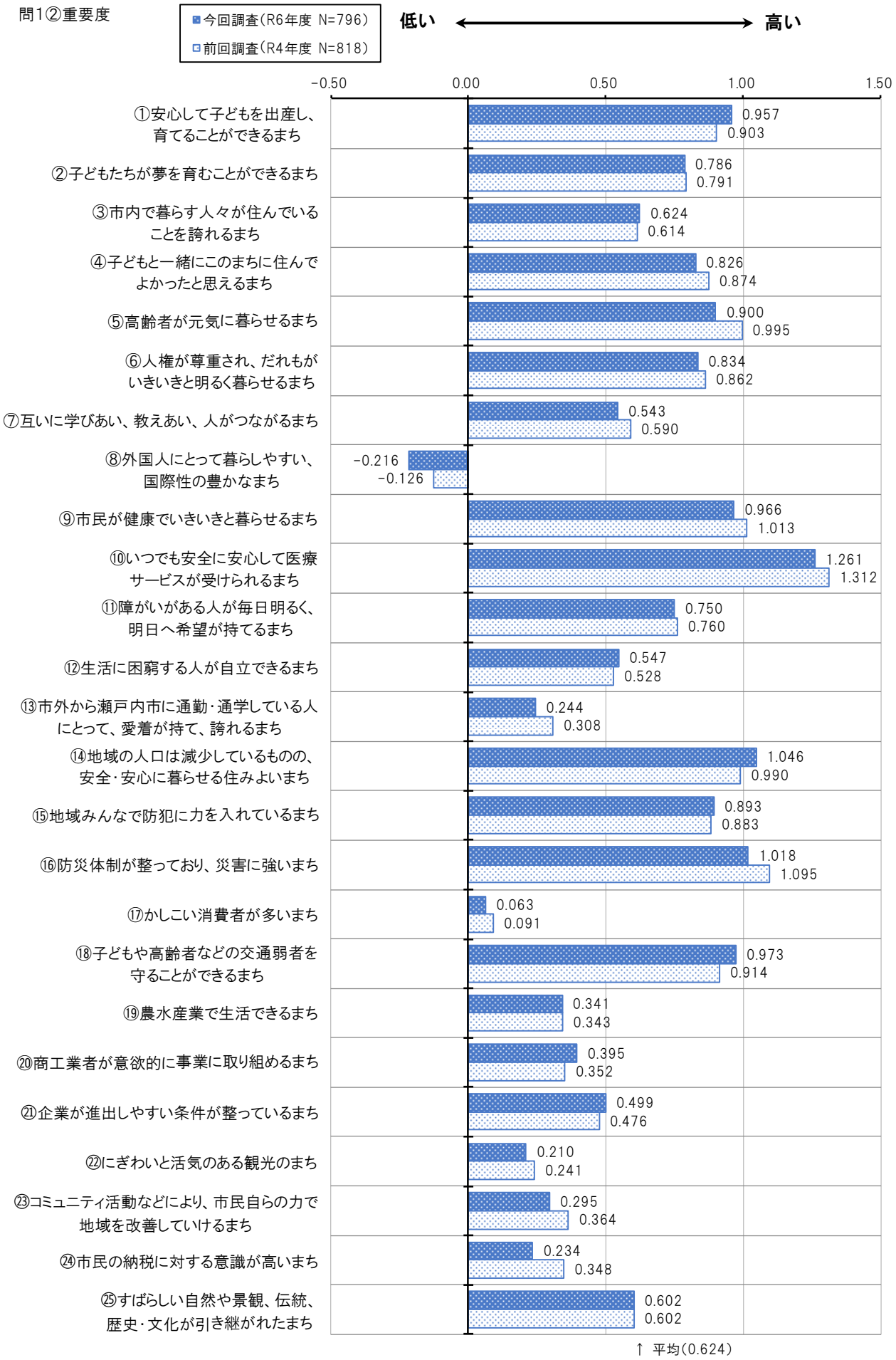


【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、今回、重要度が高くなった項目として、「①安心して子どもを出産し、育てることができるまち」「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」「⑱子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち」「⑳商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち」「㉑企業が進出しやすい条件が整っているまち」などがあげられる。

一方、重要度が低くなった項目としては、「⑤高齢者が元気に暮らせるまち」「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」「⑯防災体制が整っており、災害に強いまち」「㉓コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち」「㉔市民の納税に対する意識が高いまち」などがあげられる。

問1②重要度


今回調査(R6年度 N=796)
前回調査(R4年度 N=818)
低い
高い
-0.50
0.00
0.50
1.00
1.50
①安心して子どもを出産し、育てることができるまち 0.957 0.903
②子どもたちが夢を育むことができるまち 0.786 0.791
③市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち 0.624 0.614
④子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち 0.826 0.874
⑤高齢者が元気に暮らせるまち 0.900 0.995
⑥人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち 0.834 0.862
⑦互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち 0.543 0.590
⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち -0.216 -0.126
⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち 0.966 1.013
⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち 1.261 1.312
⑪障がいがある人が毎日明るく、明日へ希望が持てるまち 0.750 0.760
⑫生活に困窮する人が自立できるまち 0.547 0.528
⑬市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持て、誇れるまち 0.244 0.308
⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち 1.046 0.990
⑮地域みんなで防犯に力を入れているまち 0.893 0.883
⑯防災体制が整っており、災害に強いまち 1.018 1.095
⑰かしこい消費者が多いまち 0.063 0.091
⑱子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち 0.973 0.914
⑲農水産業で生活できるまち 0.341 0.343
⑳商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち 0.395 0.352
㉑企業が進出しやすい条件が整っているまち 0.499 0.476
㉒にぎわいと活気のある観光のまち 0.210 0.241
㉓コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち 0.295 0.364
㉔市民の納税に対する意識が高いまち 0.234 0.348
㉕すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち 0.602 0.602
↑ 平均(0.624)

3　実感度と重要度の相関図による分析

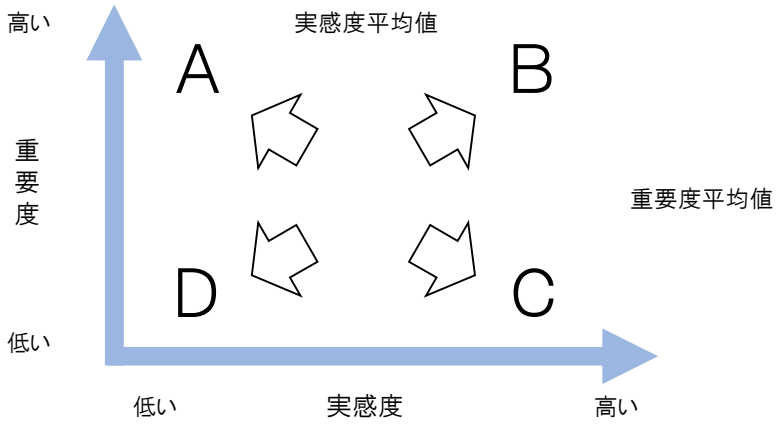
以降の図表等においては、各施策名を次の略表記対応表に従って記載している。

【略表記対応表】

No.	設問項目	略表記
1	安心して子どもを出産し、育てることができるまち	安心して子育てできるまち
2	子どもたちが夢を育むことができるまち	子どもが夢を育めるまち
3	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	住んでいることを誇れるまち
4	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち	住んでよかったと思えるまち
5	高齢者が元気に暮らせるまち	高齢者が元気に暮らせるまち
6	人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち	人権が尊重されるまち
7	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	学びあいつながるまち
8	外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち	国際性豊かなまち
9	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	健康でいきいきと暮らせるまち
10	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち	安全安心な医療サービスのまち
11	障がいがある人が毎日明るく、明日へ希望が持てるまち	障がいがある人が希望を持てるまち
12	生活に困窮する人が自立できるまち	生活困窮者が自立できるまち
13	市外から瀬戸内市に通勤･通学している人にとって、愛着が持て、誇れるまち	市外の人も愛着が持てるまち
14	地域の人口は減少しているものの、安全･安心に暮らせる住みよいまち	安全安心に暮らせるまち
15	地域みんなで防犯に力を入れているまち	防犯に力を入れているまち
16	防災体制が整っており、災害に強いまち	災害に強いまち
17	かしこい消費者が多いまち	かしこい消費者が多いまち
18	子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち	交通弱者を守るまち
19	農水産業で生活できるまち	農林水産業で生活できるまち
20	商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち	商工業者が取り組めるまち
21	企業が進出しやすい条件が整っているまち	企業が進出しやすいまち
22	にぎわいと活気のある観光のまち	にぎわいと活気のあるまち
23	コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち	地域を改善していけるまち
24	市民の納税に対する意識が高いまち	納税意識が高いまち
25	すばらしい自然や景観、伝統、歴史･文化が引き継がれたまち	自然･景観･伝統･文化のまち

【実感度と重要度の相関図による分析】

実感度と重要度の平均評定値をもとに、縦軸に重要度、横軸に実感度を設定し、25 の施策を散布図上に示したものが相関図である。



縦軸に重要度、横軸に実感度をとった相関図では、実感度と重要度をマトリクス上に示すことで、各施策の位置付けを整理する。実感度と重要度の各々の平均値を示す点から左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の４方向に進むにしたがい、以下のような傾向を示している。

A　重要度が高く、実感度が低い（重点化・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度が高いが、実感度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、実感度を高める必要のある領域

B　重要度、実感度ともに高い（現状維持領域）

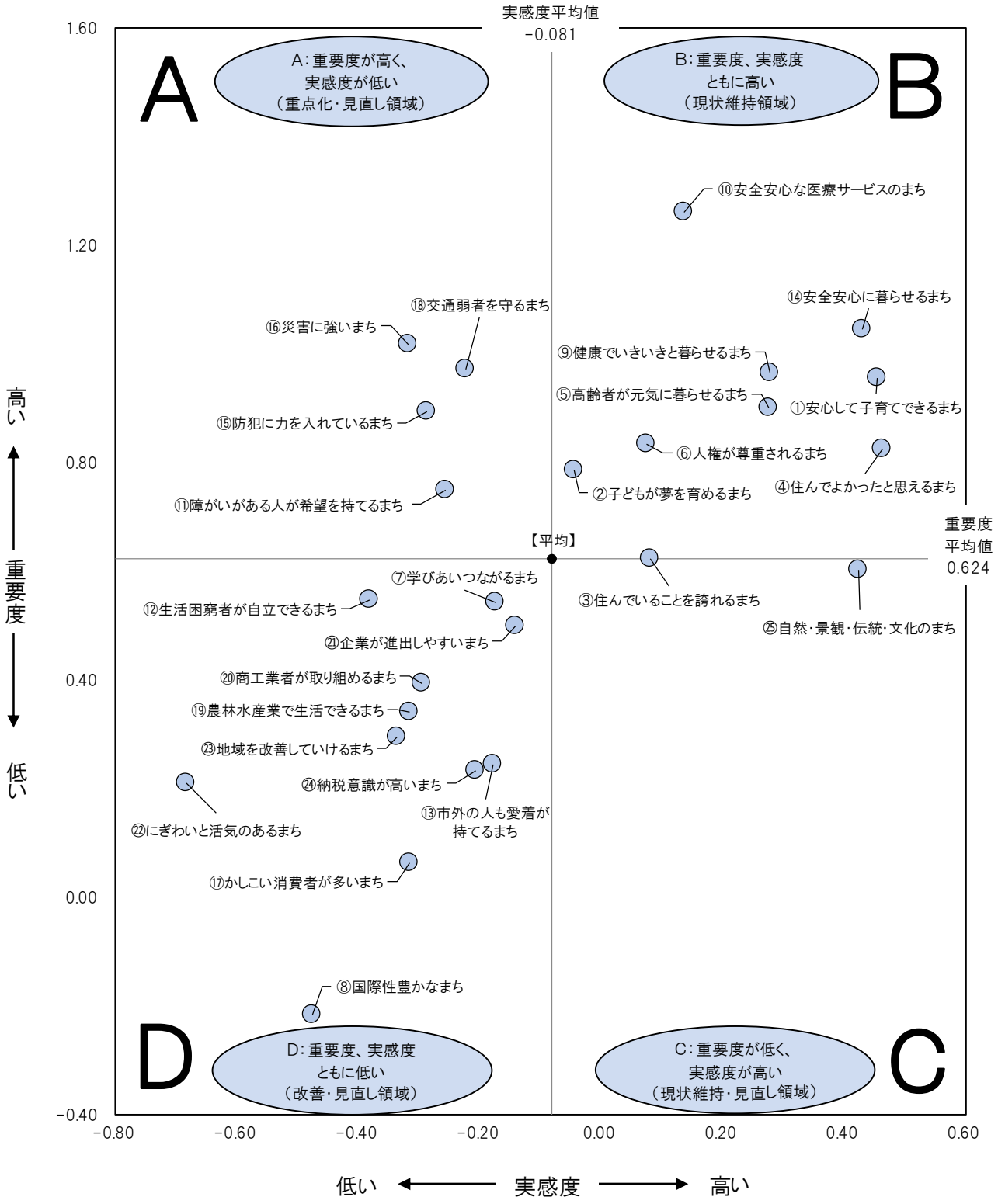
今後のまちづくりにおける重要度も実感度も高く、現時点での実感度の水準を維持していくことが必要な領域

C　重要度が低く、実感度が高い（現状維持・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度は低いものの実感度が高く、実感度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて、見直すべき必要のある領域

D　重要度、実感度ともに低い（改善・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度も実感度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものを、改めて見直す必要のある領域


実感度平均値
-0.081
A：重要度が高く、
実感度が低い
（重点化・見直し領域）
B：重要度、実感度
ともに高い
（現状維持領域）
D：重要度、実感度
ともに低い
（改善・見直し領域）
C：重要度が低く、
実感度が高い
（現状維持・見直し領域）
A
B
C
D
⑩安全安心な医療サービスのまち
⑭安全安心に暮らせるまち
⑱交通弱者を守るまち
⑯災害に強いまち
⑨健康でいきいきと暮らせるまち
⑤高齢者が元気に暮らせるまち
①安心して子育てできるまち
⑮防犯に力を入れているまち
⑥人権が尊重されるまち
④住んでよかったと思えるまち
②子どもが夢を育めるまち
⑪障がいがある人が希望を持てるまち
【平均】
重要度
平均値
0.624
⑦学びあいつながるまち
③住んでいることを誇れるまち
⑫生活困窮者が自立できるまち
㉕自然・景観・伝統・文化のまち
㉑企業が進出しやすいまち
⑳商工業者が取り組めるまち
⑲農林水産業で生活できるまち
㉓地域を改善していけるまち
㉔納税意識が高いまち
⑬市外の人も愛着が
持てるまち
㉒にぎわいと活気のあるまち
⑰かしこい消費者が多いまち
⑧国際性豊かなまち
1.60
1.20
0.80
0.40
0.00
-0.40
-0.80
-0.60
-0.40
-0.20
0.00
0.20
0.40
0.60
高い
重要度
低い
低い
実感度
高い

【相関図の元データ】

No.	設問項目	略表記	実感度	重要度
1	安心して子どもを出産し、育てることができるまち	安心して子育てできるまち	0.453	0.957
2	子どもたちが夢を育むことができるまち	子どもが夢を育めるまち	-0.046	0.786
3	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	住んでいることを誇れるまち	0.080	0.624
4	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち	住んでよかったと思えるまち	0.463	0.826
5	高齢者が元気に暮らせるまち	高齢者が元気に暮らせるまち	0.275	0.900
6	人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち	人権が尊重されるまち	0.075	0.834
7	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	学びあいつながるまち	-0.175	0.543
8	外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち	国際性豊かなまち	-0.477	-0.216
9	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	健康でいきいきと暮らせるまち	0.278	0.966
10	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち	安全安心な医療サービスのまち	0.135	1.261
11	障がいがある人が毎日明るく、明日へ希望が持てるまち	障がいがある人が希望を持てるまち	-0.257	0.750
12	生活に困窮する人が自立できるまち	生活困窮者が自立できるまち	-0.382	0.547
13	市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持て、誇れるまち	市外の人も愛着が持てるまち	-0.179	0.244
14	地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち	安全安心に暮らせるまち	0.430	1.046
15	地域みんなで防犯に力を入れているまち	防犯に力を入れているまち	-0.288	0.893
16	防災体制が整っており、災害に強いまち	災害に強いまち	-0.318	1.018
17	かしこい消費者が多いまち	かしこい消費者が多いまち	-0.316	0.063
18	子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち	交通弱者を守るまち	-0.223	0.973
19	農水産業で生活できるまち	農林水産業で生活できるまち	-0.317	0.341
20	商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち	商工業者が取り組めるまち	-0.296	0.395
21	企業が進出しやすい条件が整っているまち	企業が進出しやすいまち	-0.142	0.499
22	にぎわいと活気のある観光のまち	にぎわいと活気のあるまち	-0.684	0.210
23	コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち	地域を改善していけるまち	-0.336	0.295
24	市民の納税に対する意識が高いまち	納税意識が高いまち	-0.208	0.234
25	すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち	自然・景観・伝統・文化のまち	0.424	0.602
		平均→	-0.081	0.624

注：実感度及び重要度はウエイト付けによる加重平均値

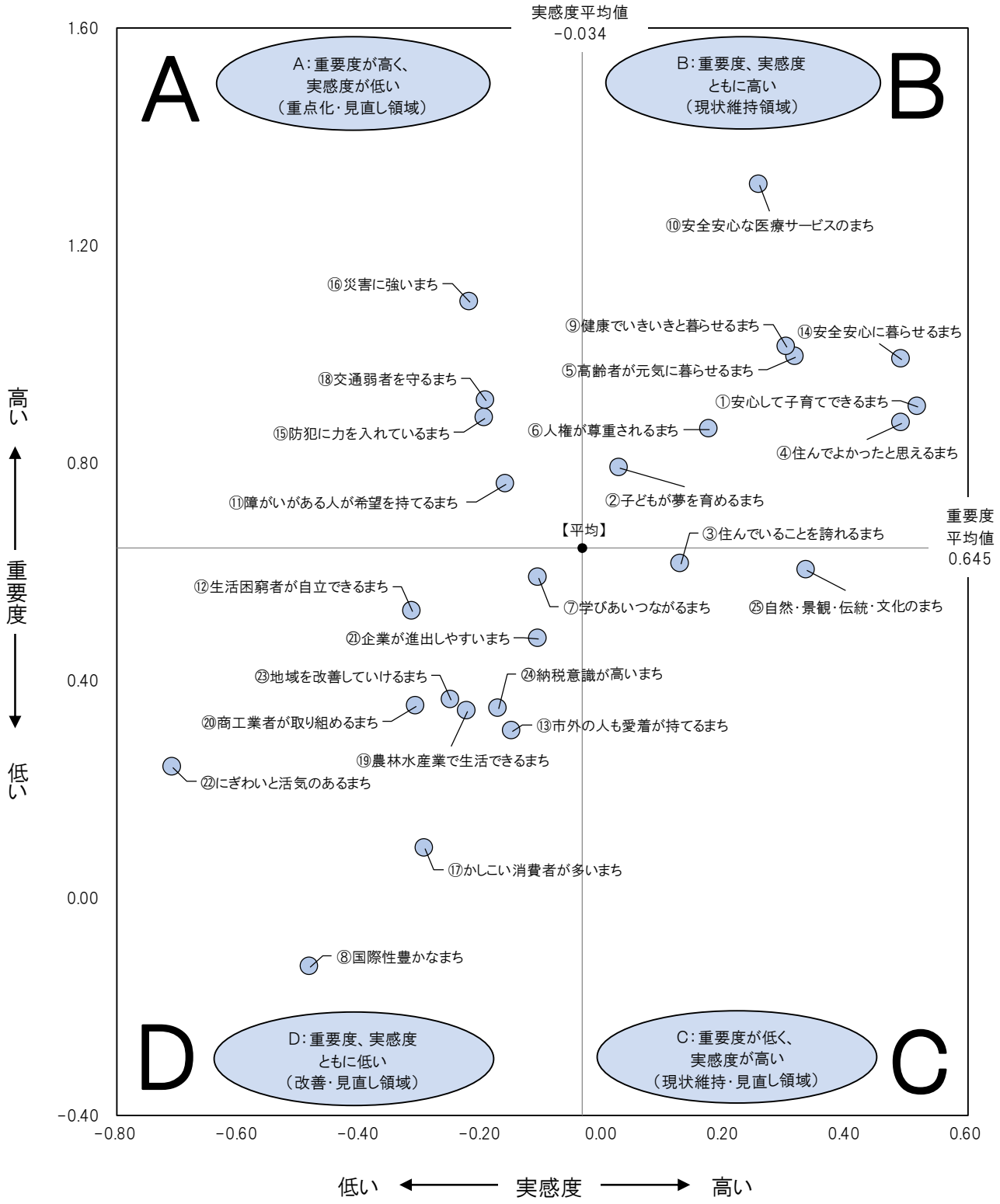
【前回調査との比較】

前回の相関図と比べ大きな変化はみられず、前回から今回で散布図象限が変更になった項目はみられなかった。

No.	略表記	前回調査結果		散布図象限	今回調査結果		散布図象限
		実感度	重要度		実感度	重要度	
1	安心して子育てできるまち	0.518	0.903	B	0.453	0.957	B
2	子どもが夢を育めるまち	0.027	0.791	B	-0.046	0.786	B
3	住んでいることを誇れるまち	0.127	0.614	C	0.080	0.624	C
4	住んでよかったと思えるまち	0.491	0.874	B	0.463	0.826	B
5	高齢者が元気に暮らせるまち	0.316	0.995	B	0.275	0.900	B
6	人権が尊重されるまち	0.174	0.862	B	0.075	0.834	B
7	学びあいつながるまち	-0.107	0.590	D	-0.175	0.543	D
8	国際性豊かなまち	-0.483	-0.126	D	-0.477	-0.216	D
9	健康でいきいきと暮らせるまち	0.302	1.013	B	0.278	0.966	B
10	安全安心な医療サービスのまち	0.256	1.312	B	0.135	1.261	B
11	障がいがある人が希望を持てるまち	-0.159	0.760	A	-0.257	0.750	A
12	生活困窮者が自立できるまち	-0.314	0.528	D	-0.382	0.547	D
13	市外の人も愛着が持てるまち	-0.150	0.308	D	-0.179	0.244	D
14	安全安心に暮らせるまち	0.490	0.990	B	0.430	1.046	B
15	防犯に力を入れているまち	-0.194	0.883	A	-0.288	0.893	A
16	災害に強いまち	-0.219	1.095	A	-0.318	1.018	A
17	かしこい消費者が多いまち	-0.293	0.091	D	-0.316	0.063	D
18	交通弱者を守るまち	-0.193	0.914	A	-0.223	0.973	A
19	農林水産業で生活できるまち	-0.223	0.343	D	-0.317	0.341	D
20	商工業者が取り組めるまち	-0.308	0.352	D	-0.296	0.395	D
21	企業が進出しやすいまち	-0.106	0.476	D	-0.142	0.499	D
22	にぎわいと活気のあるまち	-0.709	0.241	D	-0.684	0.210	D
23	地域を改善していけるまち	-0.250	0.364	D	-0.336	0.295	D
24	納税意識が高いまち	-0.172	0.348	D	-0.208	0.234	D
25	自然・景観・伝統・文化のまち	0.335	0.602	C	0.424	0.602	C
平　　均		-0.034	0.645		-0.081	0.624	

注：「③住んでいることを誇れるまち」の今回調査結果については、「C」に振り分けて掲載している。

【参考／前回調査における相関図】



【２】行動や考えについて

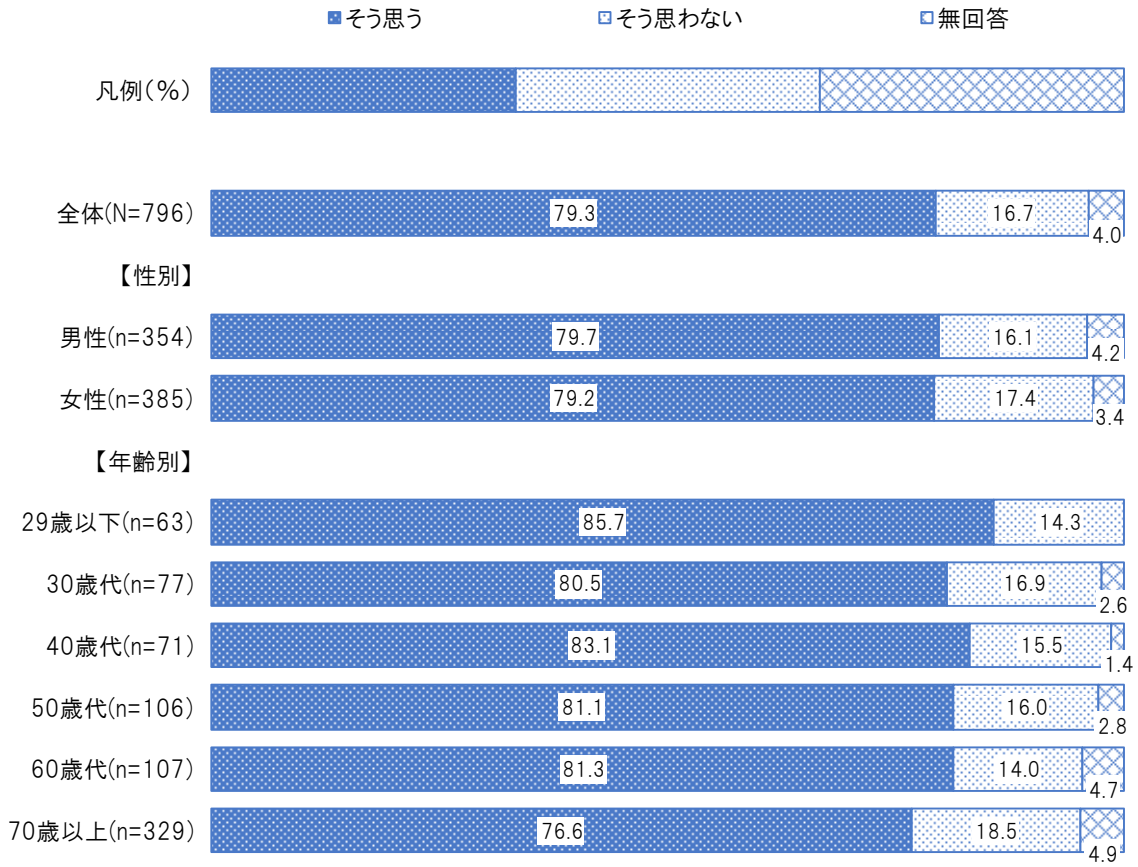
問２　あなたの日頃の行動や考えについておたずねします。下記の(１)～(40)の質問ごとに、回答欄の２つの選択肢（（18）については４つ）から、あてはまるもの１つを選んで、番号に○印をつけてください。

１　人権が守られていることについて

（１）あなたは、ご自身の人権が守られていると思いますか

人権が守られていることについては、「そう思う」が 79.3%、「そう思わない」が 16.7%であった。

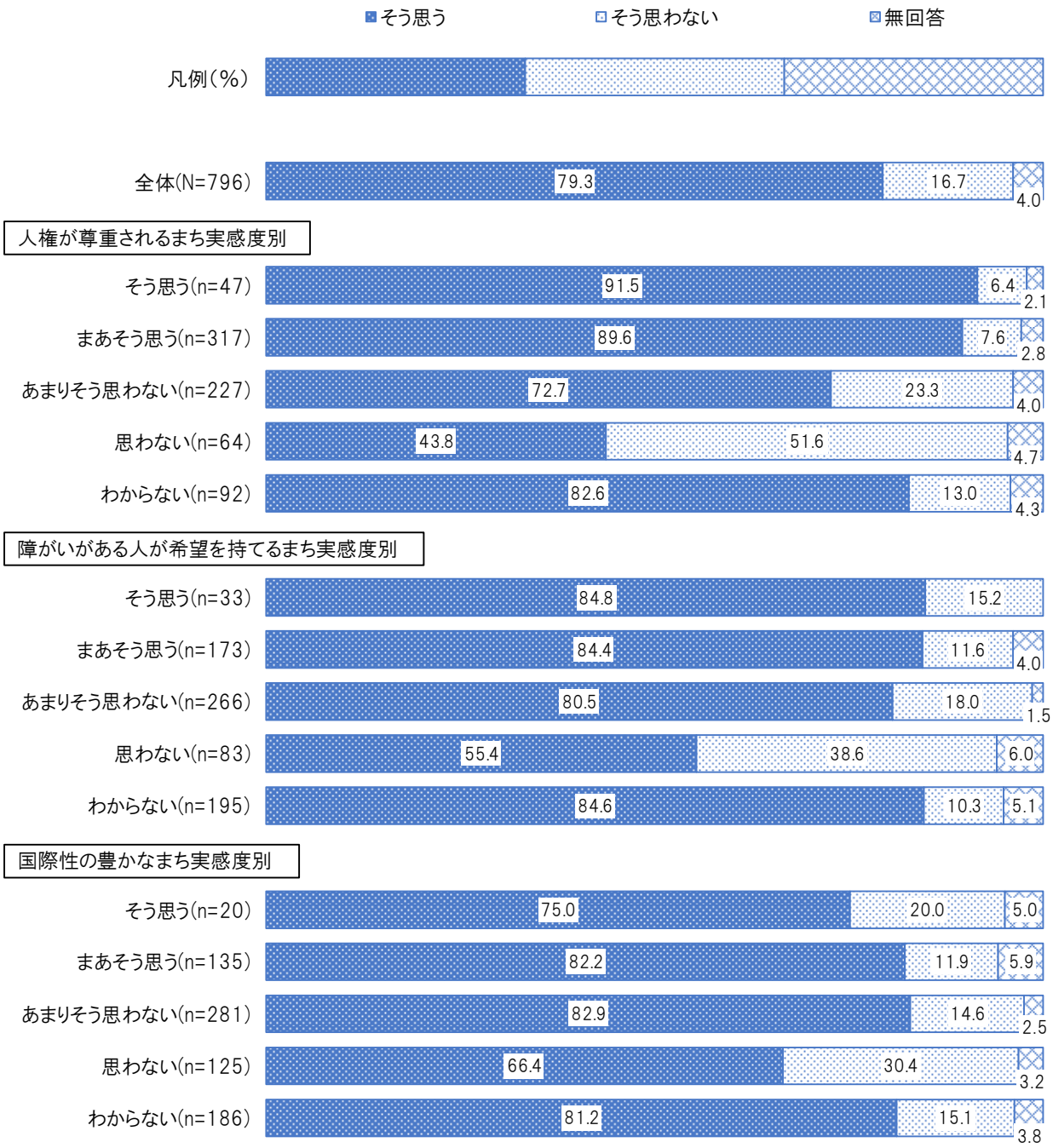
性別では大きな差はみられないが、年齢別では 29 歳以下で「そう思う」の割合が他の年齢層に比べてやや高くなっている。



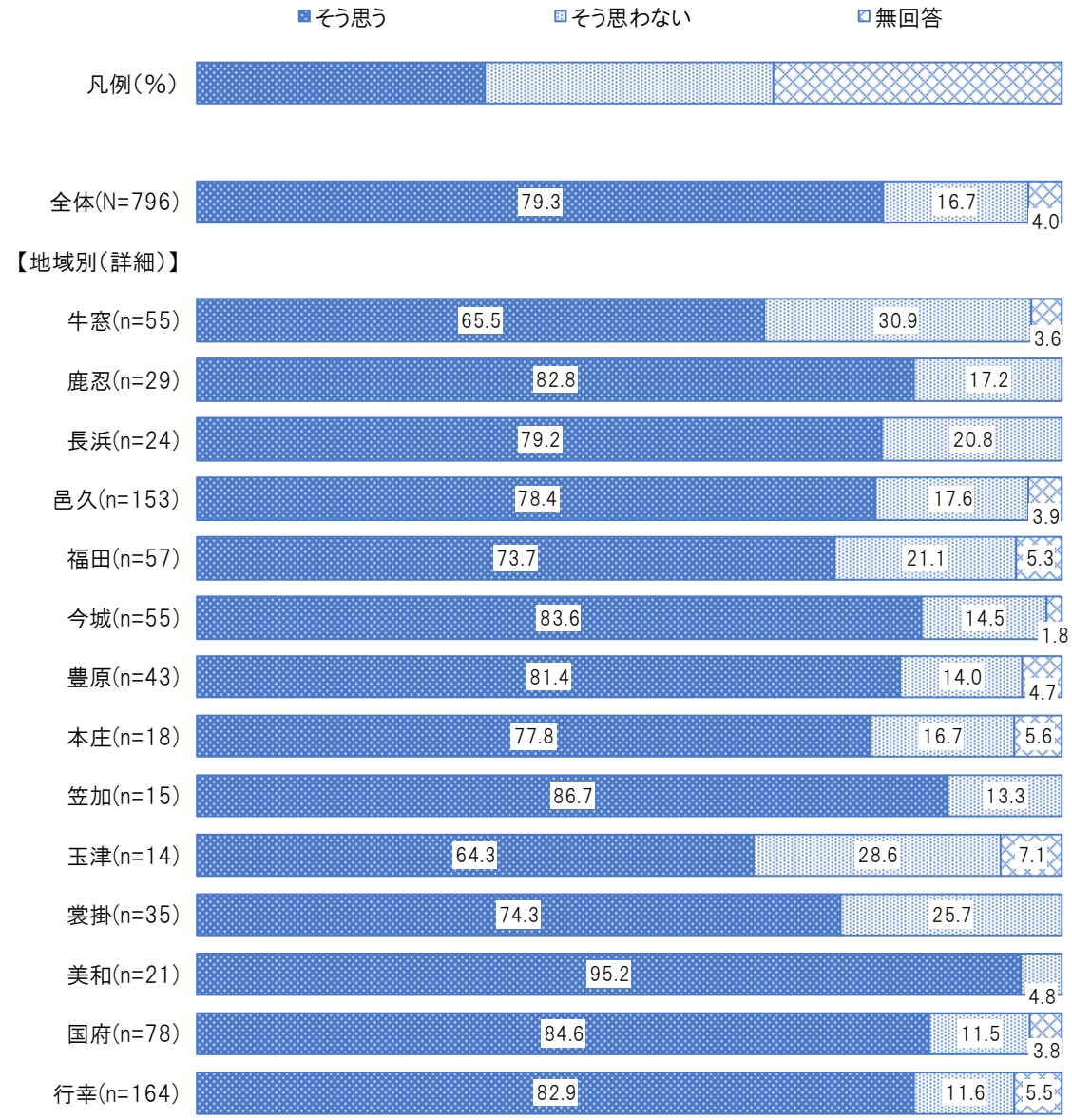
人権が尊重されるまち実感度別では、実感がない（「思わない」）層で「そう思わない」が約半数を占めている。

障がいがある人が希望を持てるまち実感度別では、実感がない（「思わない」）層で「そう思わない」が約４割を占めている。

国際性の豊かなまち実感度別では、実感がない（「思わない」）層で「そう思わない」が約３割を占めている。

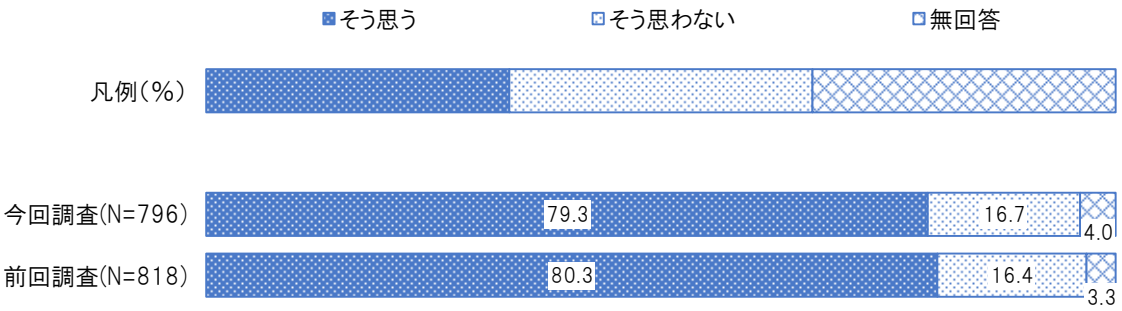


地域別でみると、「そう思う」は美和で高く、「そう思わない」は牛窓、玉津などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



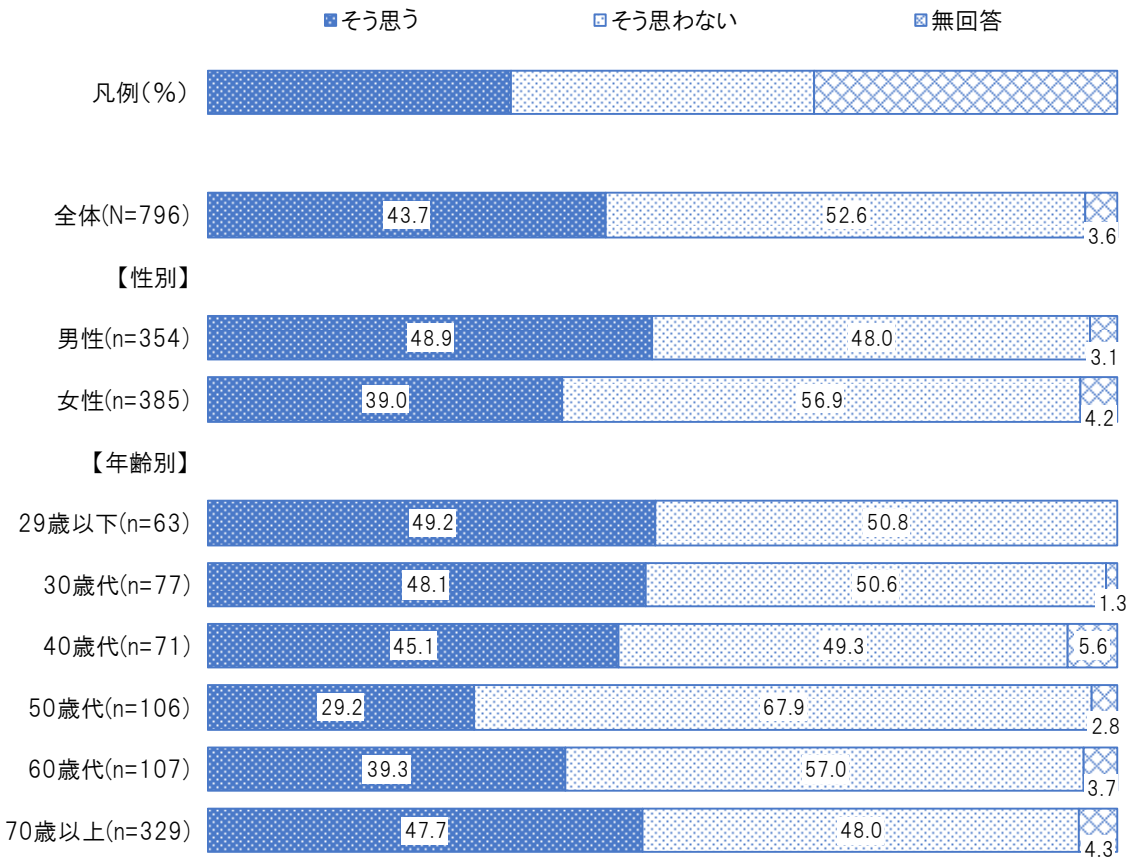
2　慣習やしきたりにおける男女平等意識

（２）あなたは、慣習やしきたりで男女が平等になっていると思いますか

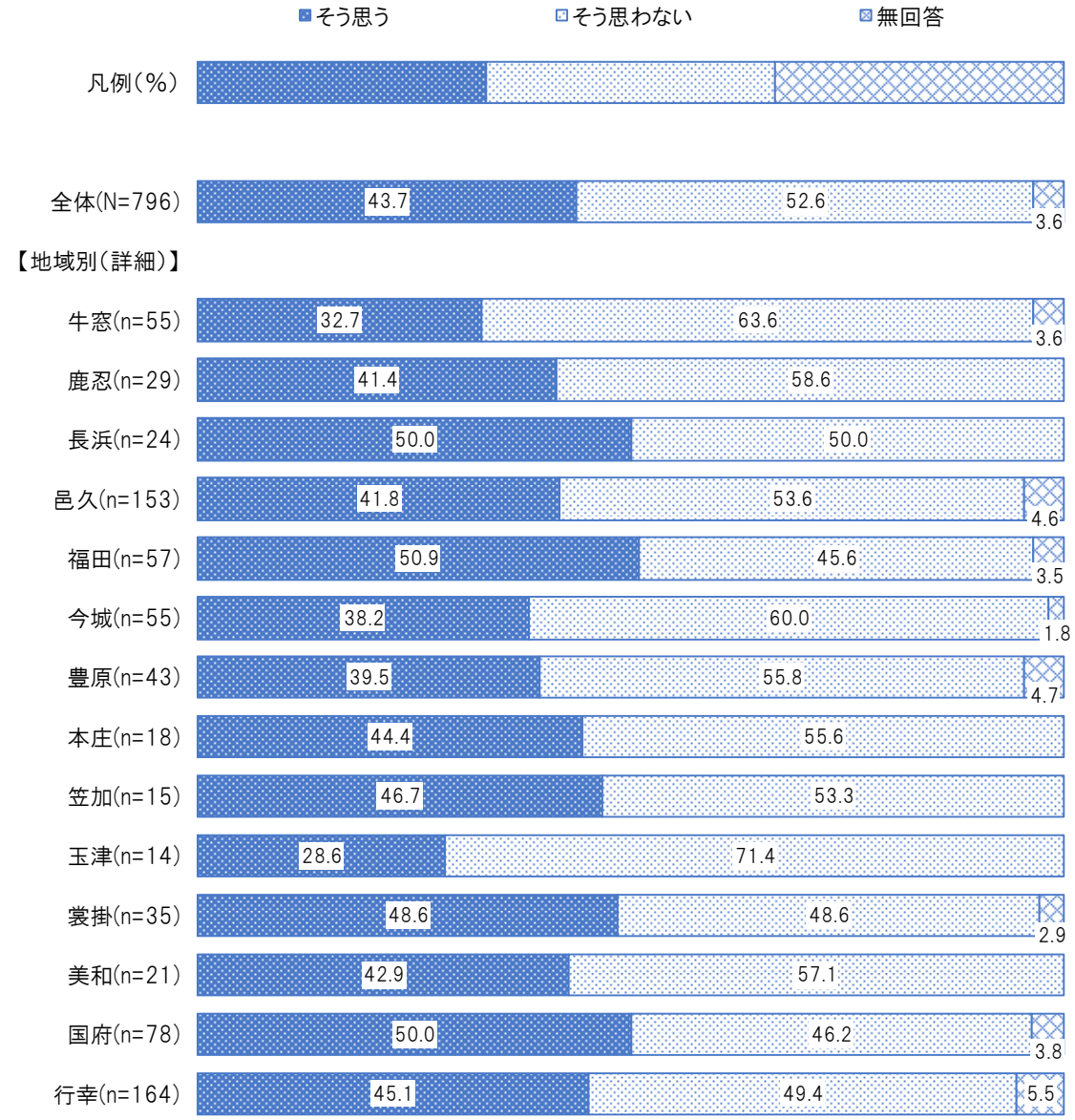
慣習やしきたりにおける男女平等意識については、「そう思う」が 43.7%、「そう思わない」が 52.6%であった。

性別では、男性は女性に比べ「そう思う」の割合が高くなっている。

年齢別では、50 歳代で「そう思わない」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

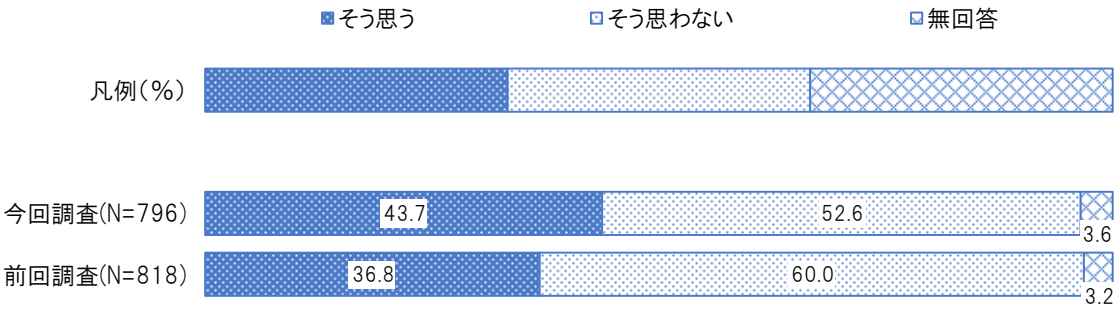


地域別でみると、「そう思う」は長浜、福田、国府などで高く、「そう思わない」は牛窓、玉津などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「そう思う」が増加している。

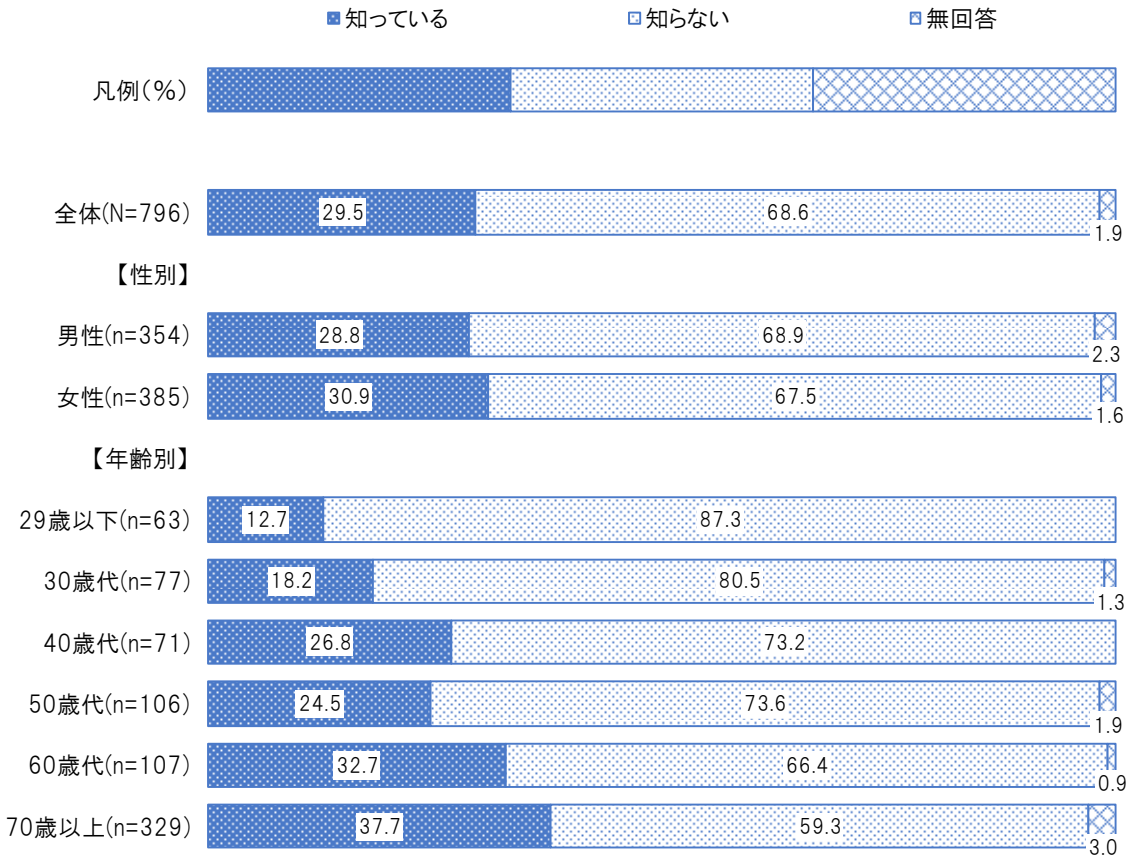


3　「なやみごと相談」窓口認知状況

（３）あなたは、人権問題について相談できる「なやみごと相談」の窓口を知っていますか

「なやみごと相談」窓口認知状況については、「知っている」が 29.5%、「知らない」が 68.6%であった。

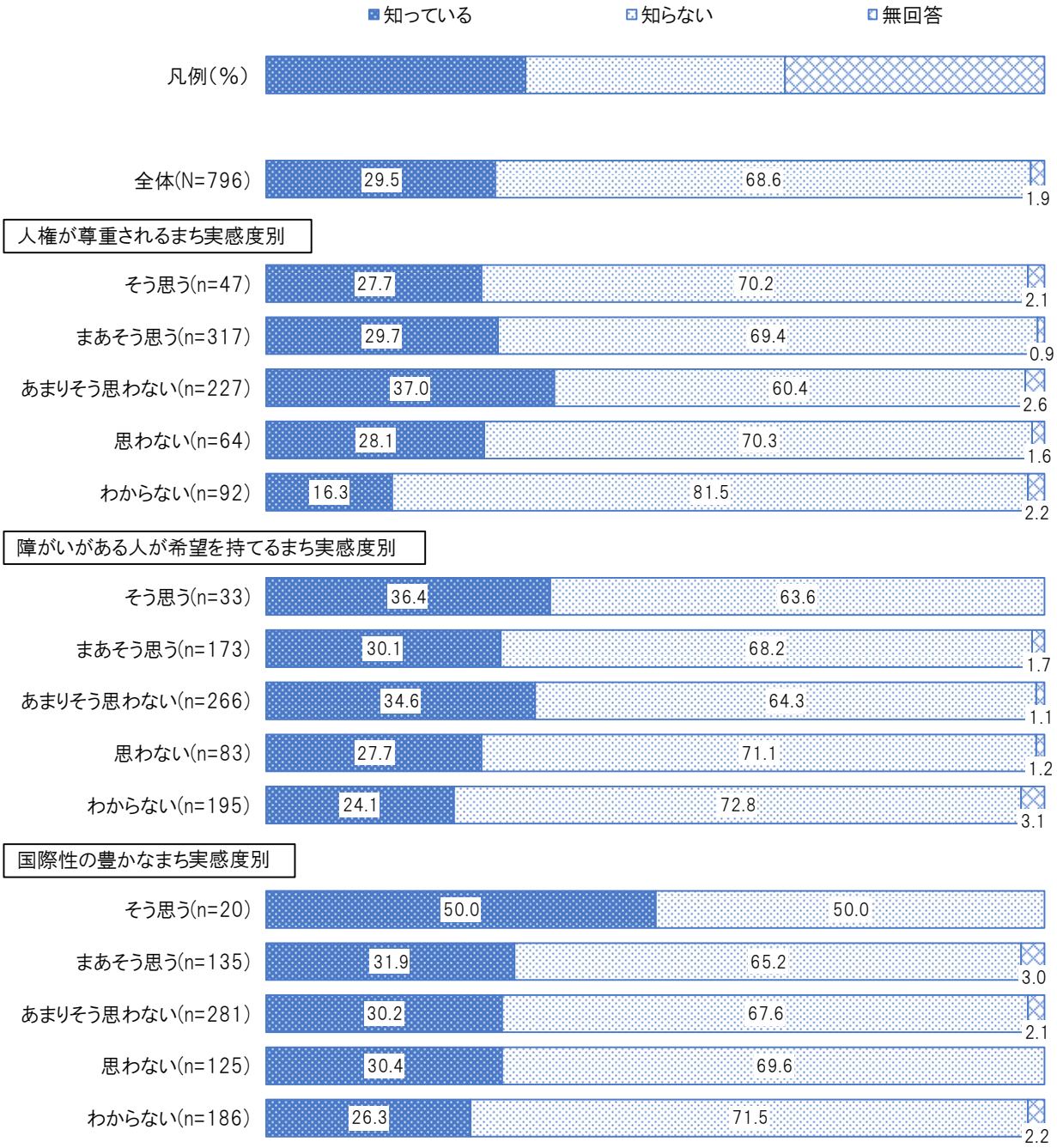
性別では大きな差はみられないが、年齢別ではおおむね年齢が上がるほど「知っている」の割合が高くなっている。



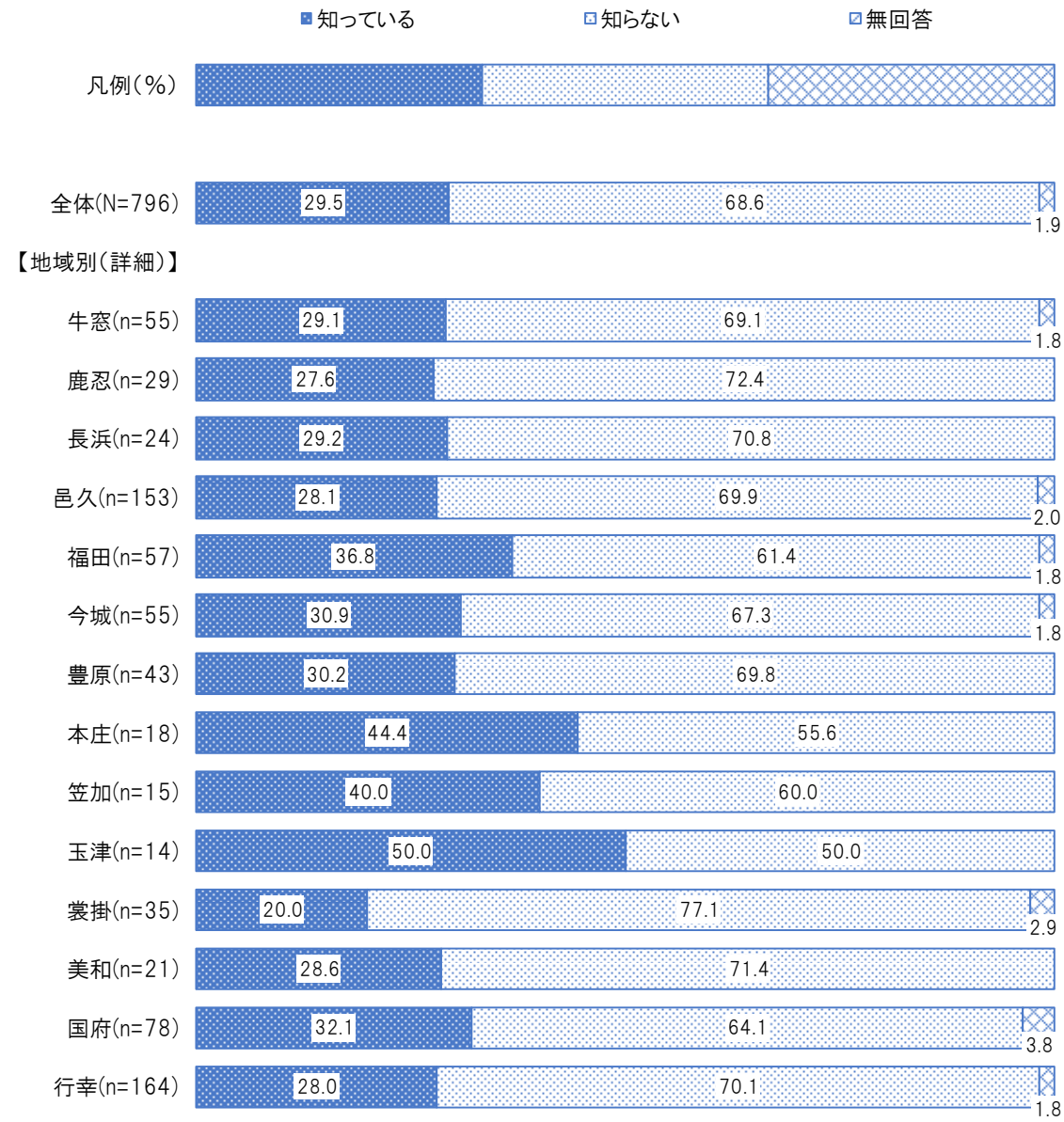
人権が尊重されるまち実感度別では、わからないと回答した層で「知っている」の割合が低くなっている。

障がいがある人が希望を持てるまち実感度別では、わからないと回答した層で「知っている」の割合が低くなっている。

国際性の豊かなまち実感度別では、実感がある（「そう思う」）と回答した層の半数が「知っている」と回答している。

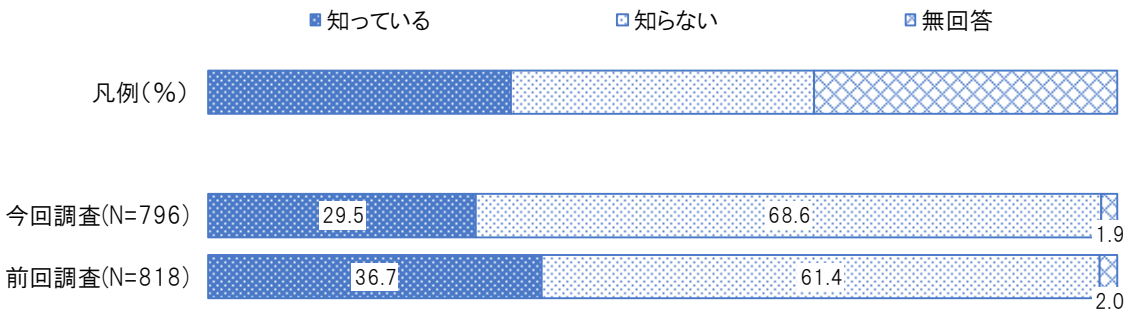


地域別でみると、「知っている」は本庄、笠加、玉津などで高く、「知らない」は裳掛で高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「知らない」が増加している。



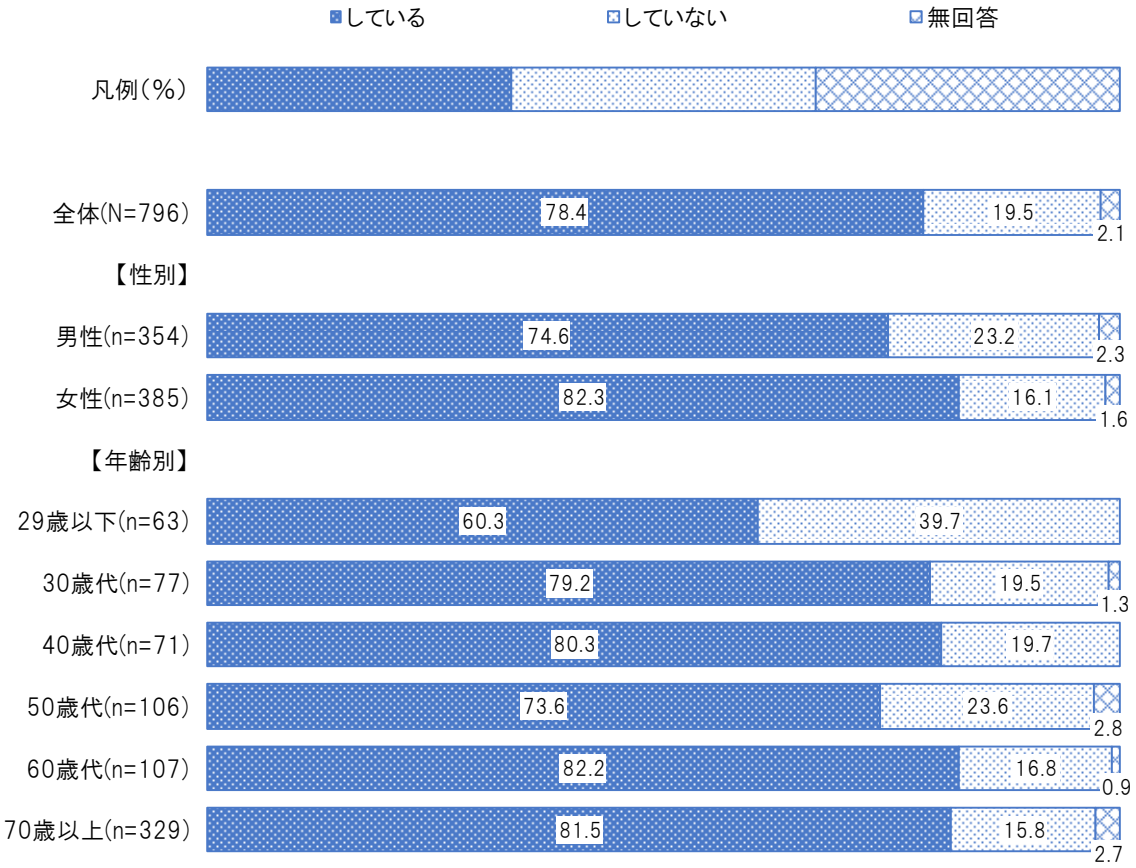
4　近所の子どもに会ったときのあいさつや声かけについて

（４）あなたは、近所の子どもに会ったときに、あいさつや声かけをしていますか

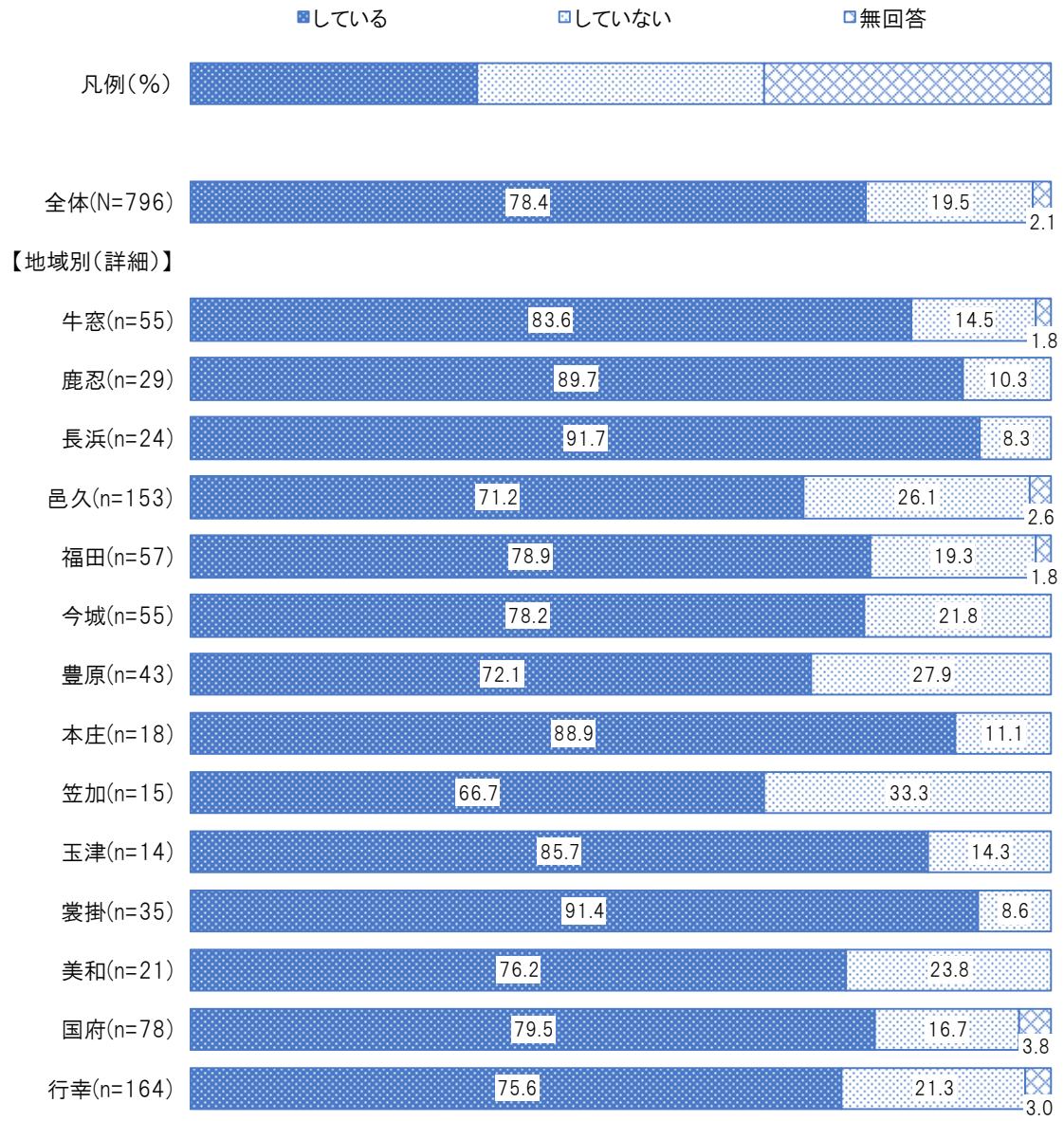
近所の子どもに会ったときのあいさつや声かけについては、「している」が 78.4%、「していない」が 19.5%であった。

性別では、女性は男性に比べ「している」の割合が高くなっている。

年齢別では、29 歳以下で「していない」の割合が約４割を占め、高くなっている。

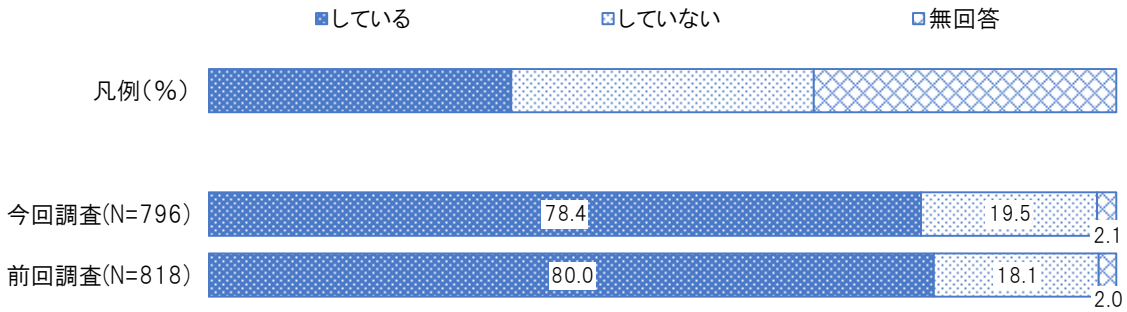


地域別でみると、「している」は鹿忍、長浜、本庄、裳掛などで高く、「していない」は邑久、豊原、笠加などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



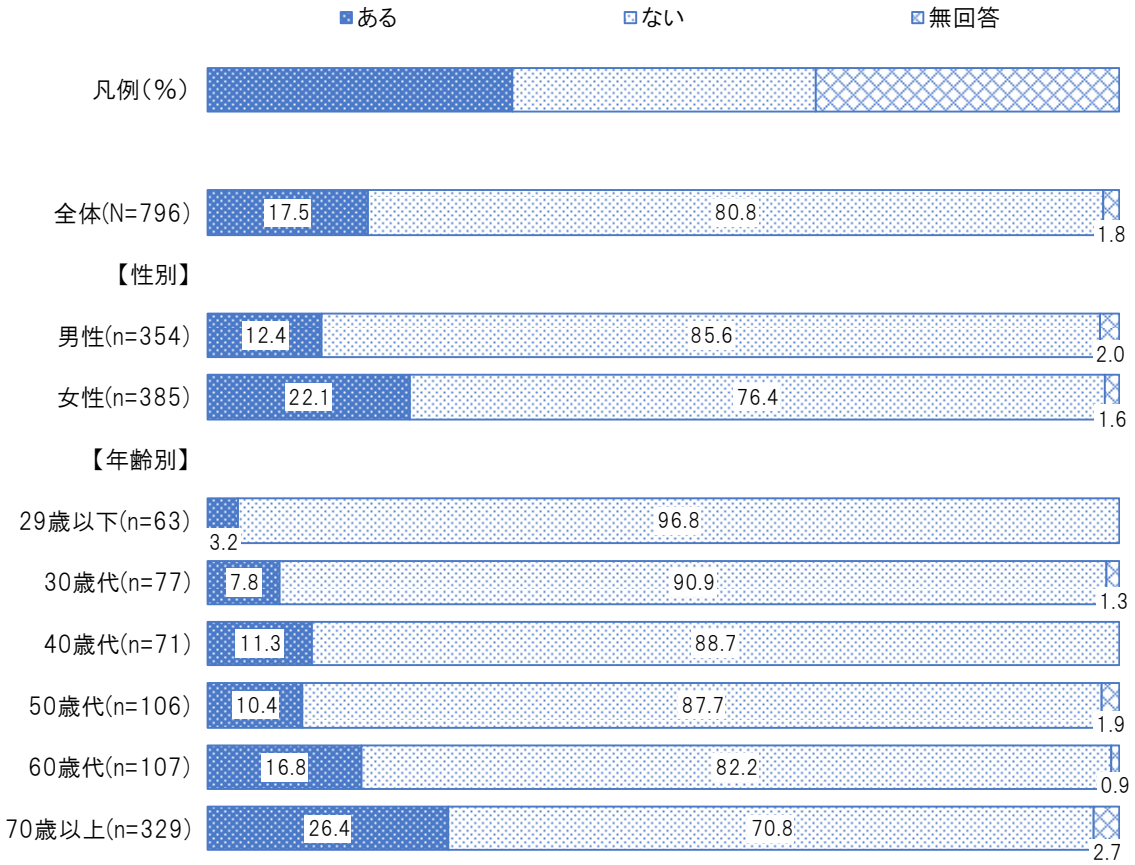
5　生涯学習講座などへの参加状況

（５）あなたは、生涯学習講座などの活動に参加したことがありますか

生涯学習講座などへの参加状況については、「ある」が 17.5%、「ない」が 80.8%であった。

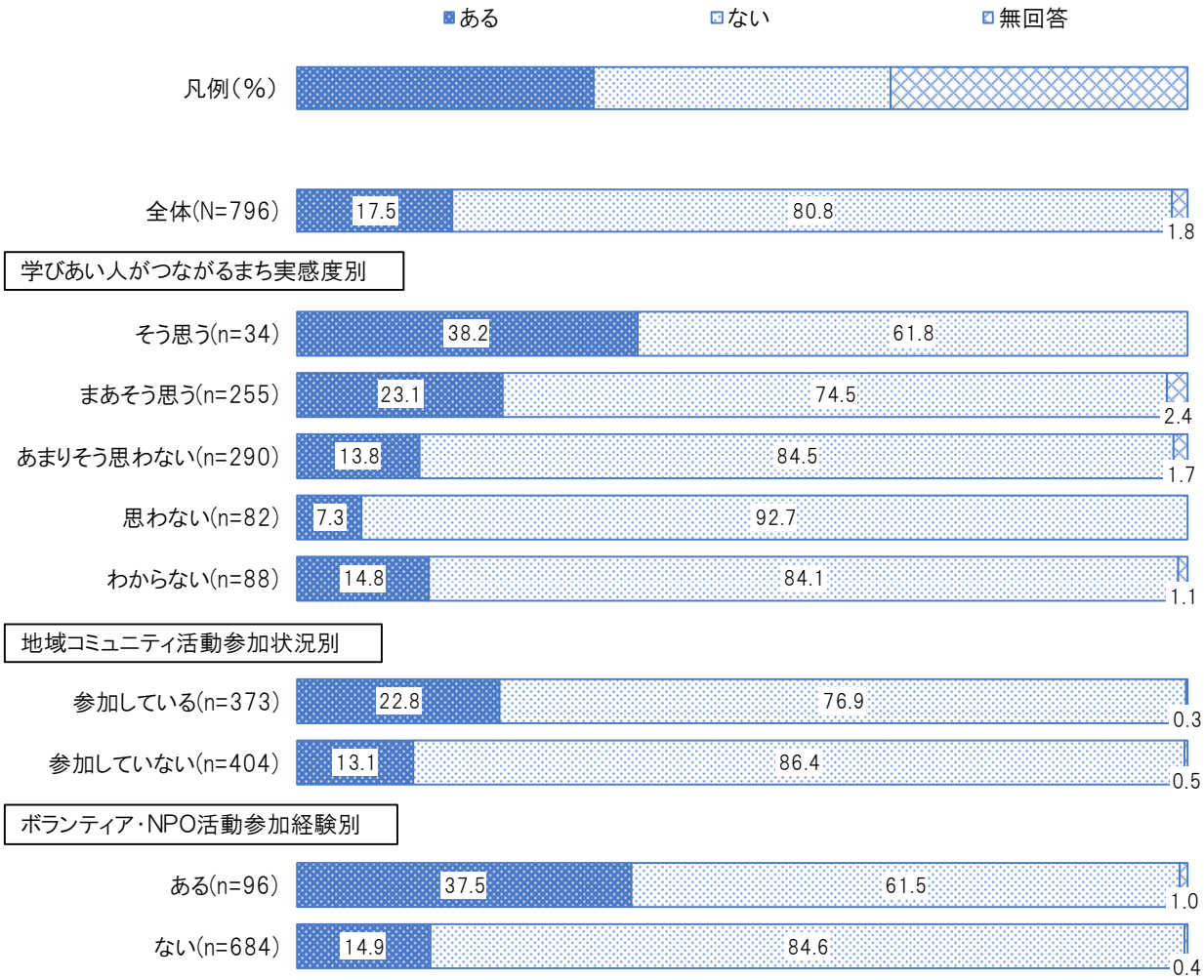
性別では、女性は「ある」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、おおむね年齢が上がるほど「ある」の割合が高くなっている。

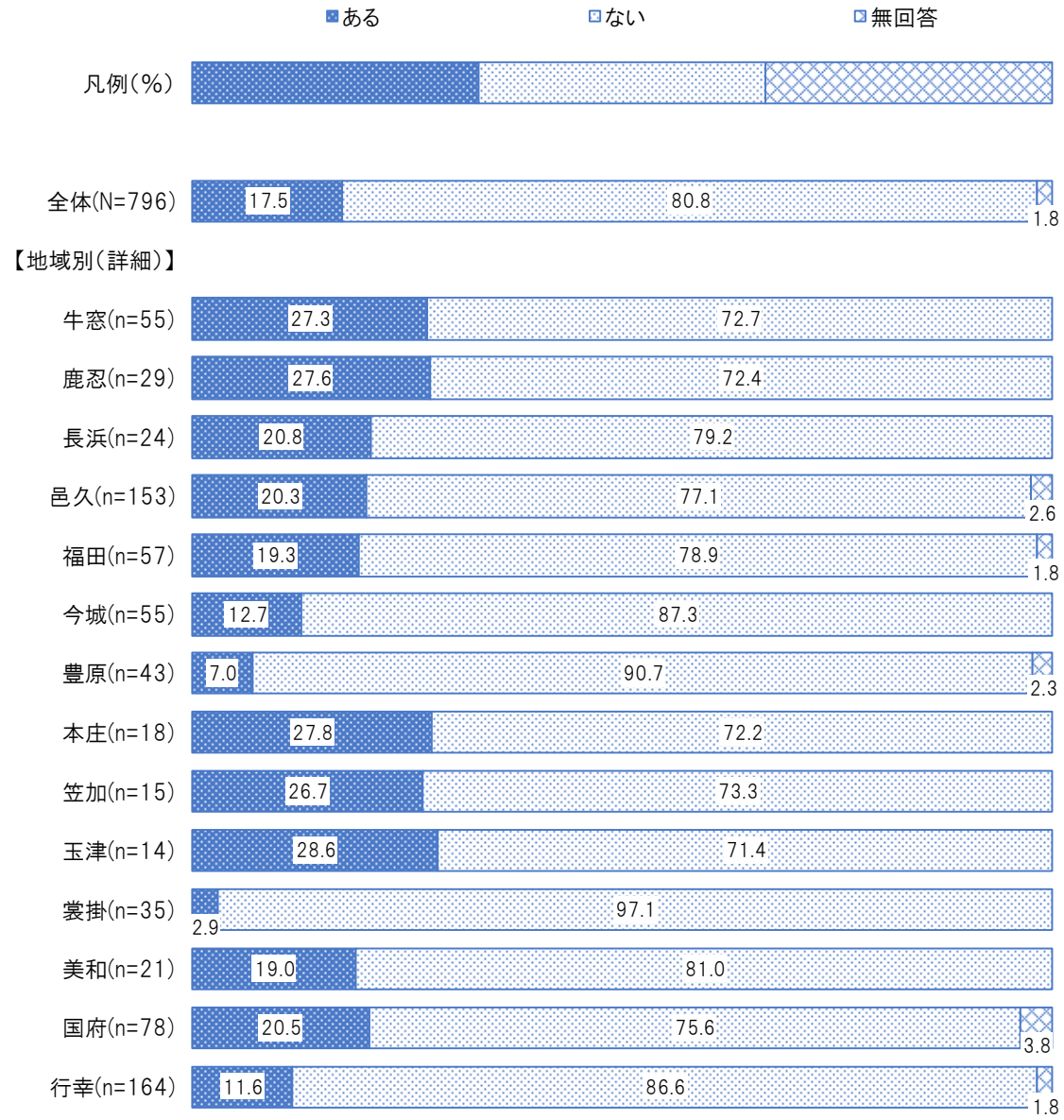


学びあい人がつながるまち実感度別では、実感がない（「思わない」）層で「ない」の割合が高くなっている。

地域コミュニティ活動に参加している層やボランティア・ＮＰＯ活動に参加経験のある層で、「ある」の割合がそれぞれ高くなっている。

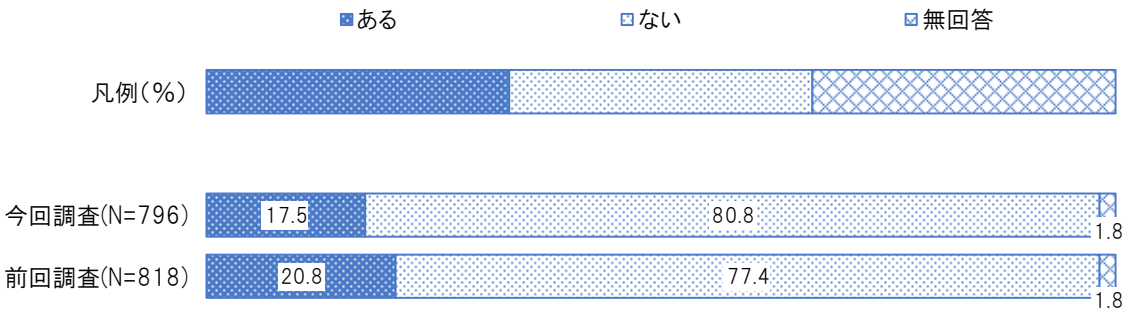


地域別でみると、「ある」は牛窓、鹿忍、本庄、笠加、玉津などで高く、「ない」は今城、豊原、裳掛、行幸などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「ない」がやや増加している。



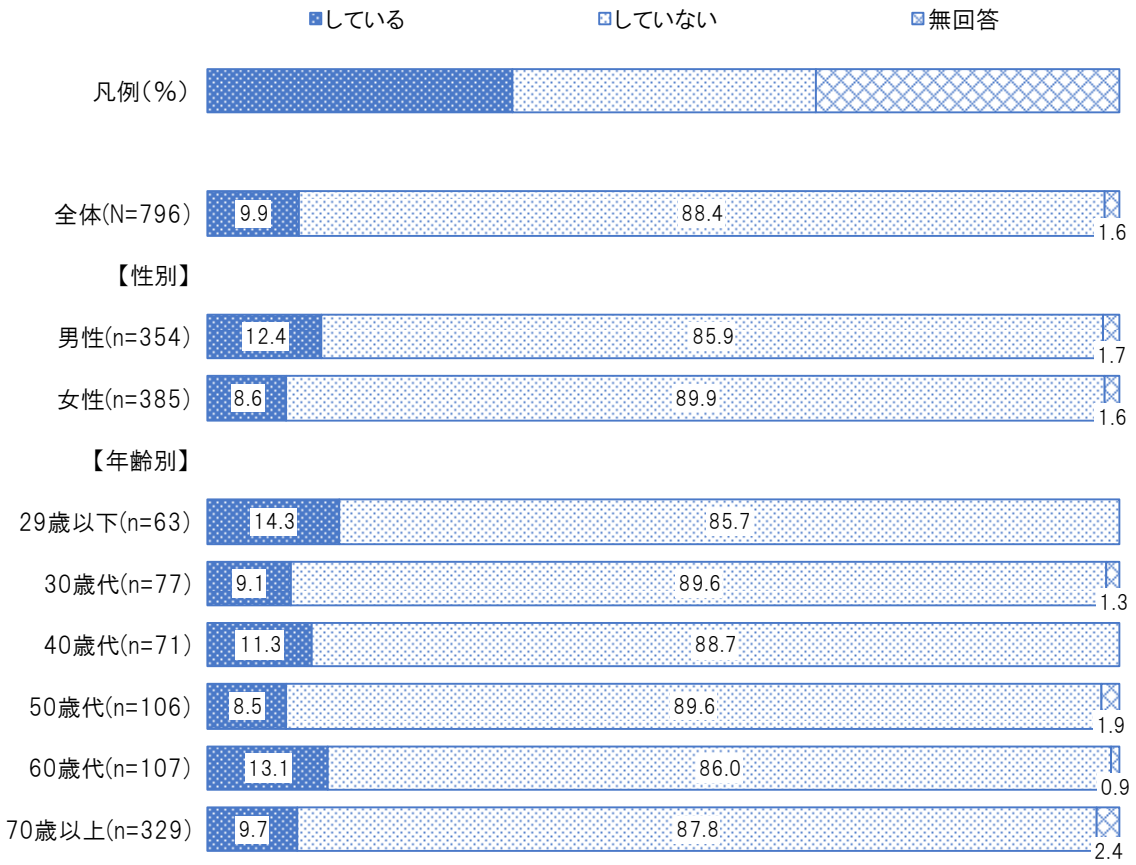
6　地域に貢献する活動状況

（６）あなたは、学習やスポーツの指導など、地域に貢献する活動をしていますか

地域に貢献する活動状況については、「している」が 9.9%、「していない」が 88.4%であった。

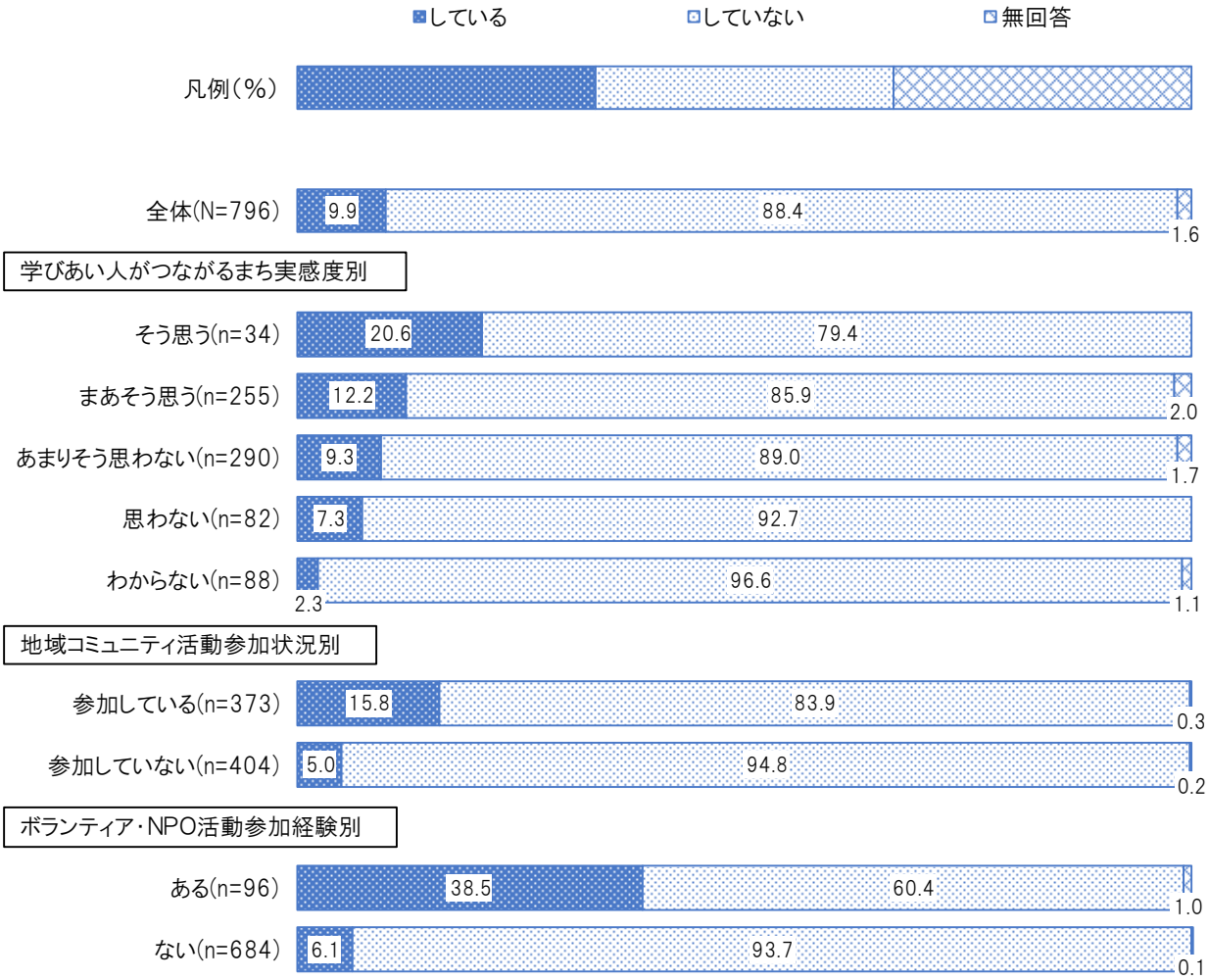
性別では、男性は女性に比べ「している」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、29 歳以下や 60 歳代で「している」の割合が他の年齢層に比べてやや高くなっている。

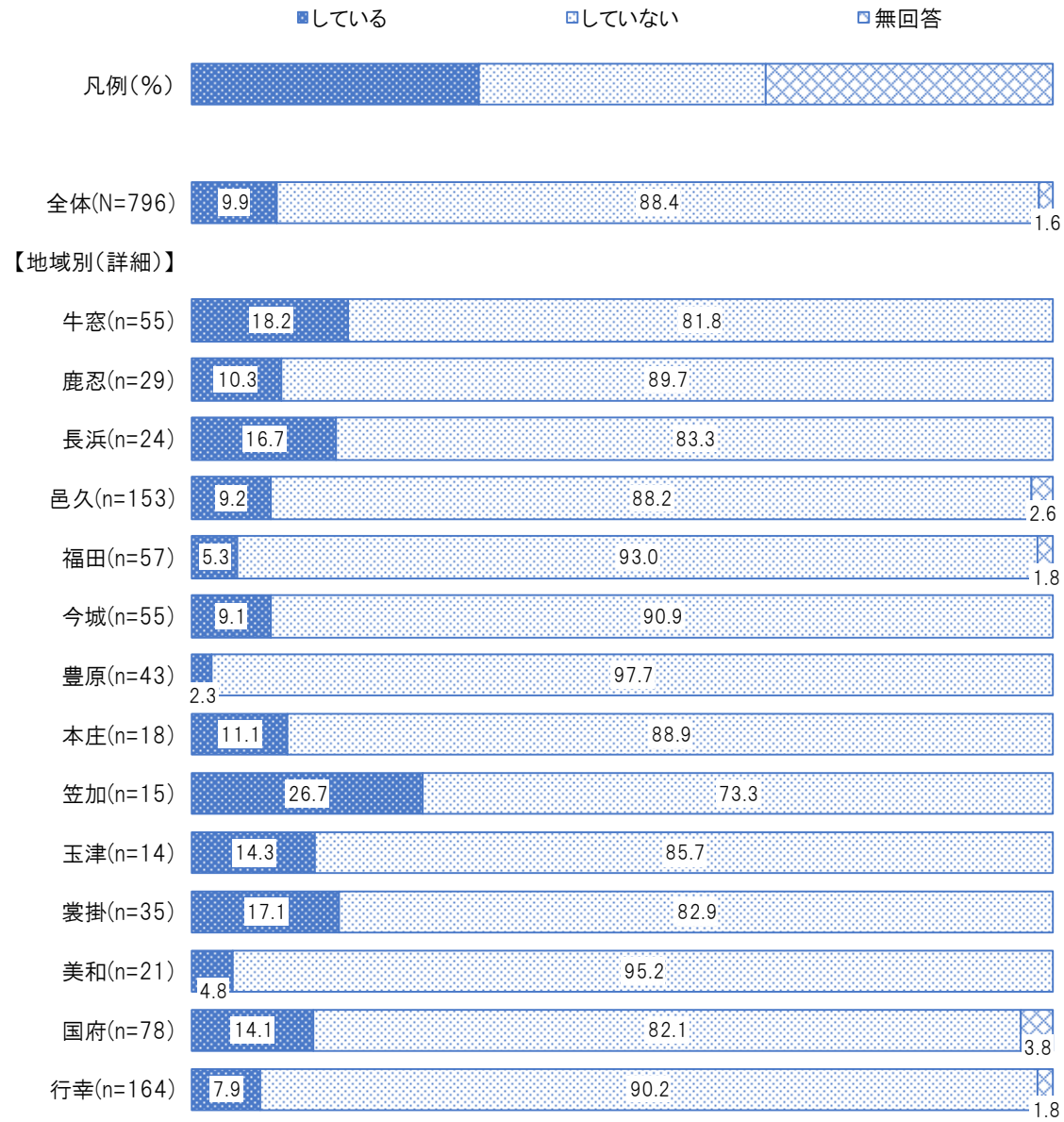


学びあい人がつながるまち実感度別では、実感がある（「そう思う」）層で「している」の割合が高くなっている。

地域コミュニティ活動に参加している層やボランティア・ＮＰＯ活動に参加経験のある層で、「している」の割合がそれぞれ高くなっている。

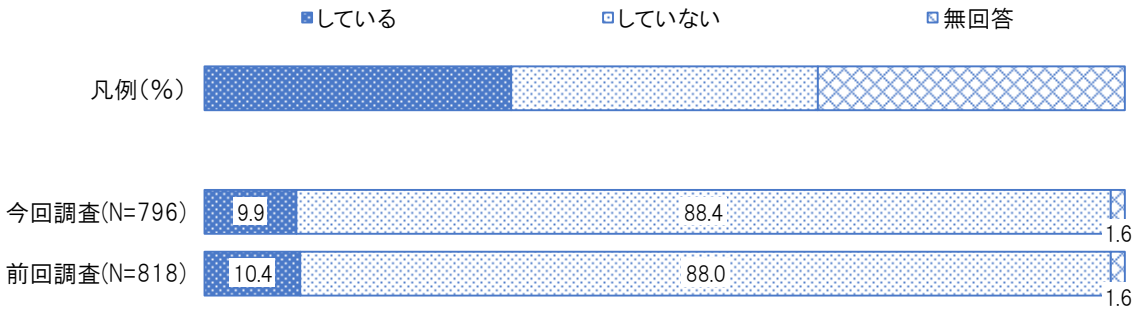


地域別でみると、「している」は笠加で高く、「していない」は福田、豊原、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

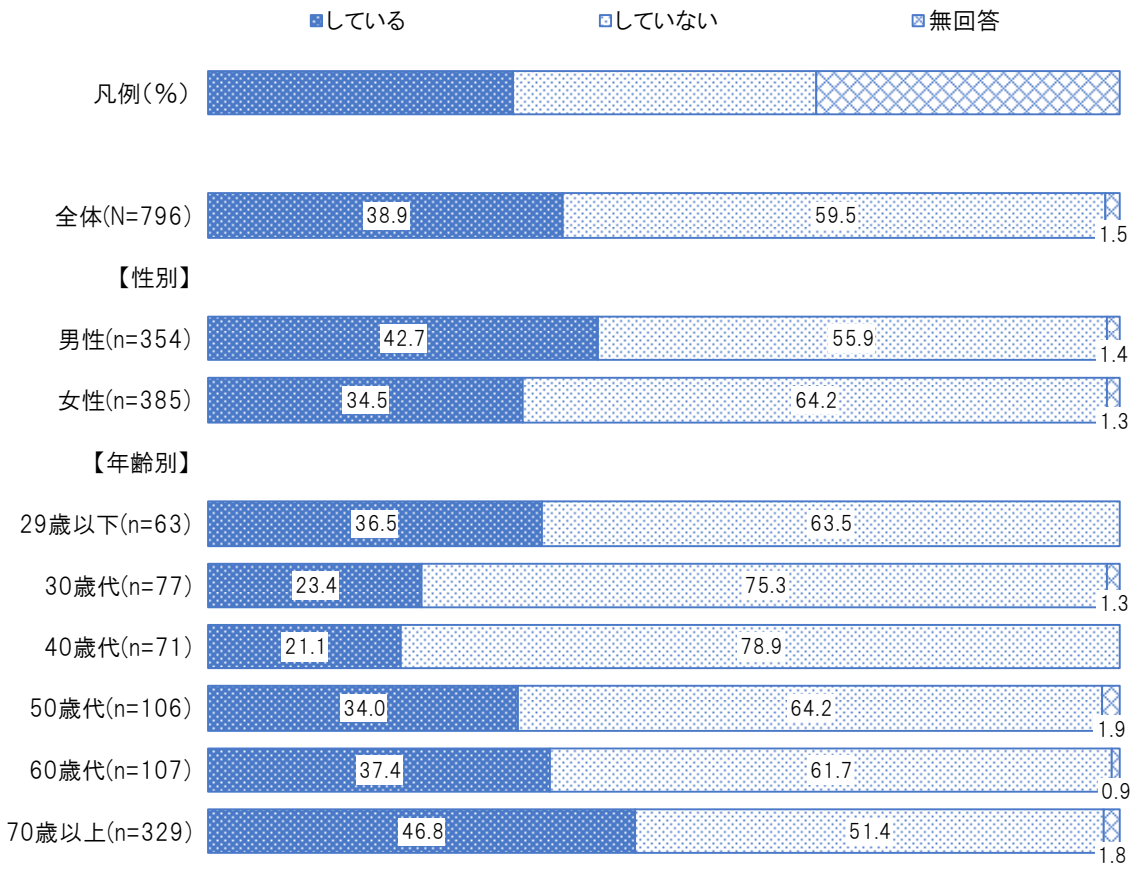
前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



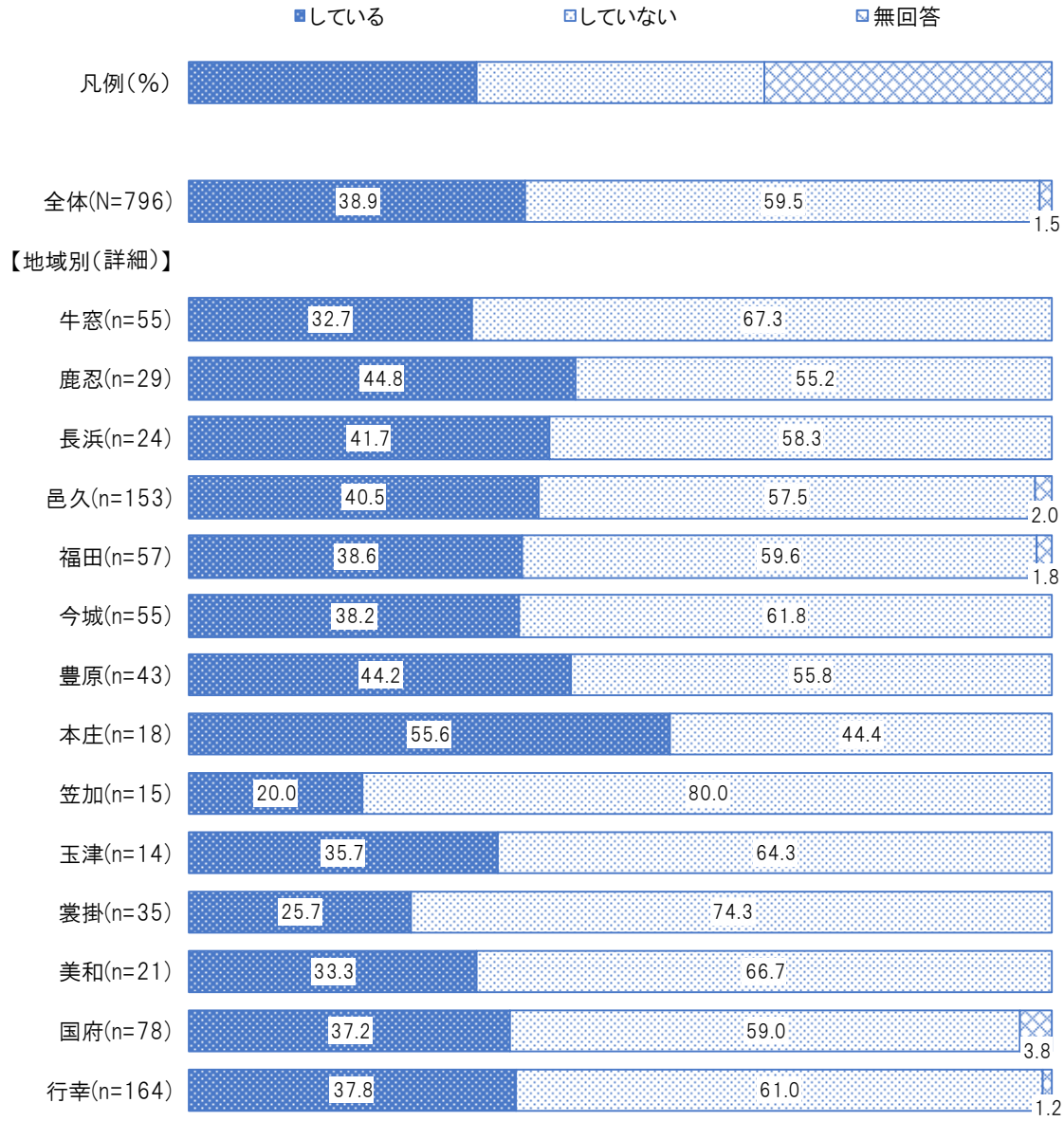
7　運動継続状況

（７）あなたは、週に２回以上、１回 30 分以上の運動を１年以上継続していますか

運動継続状況については、「している」が 38.9%、「していない」が 59.5%であった。
性別では、男性は女性に比べ「している」の割合が高くなっている。
年齢別では、70 歳以上で「している」の割合が高くなっている。

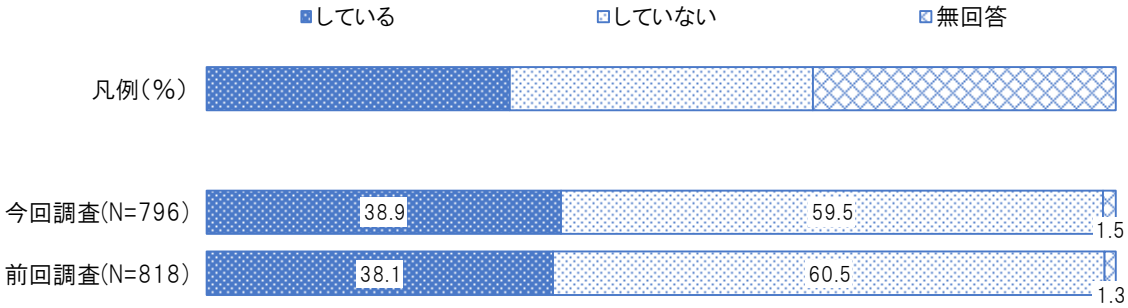


地域別でみると、「している」は本庄で高く、「していない」は笠加、裳掛などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



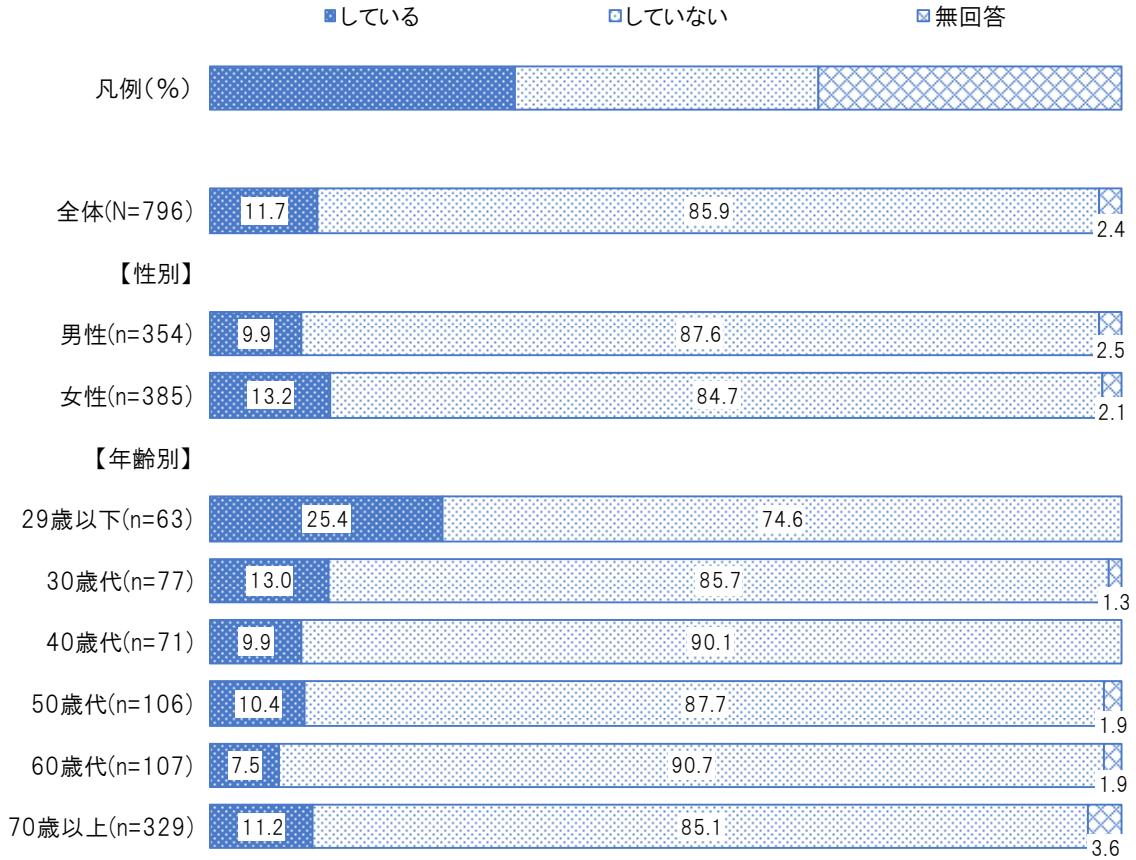
8　芸術文化活動状況

（８）あなたは、歴史や文化、芸術に関わる活動をしていますか

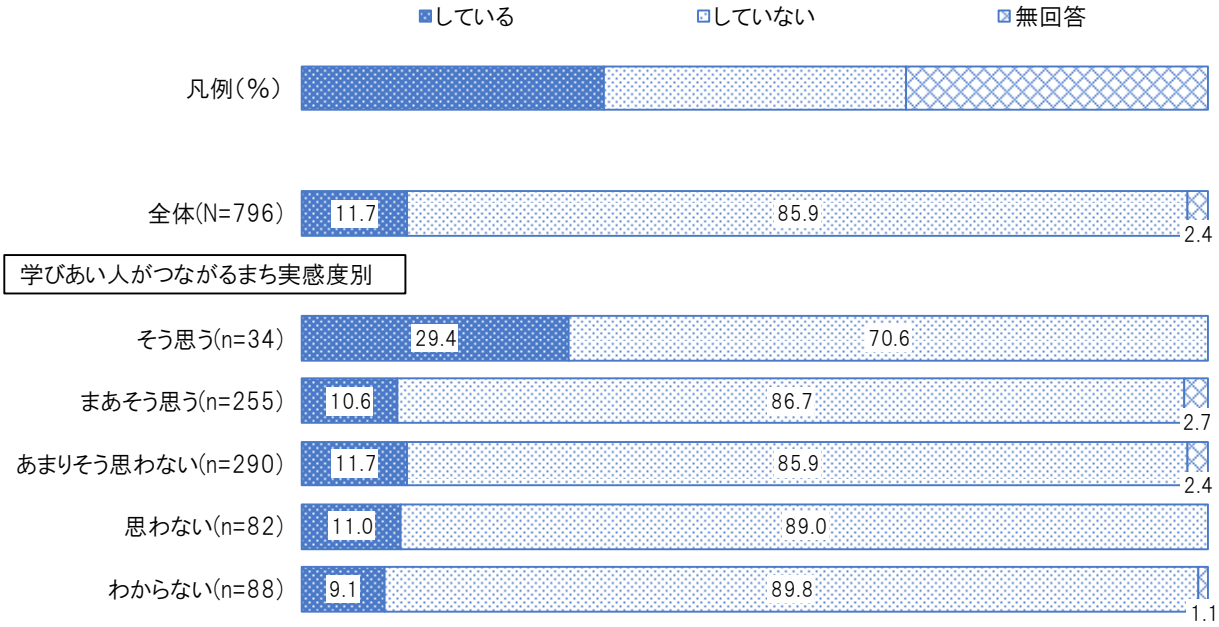
芸術文化活動状況については、「している」が 11.7%、「していない」が 85.9%であった。

性別では、女性は男性に比べ「している」の割合がやや高くなっている。

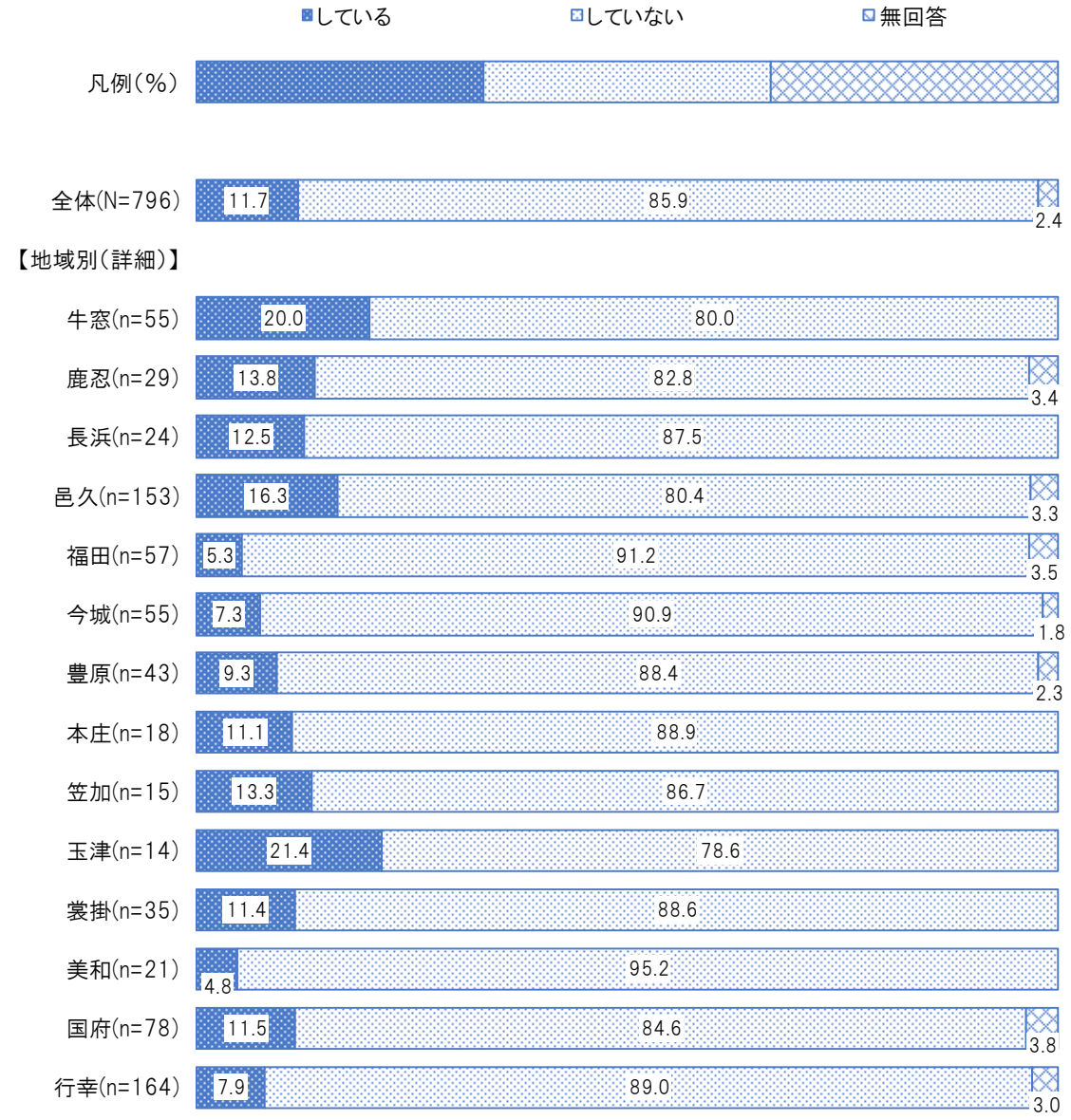
年齢別では、29 歳以下で「している」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



学びあい人がつながるまち実感度別では、実感がある（「そう思う」）と回答した層の約３割が「している」と回答している。

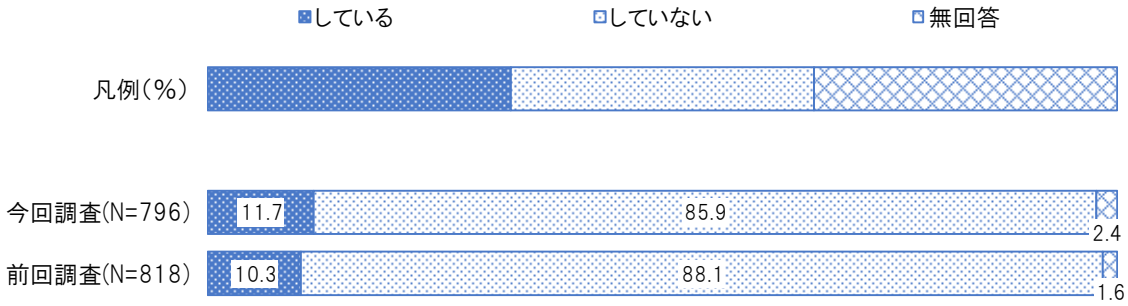


地域別でみると、「している」は牛窓、玉津などで高く、「していない」は福田、今城、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



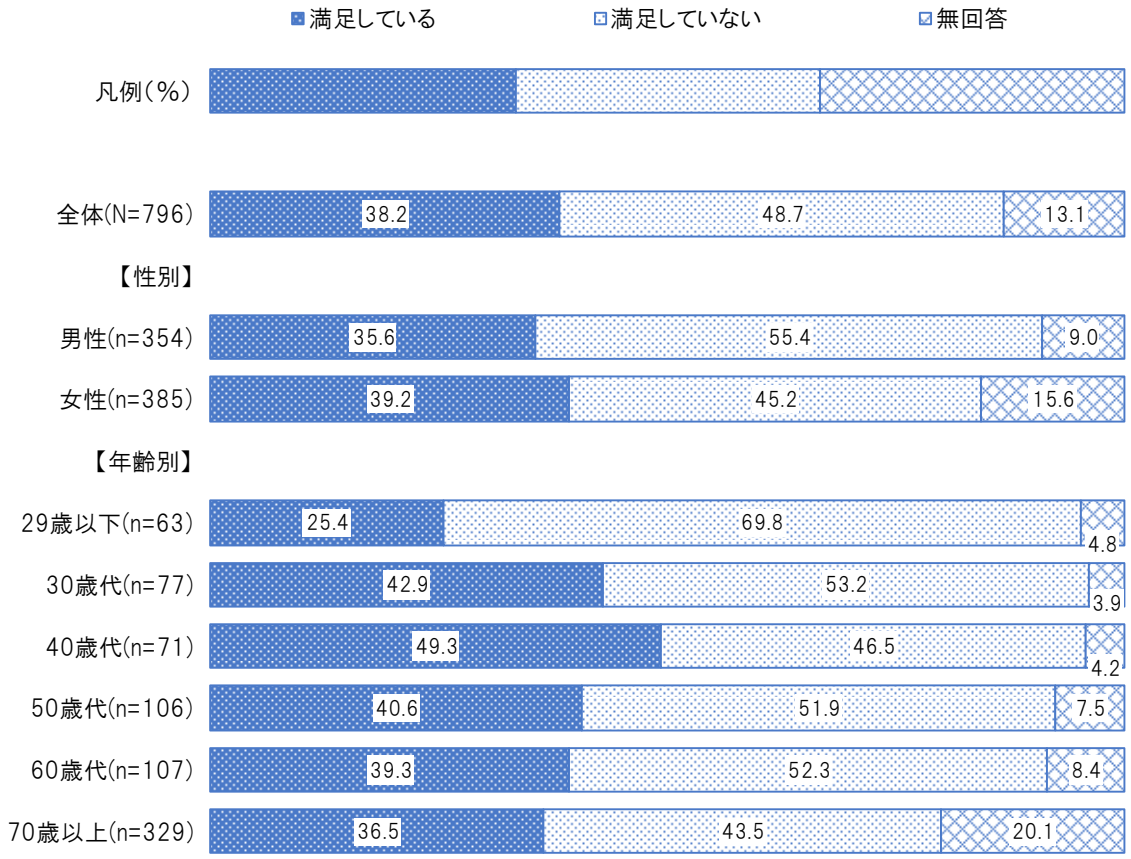
９　子育て情報の満足度について

（９）あなたは、市が発信する子育て情報に満足していますか

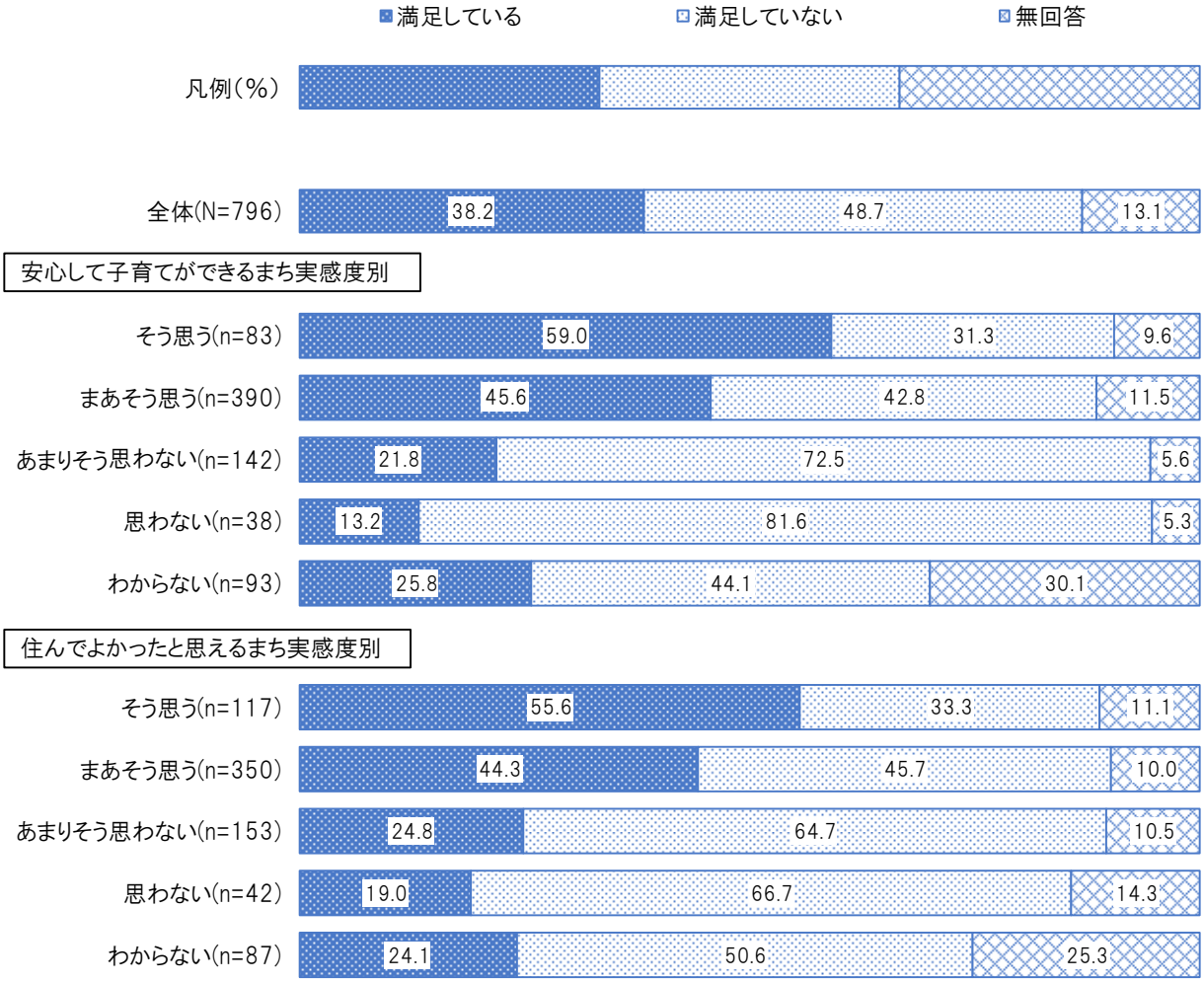
子育て情報の満足度については、「満足している」が 38.2%、「満足していない」が 48.7%であった。

性別では、男性は「満足していない」の割合が女性を大きく上回っている。

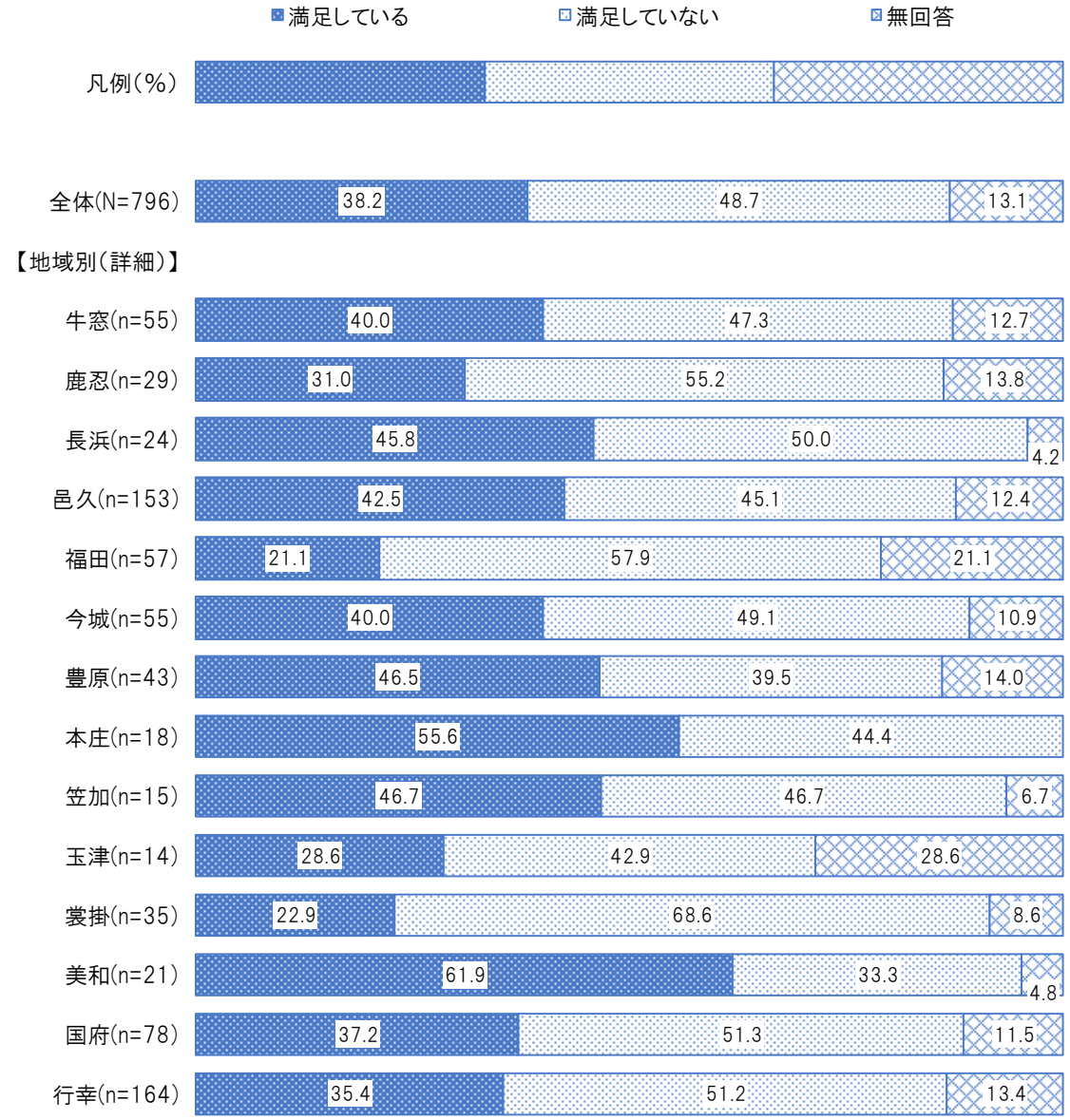
年齢別では、40 歳代で「満足している」の割合が高くなっている。



安心して子育てができるまちや住んでよかったと思えるまちの実感度別では、実感度が高い（「そう思う」「まあそう思う」）層ほど「満足している」の割合が高くなっている。

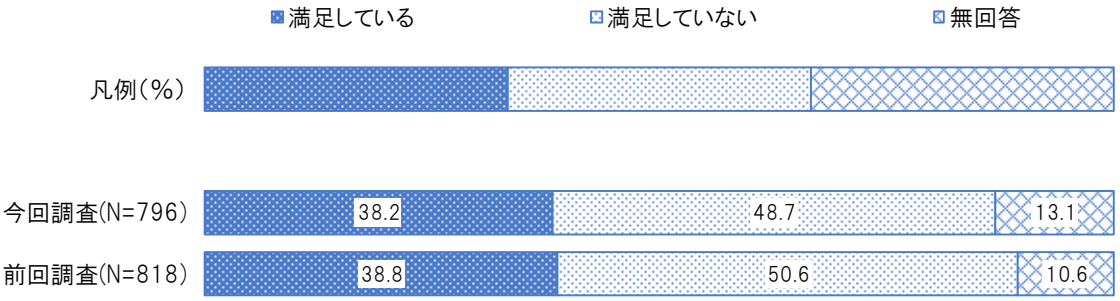


地域別でみると、「満足している」は本庄、美和などで高く、「満足していない」は裳掛で高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



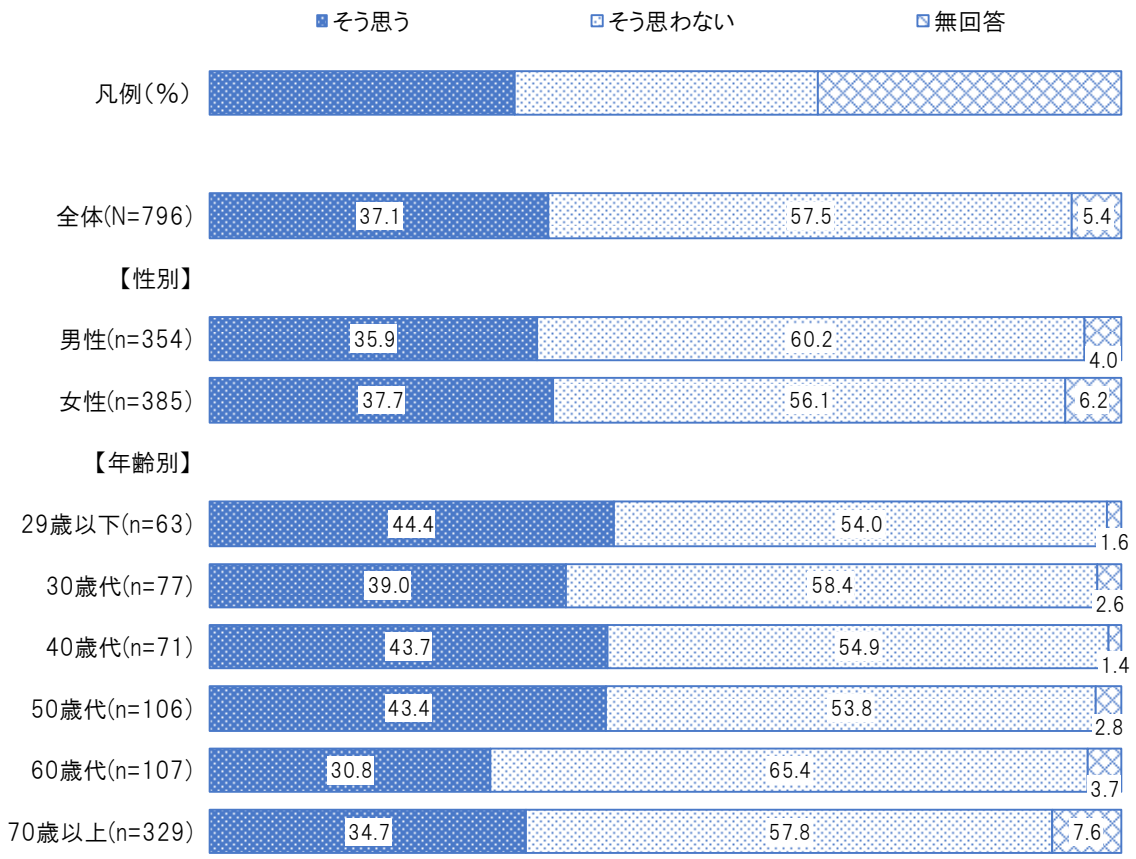
10　「バリアフリー化」進行状況について

（10）あなたは、市内の公共施設や商業施設などで、「バリアフリー化」（障がい者や高齢者にとって不便な障がいを取り除く取組）が進んでいると思いますか

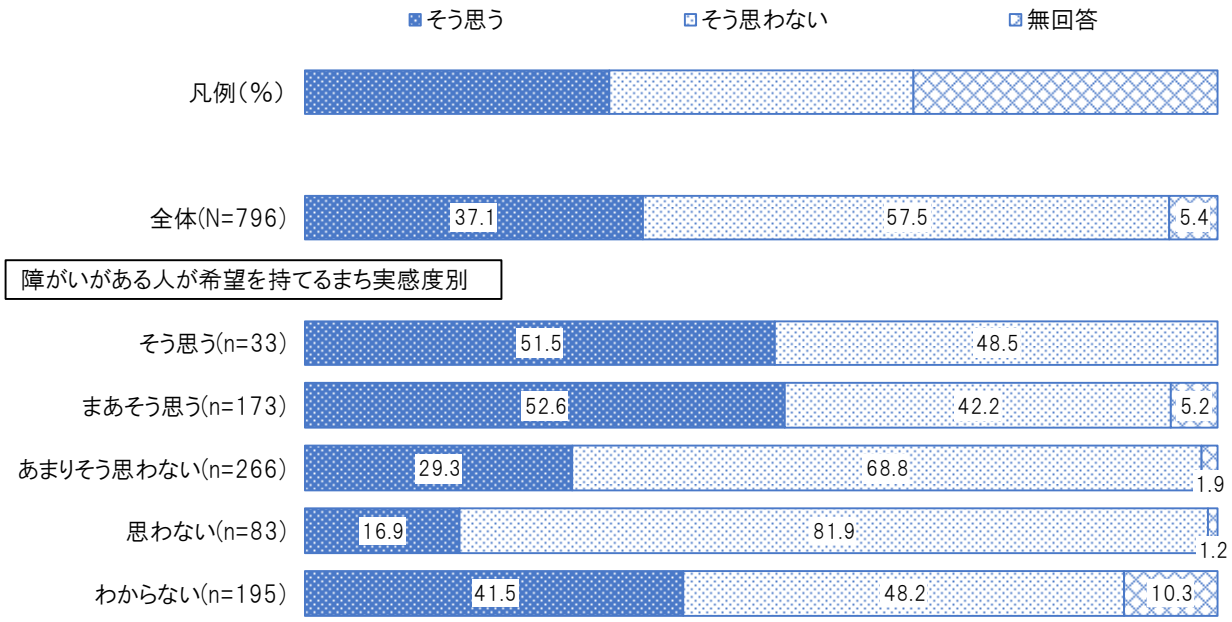
「バリアフリー化」進行状況については、「そう思う」が 37.1%、「そう思わない」が 57.5%であった。

性別では、男性は女性に比べ「そう思わない」の割合がやや高くなっている。

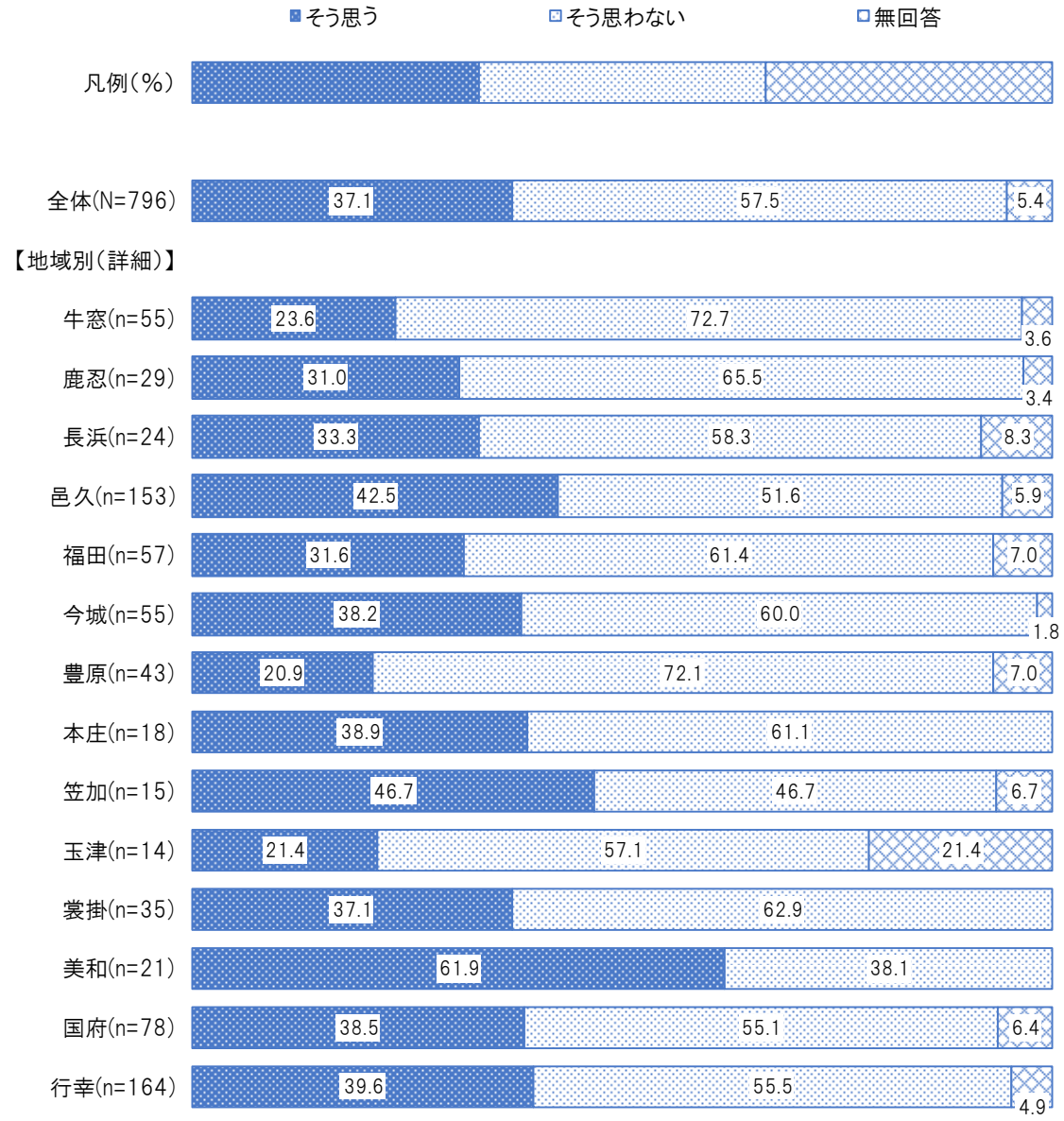
年齢別では、60 歳代で「そう思わない」の割合が高くなっている。



障がいがある人が希望を持てるまち実感度別では、実感度の低い（「思わない」）層の約８割が「そう思わない」と回答している。

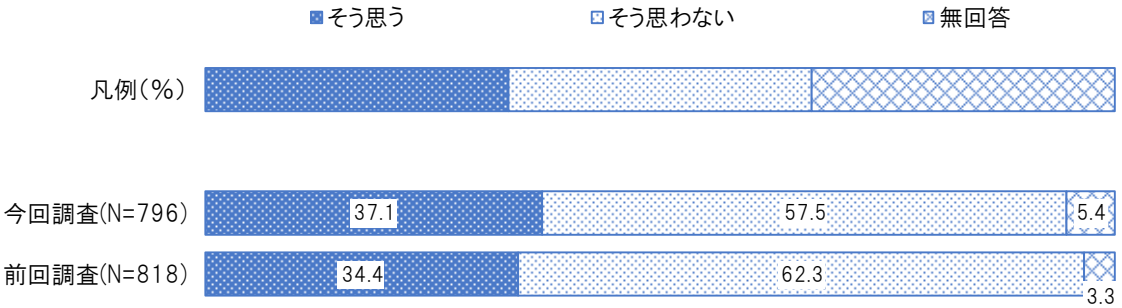


地域別でみると、「そう思う」は美和で高く、「そう思わない」は牛窓、豊原などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「そう思わない」が減少している。

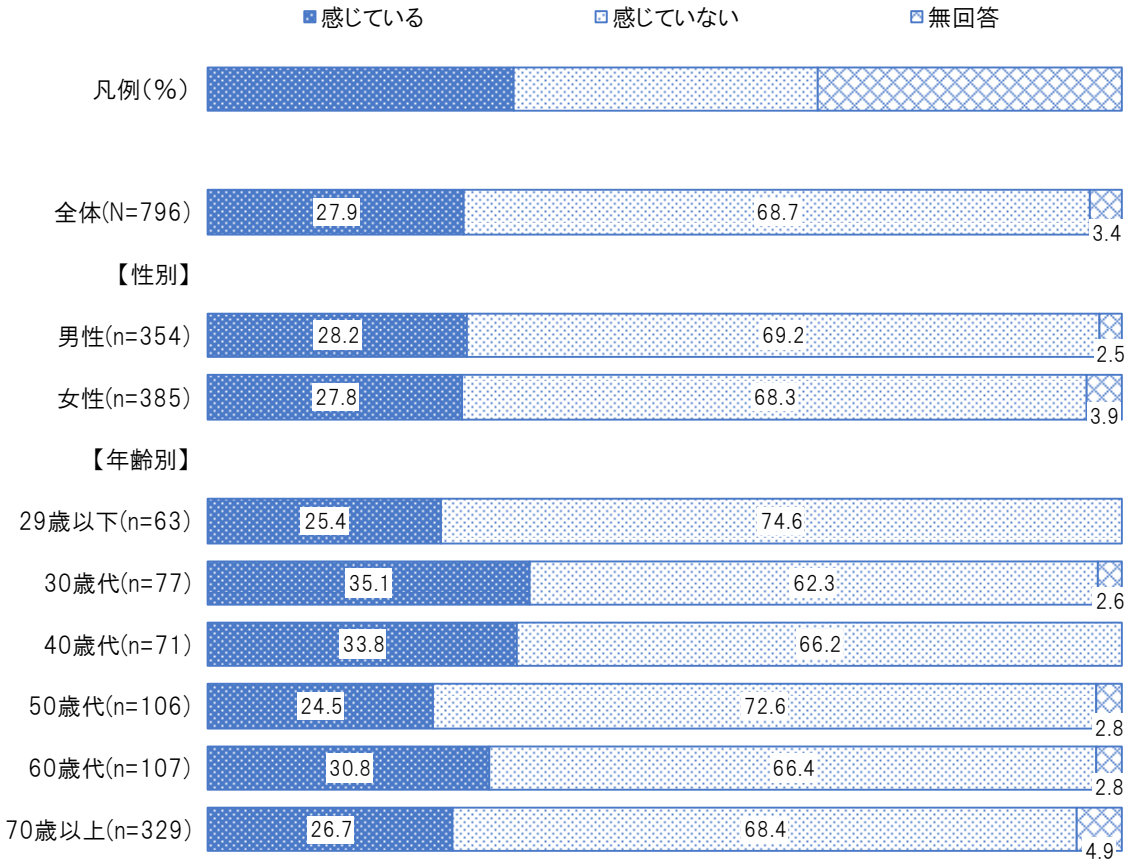


11　経済的な理由による日常生活の困難さについて

（11）あなたは、経済的な理由で日常生活が困難だと感じていますか

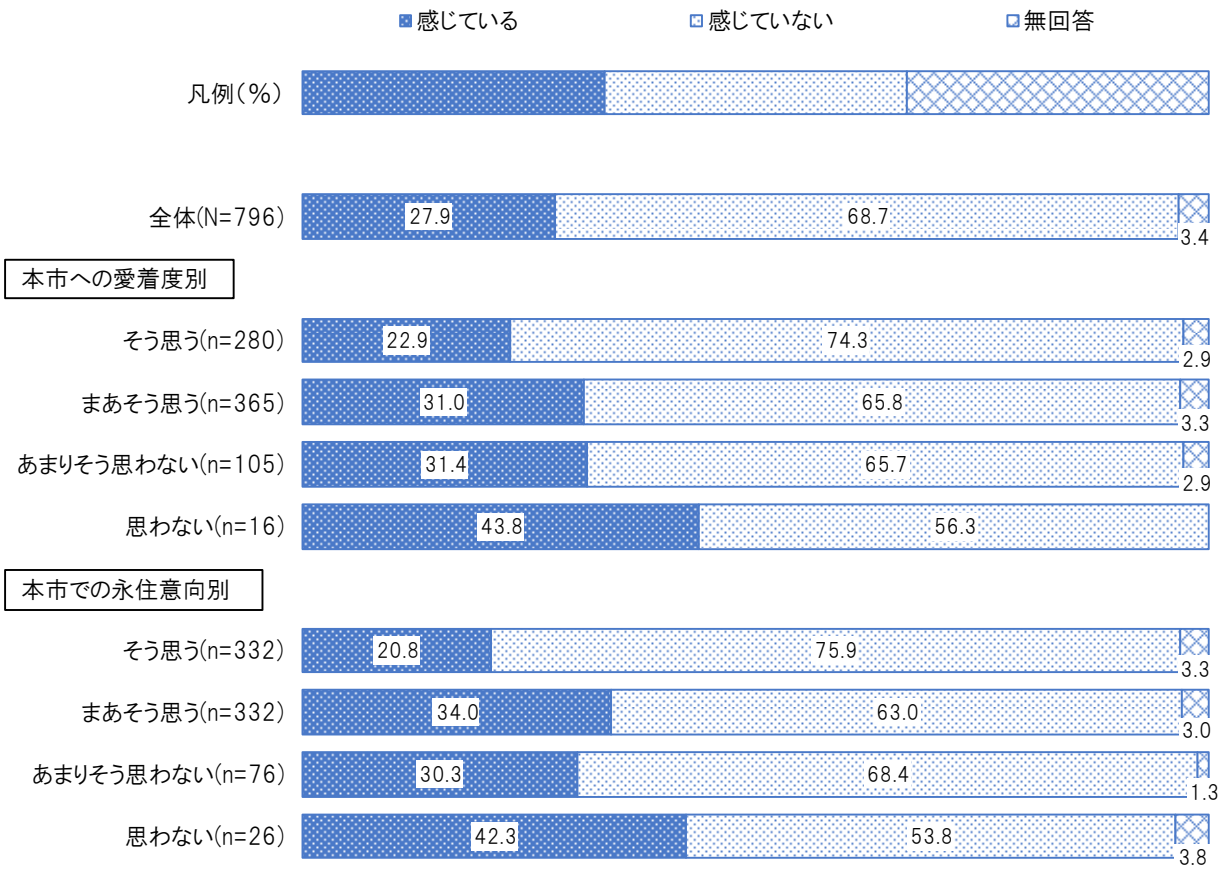
経済的な理由による日常生活の困難さについては、「感じている」が 27.9%、「感じていない」が 68.7%であった。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では 30～40 歳代で「感じている」の割合が高くなっている。

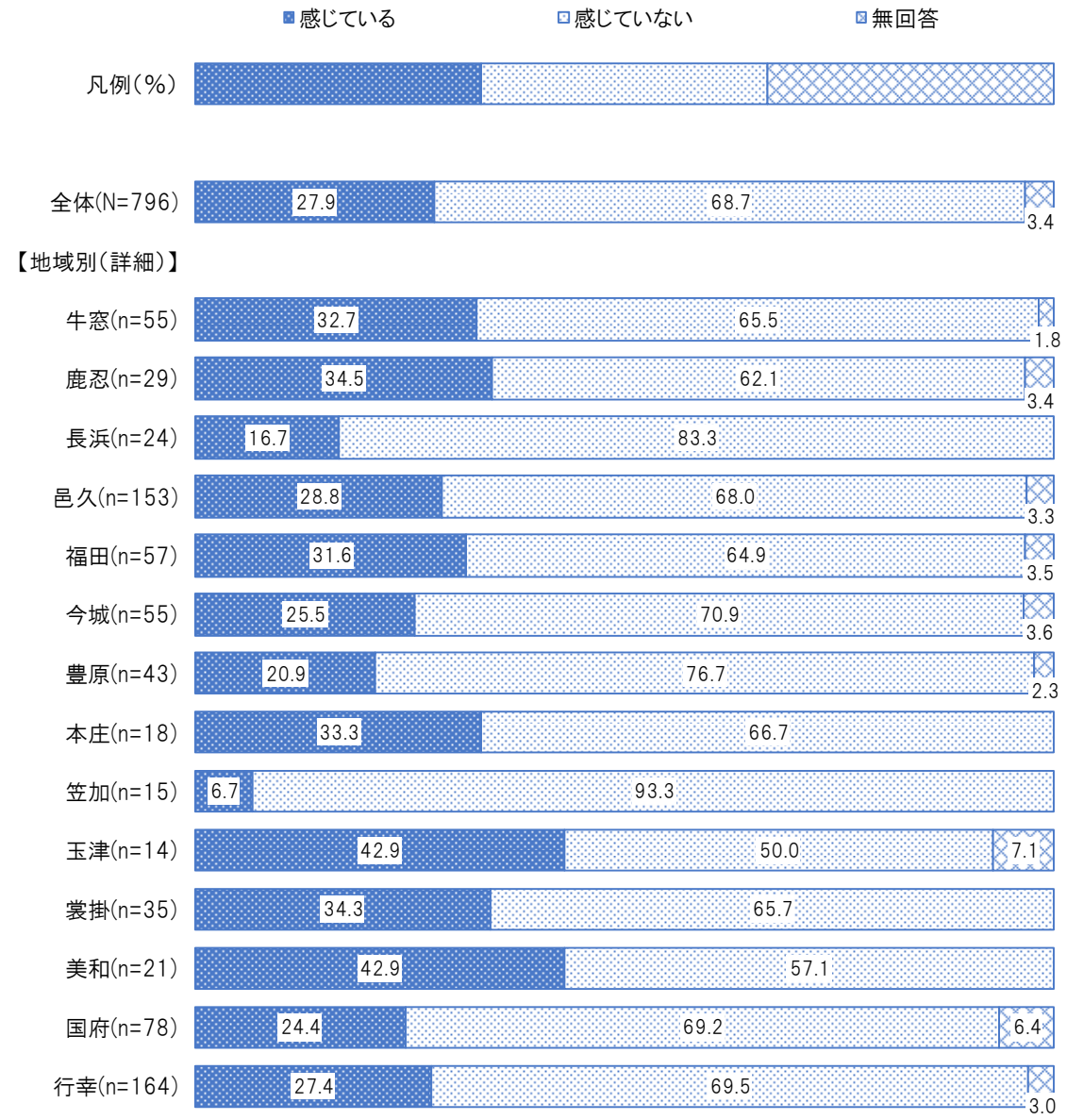


本市への愛着度別では、ない（「思わない」）と回答した層の４割以上が「感じている」と回答している。

本市での永住意向別では、住み続けたいと思わないと回答した層の４割以上が「感じている」と回答している。

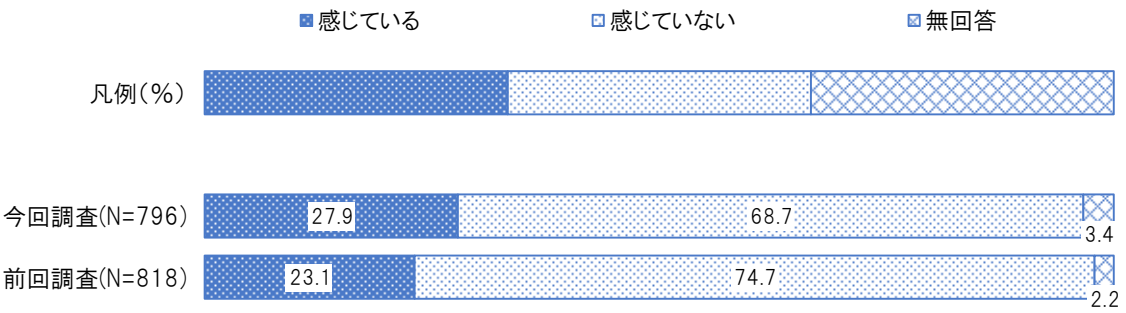


地域別でみると、「感じている」は玉津、美和などで高く、「感じていない」は長浜、笠加などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「感じている」が増加している。

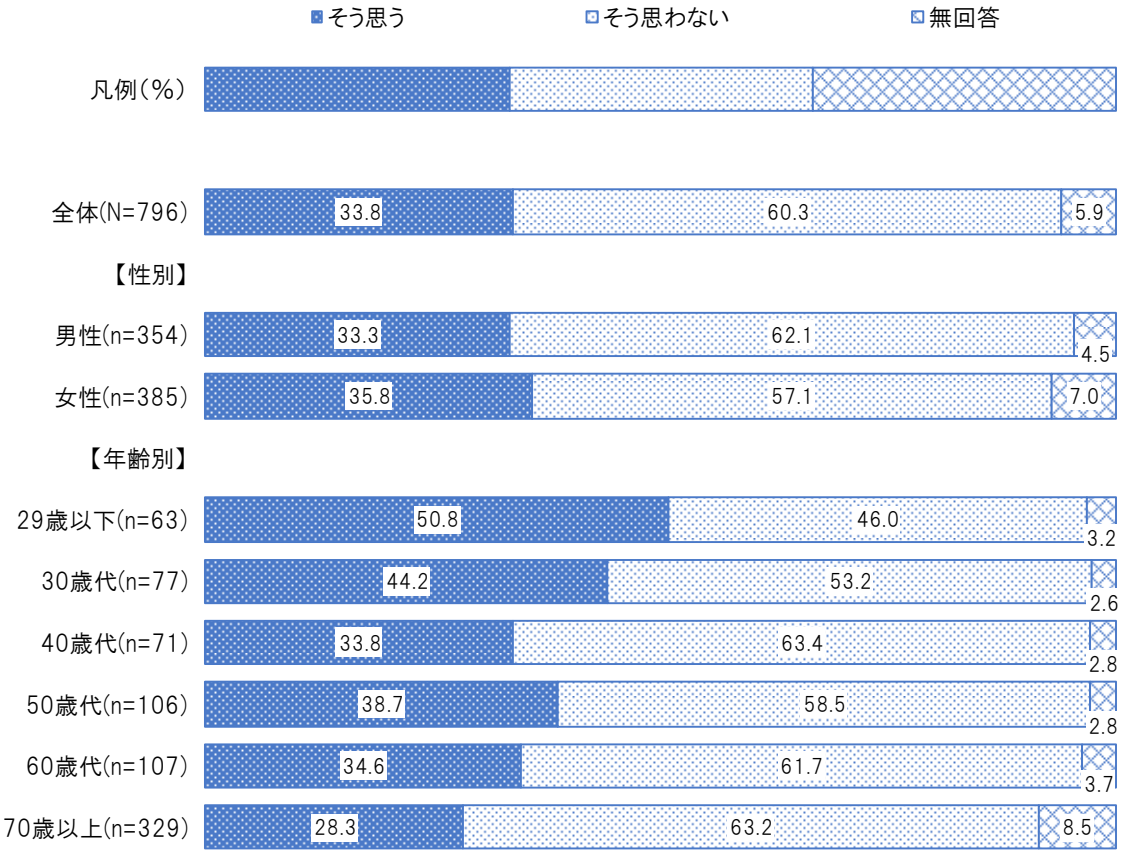


12　計画的な土地利用について

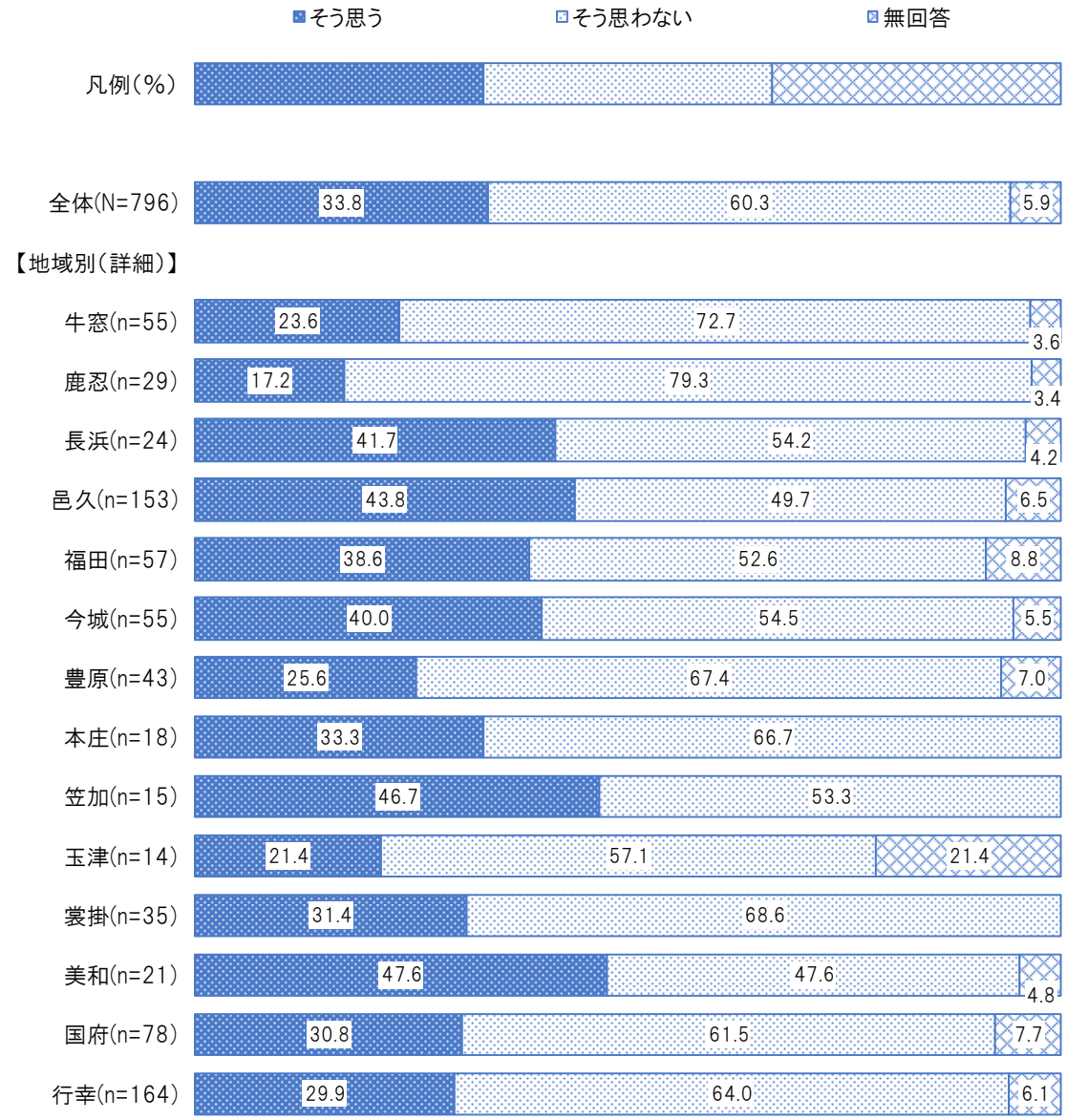
（12）あなたは、瀬戸内市の土地利用は、住宅や店舗、工場などが混在することなく、計画的に進められていると思いますか

計画的な土地利用については、「そう思う」が 33.8%、「そう思わない」が 60.3%であった。

性別では大きな差はみられないが、年齢別ではおおむね若い年齢層ほど「そう思う」の割合が高くなっている。

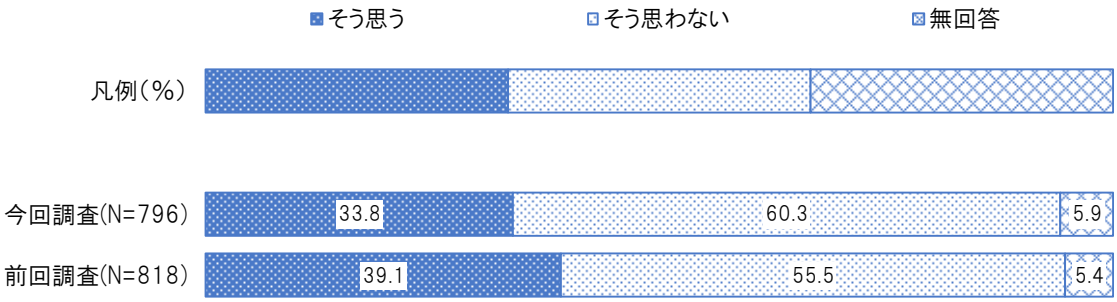


地域別でみると、「そう思う」は笠加、美和などで高く、「そう思わない」は牛窓、鹿忍などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「そう思わない」が増加している。



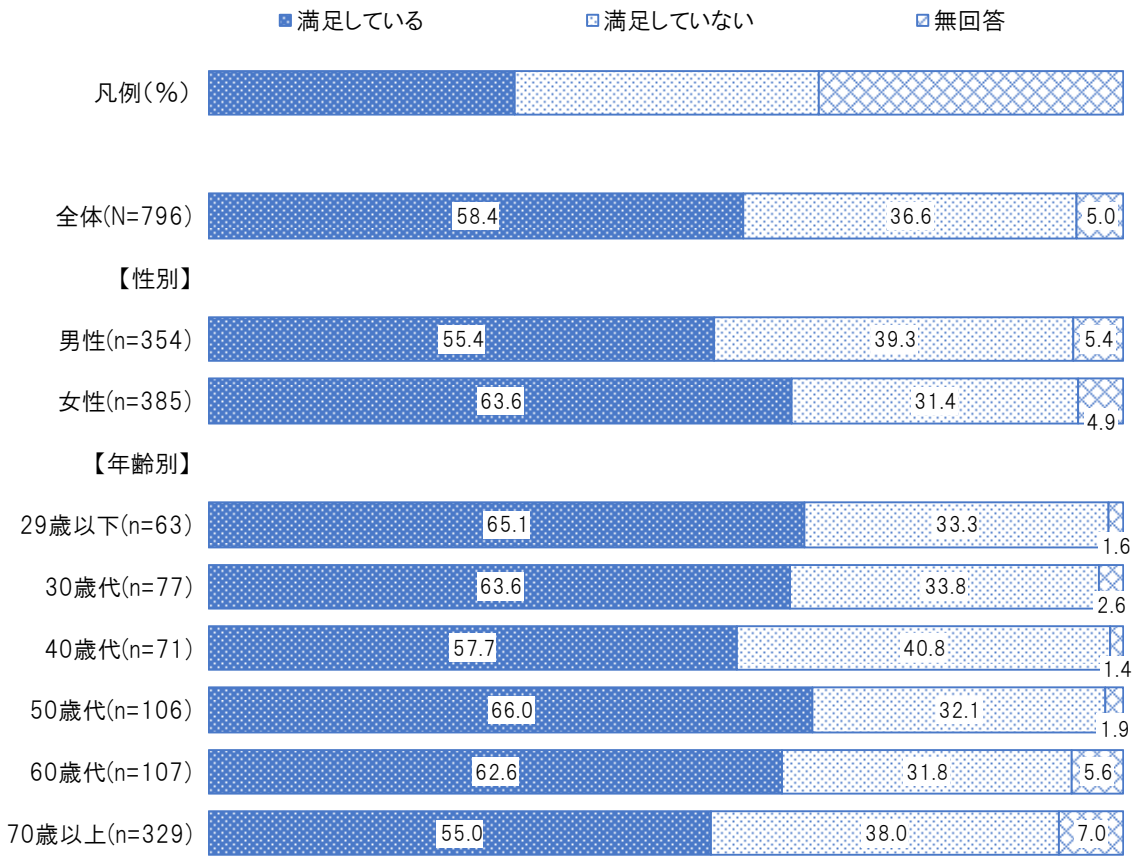
13　瀬戸内市の景観への満足度

（13）あなたは、瀬戸内市の景観に満足していますか

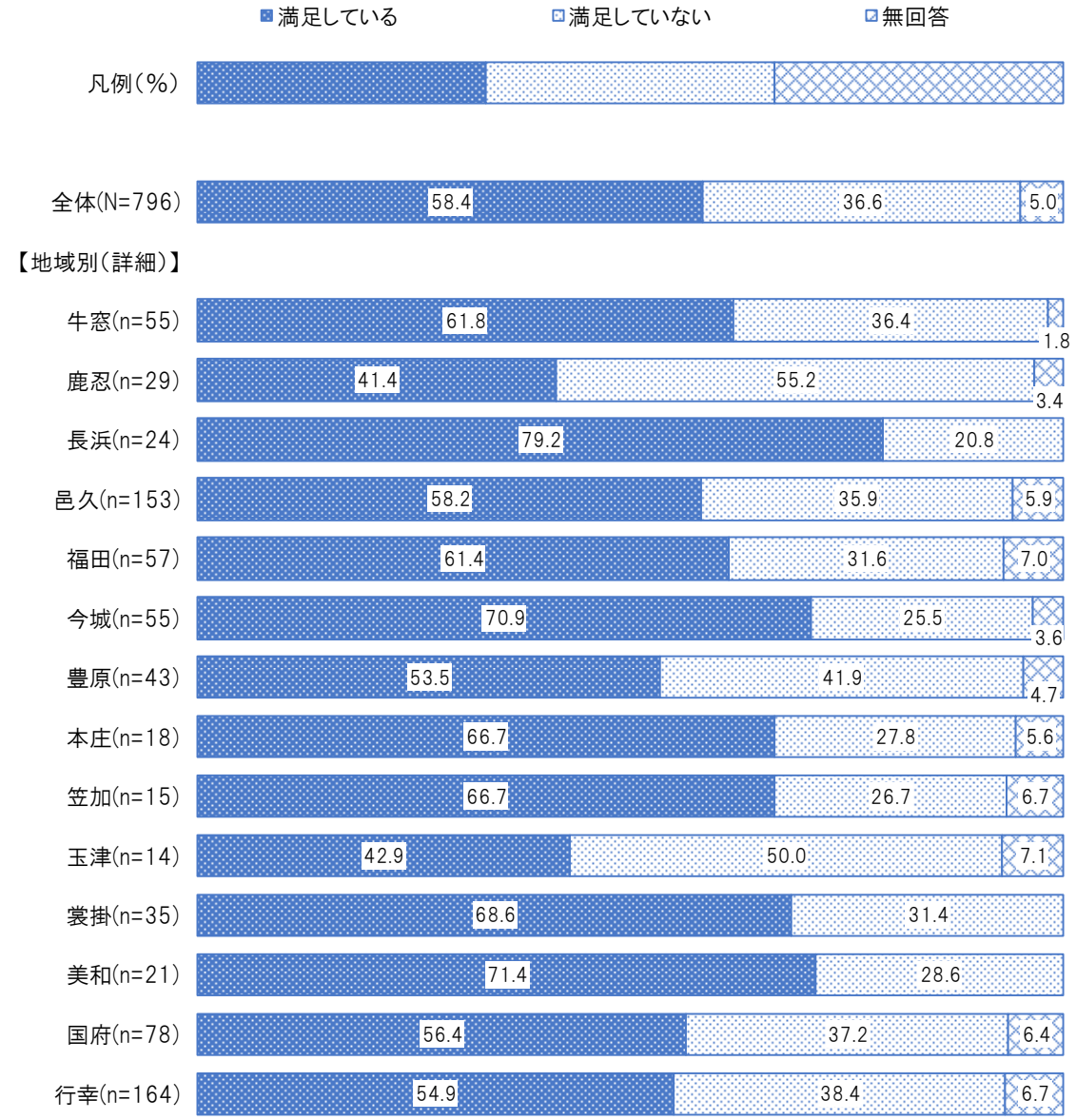
瀬戸内市の景観への満足度については、「満足している」が 58.4%、「満足していない」が 36.6%であった。

性別では、女性は男性に比べ「満足している」の割合が高くなっている。

年齢別では、40 歳代や 70 歳以上で「満足していない」の割合が高くなっている。

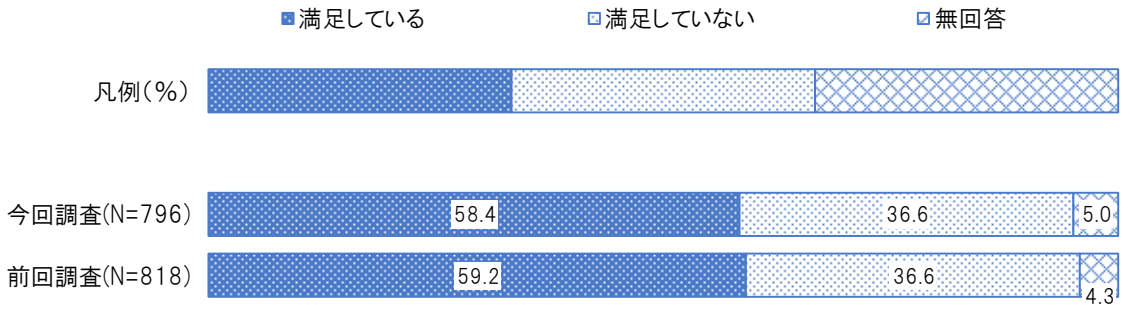


地域別でみると、「満足している」は長浜で高く、「満足していない」は鹿忍、玉津などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。

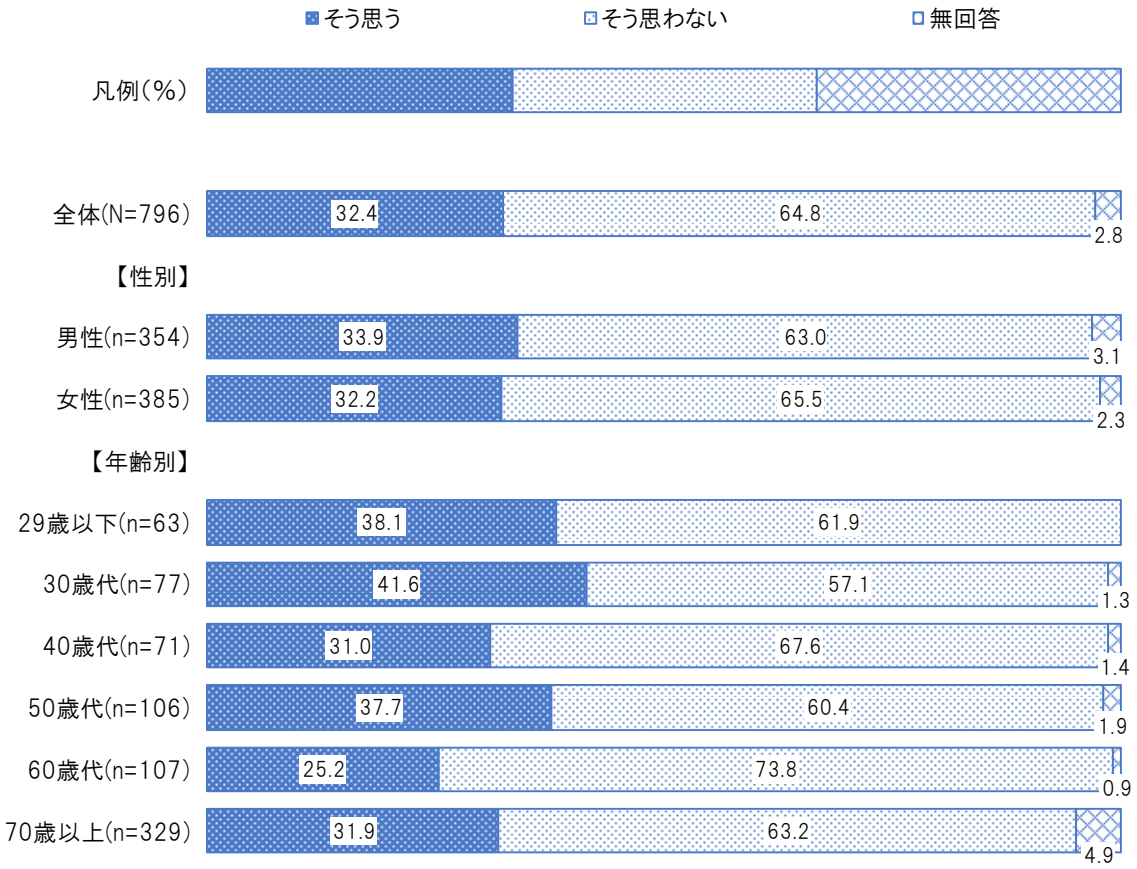


14　道路の快適性について

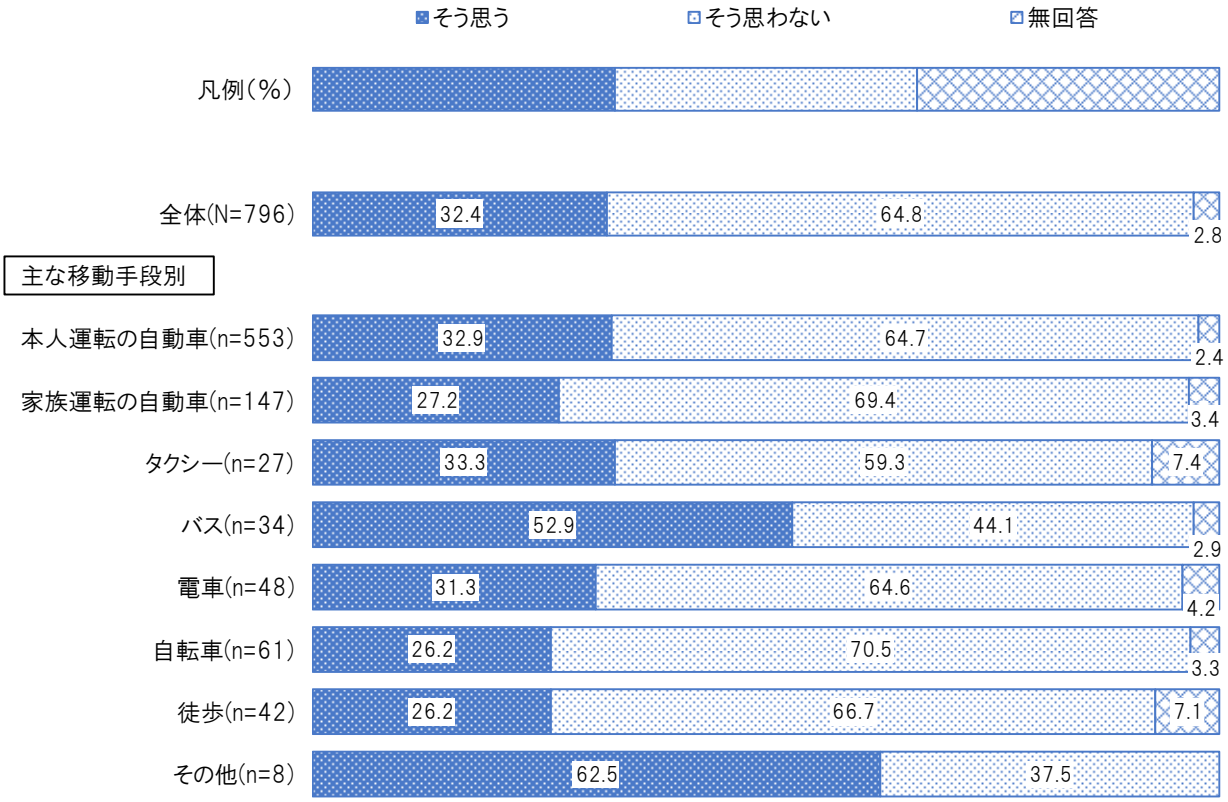
（14）あなたは、瀬戸内市の道路は快適だと思いますか

道路の快適性については、「そう思う」が 32.4%、「そう思わない」が 64.8%であった。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では 40 歳代や 60 歳代で「そう思わない」の割合が高くなっている。

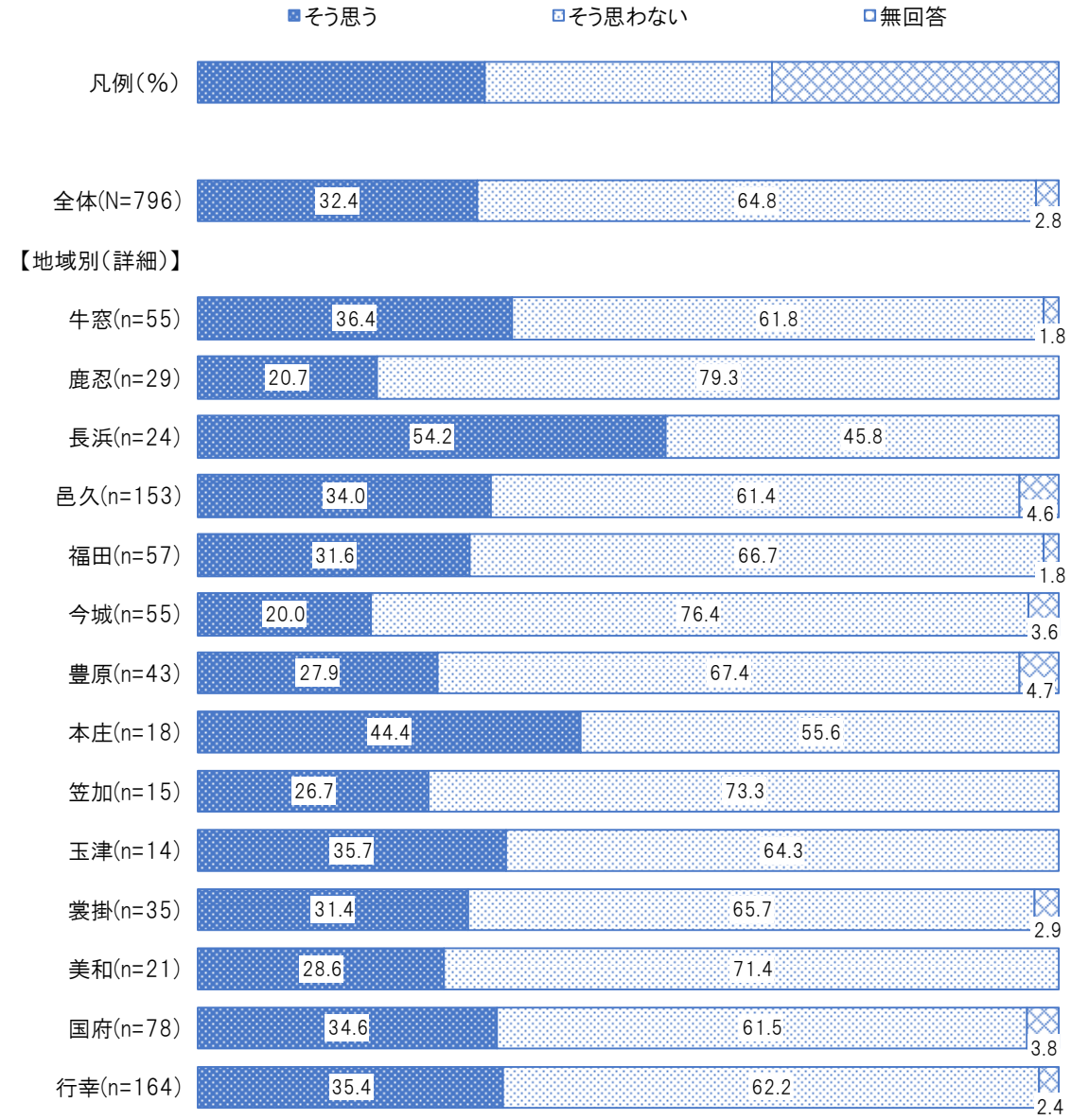


主な移動手段別でみると、バスで「そう思う」の割合が他の交通機関利用者を大きく上回っている。



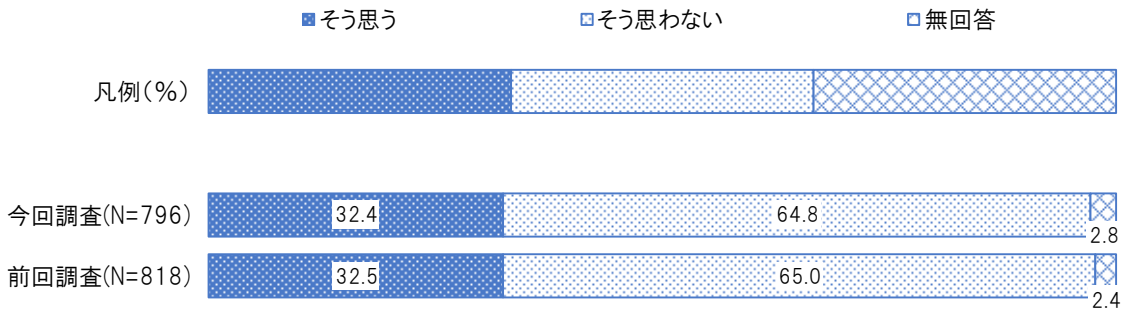
注：主な移動手段別の「その他」は、該当件数（n）が少ないため参考値とする。

地域別でみると、「そう思う」は長浜、本庄などで高く、「そう思わない」は鹿忍、今城などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。

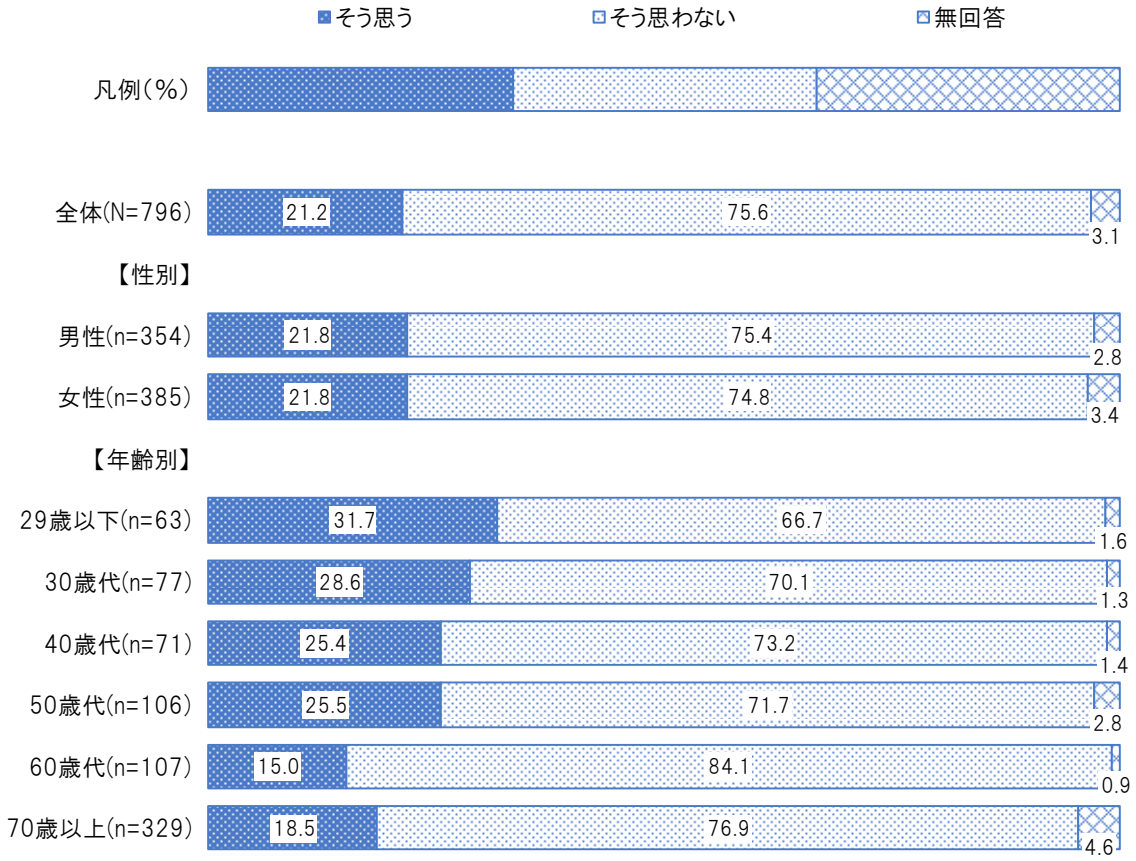


15　公園や緑地の整備について

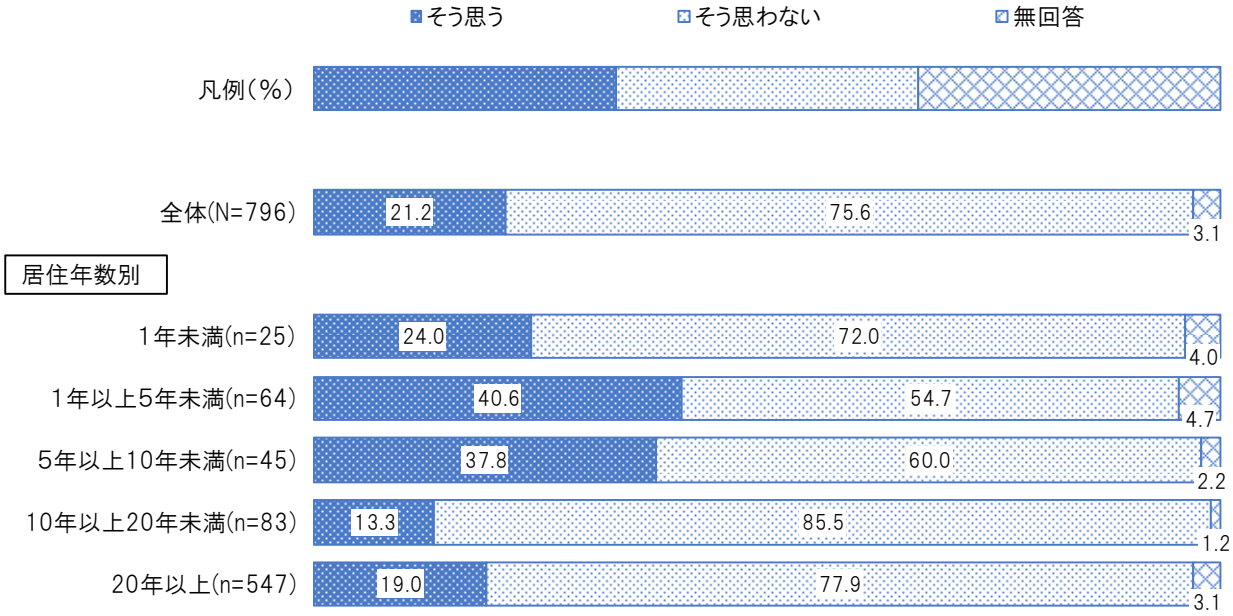
（15）あなたは、瀬戸内市には快適に利用できる公園や緑地が整っていると思いますか

公園や緑地の整備については、「そう思う」が 21.2%、「そう思わない」が 75.6%であった。

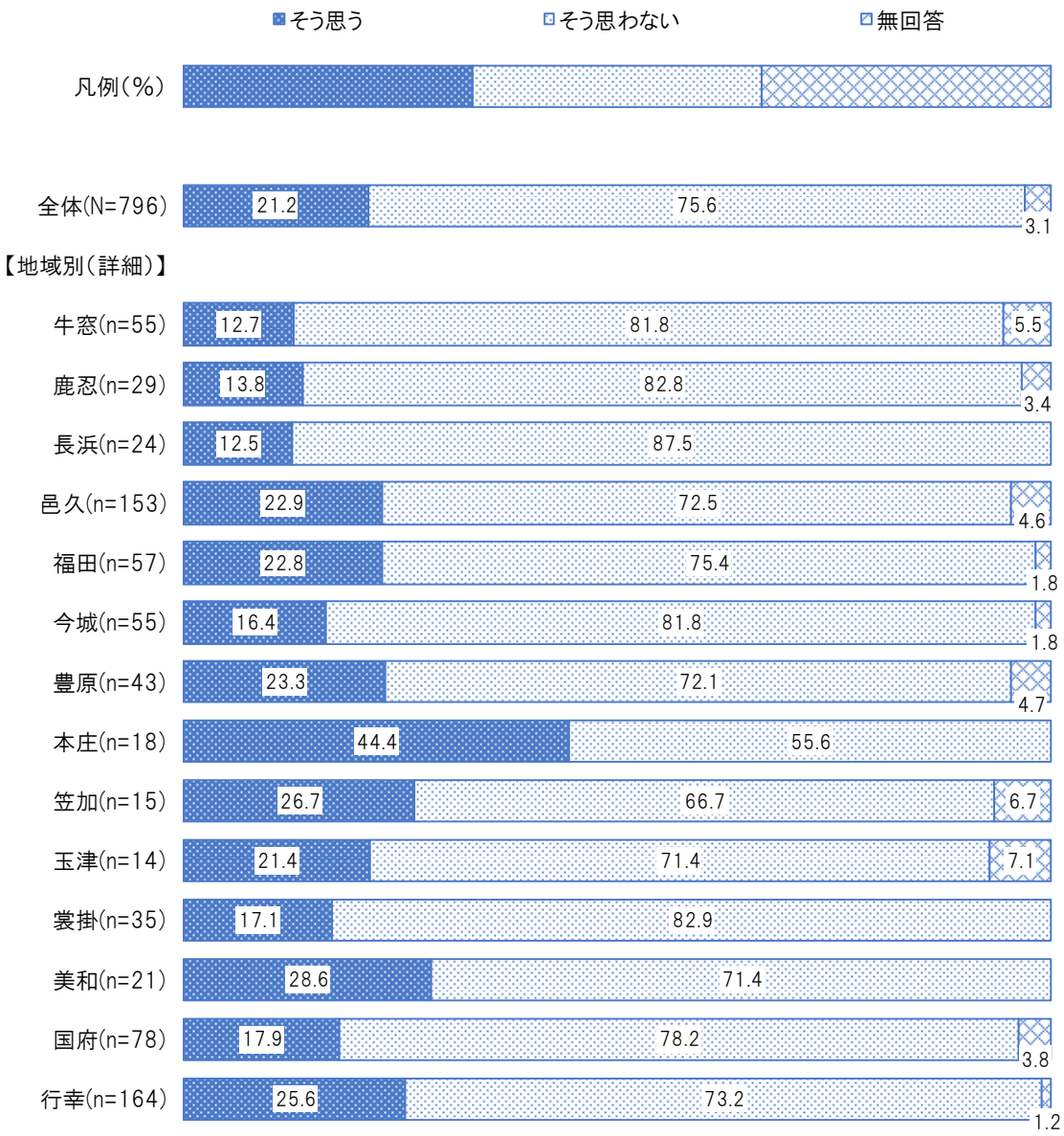
性別では大きな差はみられないが、年齢別ではおおむね若い年齢層ほど「そう思う」の割合が高くなっている。



居住年数別では、１年以上～10 年未満の層で「そう思う」の割合が高くなっている。



地域別でみると、「そう思う」は本庄で高く、「そう思わない」は長浜で高くなっている。



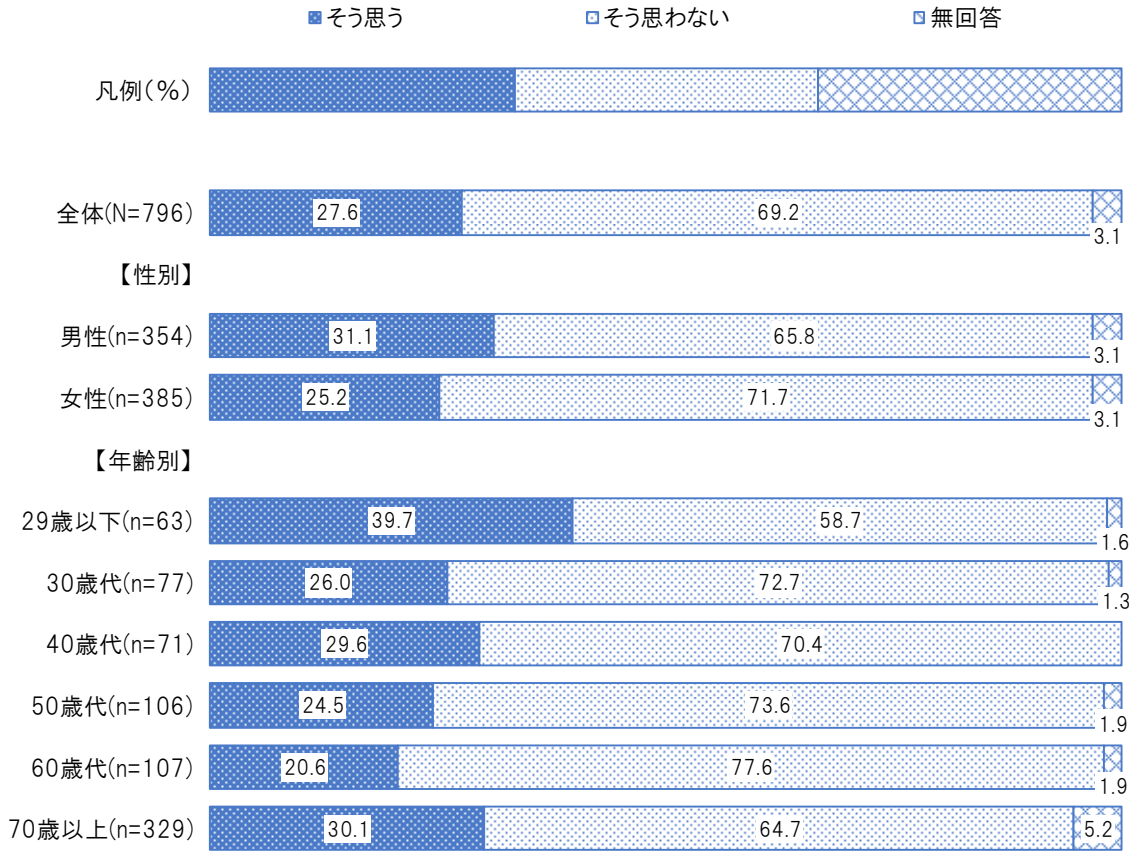
16　公共交通機関の利用しやすさについて

（16）あなたは、バスや電車など、公共交通機関が利用しやすいと思いますか

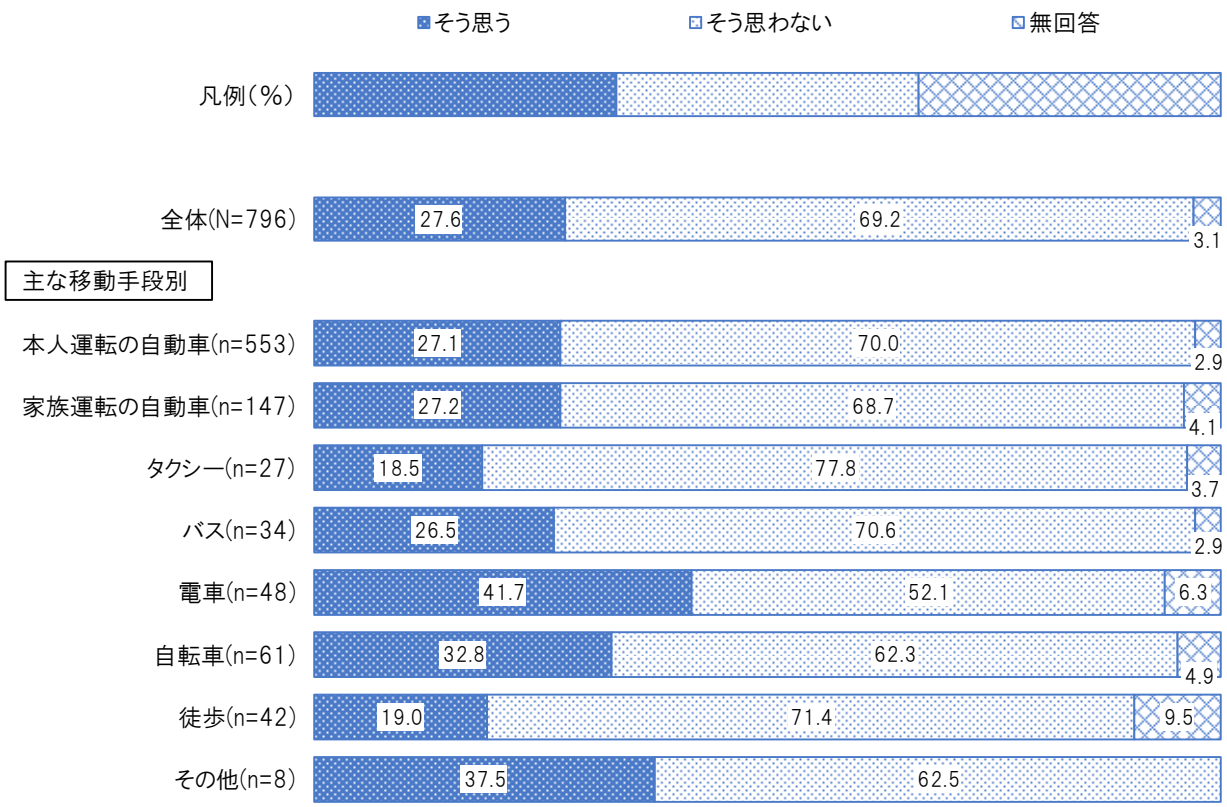
公共交通機関の利用しやすさについては、「そう思う」が 27.6%、「そう思わない」が 69.2%であった。

性別では、男性は女性に比べ「そう思う」の割合が高くなっている。

年齢別では、29 歳以下で「そう思う」の割合が高くなっている。

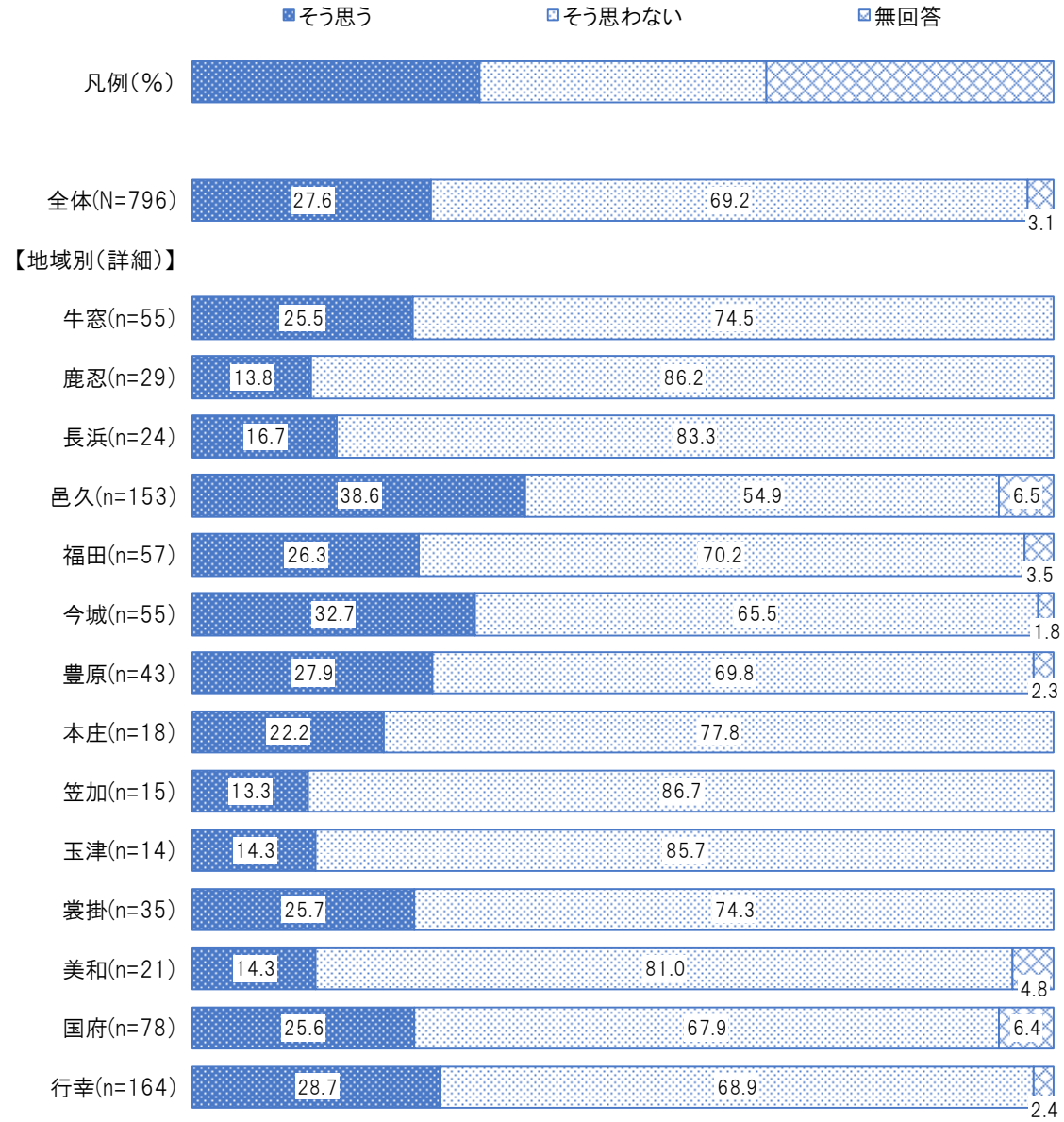


主な移動手段別でみると、電車で「そう思う」、タクシーで「そう思わない」の割合がそれぞれ高くなっている。



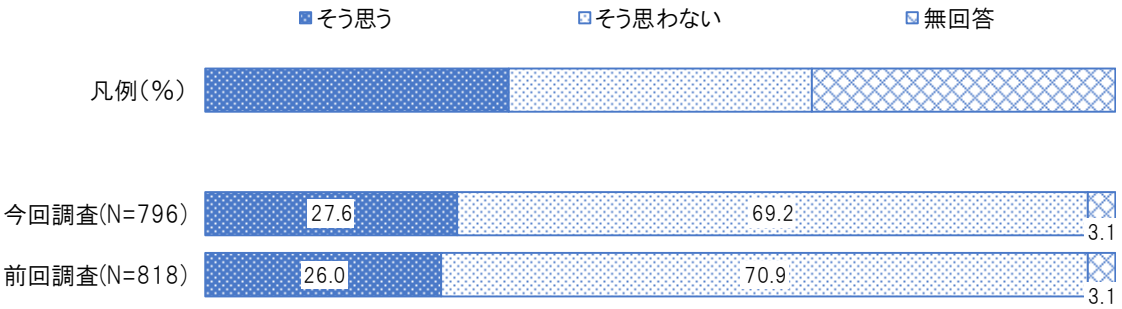
注：主な移動手段別の「その他」は、該当件数（n）が少ないため参考値とする。

地域別でみると、「そう思う」は邑久で高く、「そう思わない」は鹿忍、笠加、玉津などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



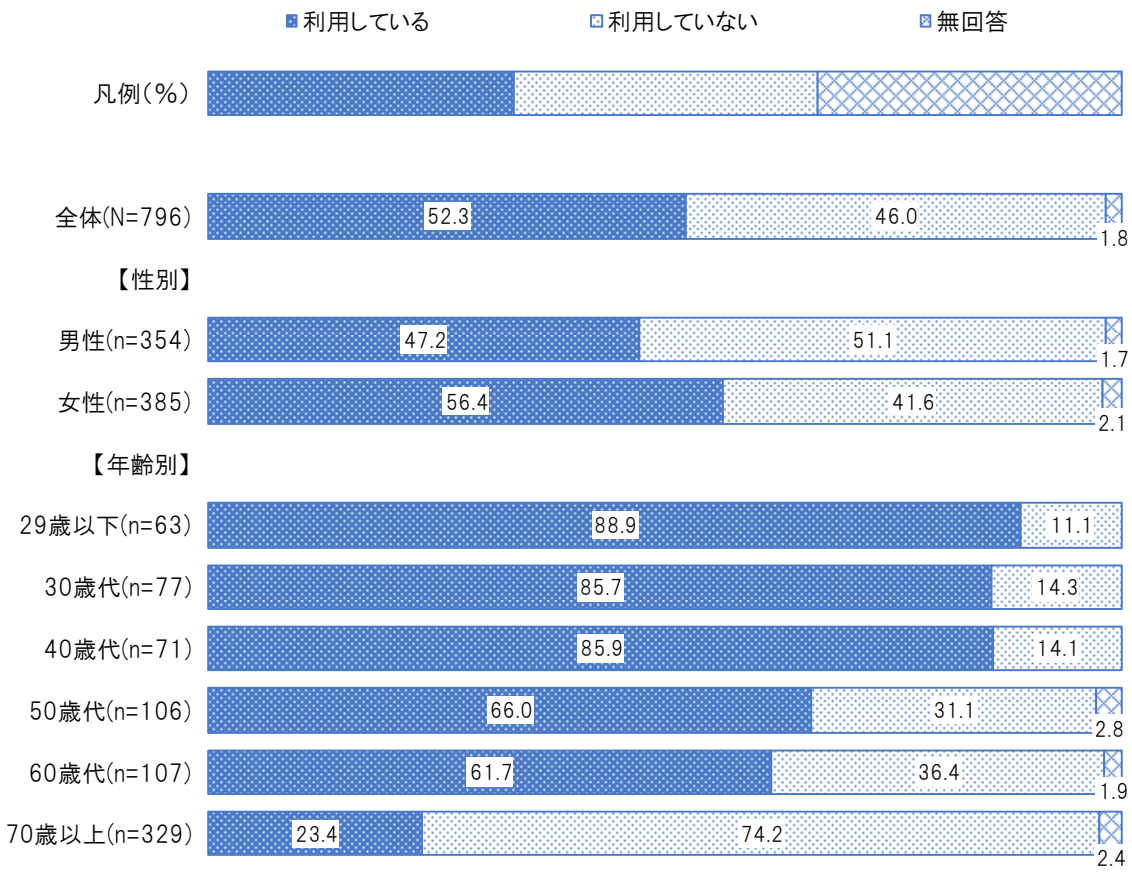
17　キャッシュレス決済の利用について

（17）あなたは、電子マネーやクレジットカードなどのキャッシュレス決済を利用していますか

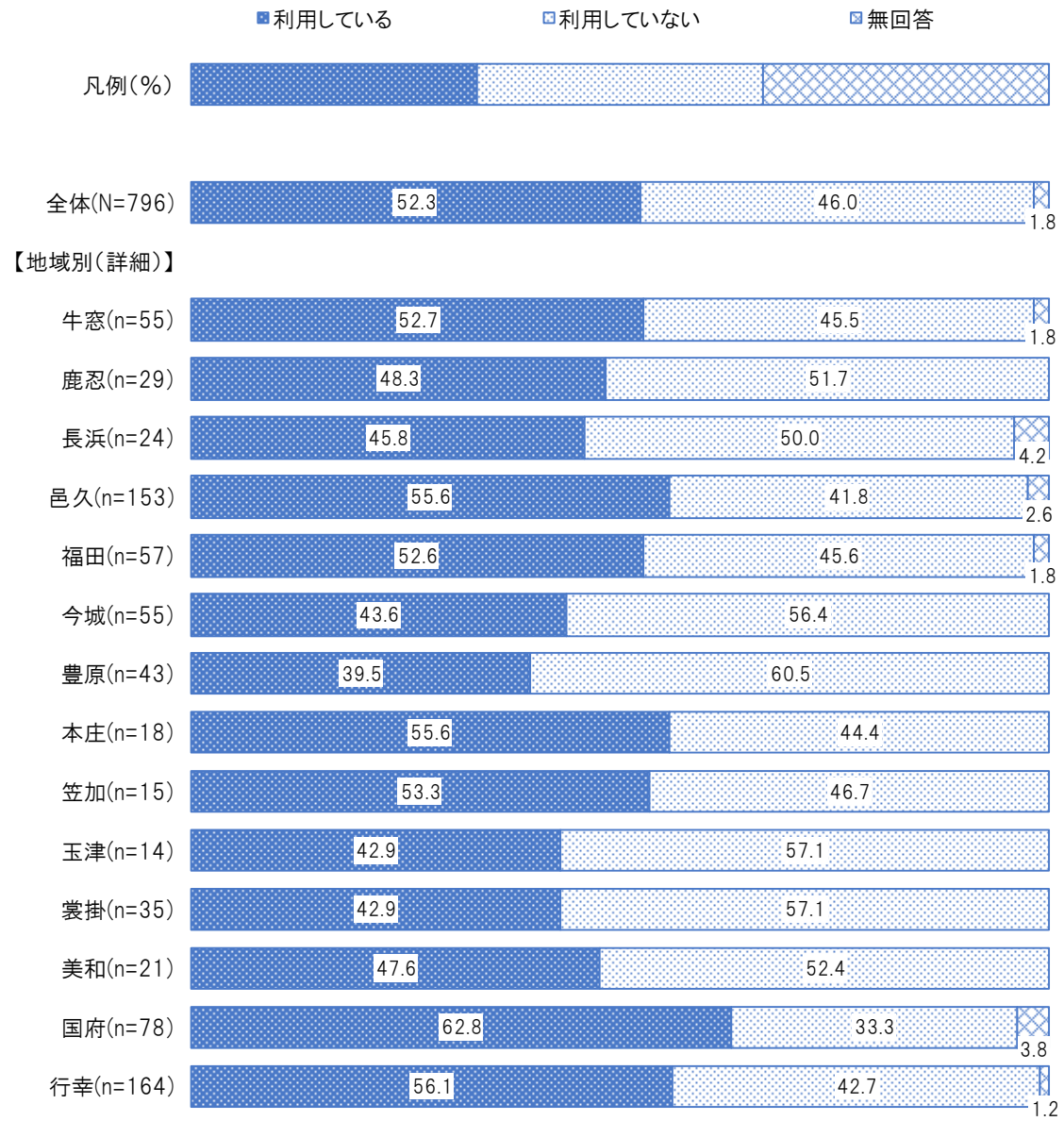
キャッシュレス決済の利用については、「利用している」が 52.3%、「利用していない」が 46.0%であった。

性別では、女性は男性に比べ「利用している」の割合が高くなっている。

年齢別では、40 歳代以下で「利用している」の割合が高くなっている。

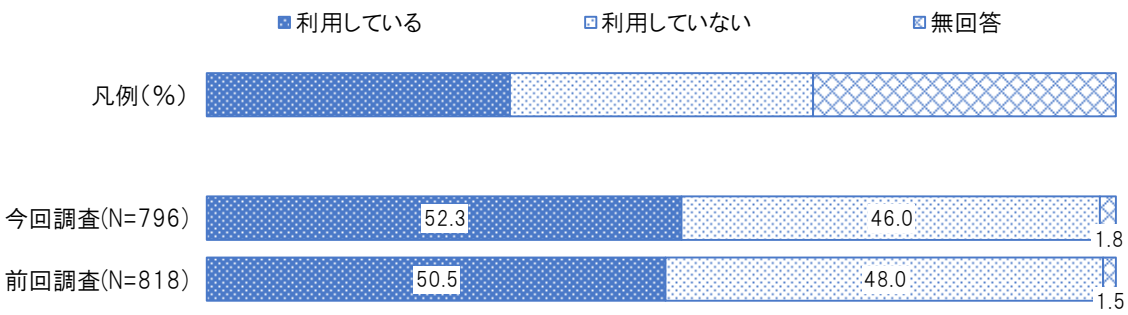


地域別でみると、「利用している」は国府で高く、「利用していない」は今城、豊原、玉津、裳掛などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



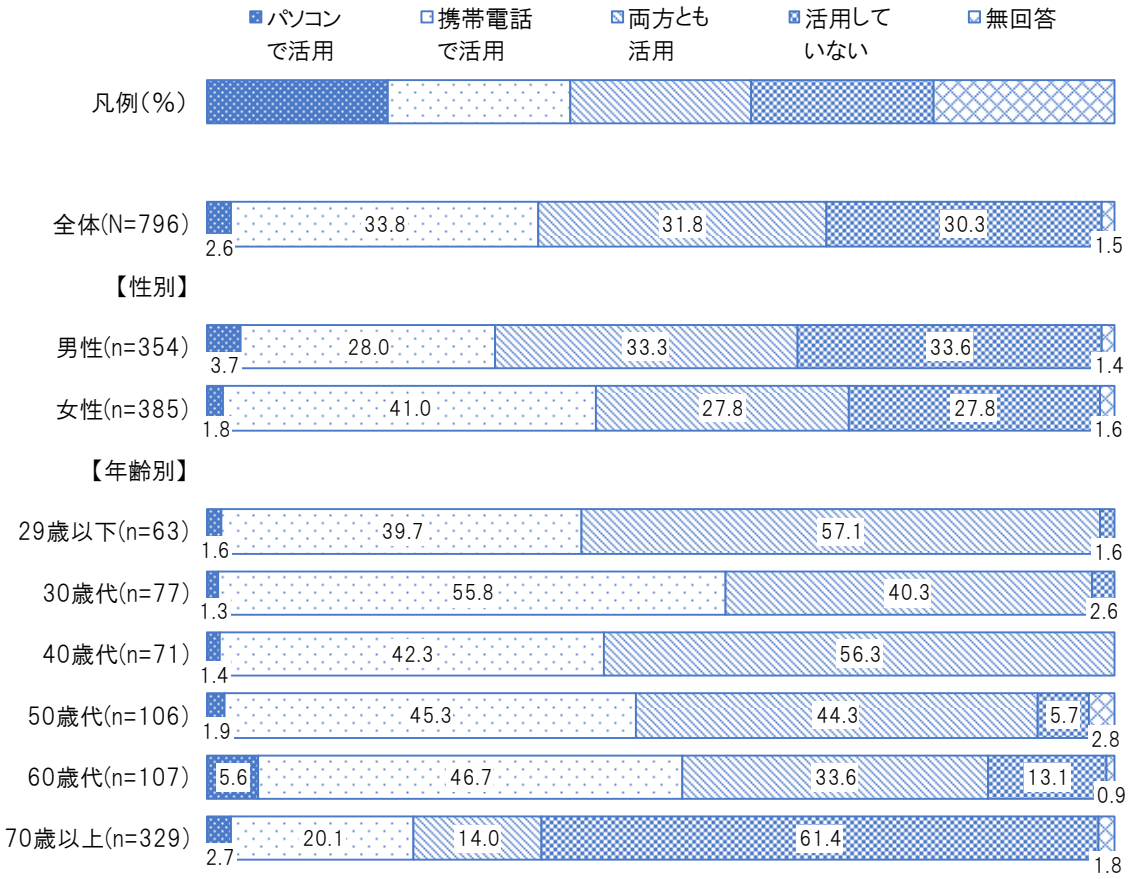
18　インターネットの活用状況

（18）あなたは、日常生活の中で、パソコンやスマートフォンなどの携帯電話でインターネットを活用していますか

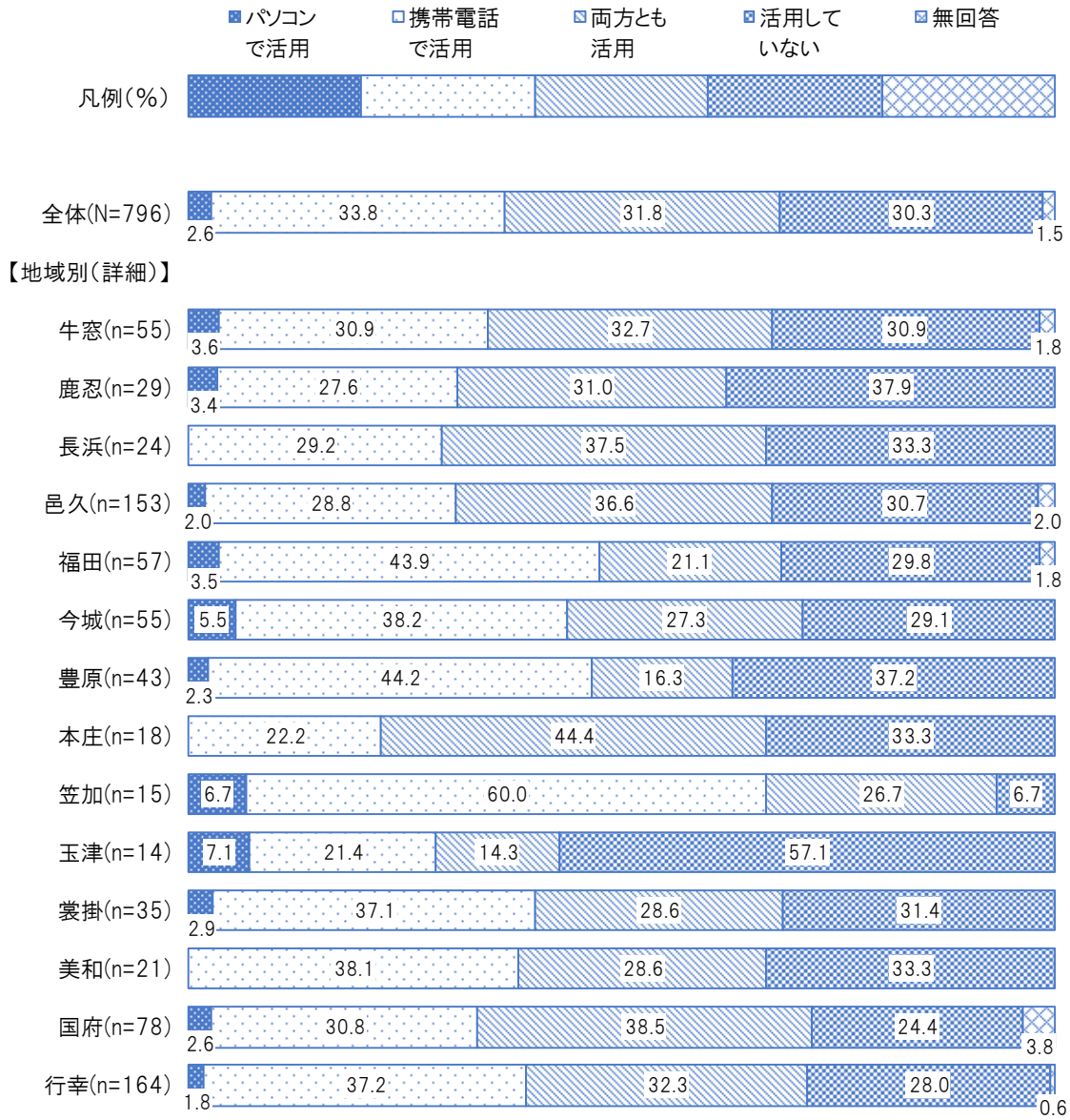
インターネットの活用状況については、「携帯電話で活用」が 33.8%と最も高く、次いで「両方とも活用」(31.8%)、「パソコンで活用」(2.6%）の順となっており、合計約７割（68.2%）がインターネットを活用していると回答している。一方、「活用していない」は 30.3%であった。

性別では、女性は「携帯電話で活用」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、30 歳代で「携帯電話で活用」、70 歳以上で「活用していない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

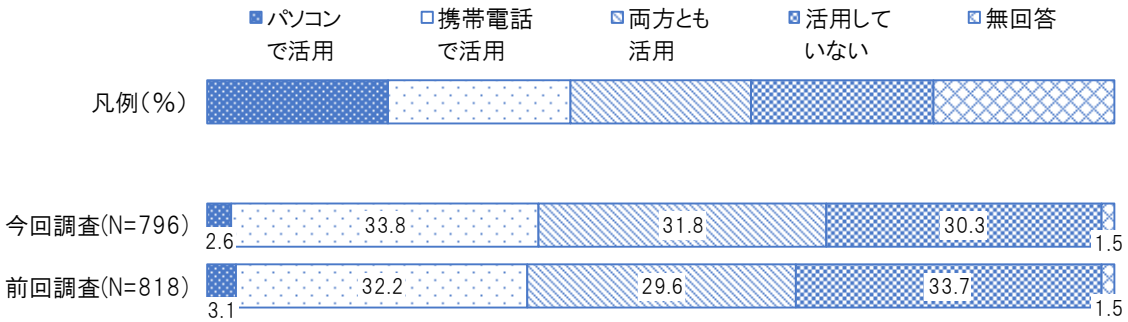


地域別でみると、笠加でインターネットの活用率が他の地域に比べて高く、「活用していない」は玉津で高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「活用していない」がやや減少している。

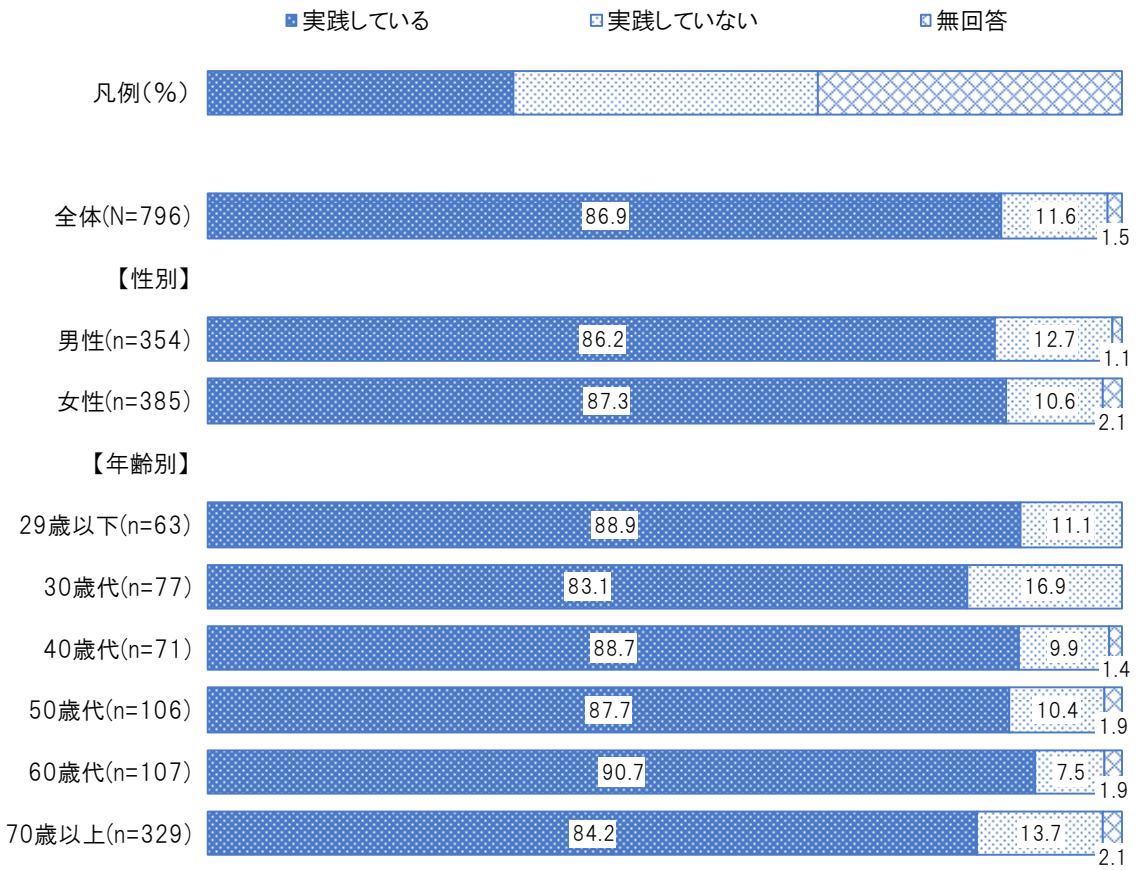


19　ごみのリサイクル実践状況

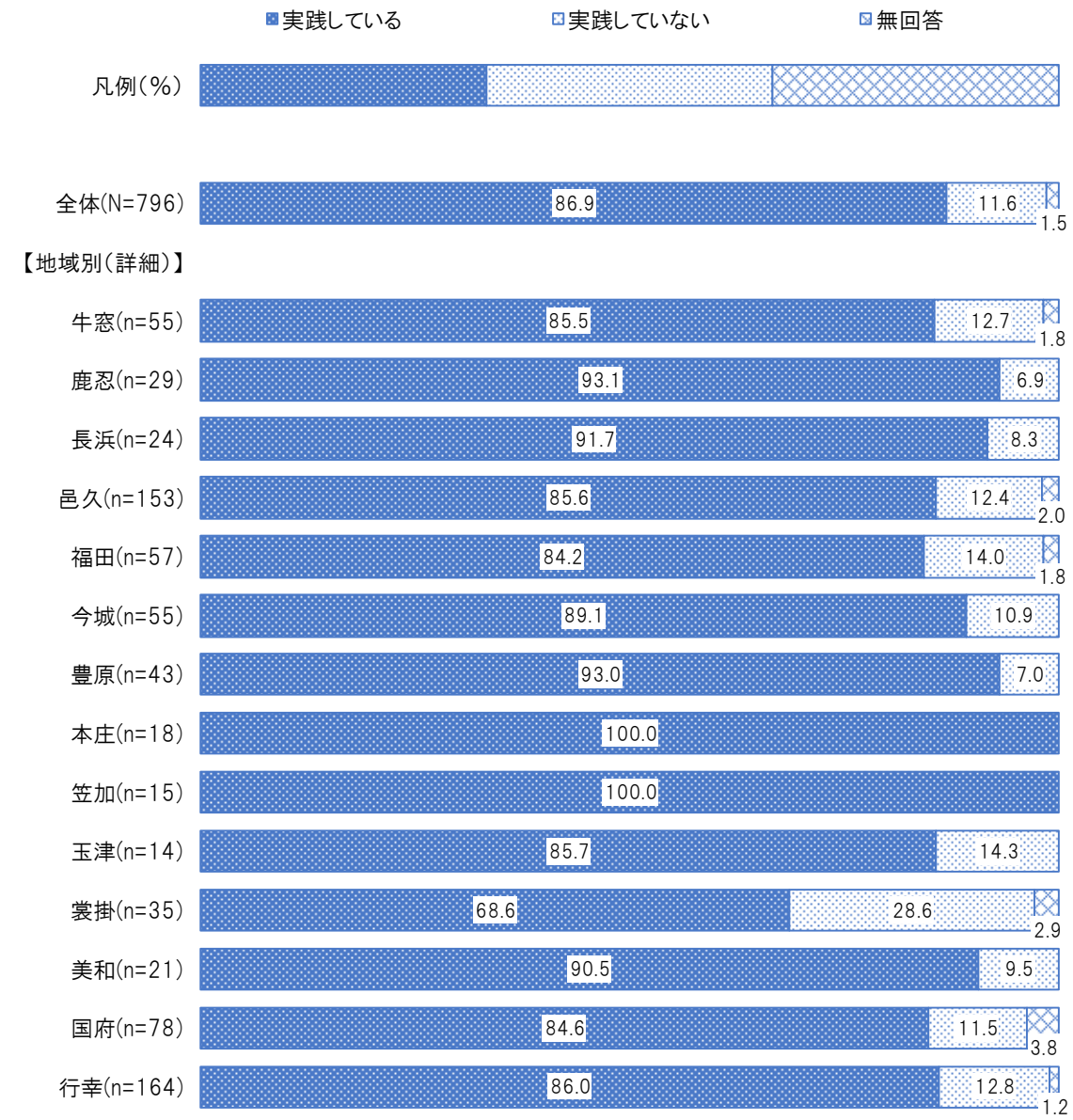
（19）あなたは、家庭から出るごみのリサイクルを実践していますか

ごみのリサイクル実践状況については、「実践している」が 86.9%、「実践していない」が 11.6%であった。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では 30 歳代や 70 歳以上で「実践していない」の割合が他の年齢層に比べてやや高くなっている。

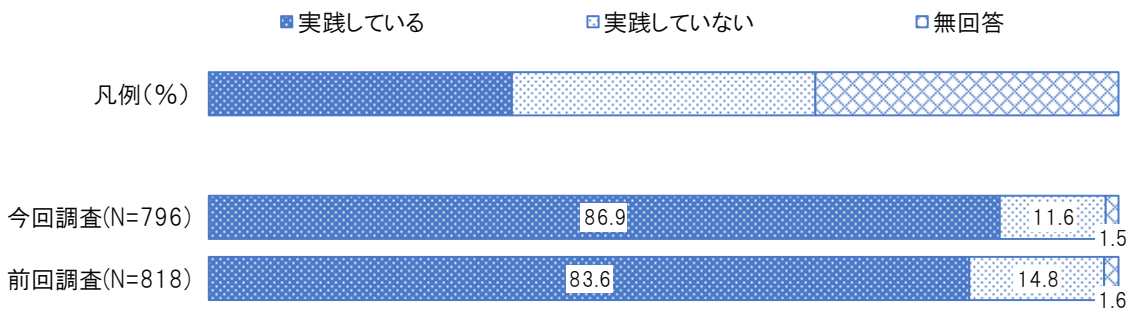


地域別でみると、「実践している」は本庄、笠加などで高く、「実践していない」は裳掛で高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「実践している」がやや増加している。

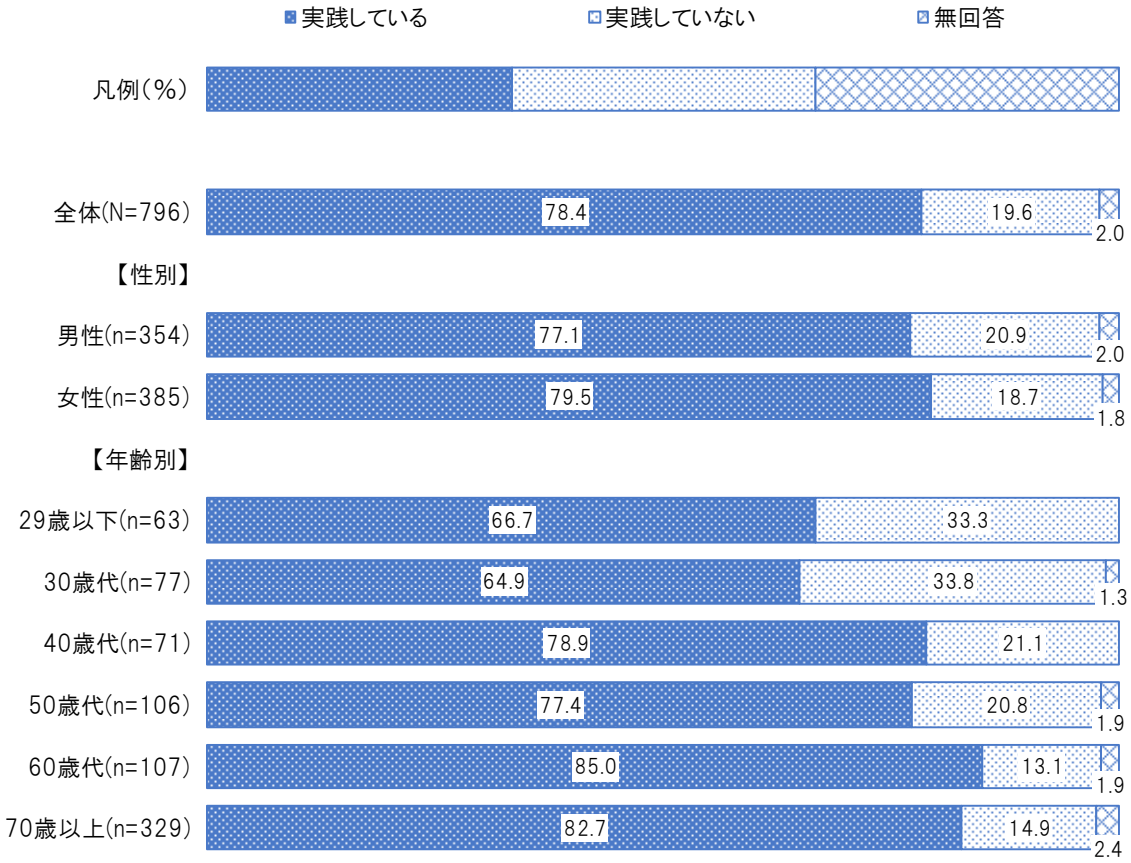


20　省エネの実践状況

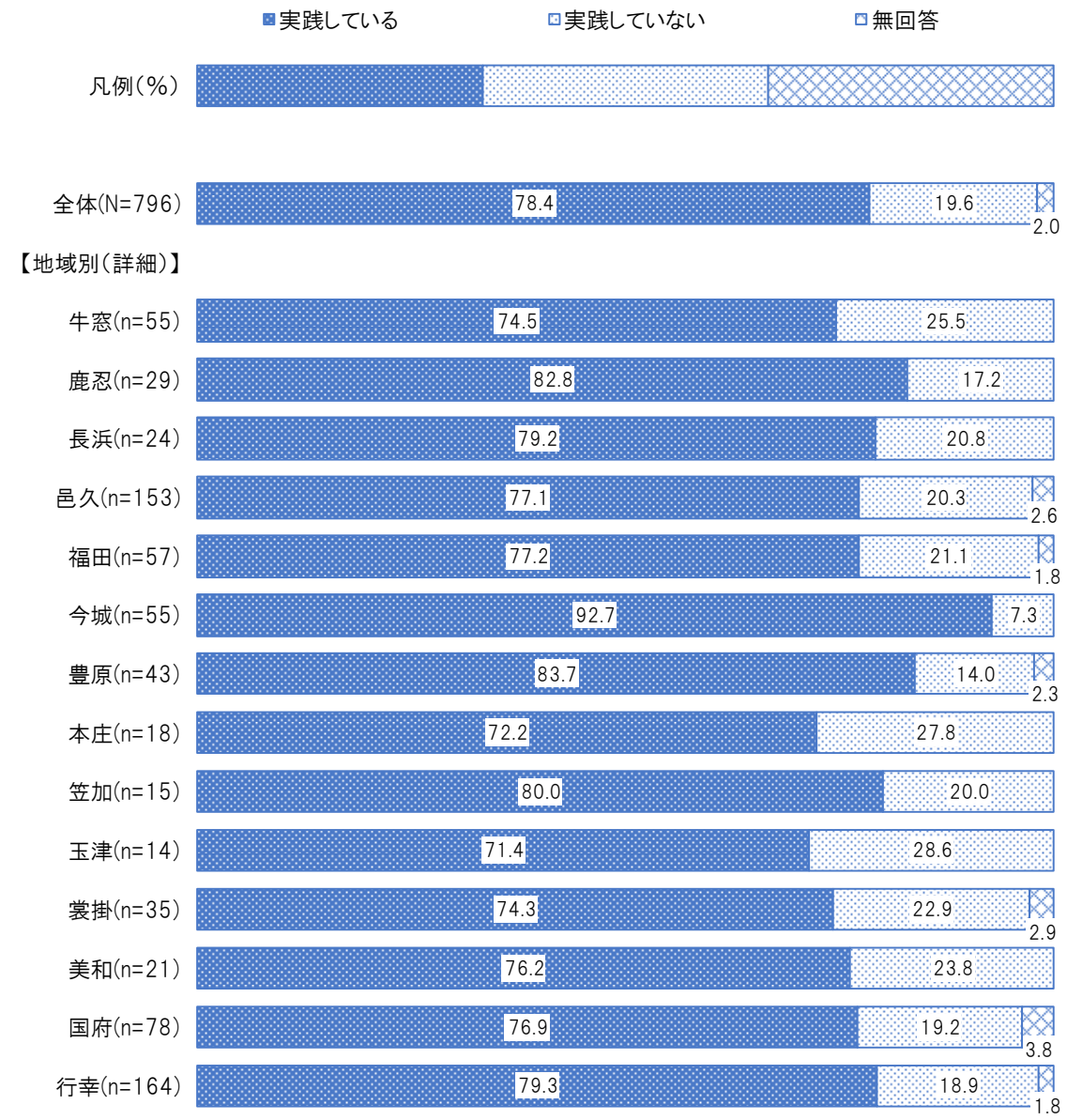
（20）あなたは、日常生活で省エネを実践していますか

省エネの実践状況については、「実践している」が 78.4%、「実践していない」が 19.6%であった。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では 30 歳代以下で「実践していない」の割合が高くなっている。

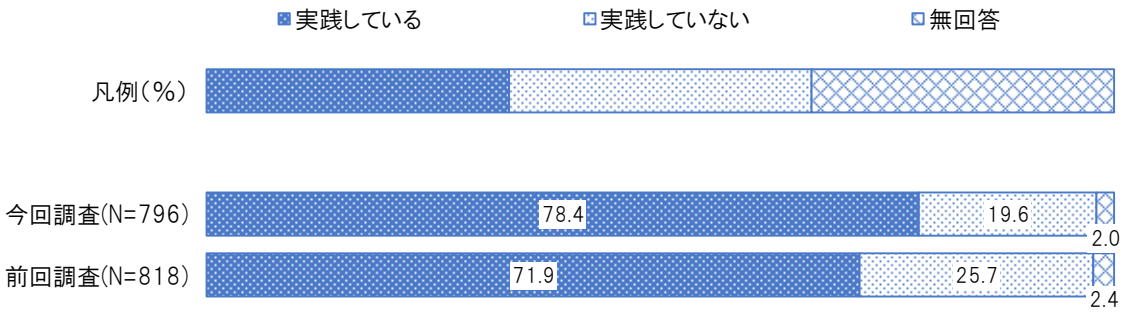


地域別でみると、「実践している」は今城で高く、「実践していない」は牛窓、本庄、玉津などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「実践している」が増加している。

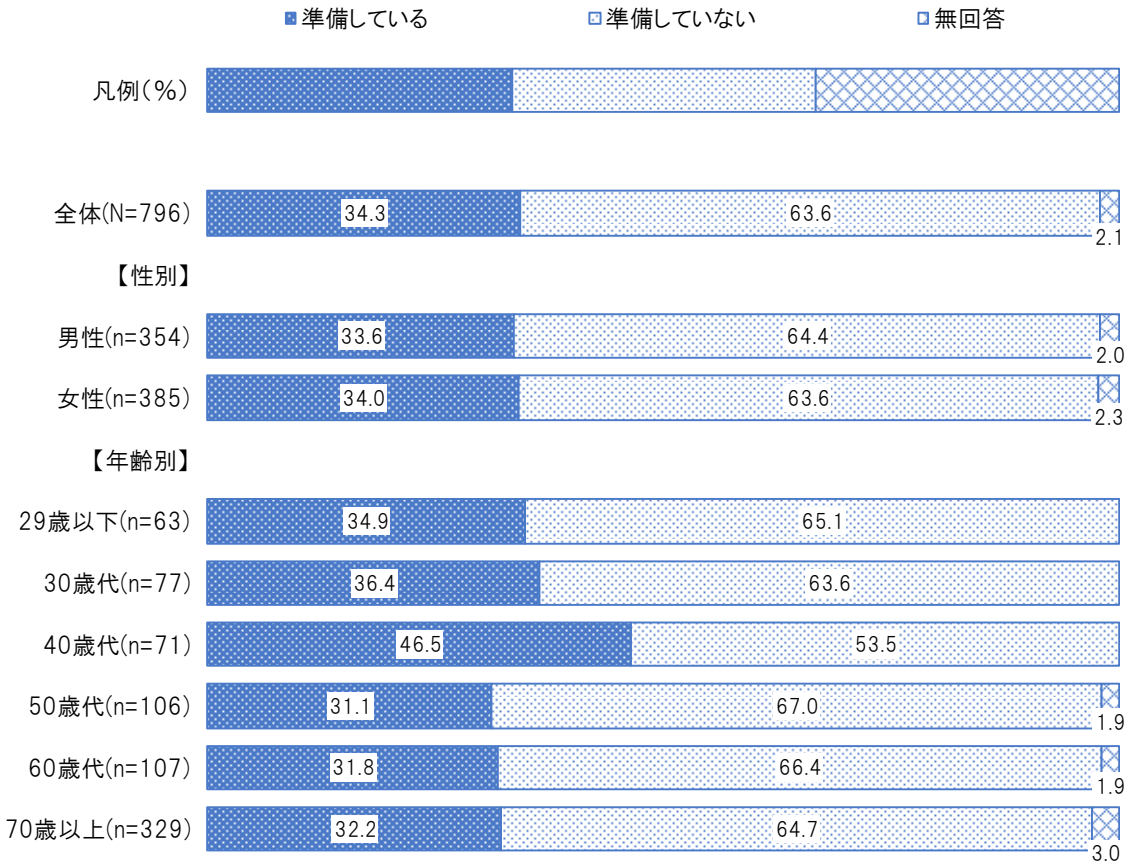


21　災害時の非常持出品準備状況

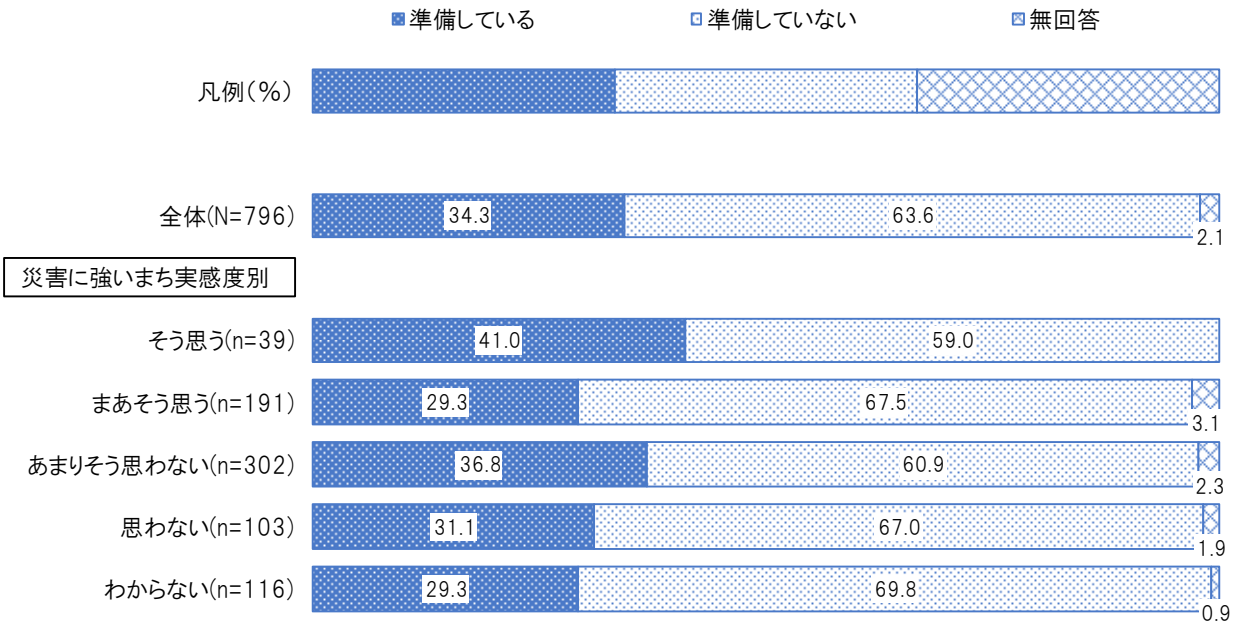
（21）あなたは、災害が起きたときのために、非常持出品を準備していますか

災害時の非常持出品準備状況については、「準備している」が 34.3%、「準備していない」が 63.6%であった。

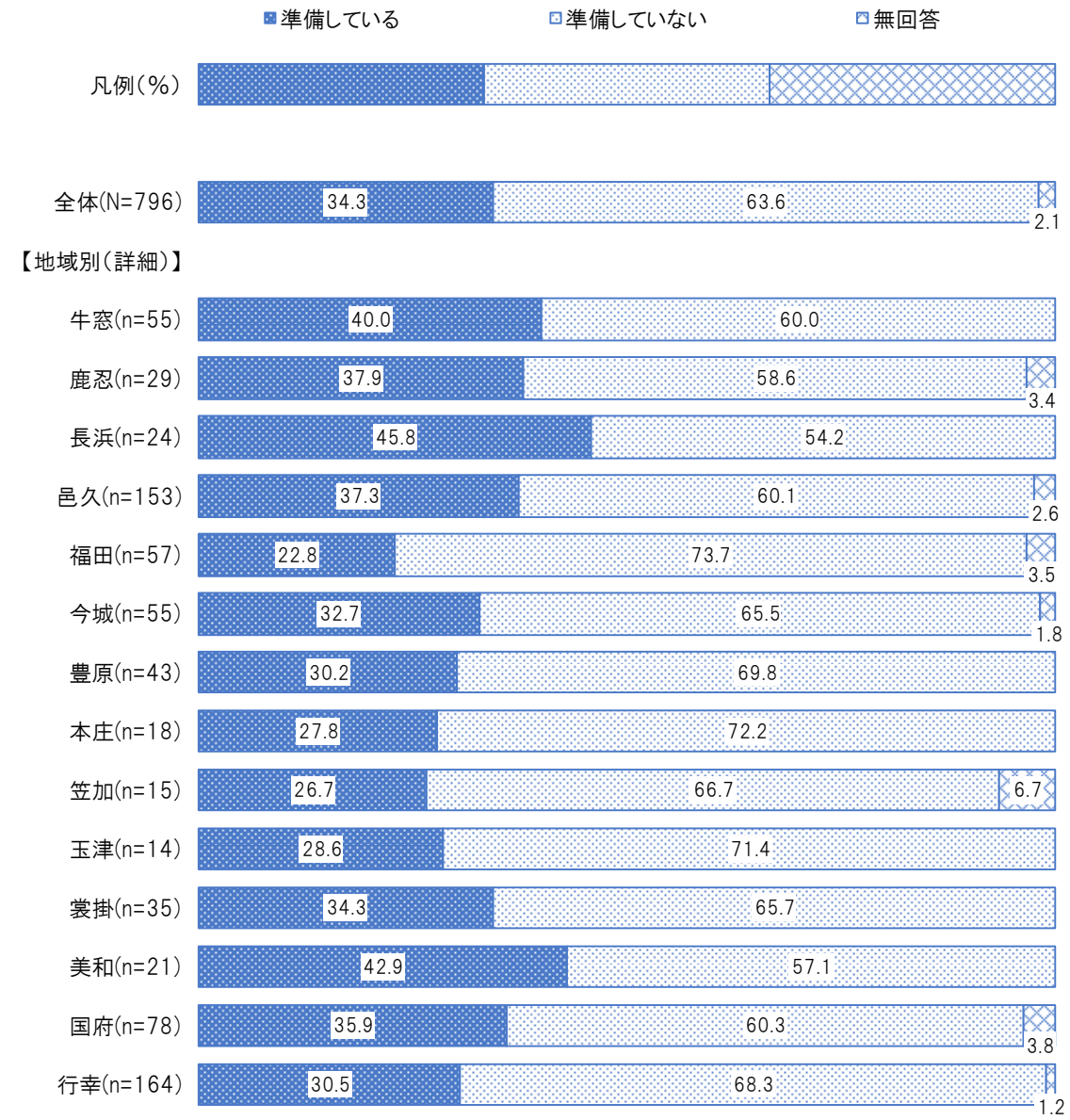
性別では大きな差はみられないが、年齢別では 40 歳代で「準備している」の割合が高くなっている。



災害に強いまち実感度別では、実感がある（「そう思う」）と回答した層で「準備している」の割合が高くなっている。

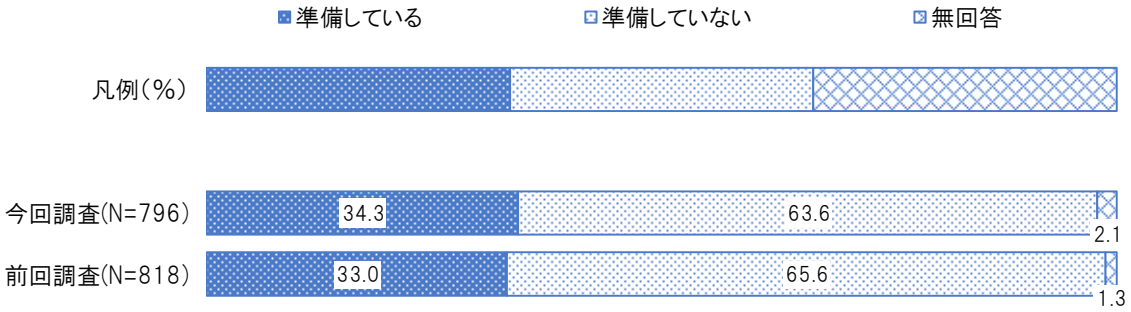


地域別でみると、「準備している」は長浜、美和などで高く、「準備していない」は福田、本庄、玉津などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



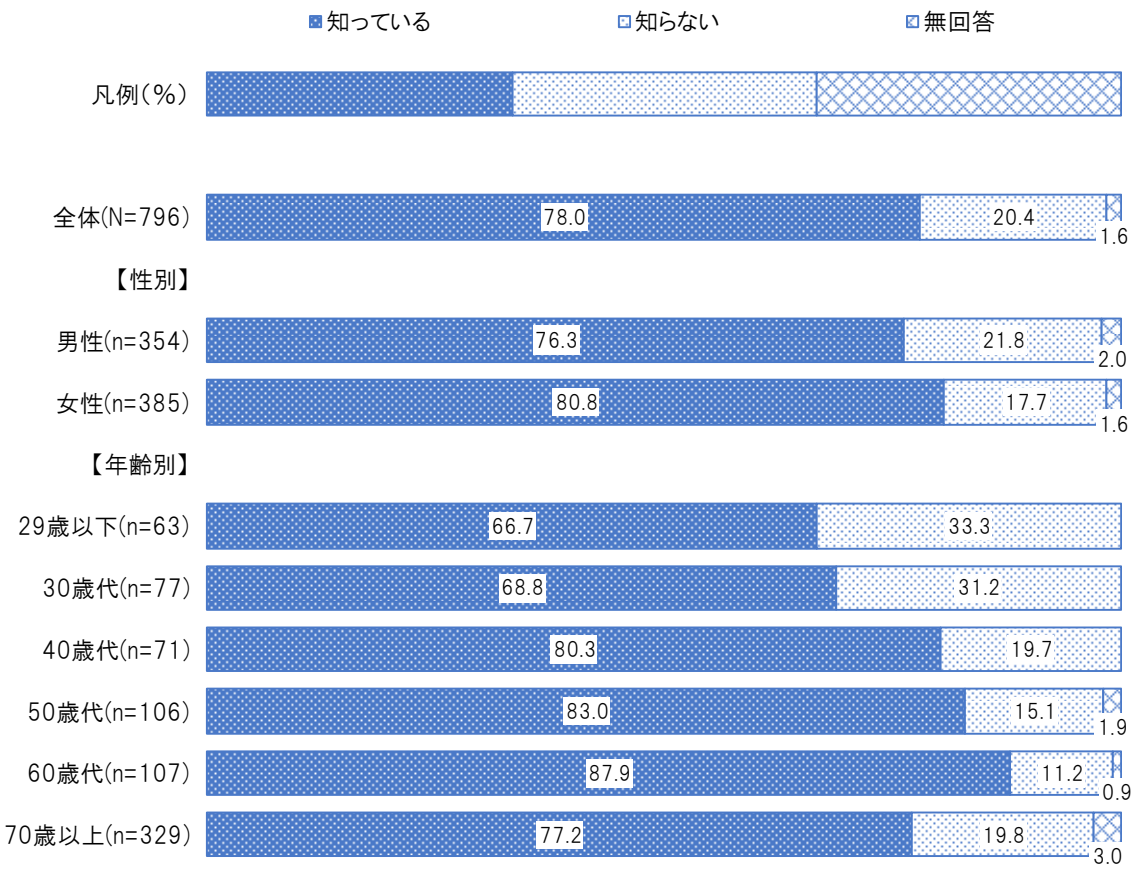
22　災害時の避難場所認知状況

（22）あなたは、災害が起きたときの、最寄りの避難場所を知っていますか

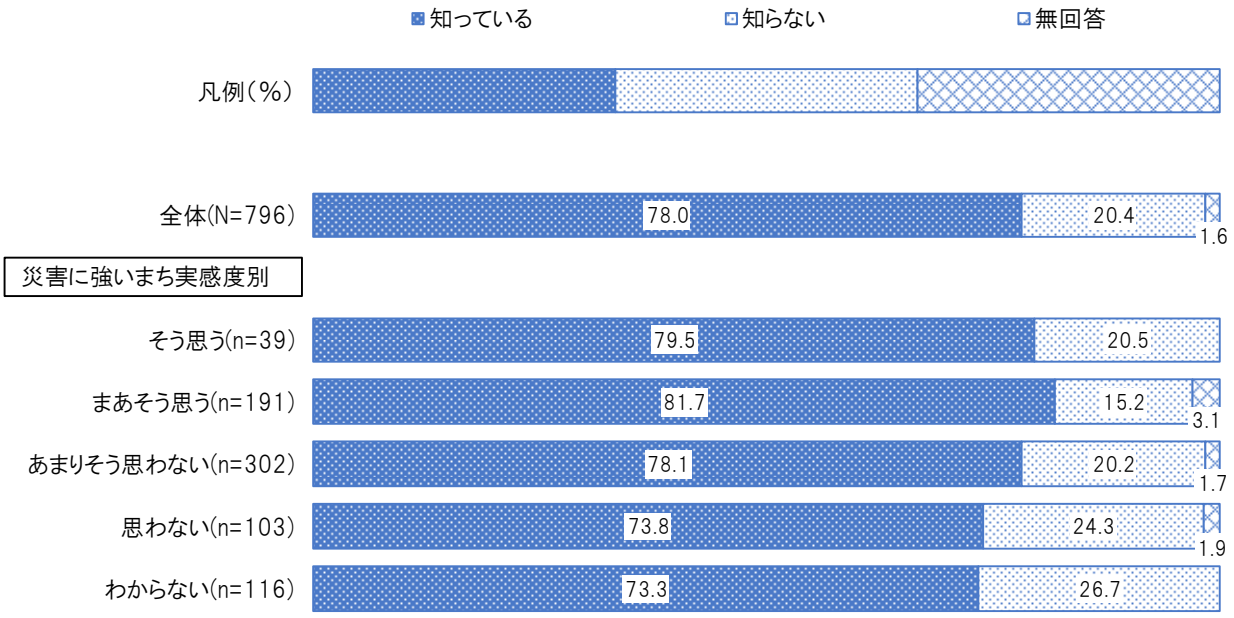
災害時の避難場所認知状況については、「知っている」が78.0%、「知らない」が20.4%であった。

性別では、男性は女性に比べ「知らない」の割合がやや高くなっている。

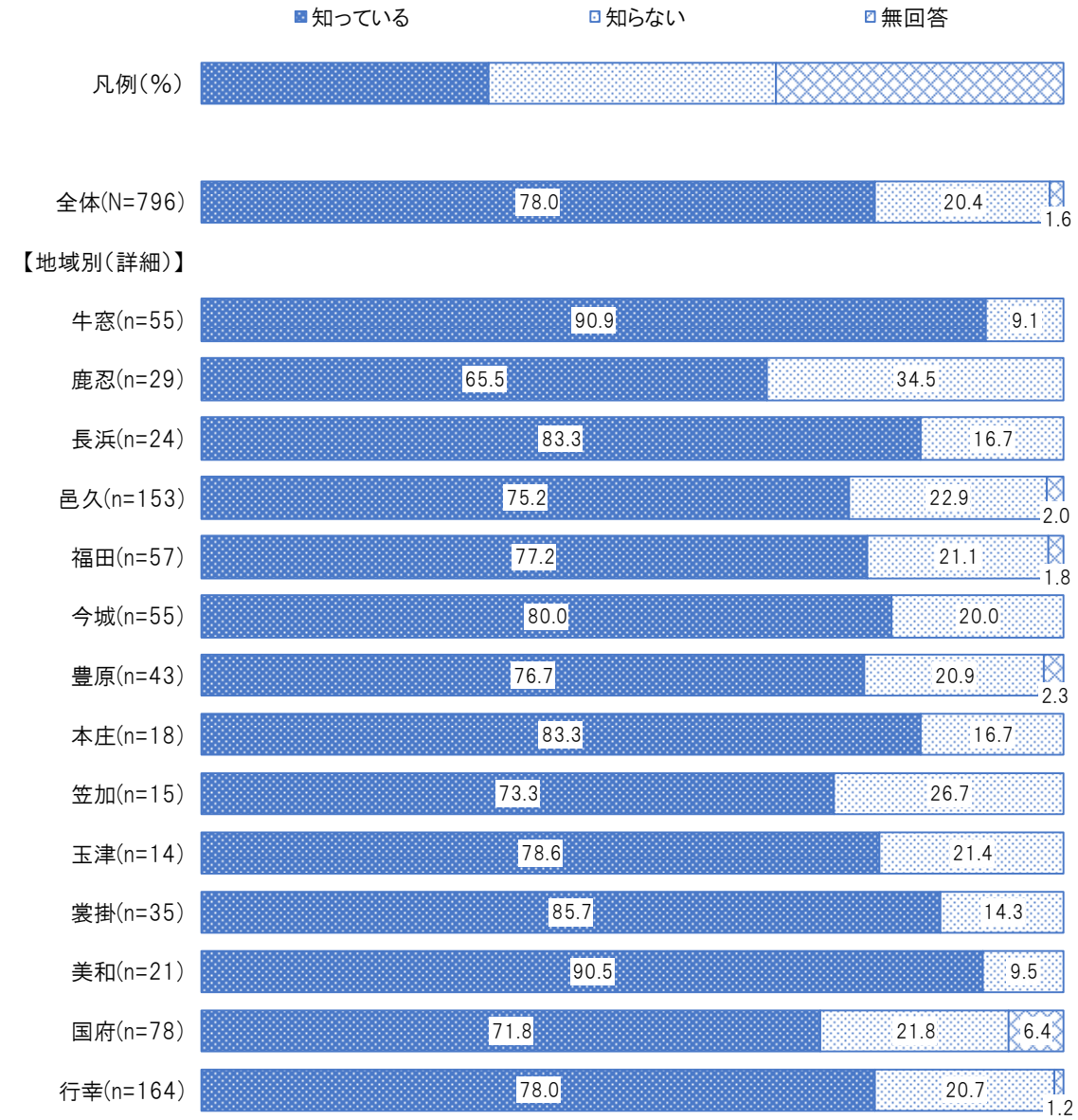
年齢別では、おおむね年齢が上がるほど「知っている」の割合が高くなっている。



災害に強いまち実感度別では、実感がない（「思わない」）と回答した層で「知らない」の割合が高くなっている。

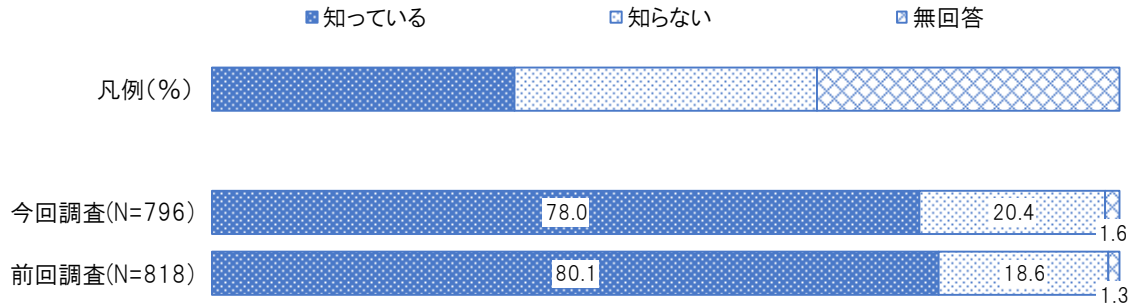


地域別でみると、「知っている」は牛窓、美和などで高く、「知らない」は鹿忍で高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。

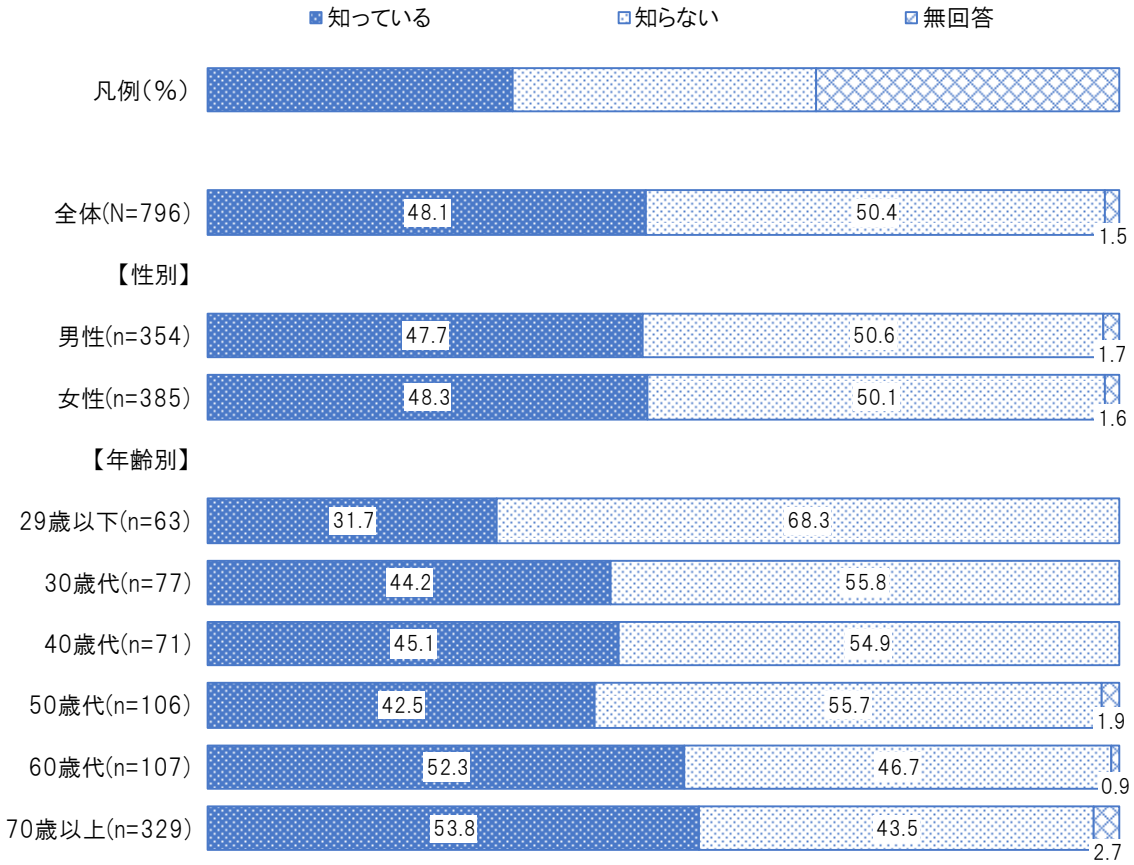


23　「消費生活」に関する相談窓口認知状況

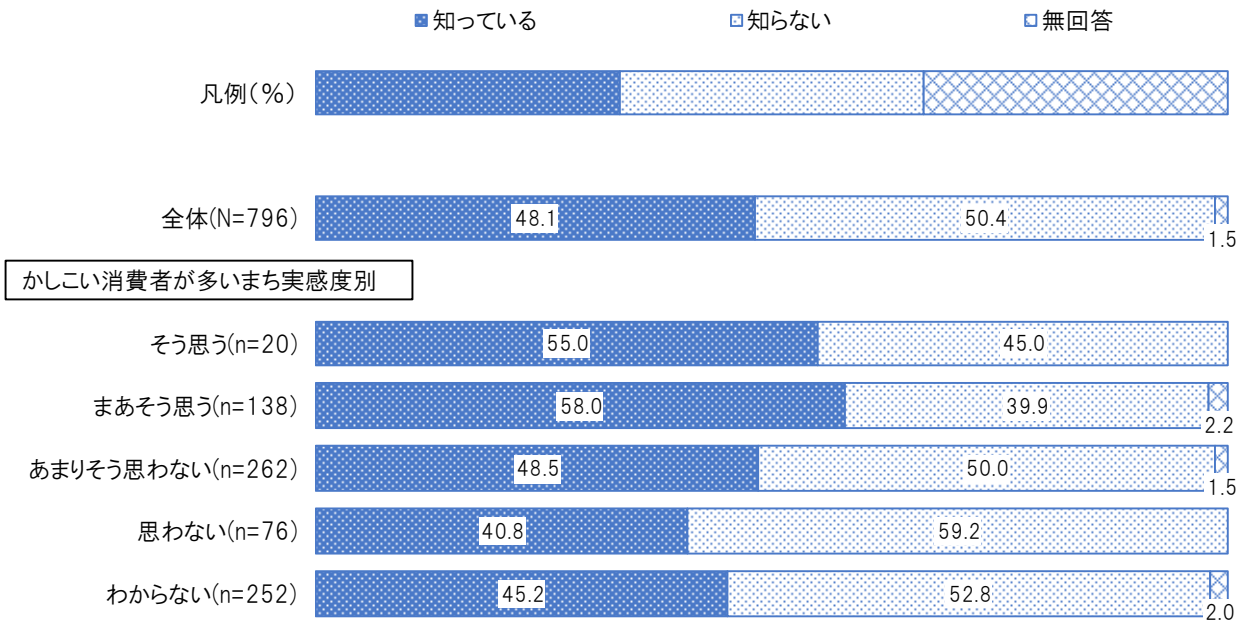
（23）あなたは、悪質商法などへの対応について相談できる市役所や県、警察などの「消費生活」に関する相談窓口を知っていますか

「消費生活」に関する相談窓口認知状況については、「知っている」が48.1%、「知らない」が50.4%であった。

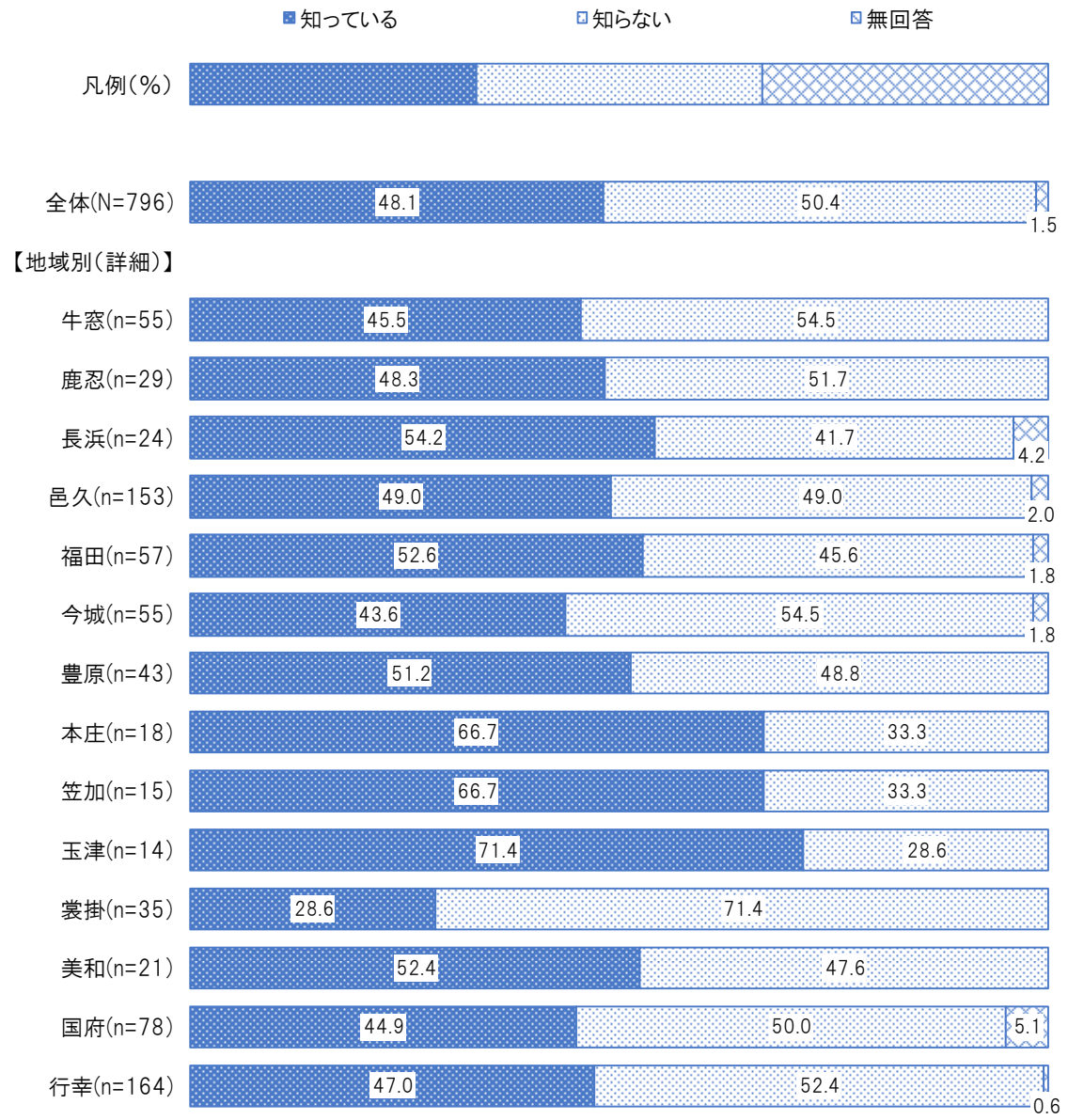
性別では大きな差はみられないが、年齢別では29歳以下で「知らない」の割合が高くなっている。



かしこい消費者が多いまち実感度別では、実感度が低い（「思わない」）層で「知らない」の割合が高くなっている。

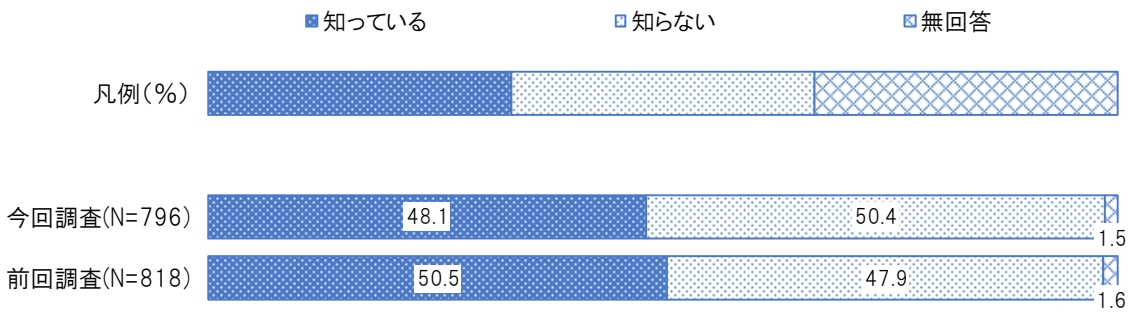


地域別でみると、「知っている」は本庄、笠加、玉津などで高く、「知らない」は裳掛で高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



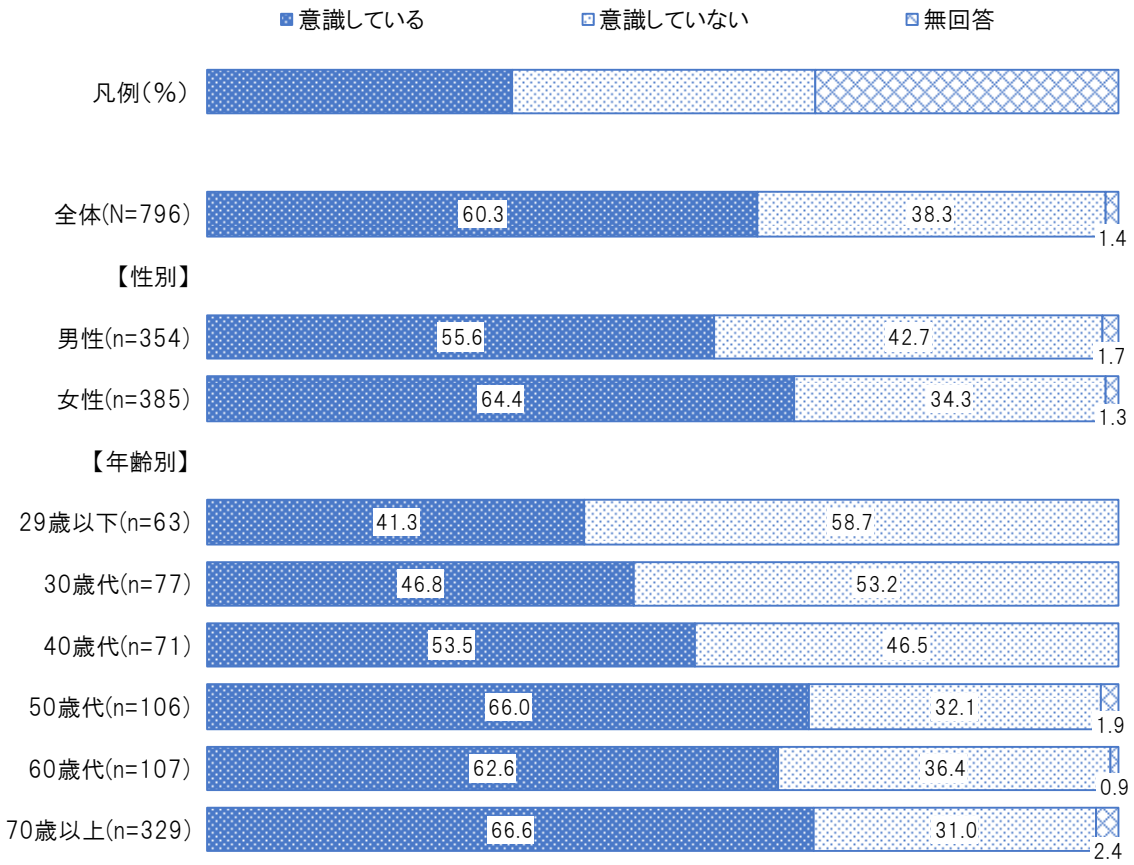
24　農産物購入時の地元産意識

（24）あなたは、農産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか

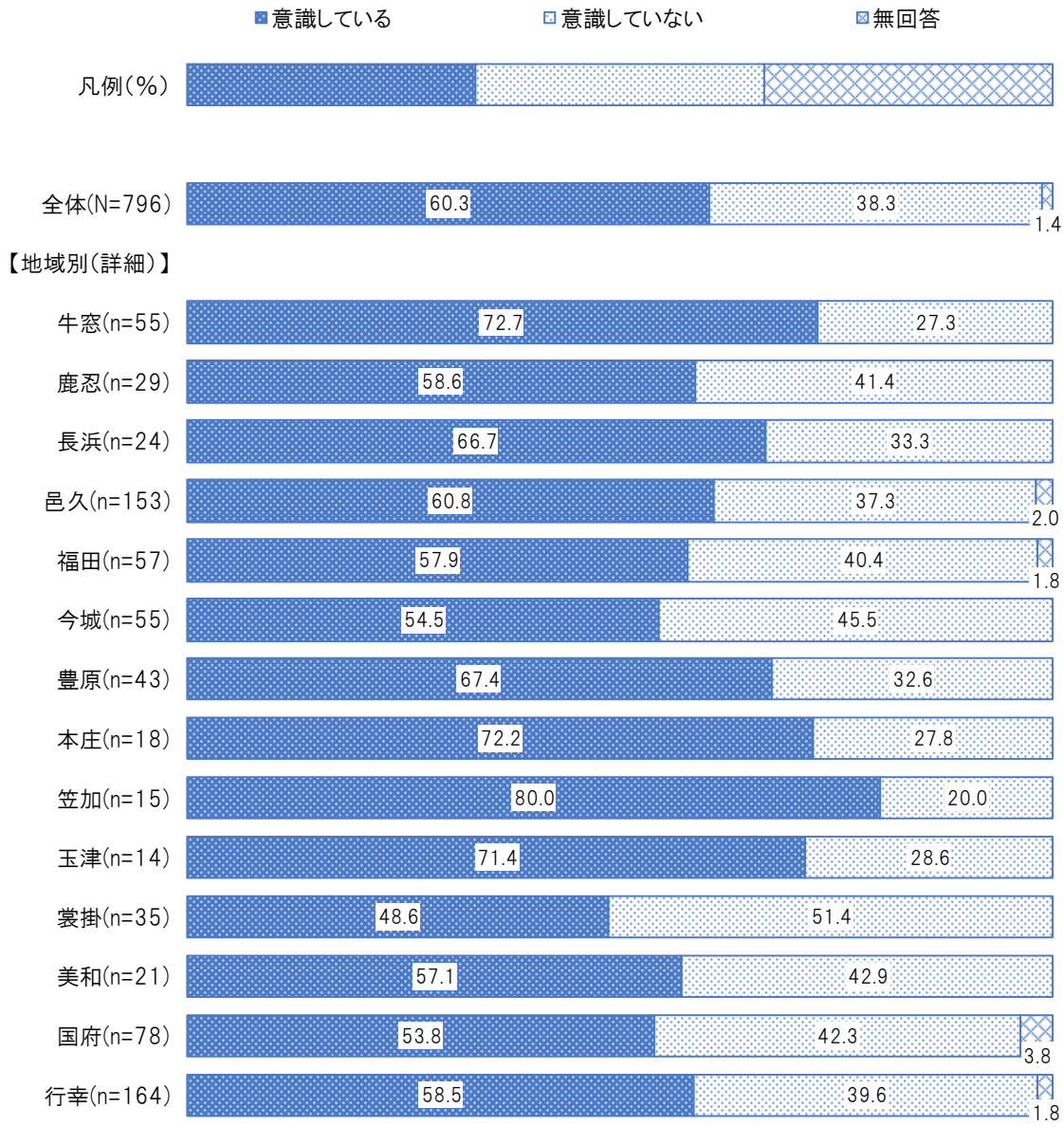
農産物購入時の地元産意識については、「意識している」が 60.3%、「意識していない」が 38.3%であった。

性別では、女性は「意識している」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、50 歳代以上で「意識している」の割合が高くなっている。

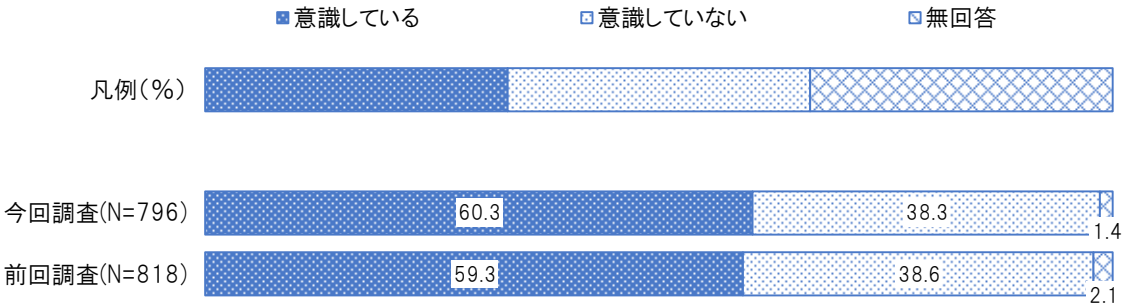


地域別でみると、「意識している」は牛窓、本庄、笠加、玉津などで高く、「意識していない」は裳掛で高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



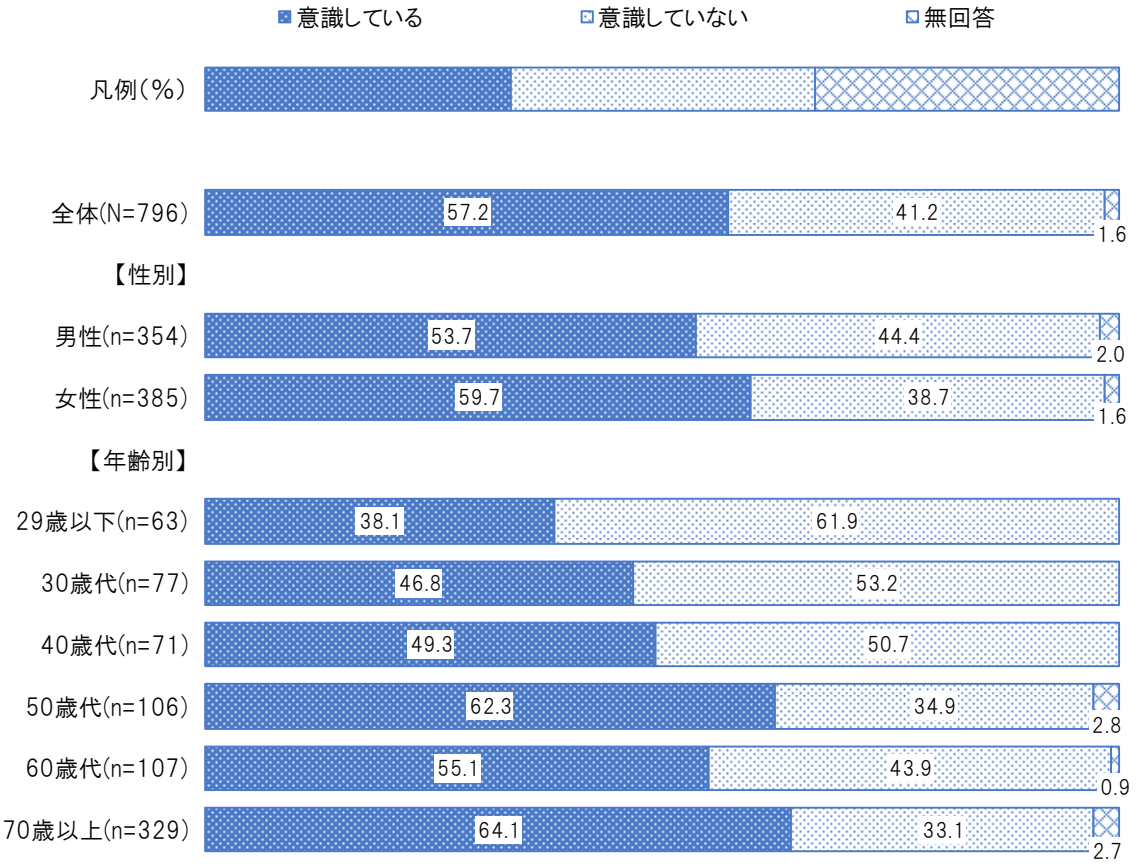
25　水産物購入時の地元産意識

（25）あなたは、水産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか

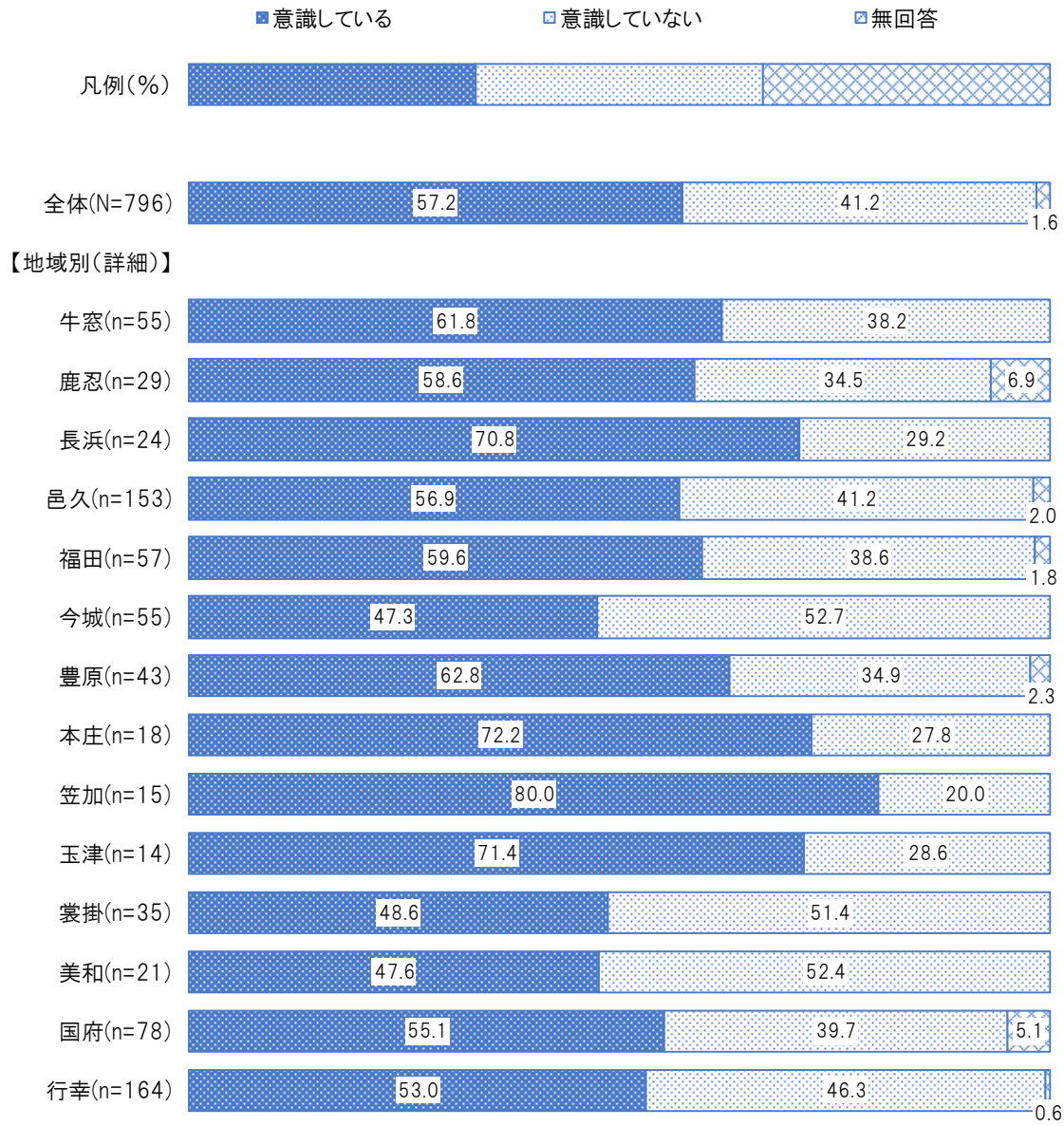
水産物購入時の地元産意識については、「意識している」が57.2%、「意識していない」が41.2%であった。

性別では、女性は男性に比べ「意識している」の割合が高くなっている。

年齢別では、おおむね若い年齢層ほど「意識していない」の割合が高くなっている。

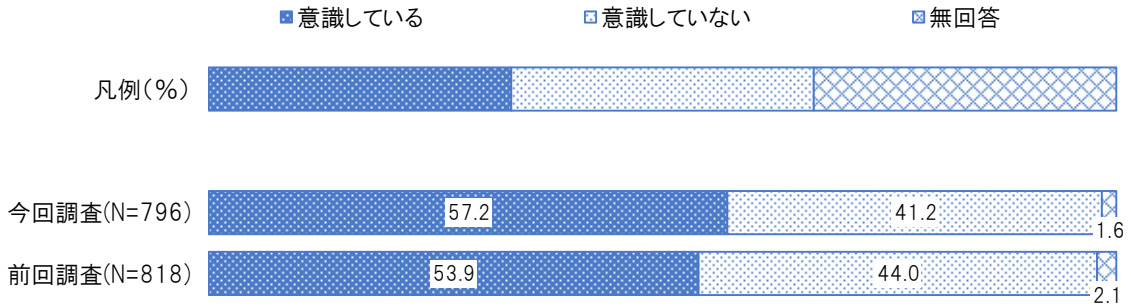


地域別でみると、「意識している」は長浜、本庄、笠加、玉津などで高く、「意識していない」は今城、裳掛、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「意識している」がやや増加している。



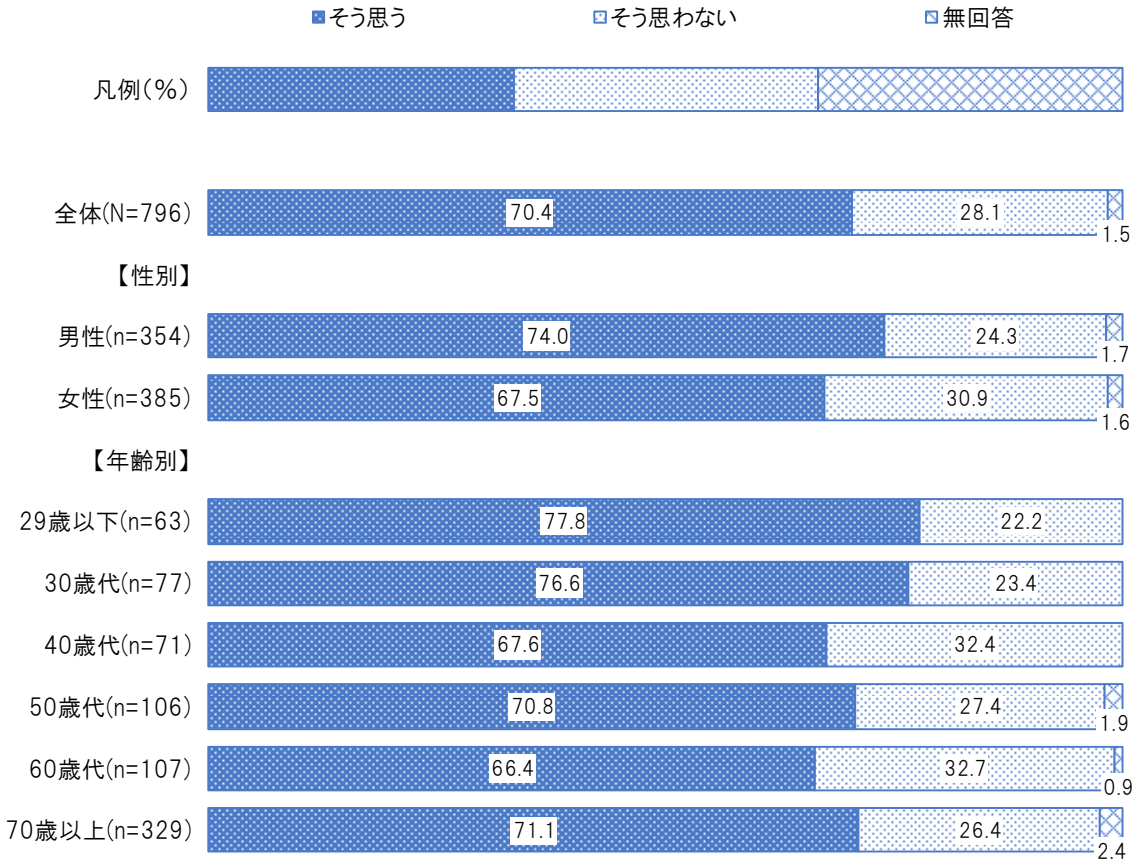
26　日常生活品の買い物のしやすさについて

（26）あなたは、瀬戸内市は日常生活品の買い物がしやすいまちだと思いますか

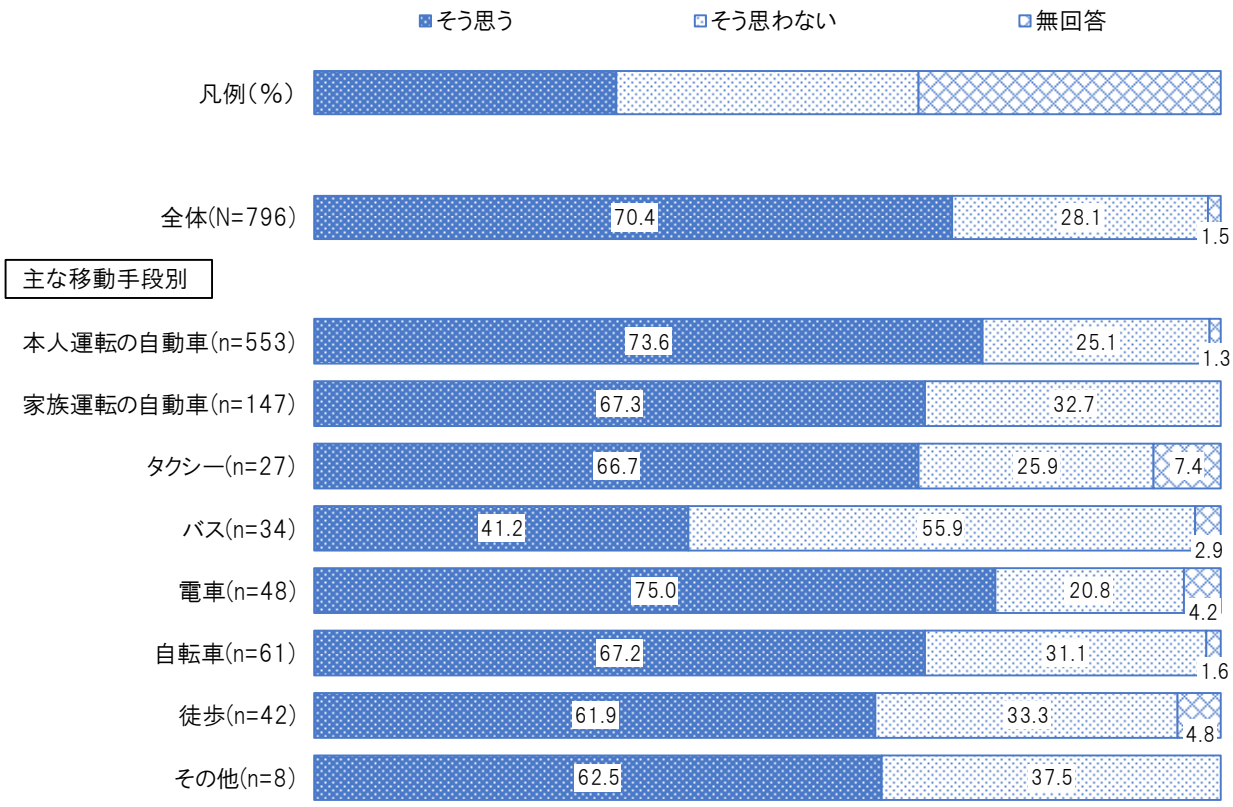
日常生活品の買い物のしやすさについては、「そう思う」が 70.4%、「そう思わない」が 28.1%であった。

性別では、男性は女性に比べ「そう思う」の割合が高くなっている。

年齢別では、40 歳代や 60 歳代で「そう思わない」の割合が高くなっている。

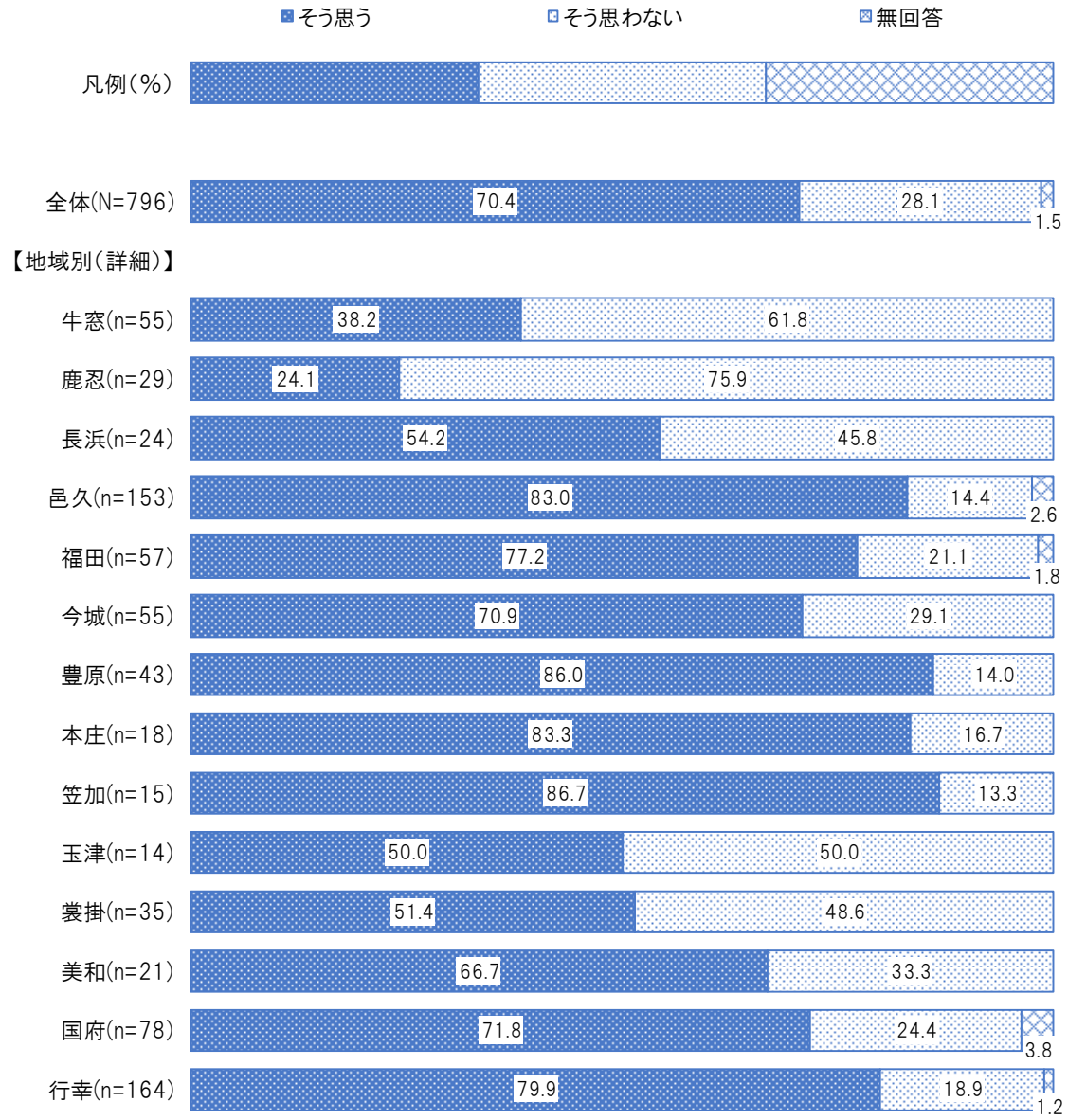


主な移動手段別でみると、バスで「そう思わない」が他の交通機関利用者を大きく上回っている。



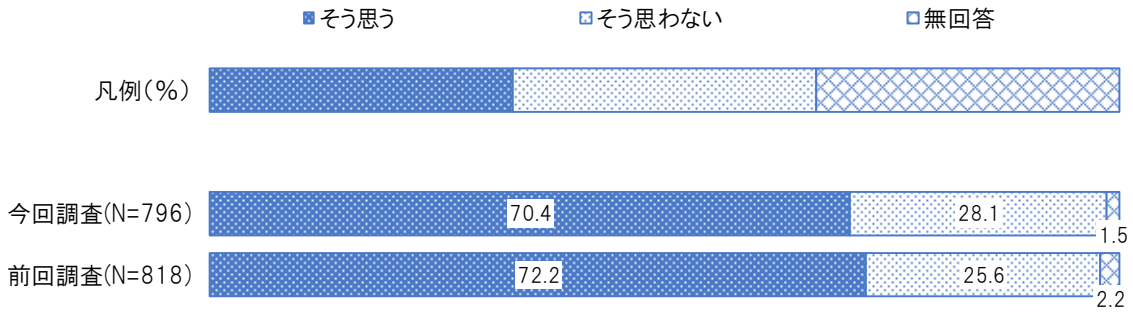
注：主な移動手段別の「その他」は、該当件数(n)が少ないため参考値とする。

地域別でみると、「そう思う」は邑久、豊原、本庄、笠加などで高く、「そう思わない」は牛窓、鹿忍などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



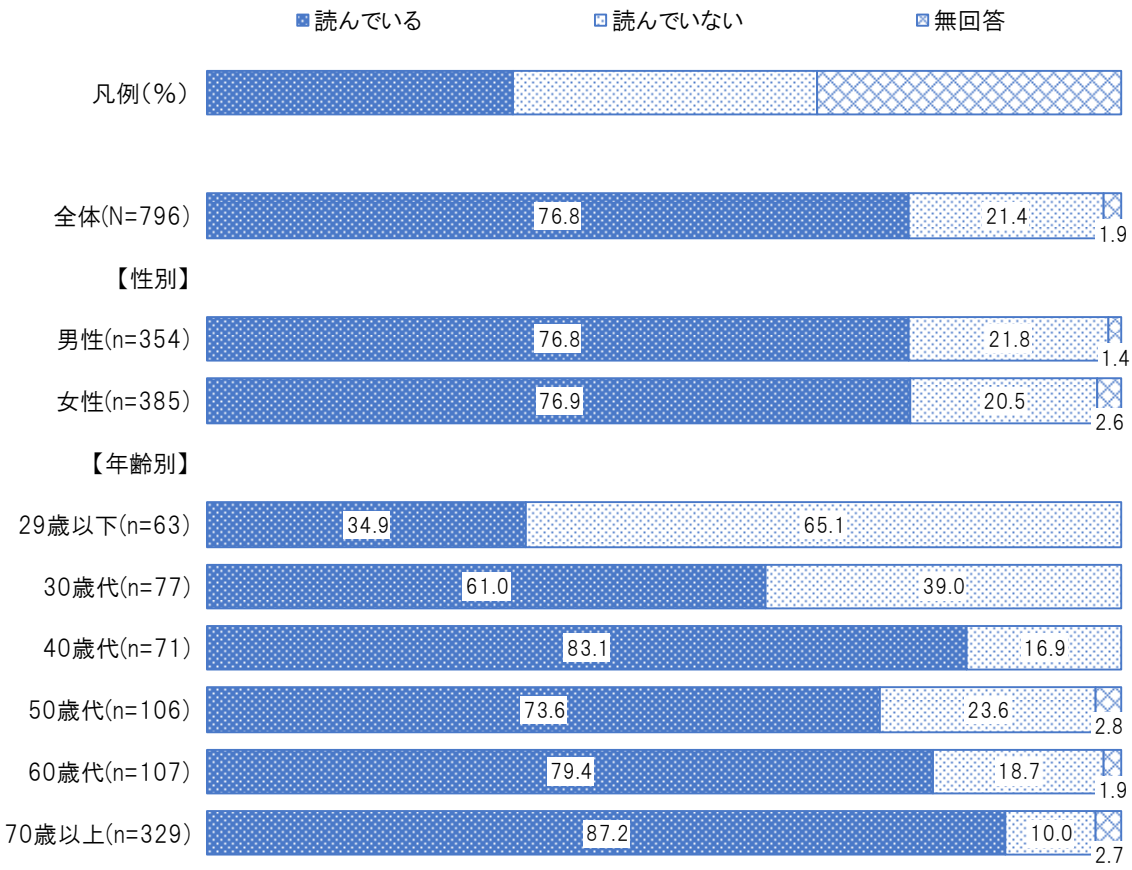
27　「広報せとうち」閲読状況

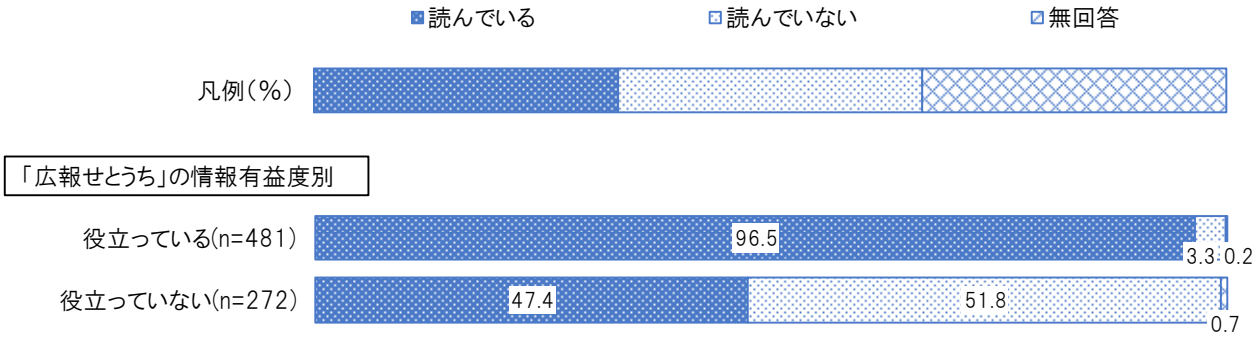
（27）あなたは、「広報せとうち」を読んでいますか

「広報せとうち」閲読状況については、「読んでいる」が 76.8%、「読んでいない」が 21.4%であった。

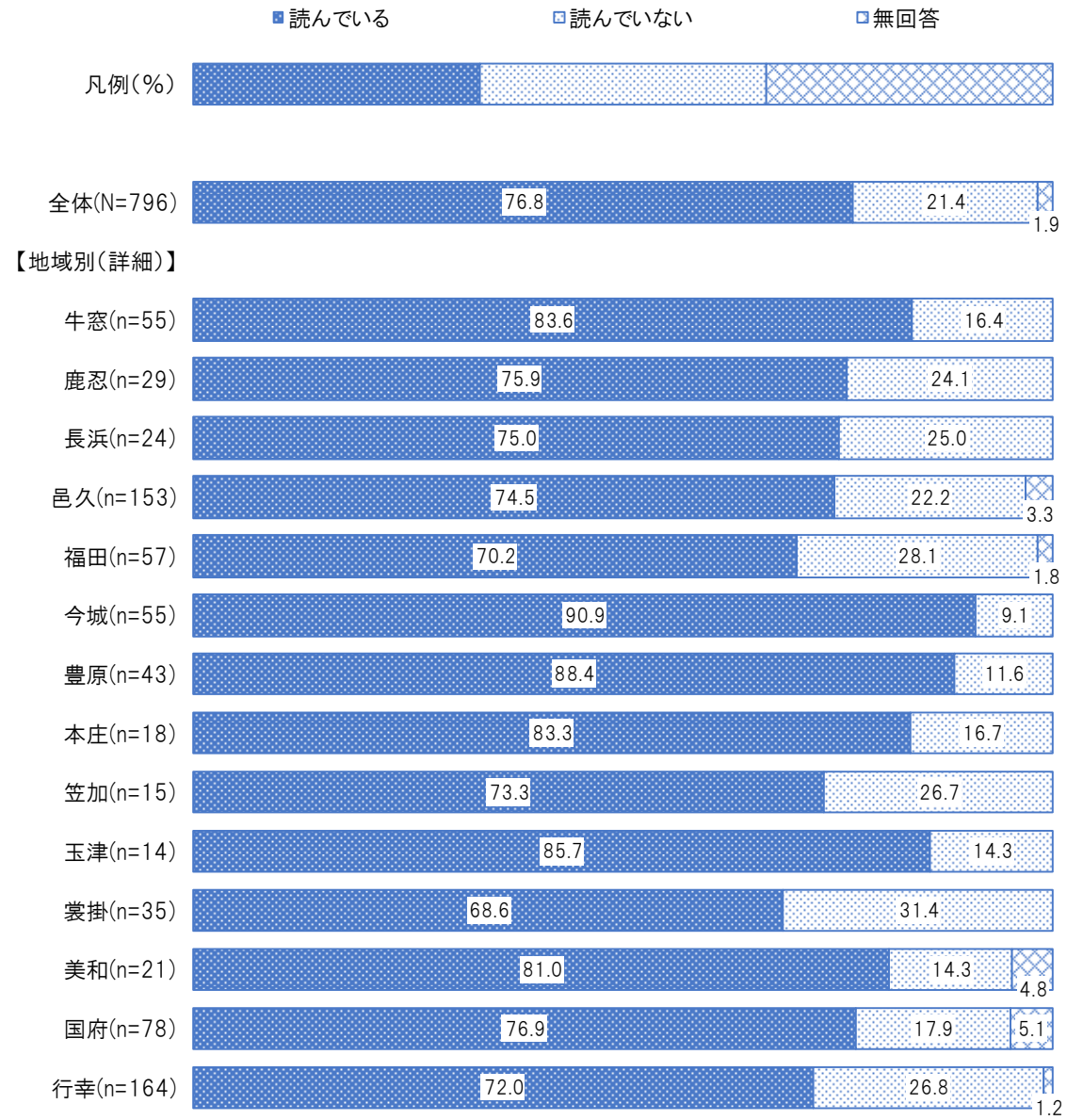
性別では大きな差はみられないが、年齢別ではおおむね年齢が上がるほど「読んでいる」の割合が高くなっている。一方、29 歳以下では６割以上が「読んでいない」と回答している。

「広報せとうち」の情報有益度別でみると、役立っていないと回答した層の約半数が「読んでいない」と回答している。



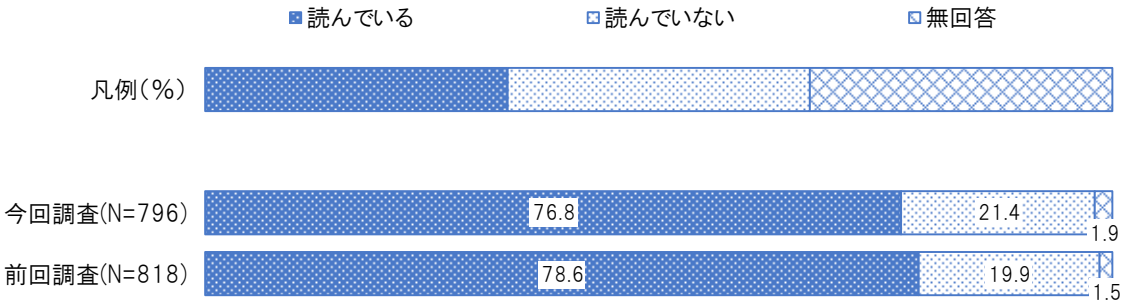


地域別でみると、「読んでいる」は今城、豊原などで高く、「読んでいない」は福田、裳掛などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



28　「広報せとうち」の情報の有益度について

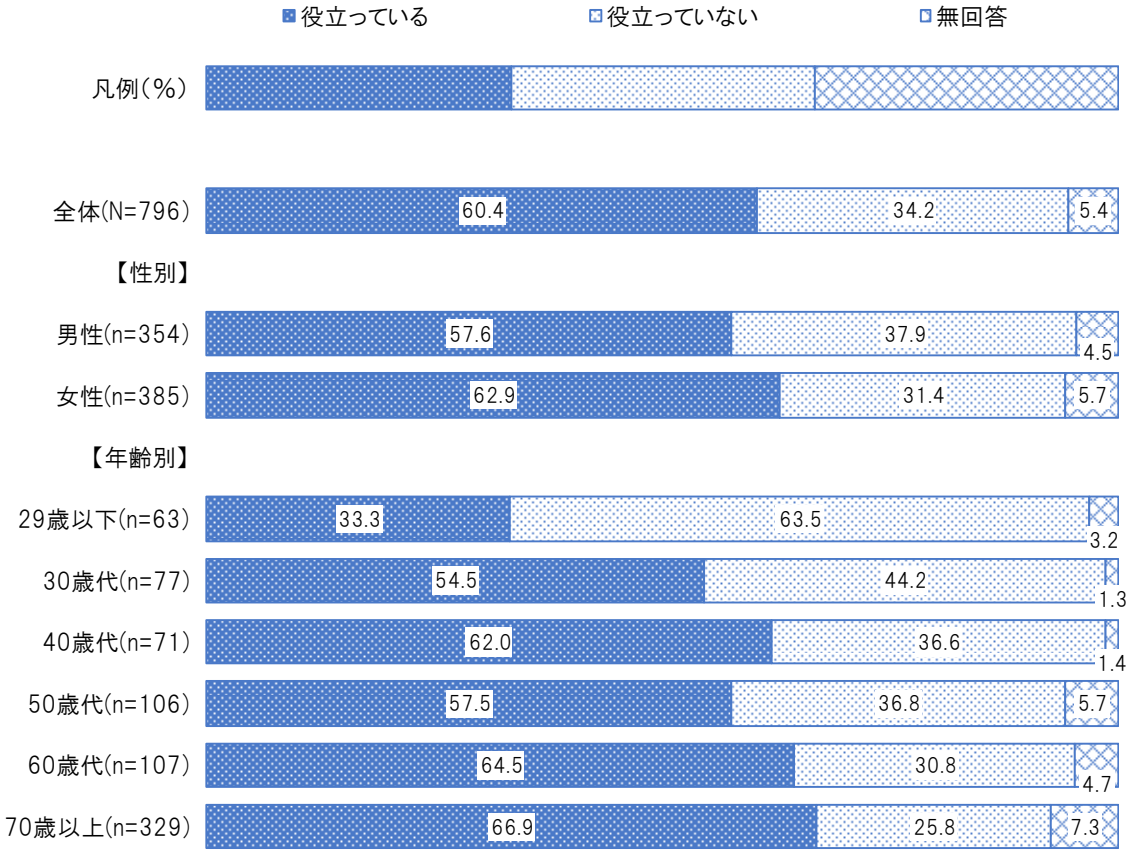
（28）あなたにとって、「広報せとうち」の情報は役立っていますか

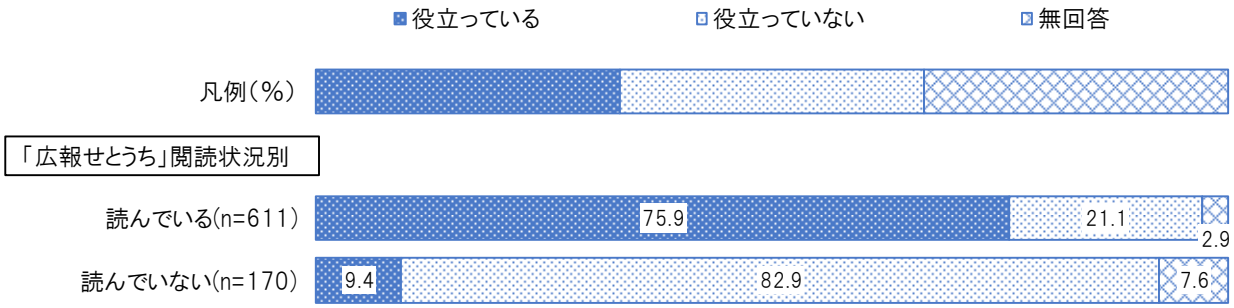
「広報せとうち」の情報の有益度については、「役立っている」が60.4%、「役立っていない」が34.2%であった。

性別では、女性は男性に比べ「役立っている」の割合が高くなっている。

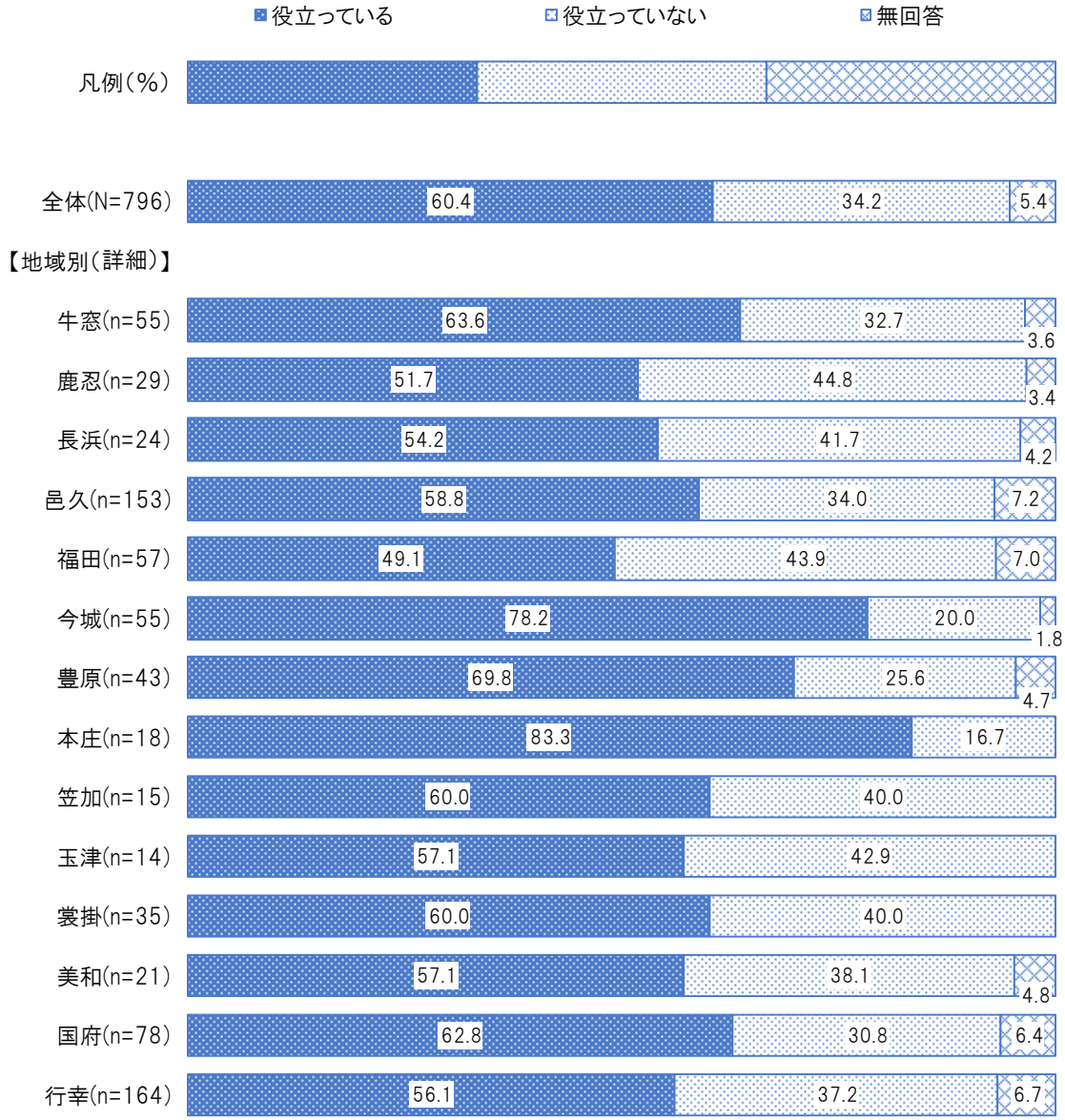
年齢別では、おおむね年齢が上がるほど「役立っている」の割合が高くなっており、29歳以下では6割以上が「役立っていない」と回答している。

「広報せとうち」閲読状況別では、「役立っている」の割合は、読んでいる層で7割以上となっている。



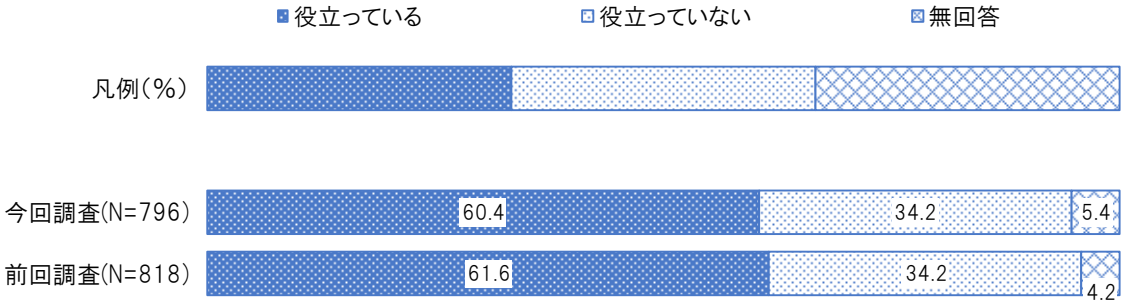


地域別でみると、「役立っている」は今城、豊原、本庄などで高く、「役立っていない」は鹿忍、福田、玉津などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。

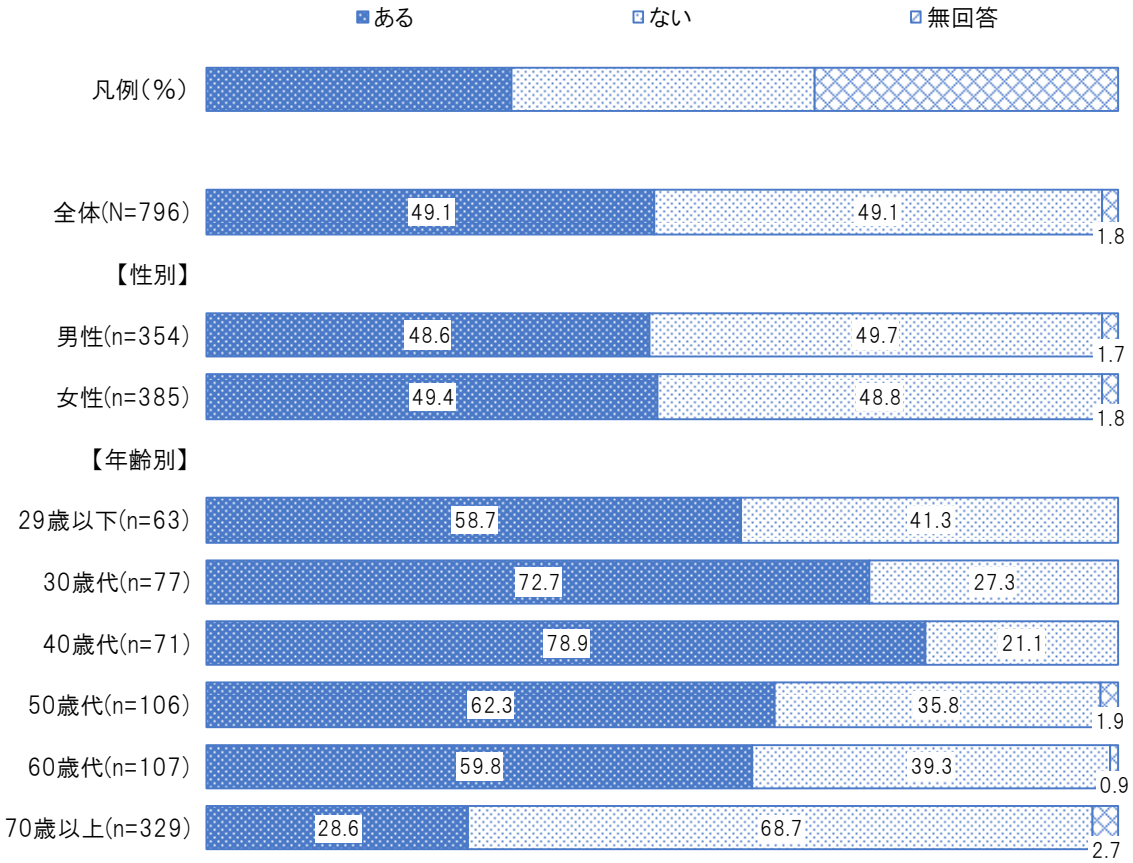


29　本市ホームページ閲覧状況

（29）あなたは、瀬戸内市のホームページを見たことがありますか

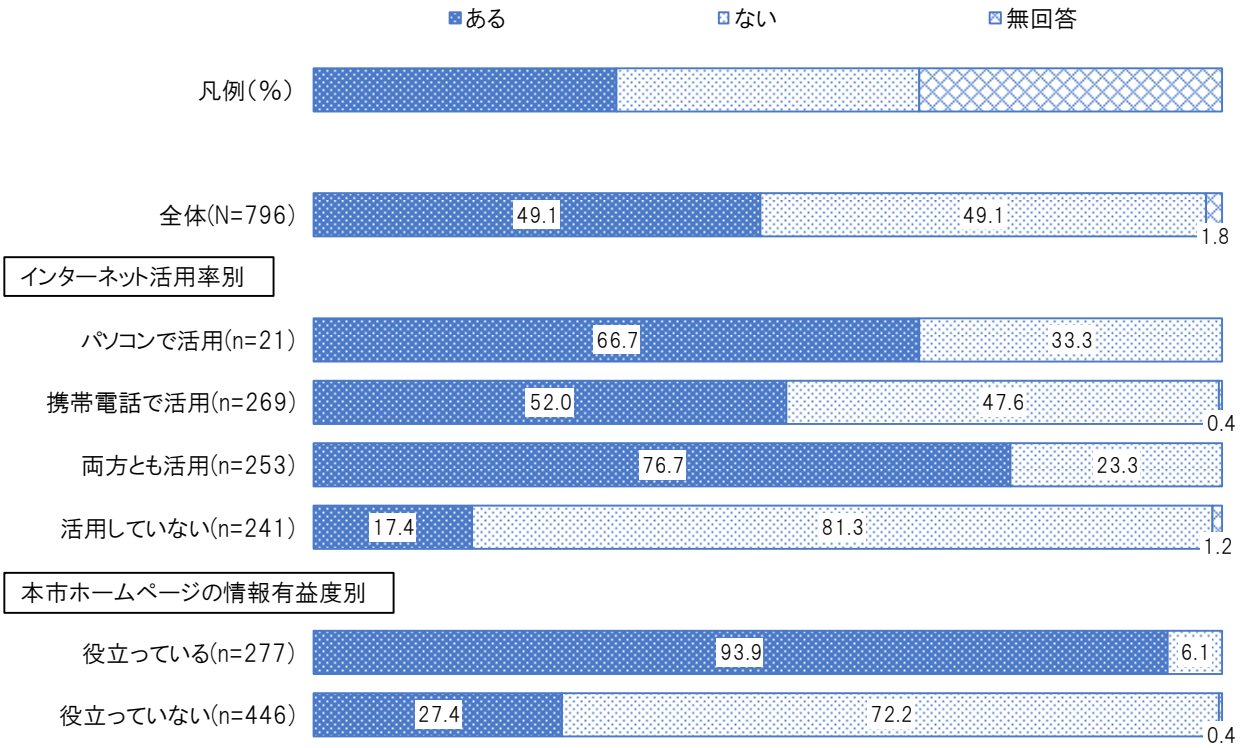
本市ホームページ閲覧状況については、「ある」「ない」が各 49.1%であった。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では 30～40 歳代で「ある」の割合が高くなっている。

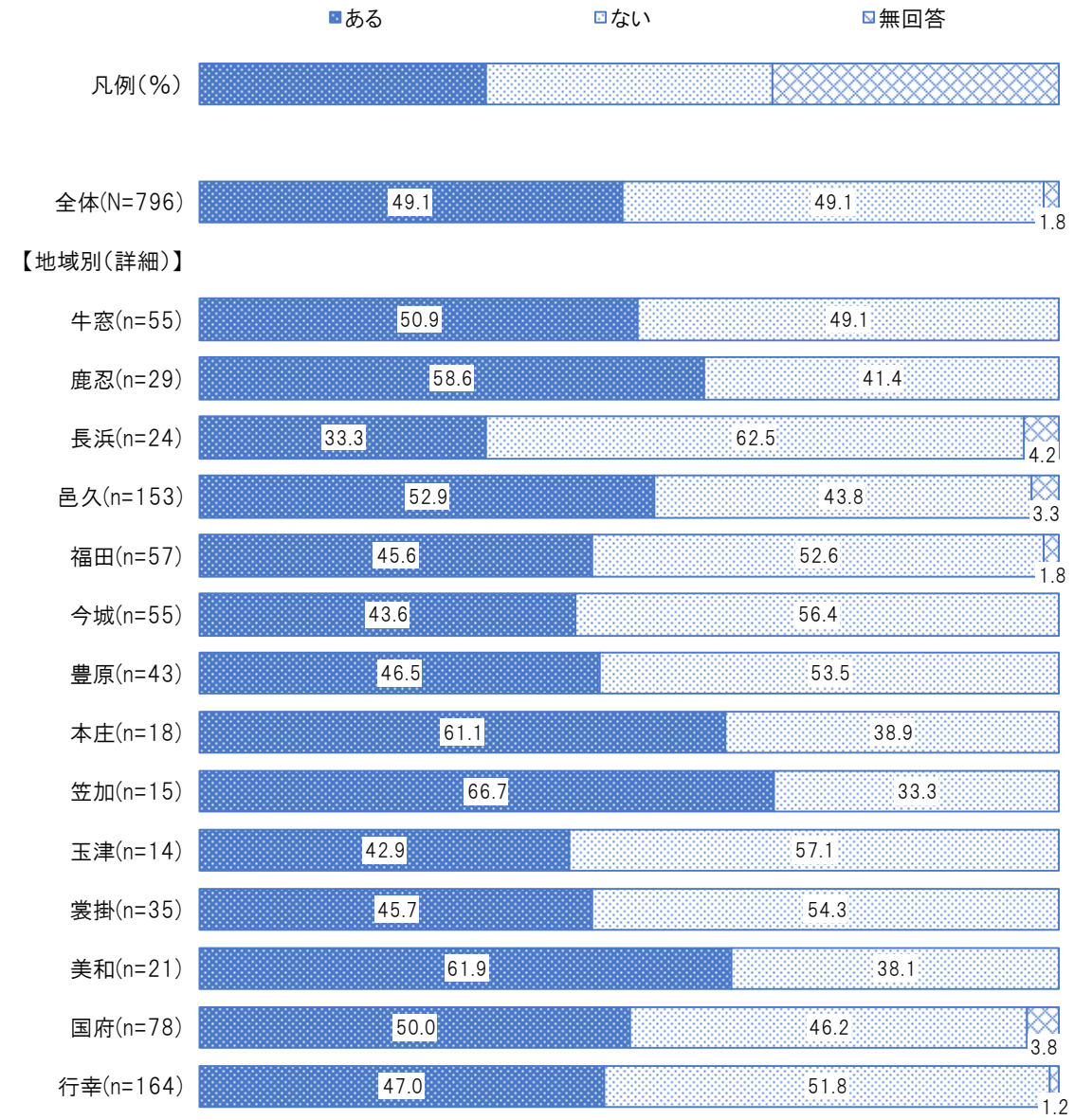


インターネット活用率別では、両方とも活用と回答した層の７割以上、携帯電話で活用と回答した層の半数以上が「ある」と回答している。

本市ホームページの情報有益度別では、役立っていないと回答した層の７割以上が「ない」と回答している。

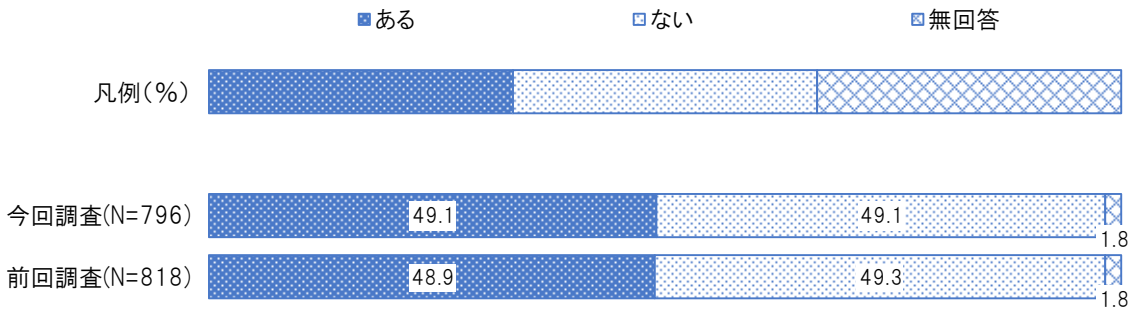


地域別でみると、「ある」は鹿忍、本庄、笠加、美和などで高く、「ない」は長浜で高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。

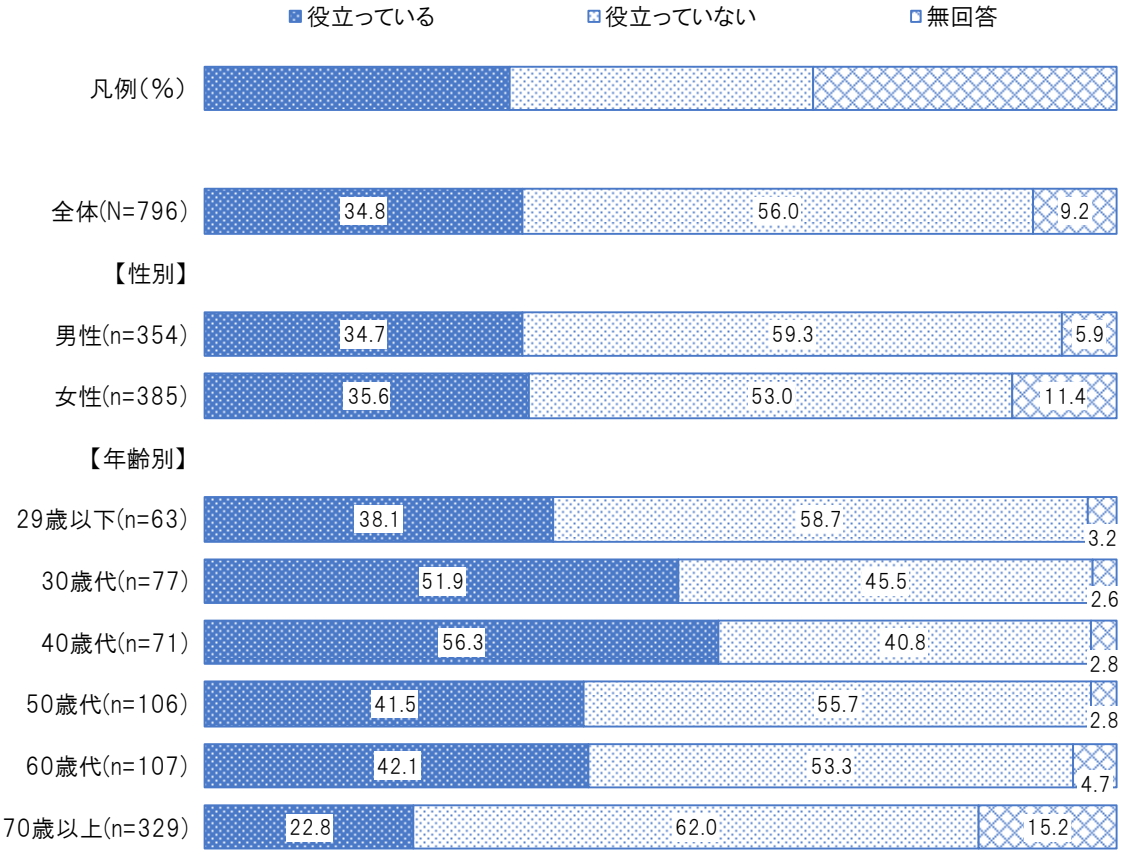


30　本市ホームページの情報の有益度

（30）あなたにとって、瀬戸内市ホームページの情報は役立っていますか

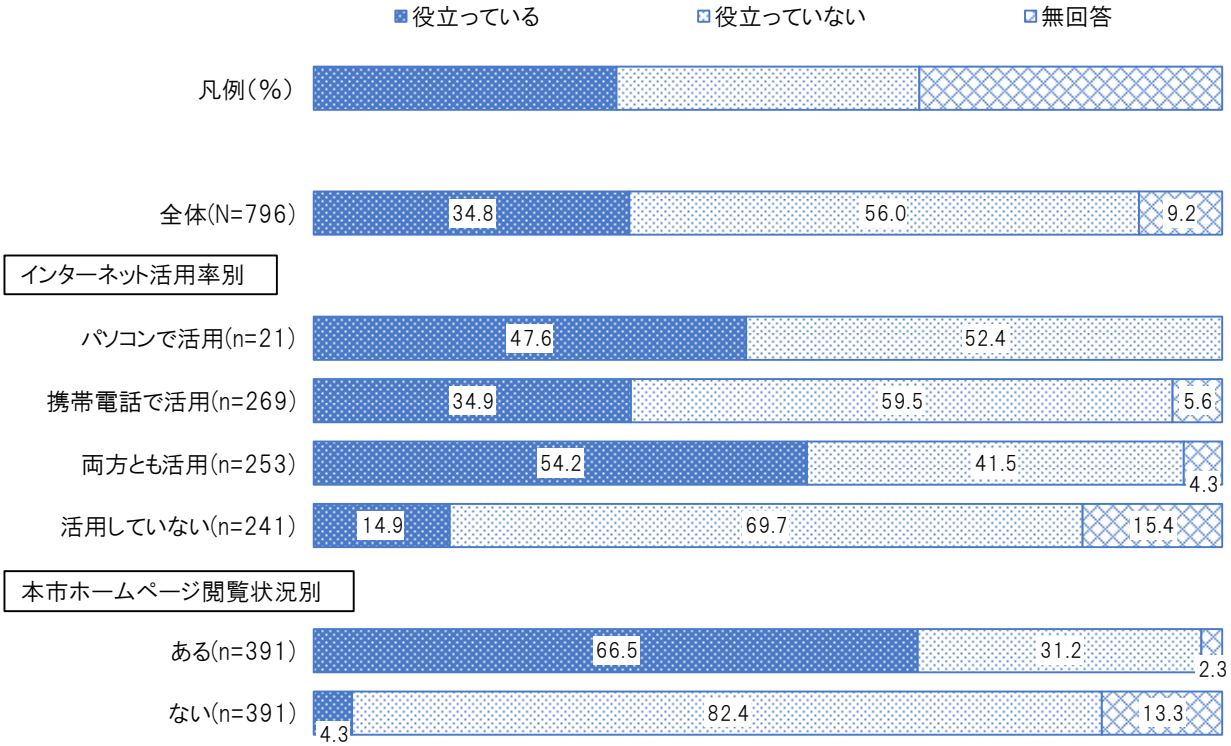
本市ホームページの情報の有益度については、「役立っている」が34.8%、「役立っていない」が56.0%であった。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では30～40歳代で「役立っている」の割合が高くなっている。

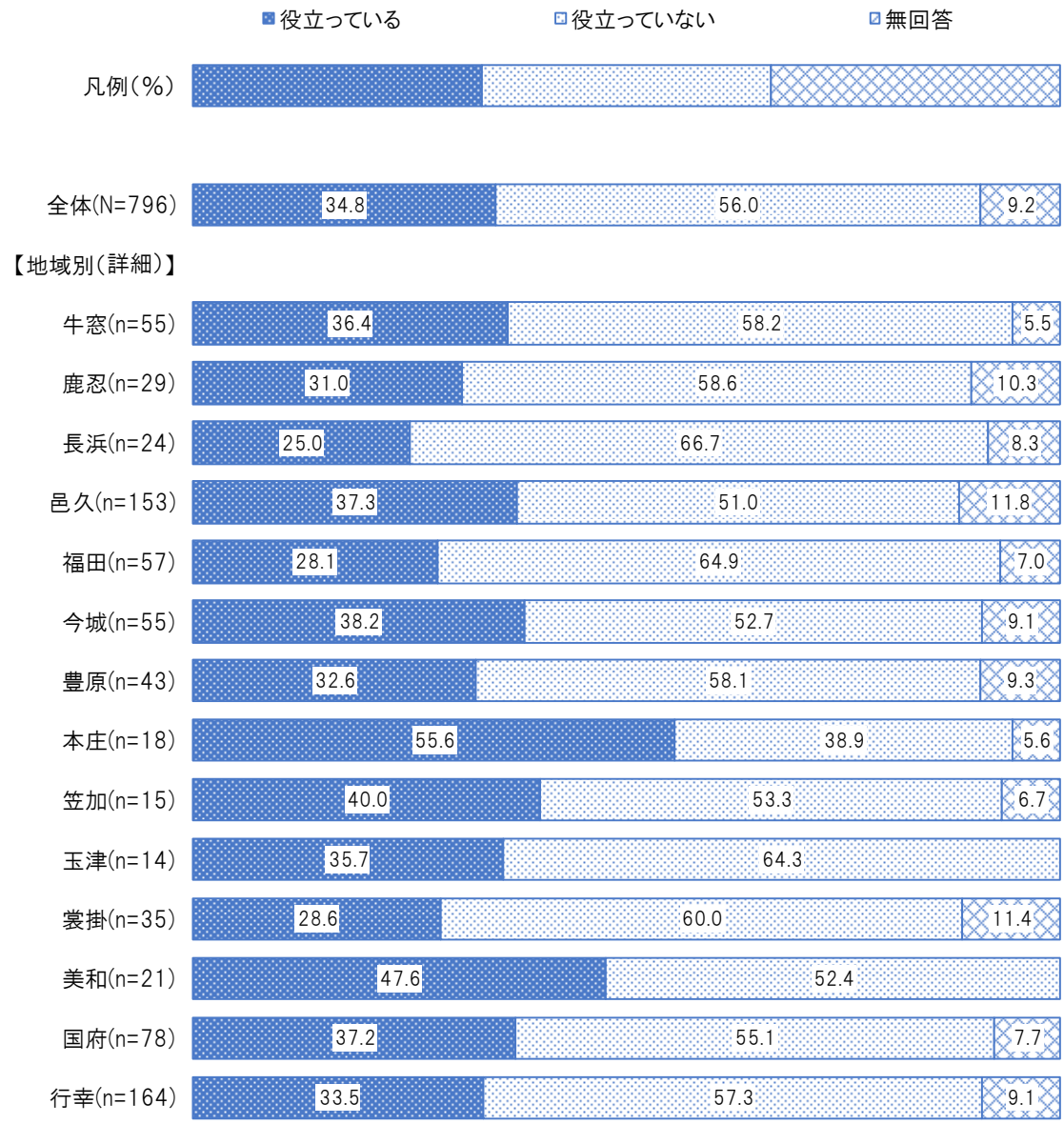


インターネット活用率別では、パソコンで活用、両方とも活用と回答した層の半数程度が「役立っている」と回答している。

本市ホームページ閲覧状況別では、あると回答した層の６割以上が「役立っている」と回答している。

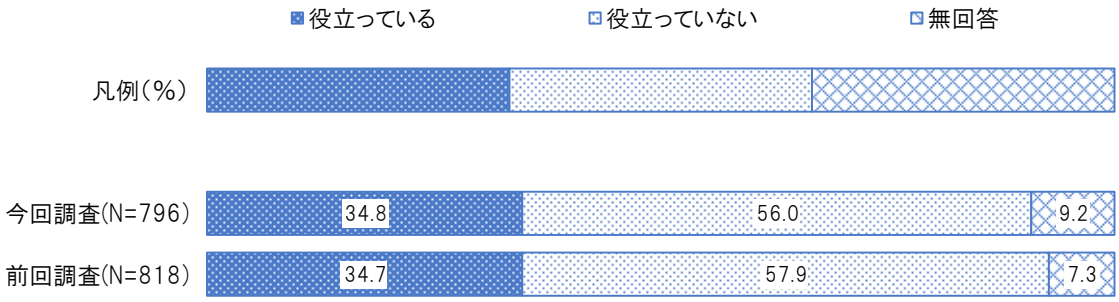


地域別でみると、「役立っている」は本庄、美和などで高く、「役立っていない」は長浜、福田、玉津などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



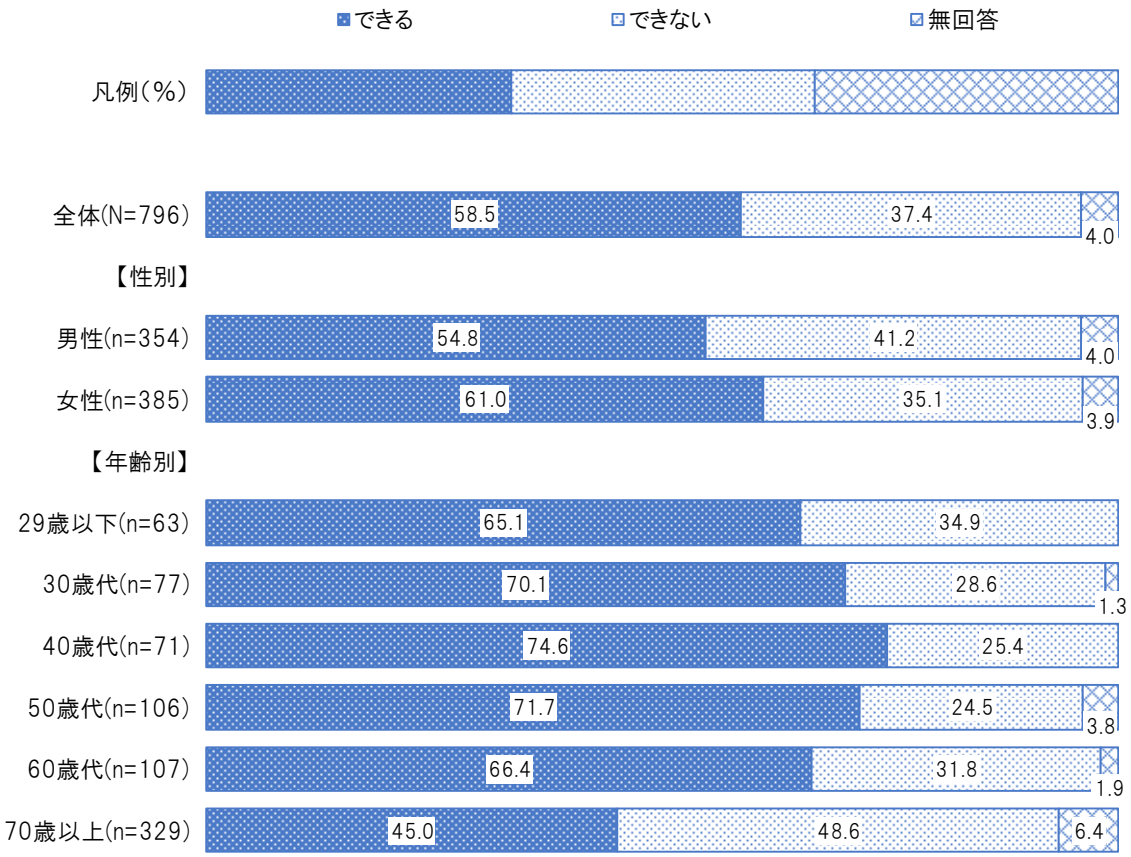
31　広報紙やホームページにより市の情報を入手すること

（31）あなたは、広報紙やホームページで必要な市の情報を手に入れることができますか

広報紙やホームページにより市の情報を入手することについては、「できる」が 58.5%、「できない」が 37.4%であった。

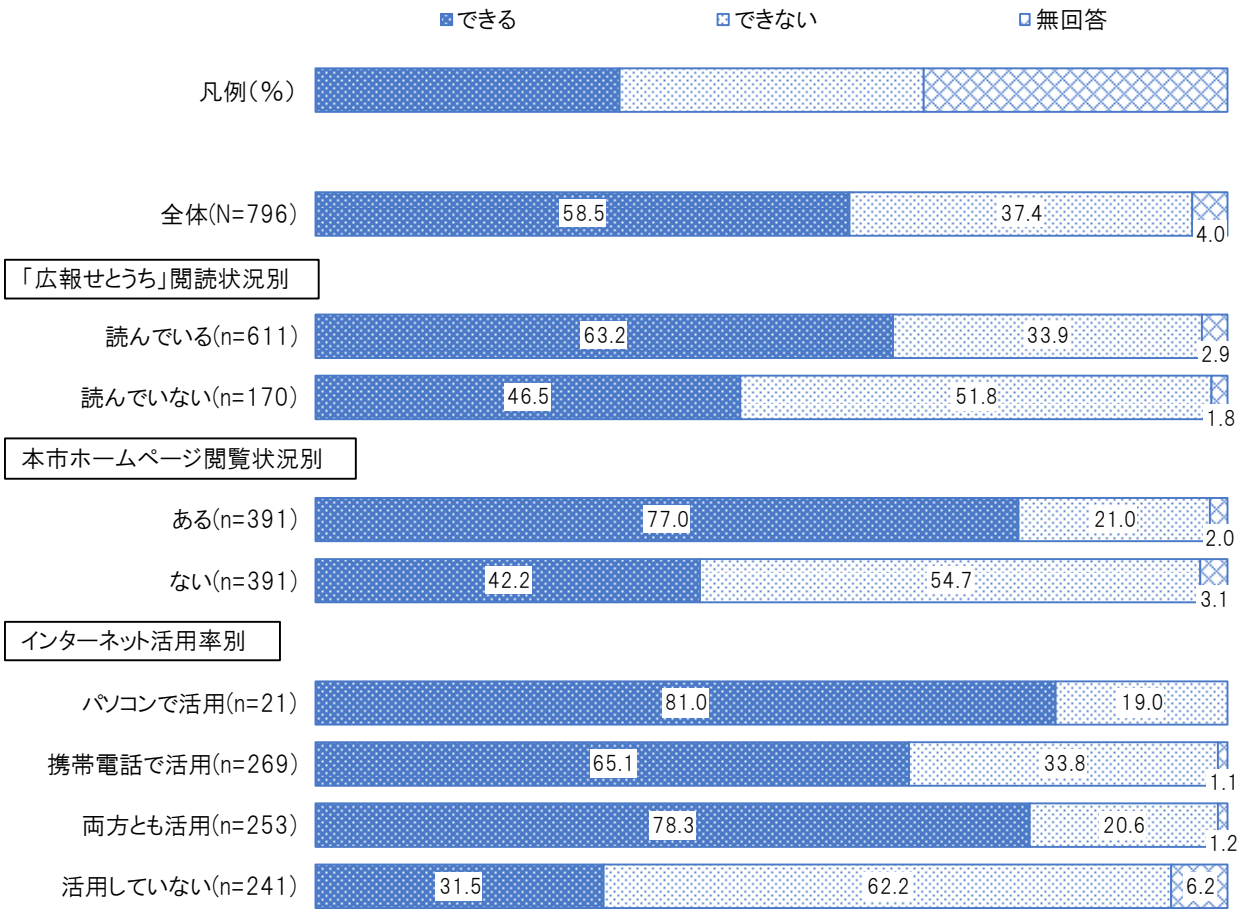
性別では、男性は女性に比べ「できない」の割合が高くなっている。

年齢別では、70 歳以上で「できない」の割合が高くなっている。

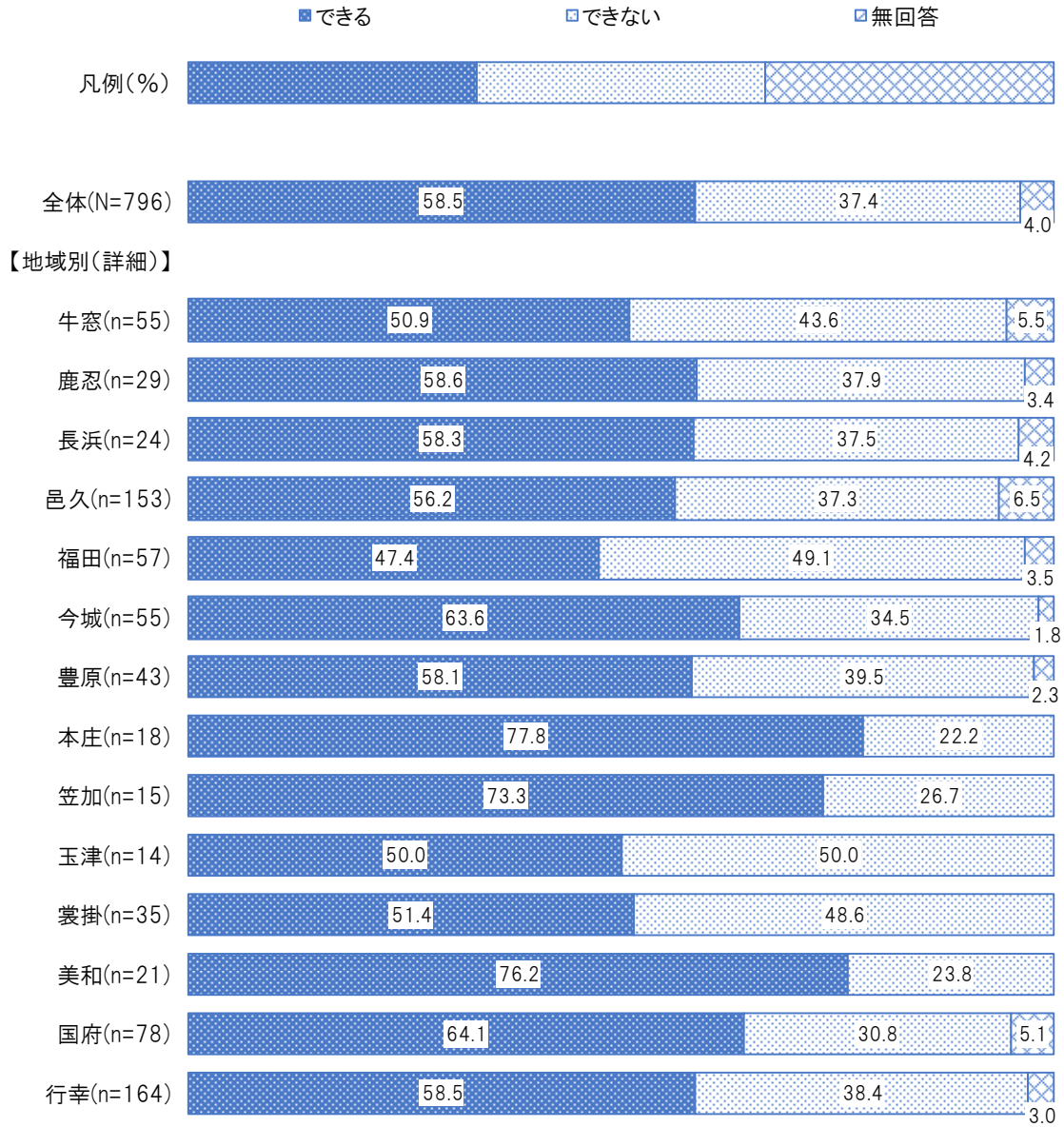


「できる」の割合は、広報せとうちを読んでいると回答した層で６割以上、本市ホームページ閲覧経験がある層で７割以上となっている。

インターネット活用率別では、パソコンで活用、両方とも活用と回答した層の約８割が「できる」と回答している。

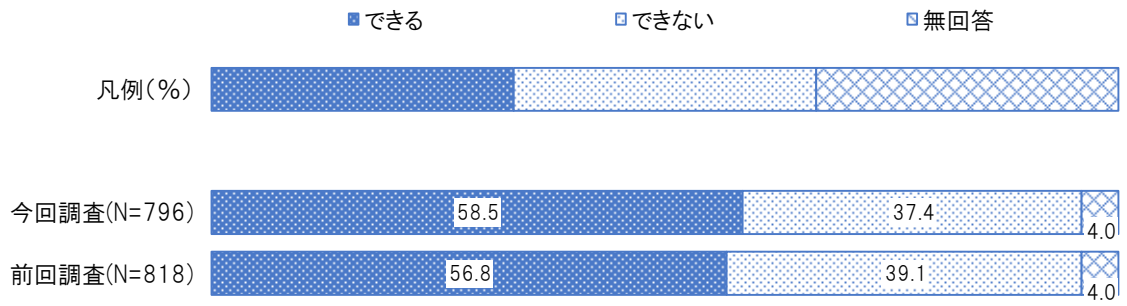


地域別でみると、「できる」は本庄、笠加、美和などで高く、「できない」は福田、玉津、裳掛などで高くなっている。



【前回調査との比較】

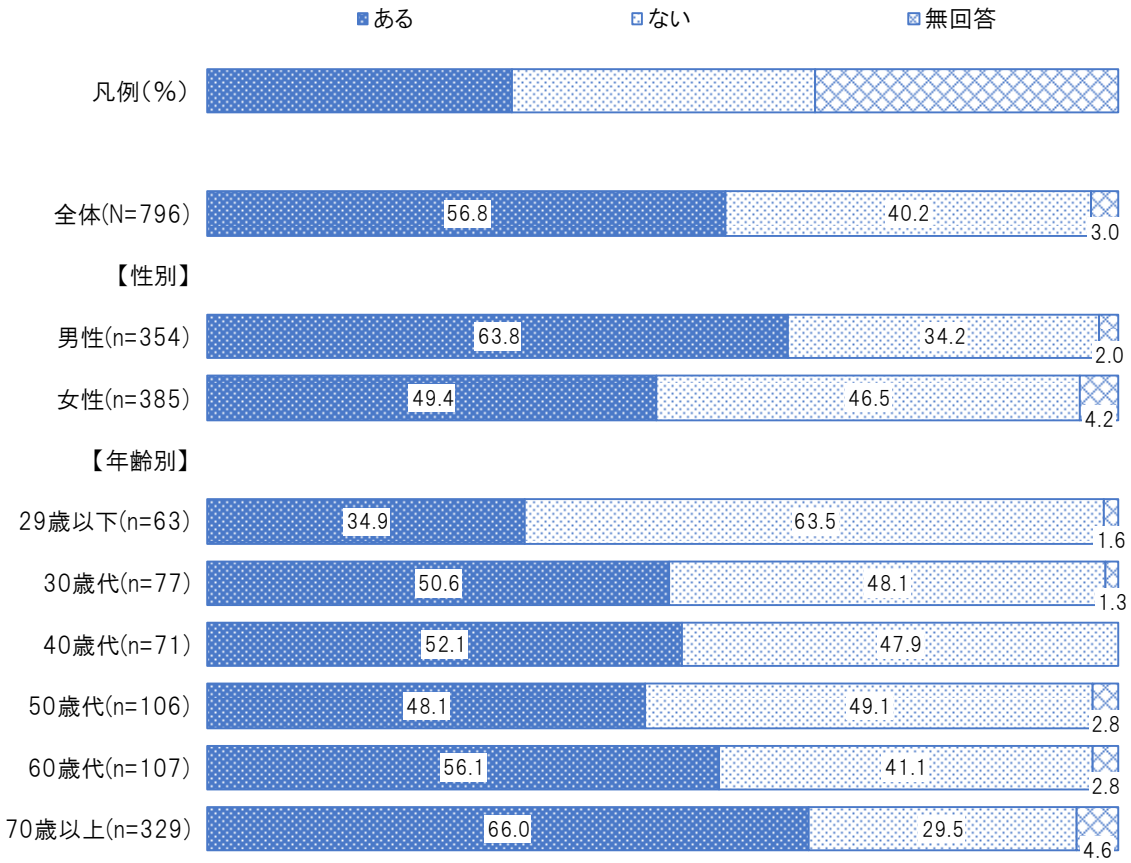
前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



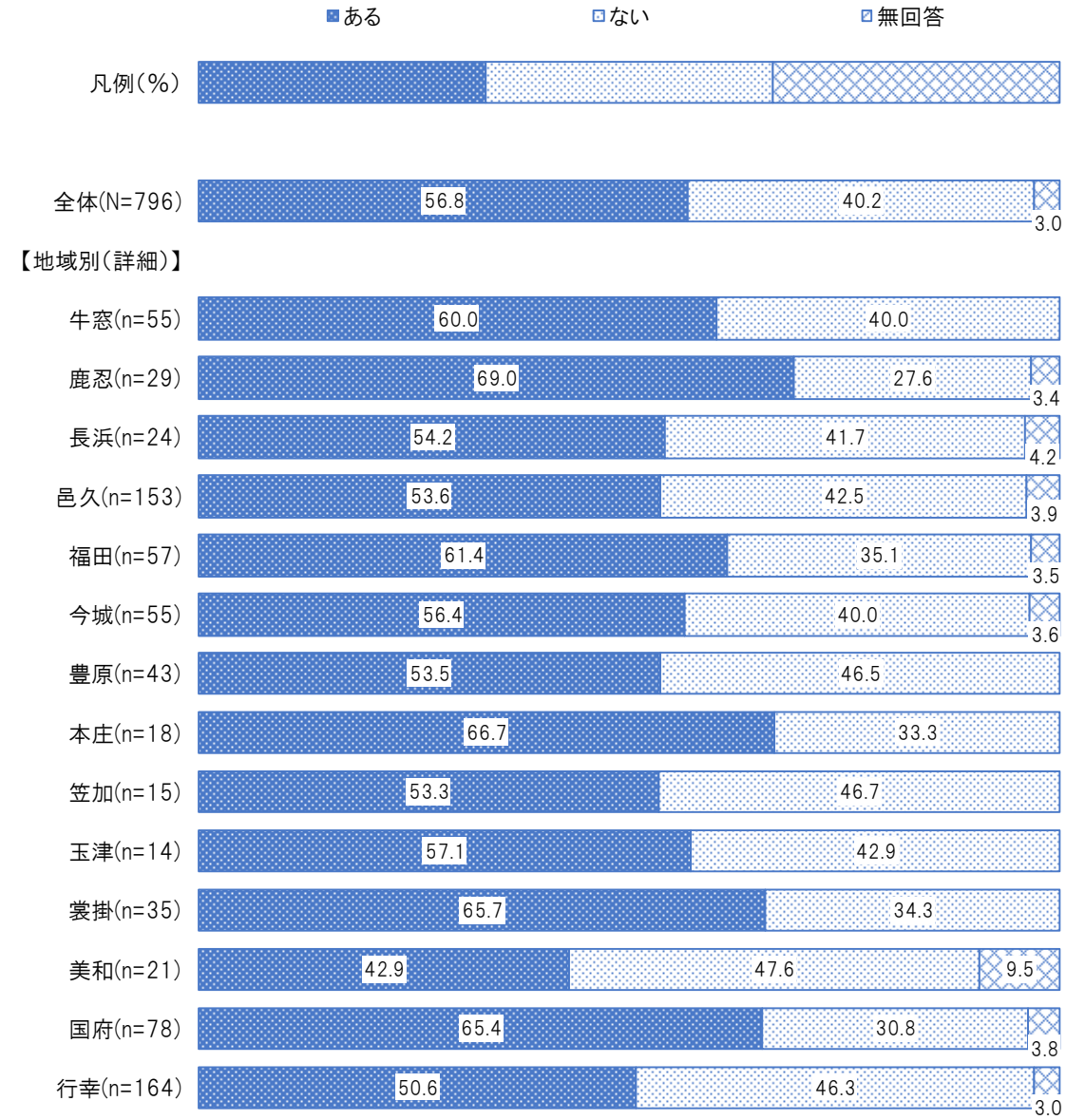
32　市政への関心度

（32）あなたは、市政に関心がありますか

市政への関心については、「ある」が 56.8%、「ない」が 40.2%であった。
性別では、男性は「ある」の割合が女性を大きく上回っている。
年齢別では、70 歳以上で「ある」の割合が高くなっている。

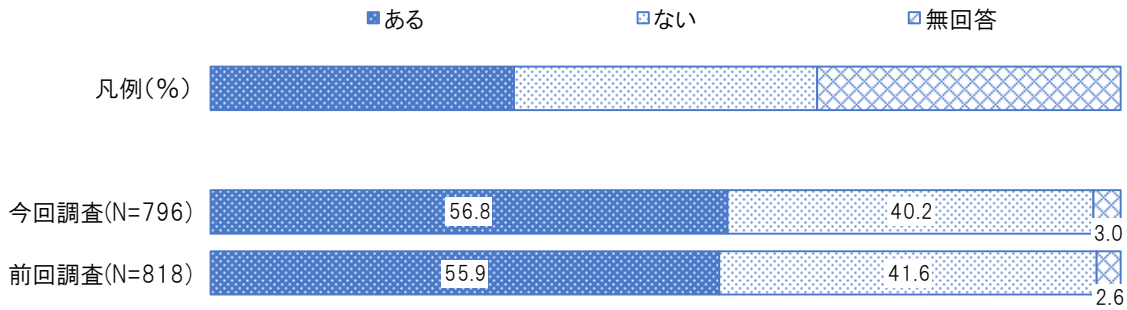


地域別でみると、「ある」は鹿忍、本庄、裳掛、国府などで高く、「ない」は豊原、笠加、美和、行幸などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。



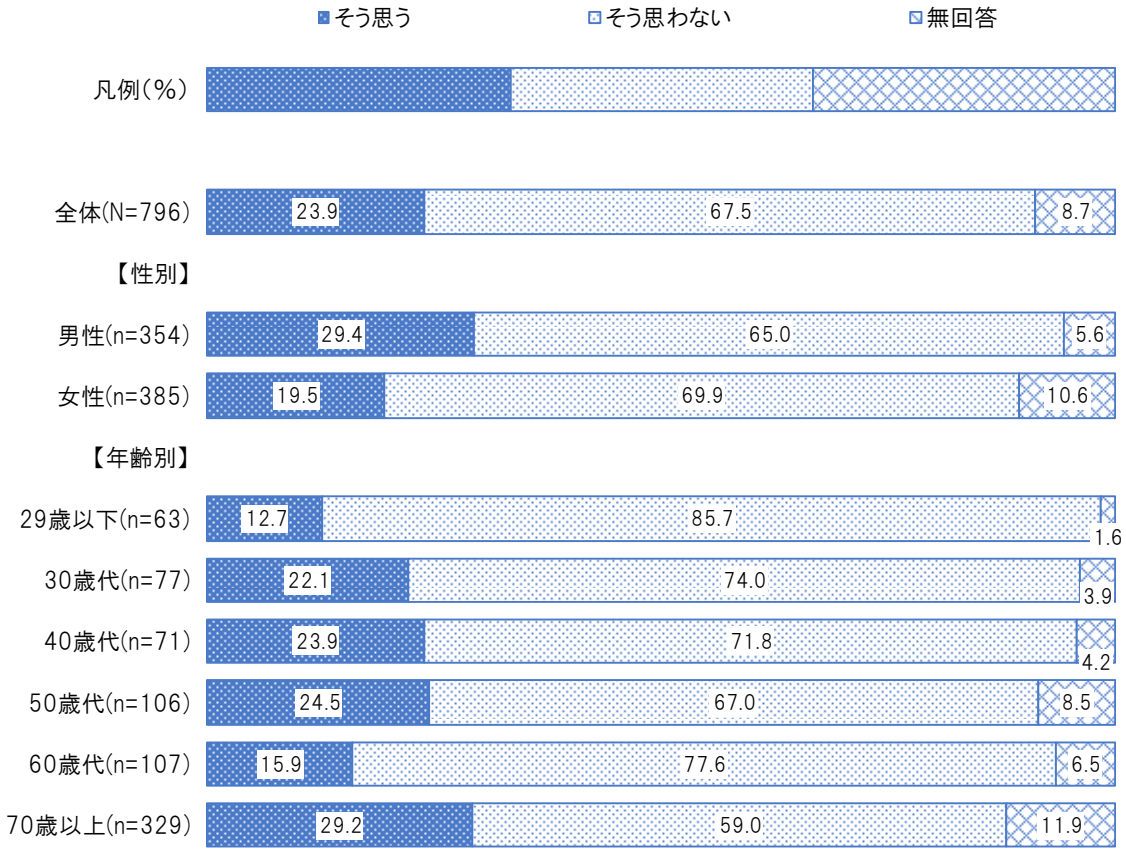
33　市の財政改善状況について

（33）広報紙やホームページを通じて市の財政状況を公表していますが、あなたは、市の財政が改善されていると思いますか

市の財政改善状況については、「そう思う」が 23.9%、「そう思わない」が 67.5%であった。

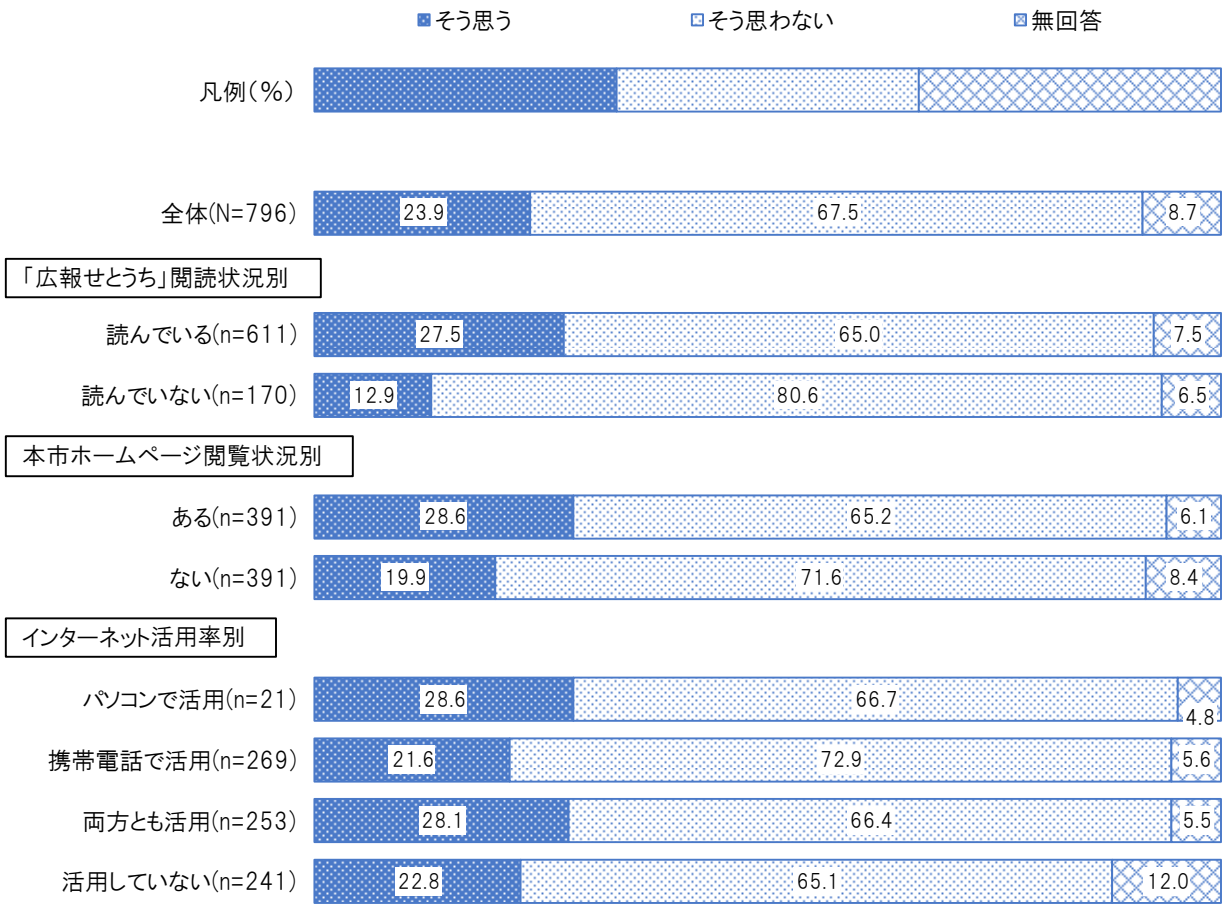
性別では、男性は「そう思う」の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、29 歳以下で「そう思わない」の割合が高くなっている。

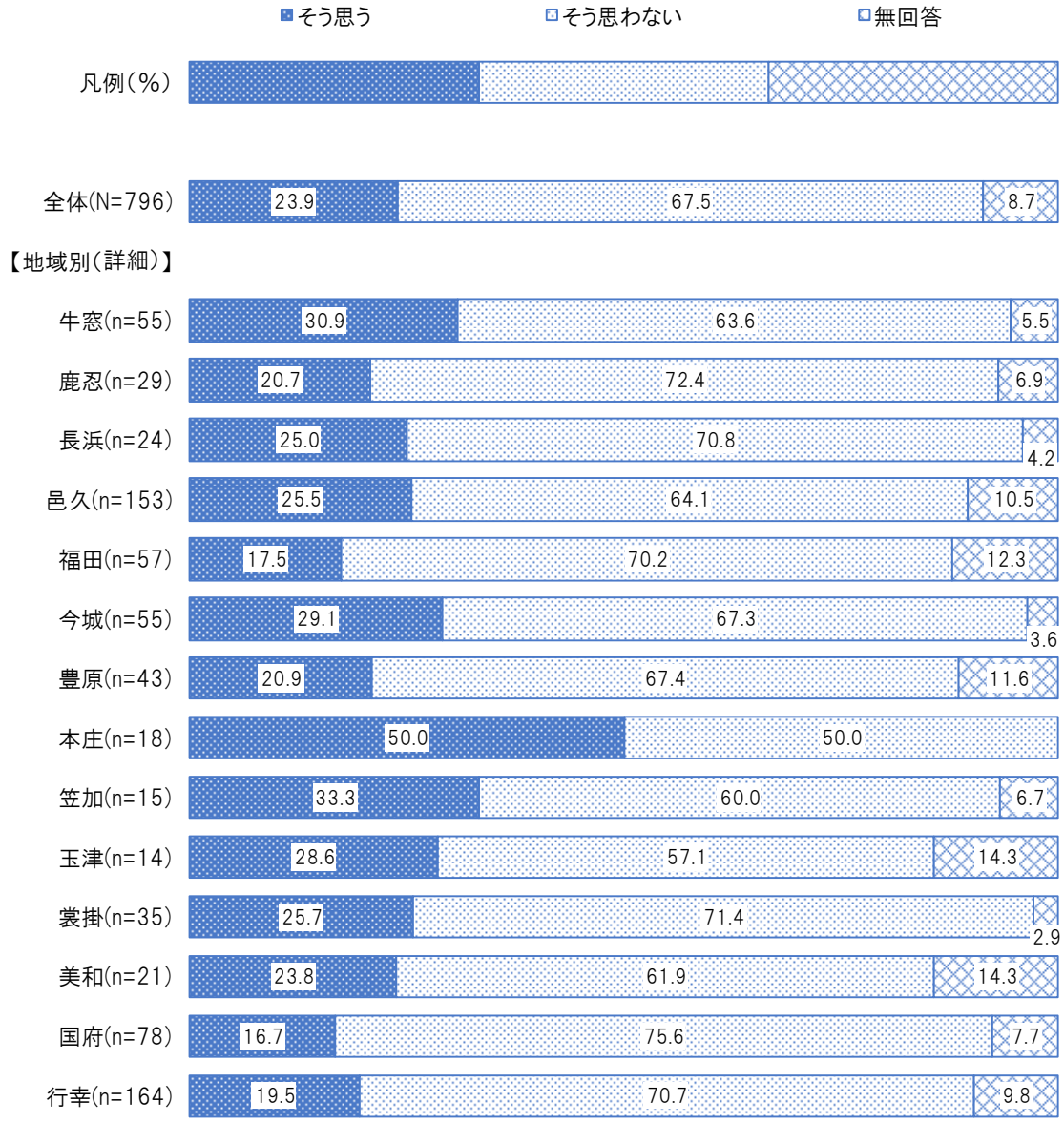


「そう思う」の割合は、広報せとうちを読んでいると回答した層、本市ホームページ閲覧経験があると回答した層で、それぞれ３割程度となっている。

インターネット活用率別では、パソコンで活用、両方とも活用と回答した層の約３割が「そう思う」と回答している。

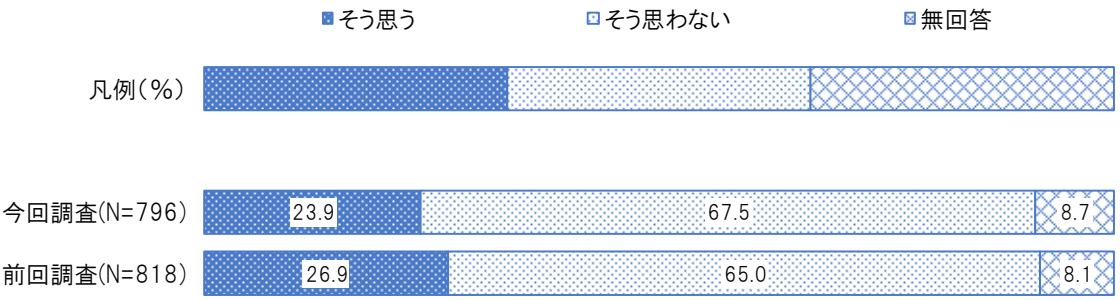


地域別でみると、「そう思う」は本庄で高く、「そう思わない」は鹿忍、裳掛、国府などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「そう思う」がやや減少している。



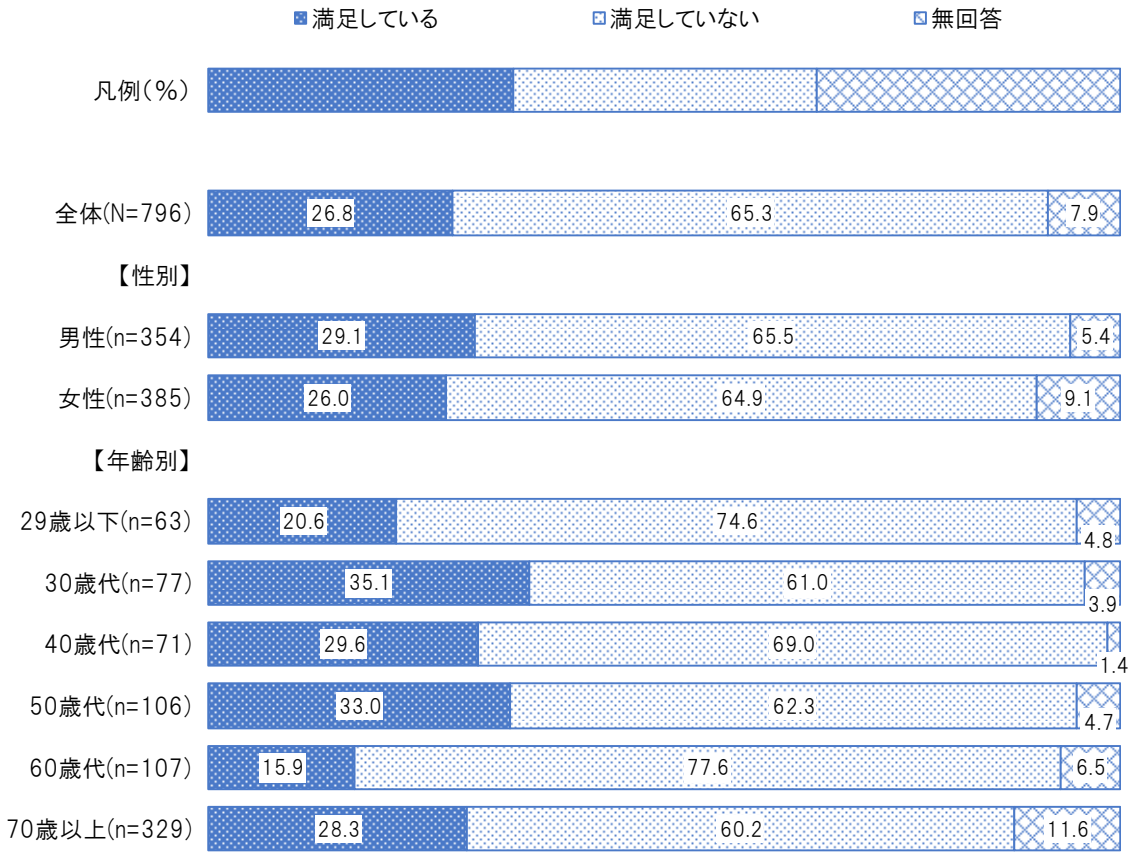
34　市役所が行うまちづくりの取り組みへの満足感

（34）あなたは、市役所が行うまちづくりの取り組みについて満足していますか

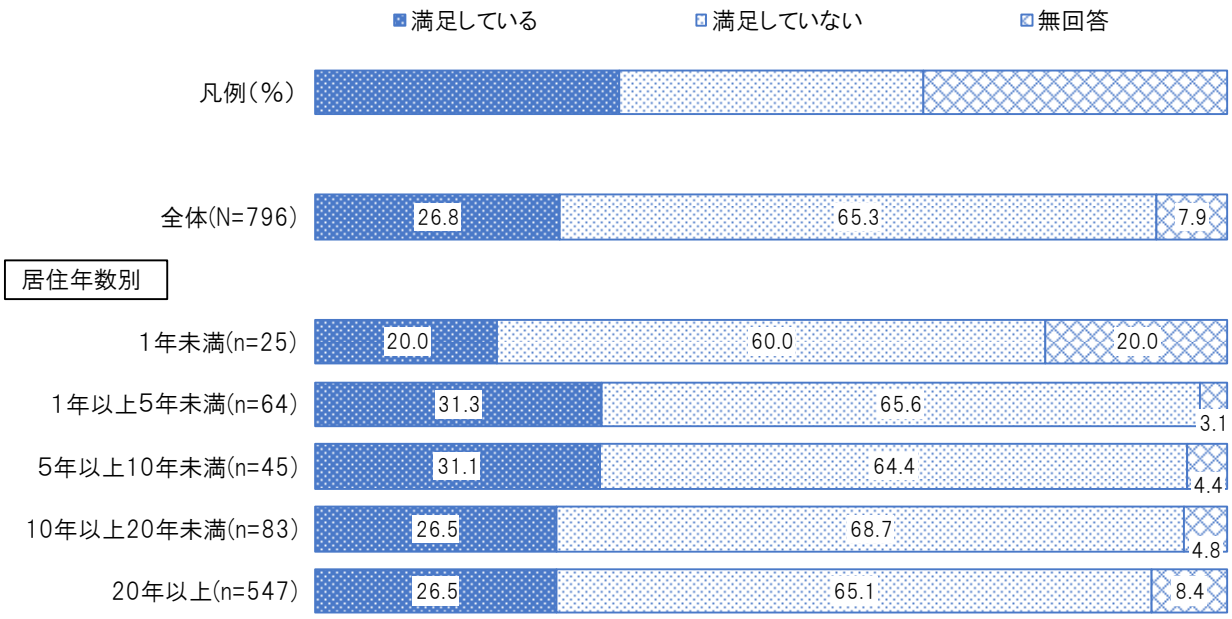
市役所が行うまちづくりの取り組みへの満足感については、「満足している」が26.8%、「満足していない」が65.3%であった。

性別では、男性は女性に比べ「満足している」の割合がやや高くなっている。

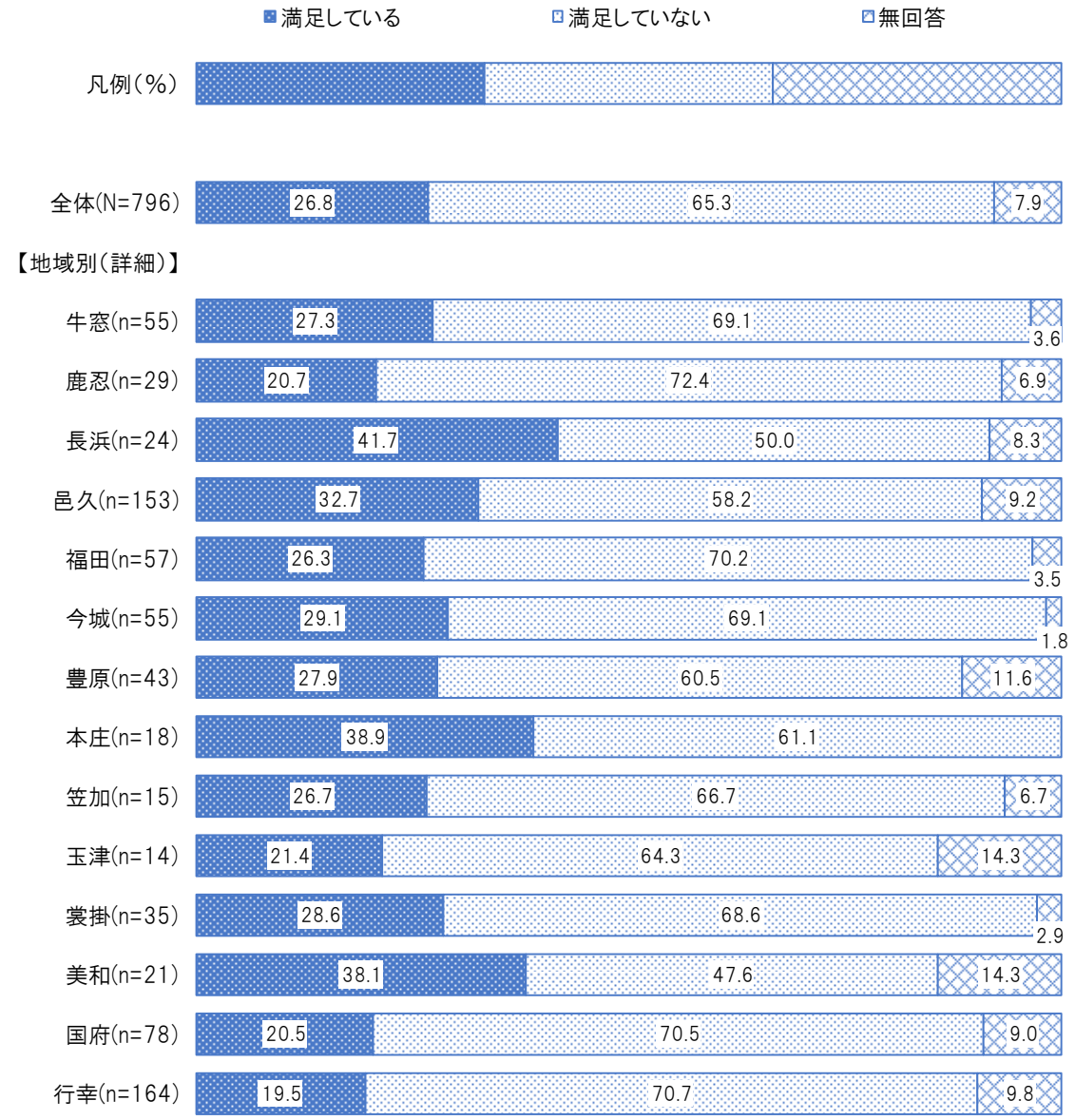
年齢別では、29歳以下や60歳代で「満足していない」の割合が高くなっている。



居住年数別では、１年以上～10 年未満の層で「満足している」の割合がやや高くなっている。

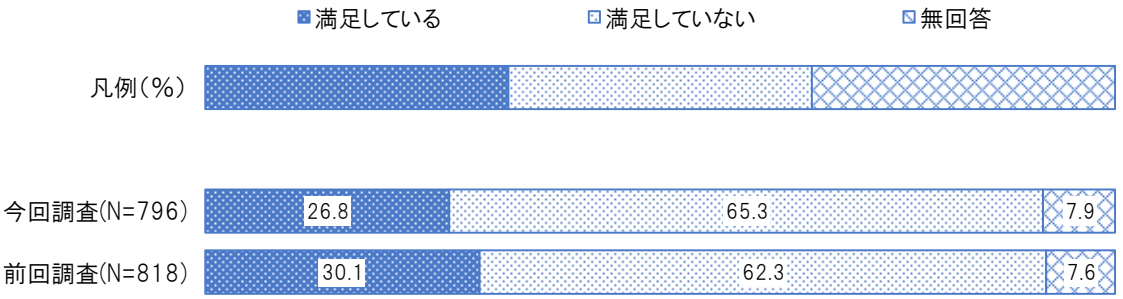


地域別でみると、「満足している」は長浜、本庄、美和などで高く、「満足していない」は鹿忍、福田、国府、行幸などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「満足していない」がやや増加している。



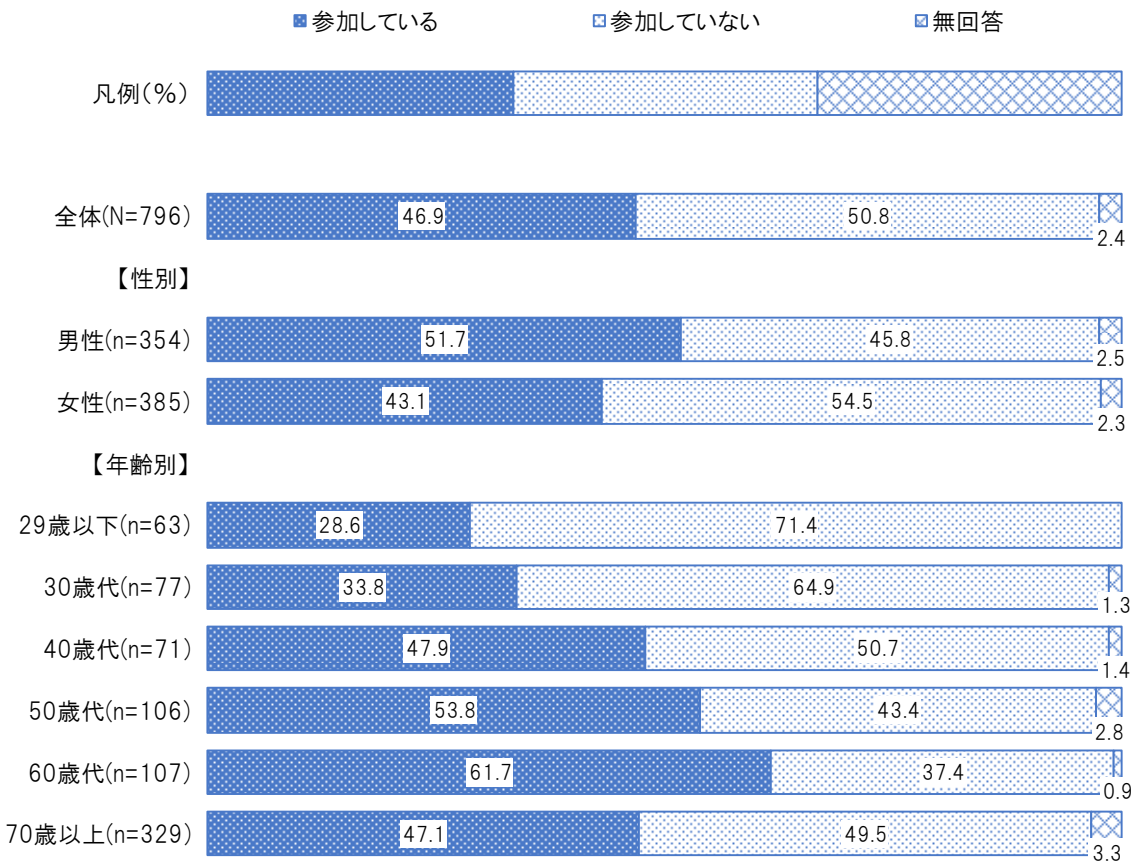
35　地域コミュニティ活動参加状況

（35）あなたは、自治会などでの地域コミュニティ活動に参加していますか

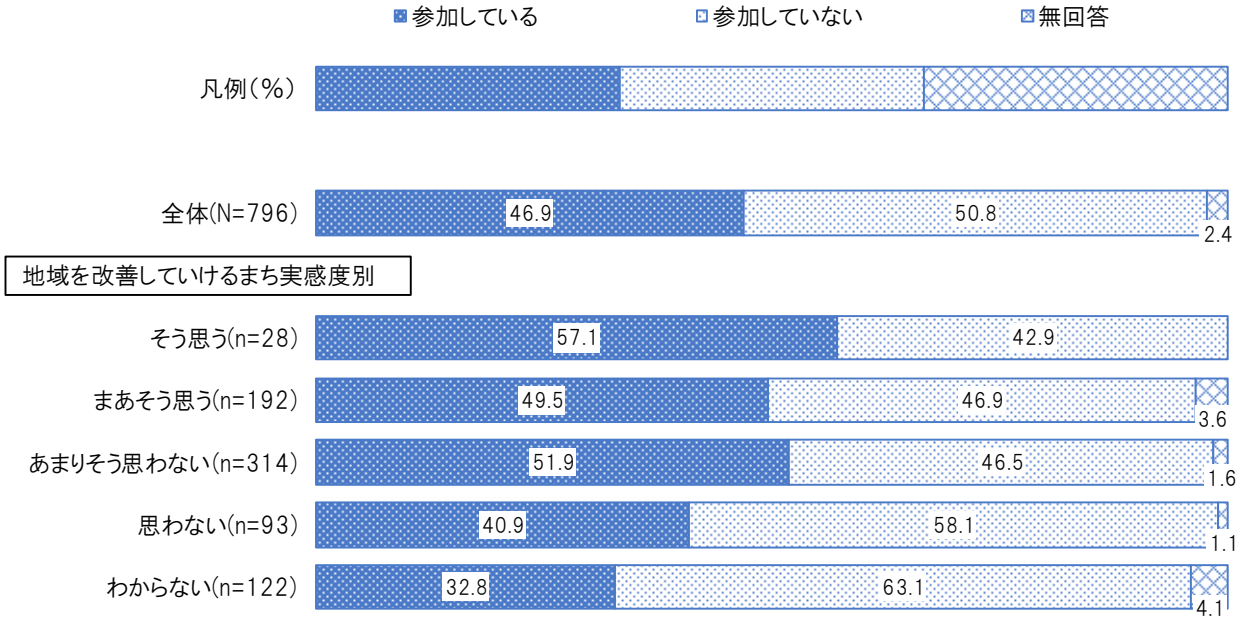
地域コミュニティ活動参加状況については、「参加している」が46.9%、「参加していない」が50.8%であった。

性別では、男性は女性に比べ「参加している」の割合が高くなっている。

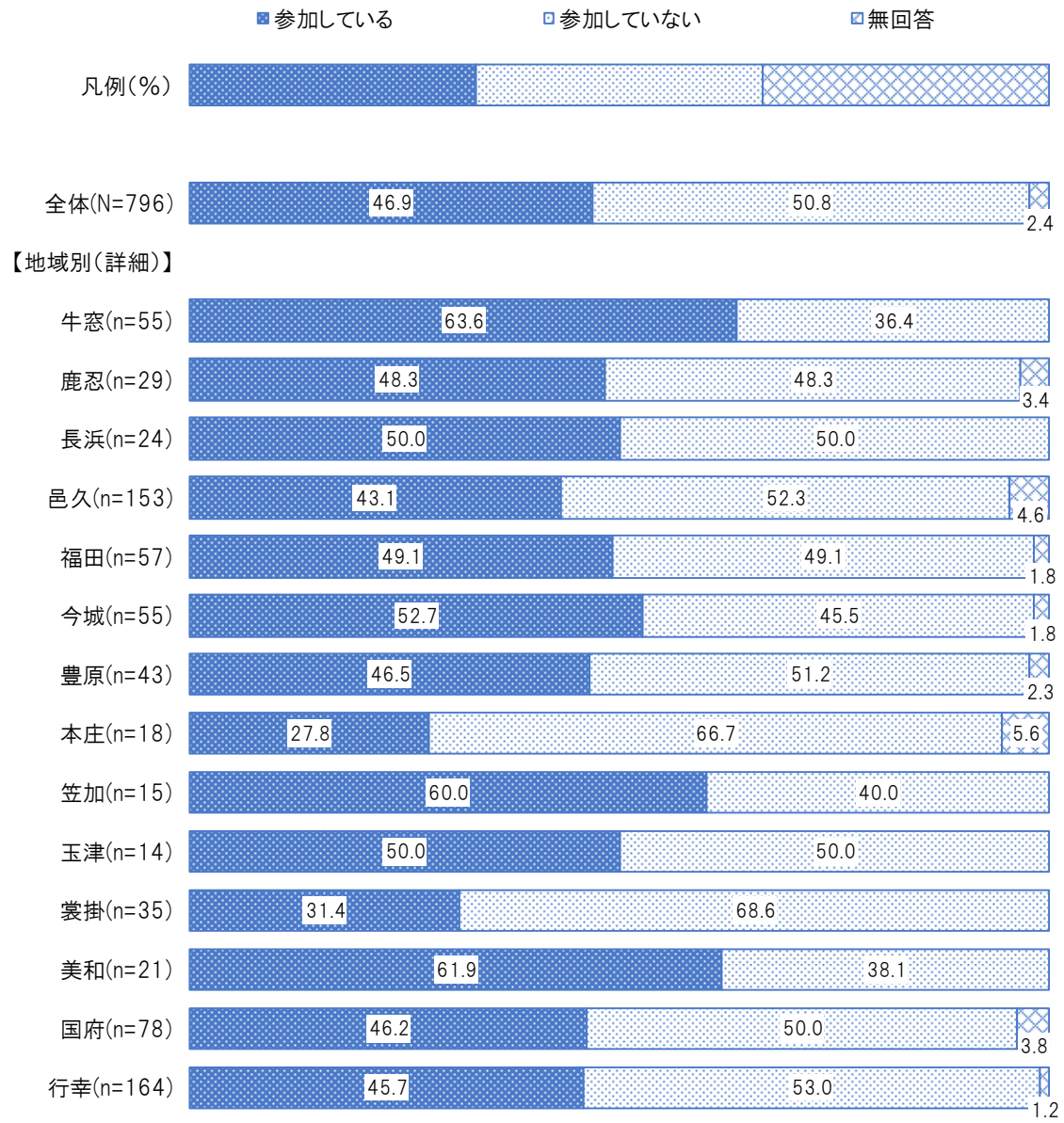
年齢別では、おおむね年齢が上がるほど「参加している」の割合が高くなっており、29歳以下では約７割が「参加していない」と回答している。



地域を改善していけるまち実感度別では、わからないと回答した層で「参加していない」の割合が高くなっている。

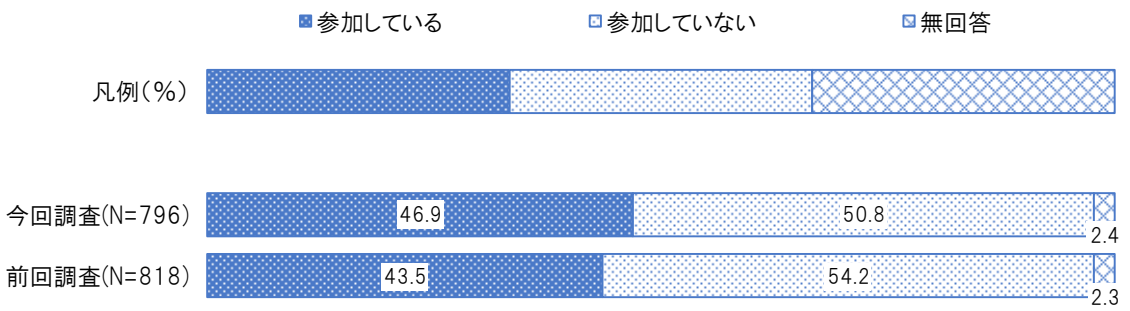


地域別でみると、「参加している」は牛窓、笠加、美和などで高く、「参加していない」は本庄、裳掛などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「参加している」がやや増加している。

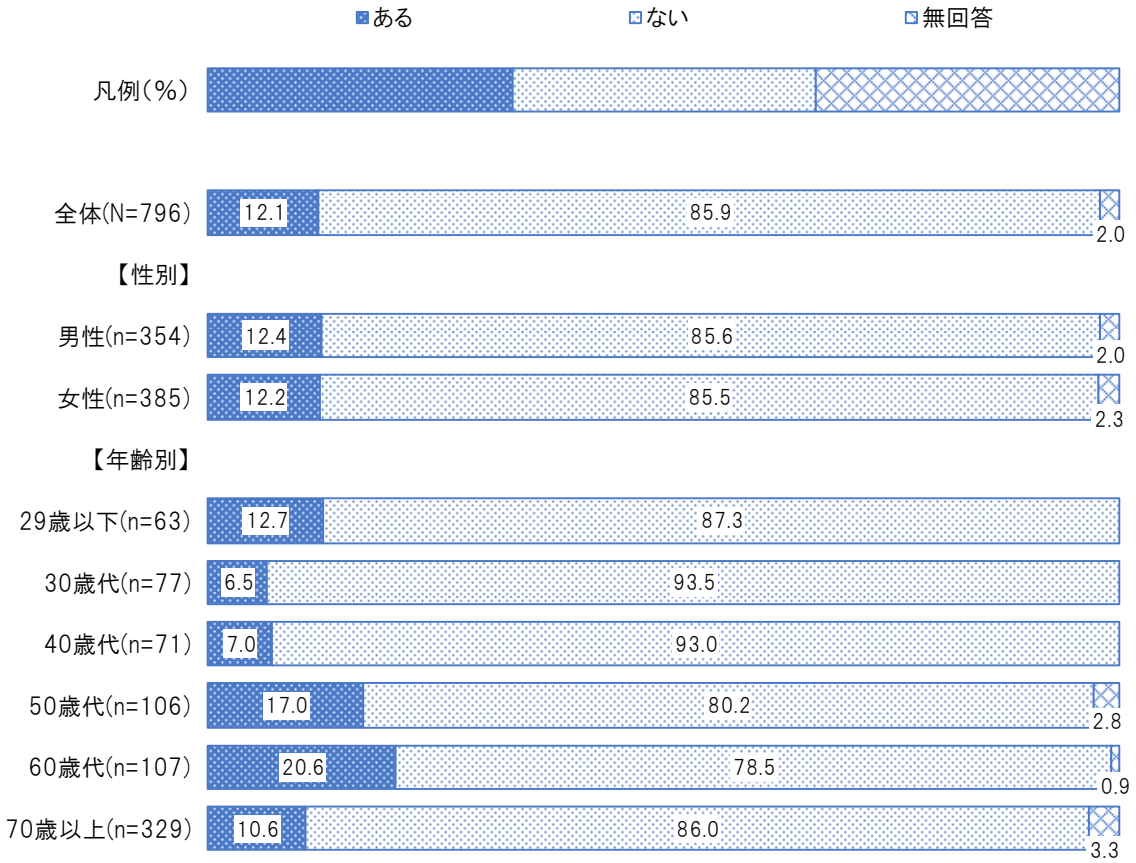


36　ボランティア・ＮＰＯ活動参加経験

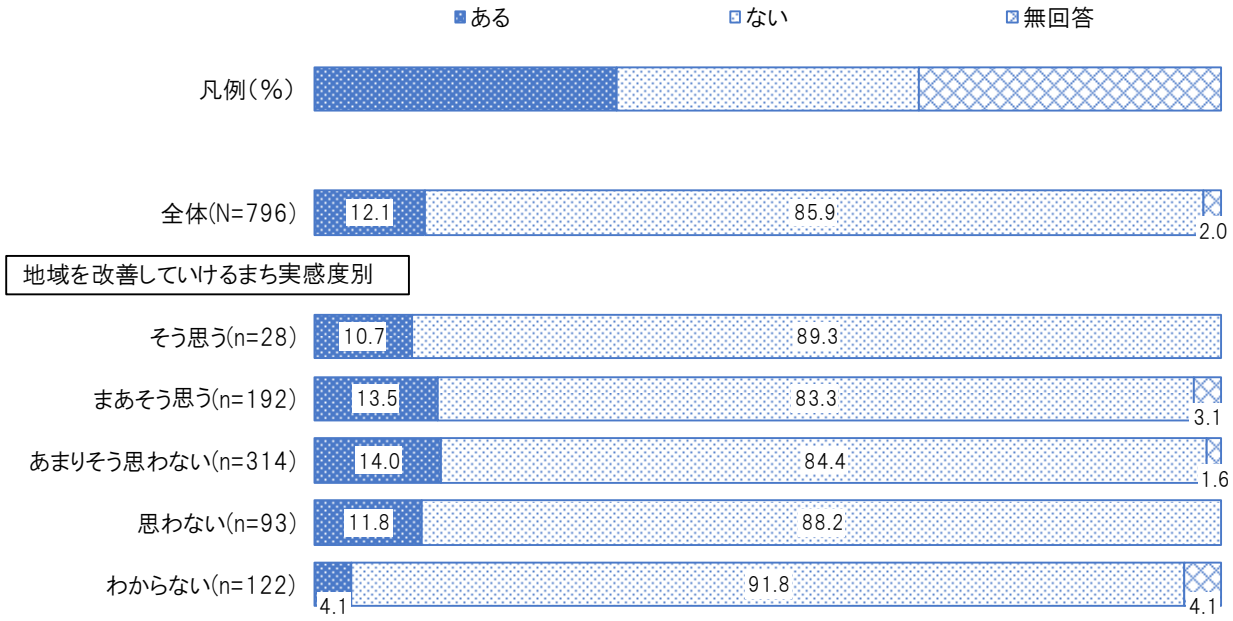
（36）あなたは、過去１年間にボランティア、ＮＰＯ活動に参加したことがありますか

ボランティア・ＮＰＯ活動参加経験については、「ある」が 12.1%、「ない」が 85.9%であった。

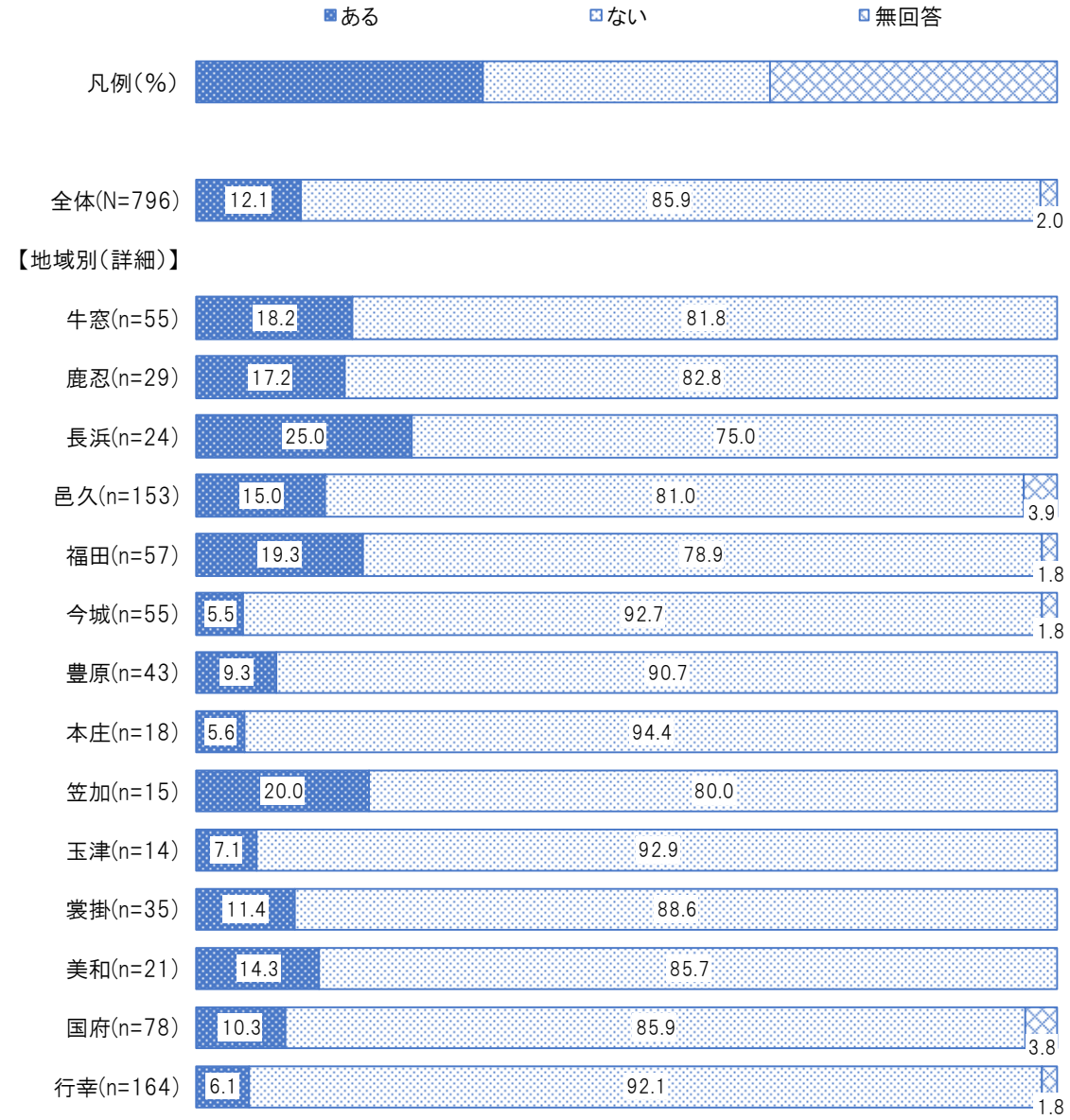
性別では大きな差はみられないが、年齢別では 50～60 歳代で「ある」の割合が高くなっている。



地域を改善していけるまち実感度別では、わからないと回答した層で「ない」の割合がやや高くなっている。

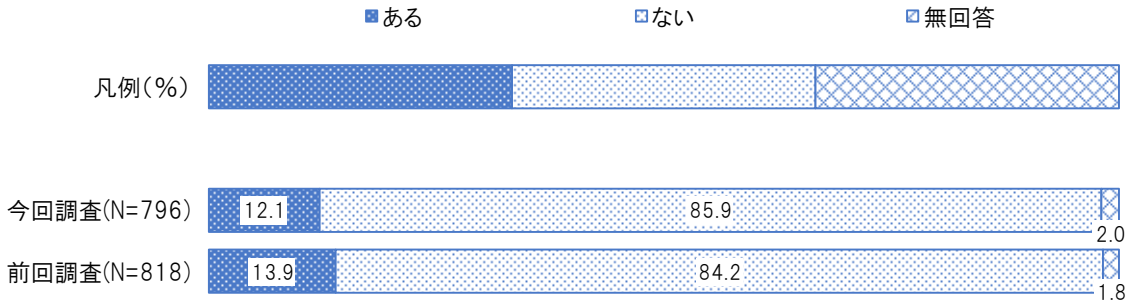


地域別でみると、「ある」は長浜で高く、「ない」は今城、豊原、本庄、玉津、行幸などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、大きな変化はみられない。

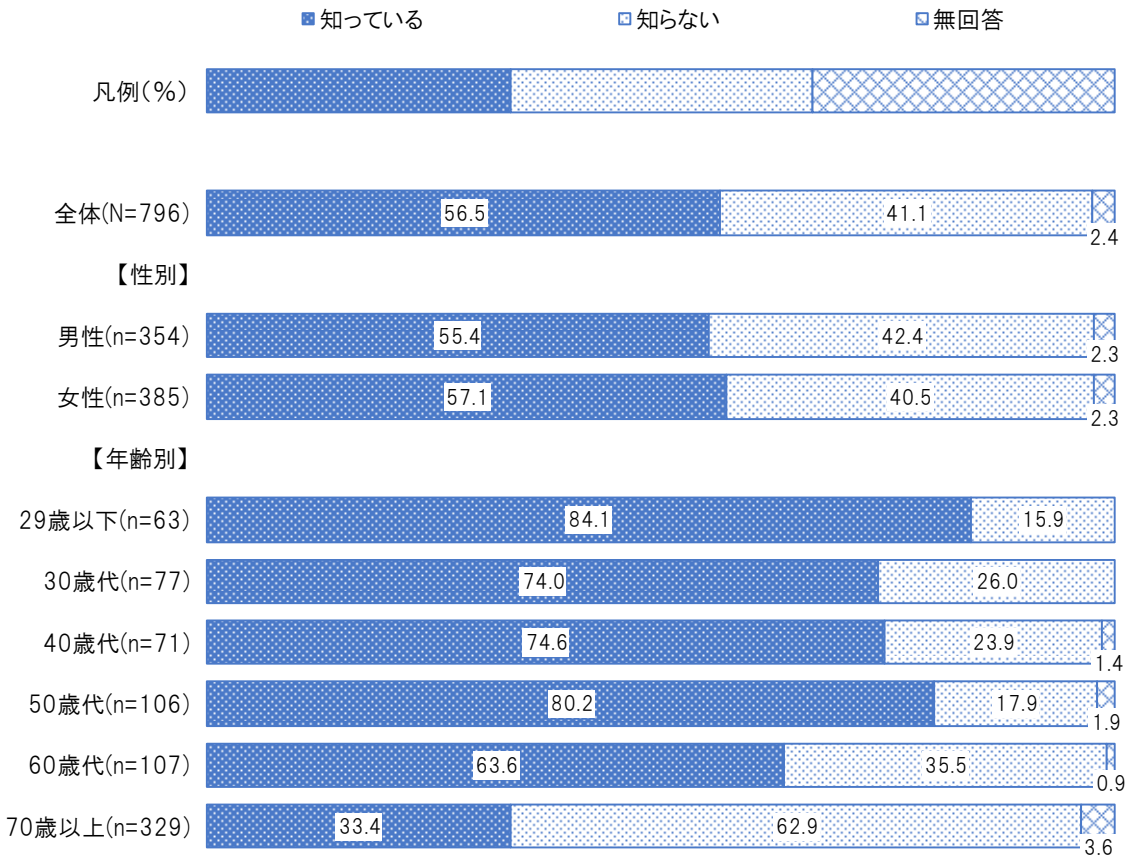


37　ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の認知度

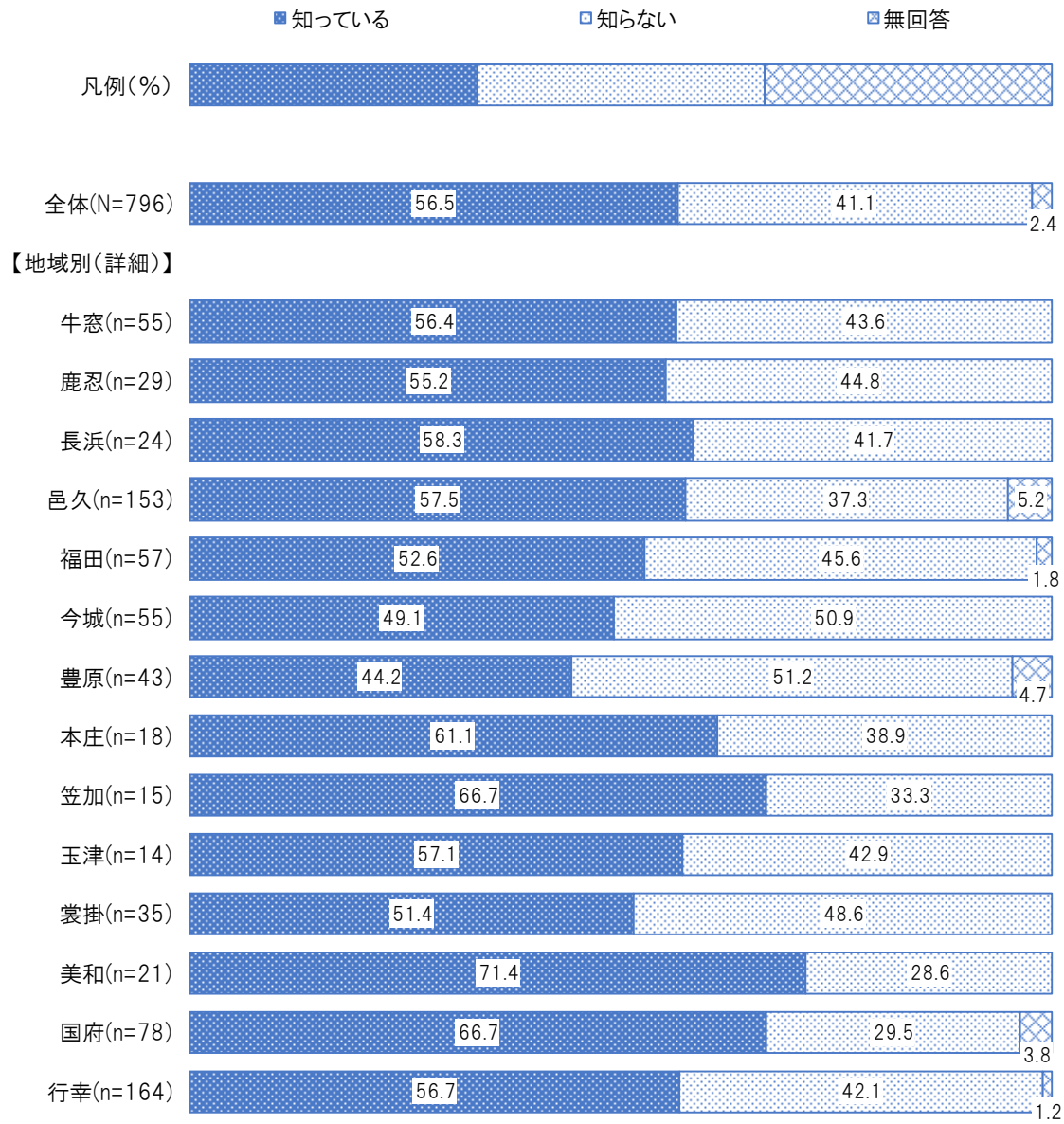
（37）あなたは、SDGs（持続可能な開発目標）について知っていますか

ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の認知度については、「知っている」が 56.5%、「知らない」が 41.1%であった。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では 29 歳以下で「知っている」の割合が高くなっている。

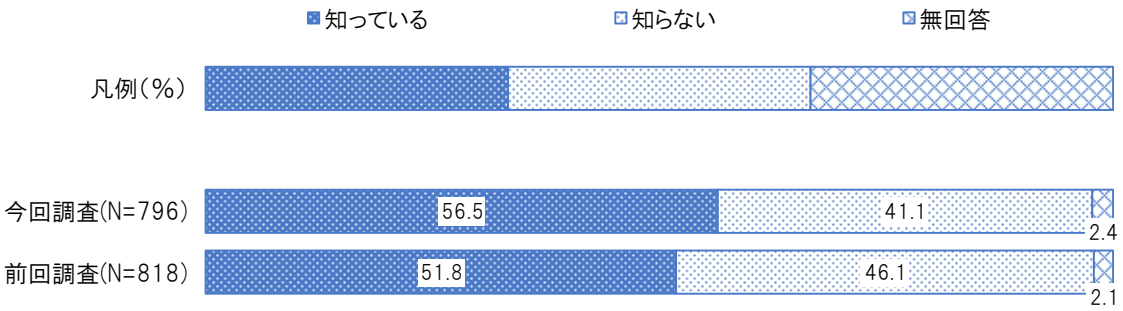


地域別でみると、「知っている」は笠加、美和、国府などで高く、「知らない」は今城、豊原、裳掛などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「知っている」が増加している。



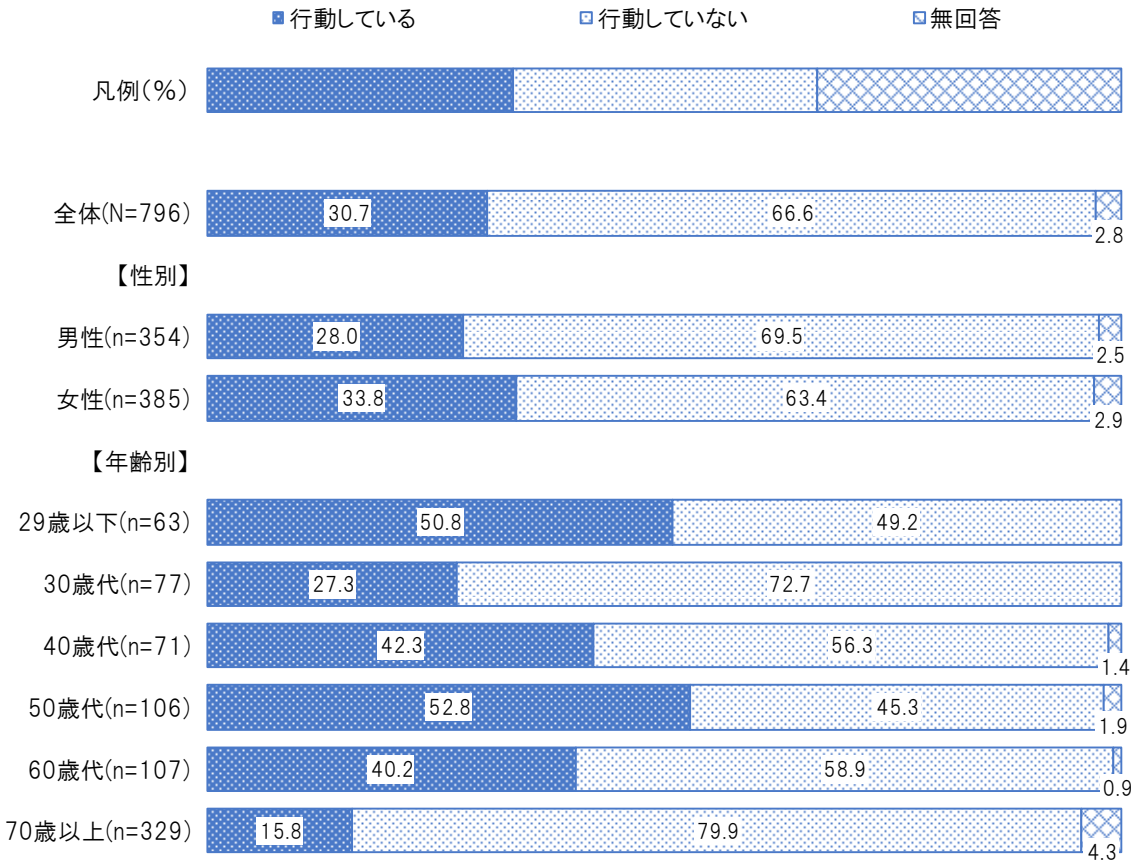
38　ＳＤＧｓの目標達成のための行動について

（38）あなたは、SDGs の目標達成のために何らかの行動をしていますか

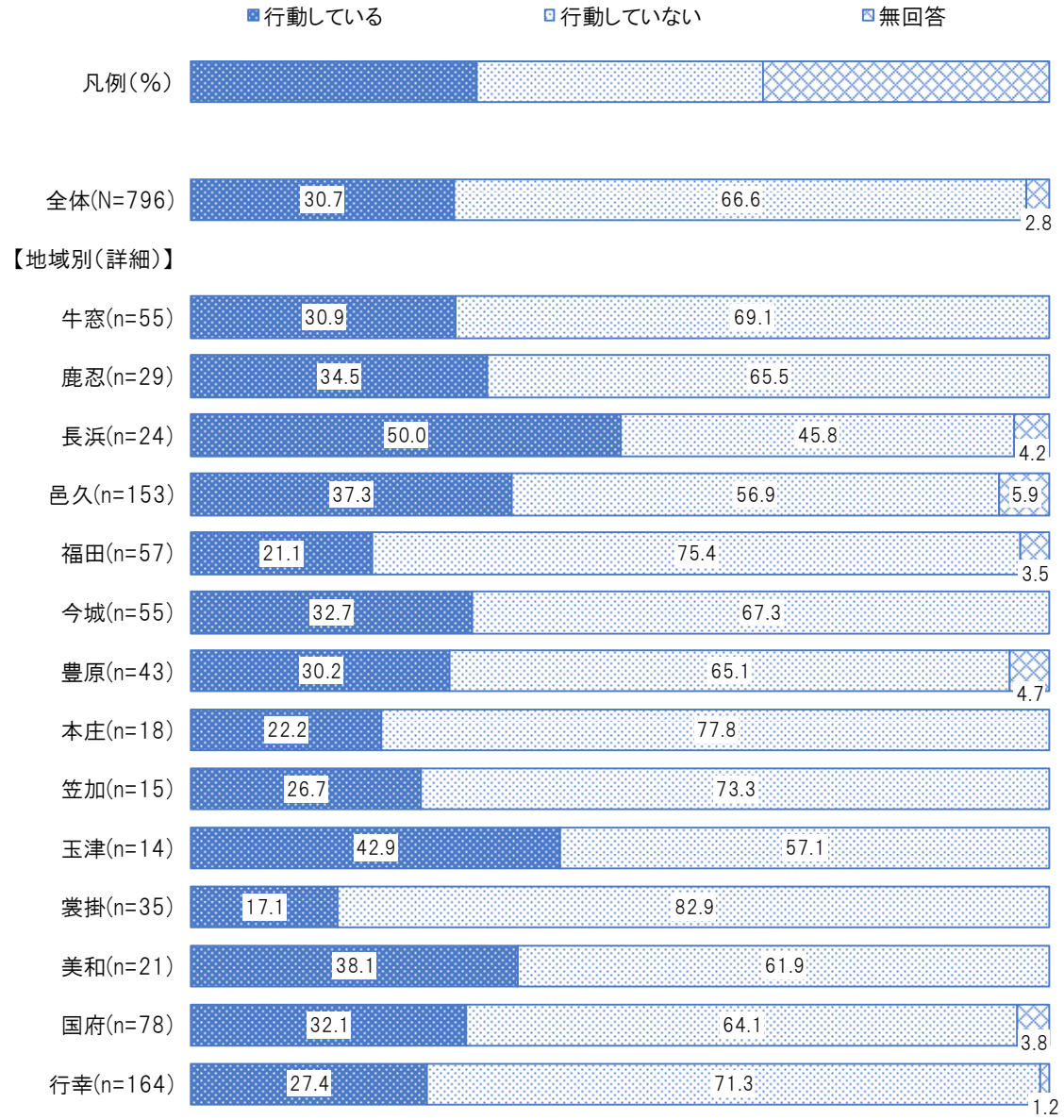
ＳＤＧｓの目標達成のための行動については、「行動している」が 30.7%、「行動していない」が 66.6%であった。

性別では、女性は男性に比べ「行動している」の割合が高くなっている。

年齢別では、29 歳以下や 50 歳代で「行動している」の割合が高くなっている。

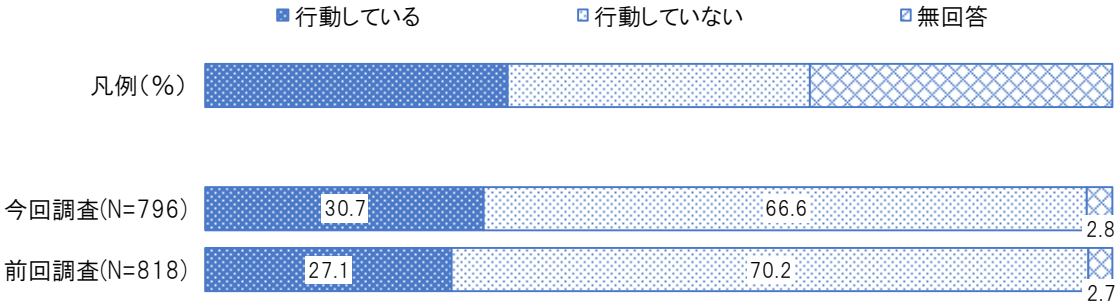


地域別でみると、「行動している」は長浜、玉津などで高く、「行動していない」は福田、本庄、裳掛などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「行動している」がやや増加している。



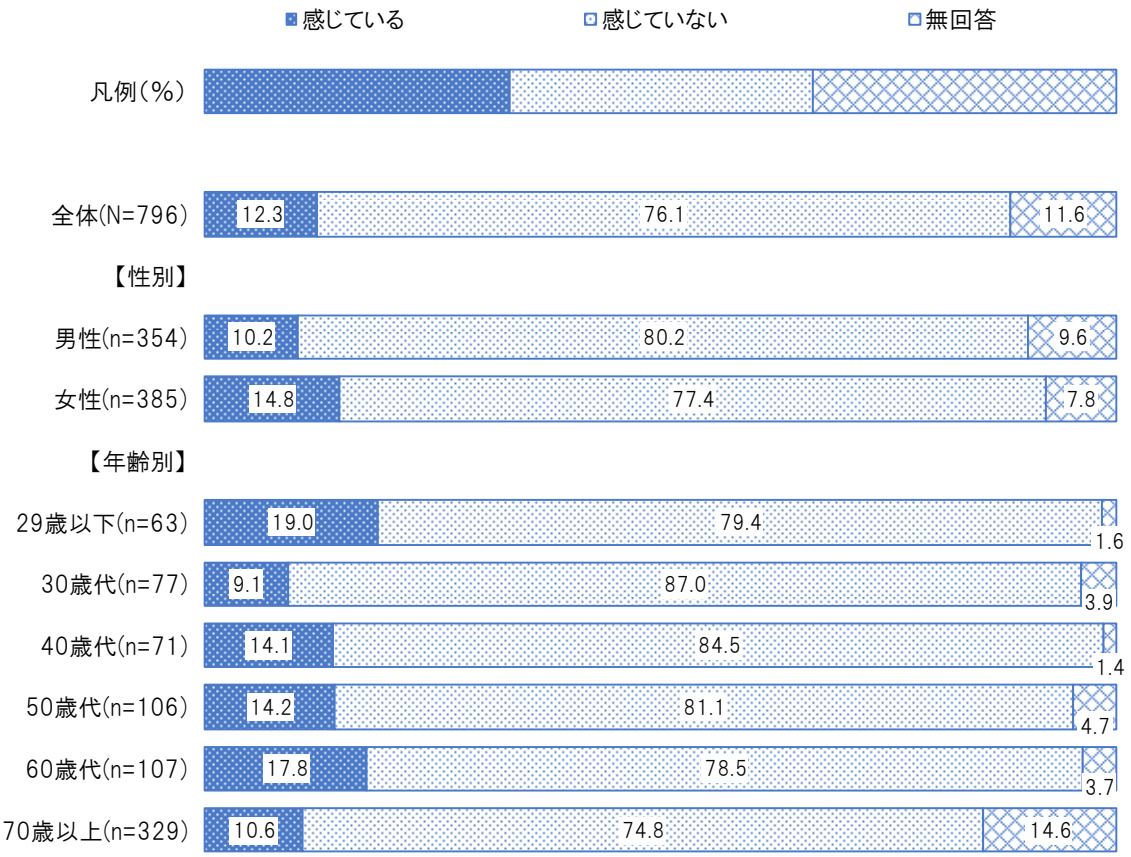
39　性的少数者に対する市民の関心の高まりについて

（39）あなたは、性的少数者に対して市民の関心が高まっていると感じますか

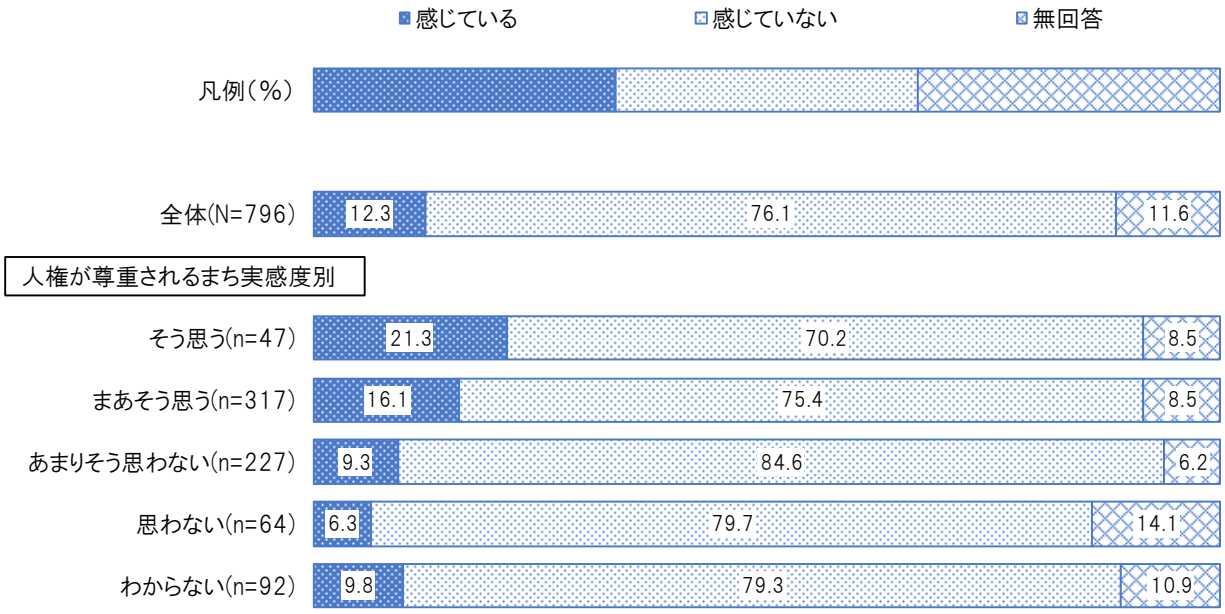
性的少数者に対する市民の関心の高まりについては、「感じている」が 12.3%、「感じていない」が 76.1%であった。

性別では、女性は男性に比べ「感じている」の割合がやや高くなっている。

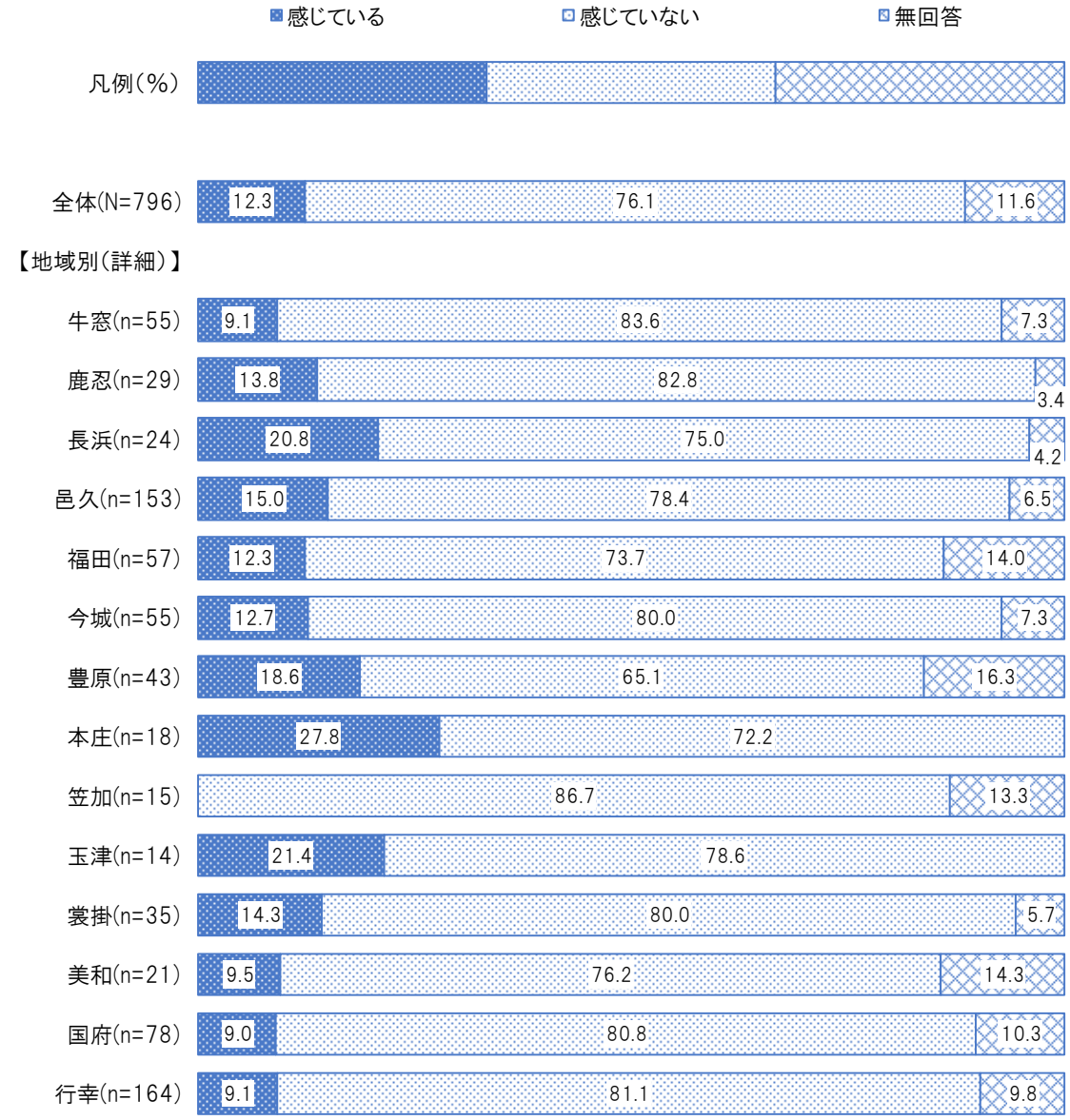
年齢別では、29 歳以下や 60 歳代で「感じている」の割合がやや高くなっている。



人権が尊重されるまち実感度別では、実感がある（「そう思う」）と回答した層で「感じている」の割合が高くなっている。

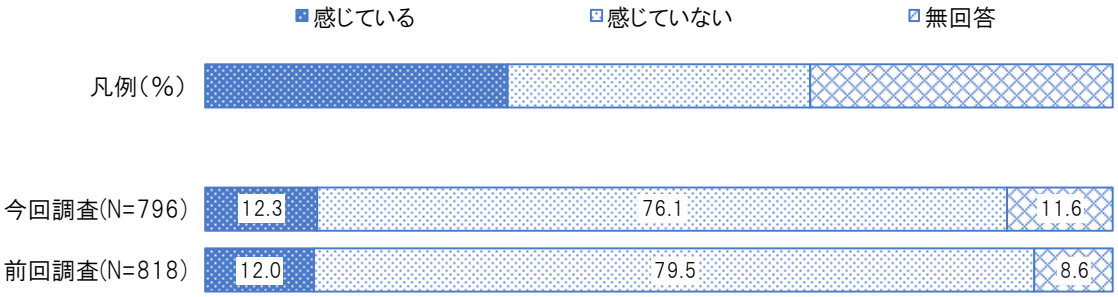


地域別でみると、「感じている」は本庄で高く、「感じていない」は牛窓、鹿忍、笠加などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「感じていない」がやや減少している。

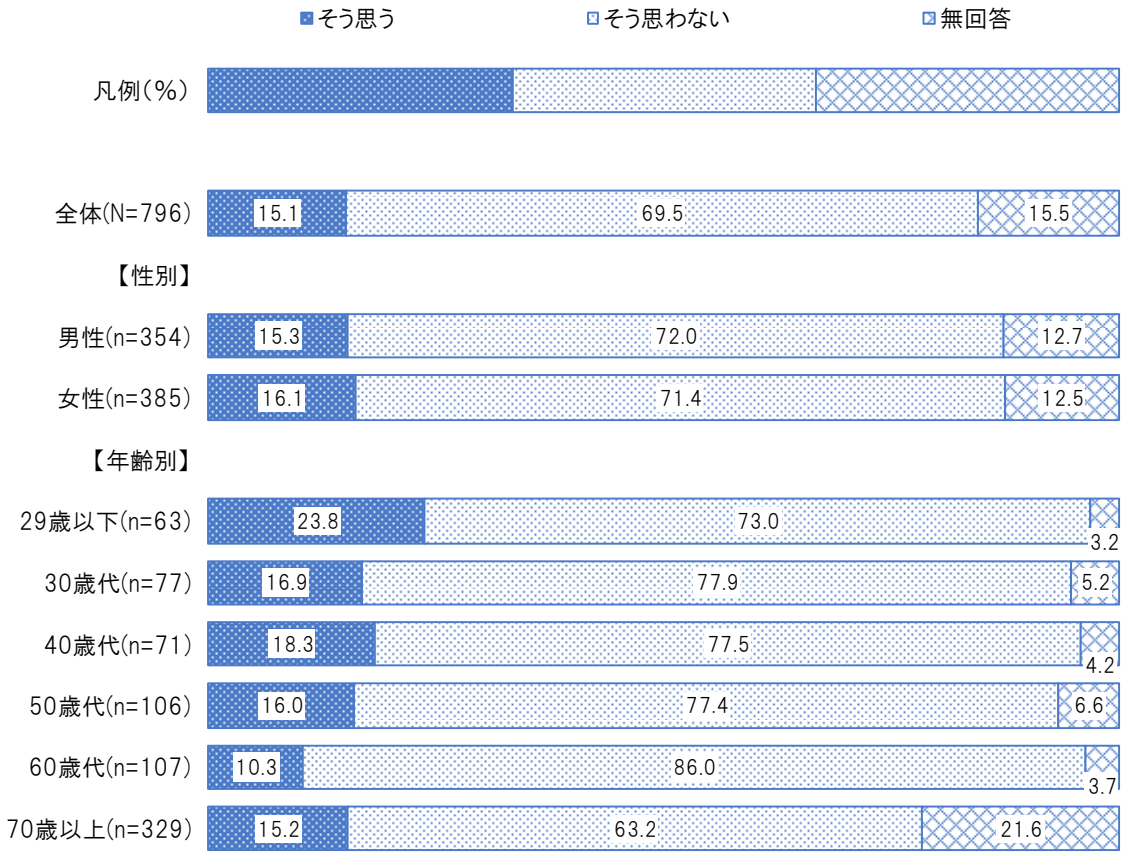


40　性的少数者の瀬戸内市での暮らしやすさについて

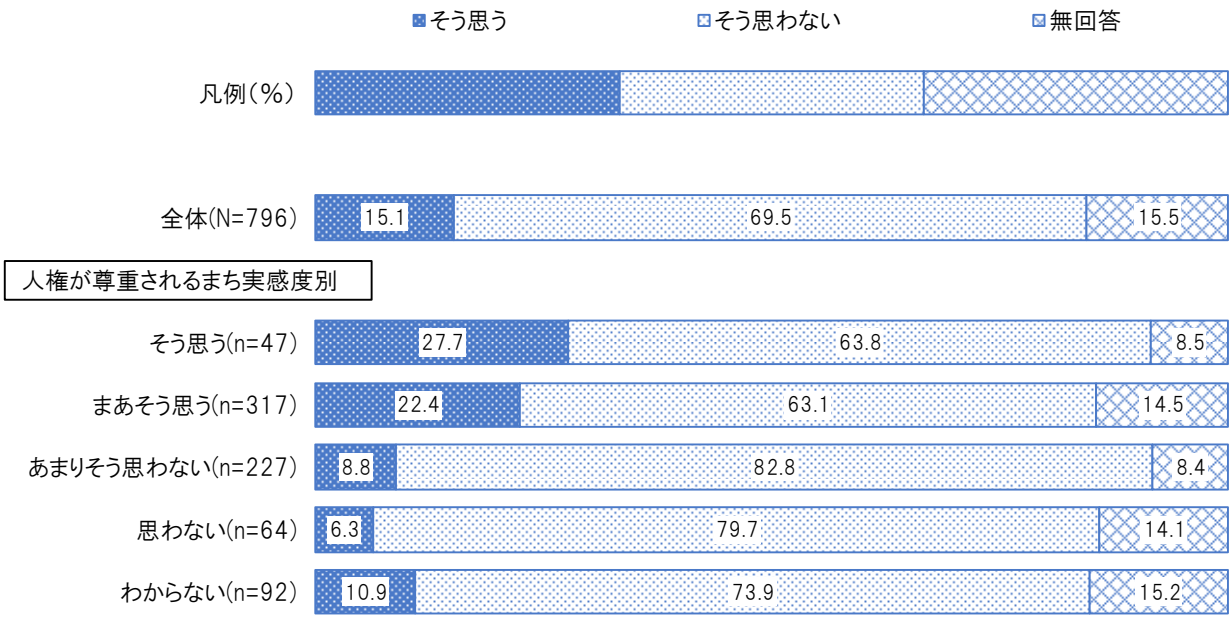
（40）あなたは、性的少数者にとって瀬戸内市は暮らしやすい環境だと思いますか

性的少数者の瀬戸内市での暮らしやすさについては、「そう思う」が 15.1%、「そう思わない」が 69.5%であった。

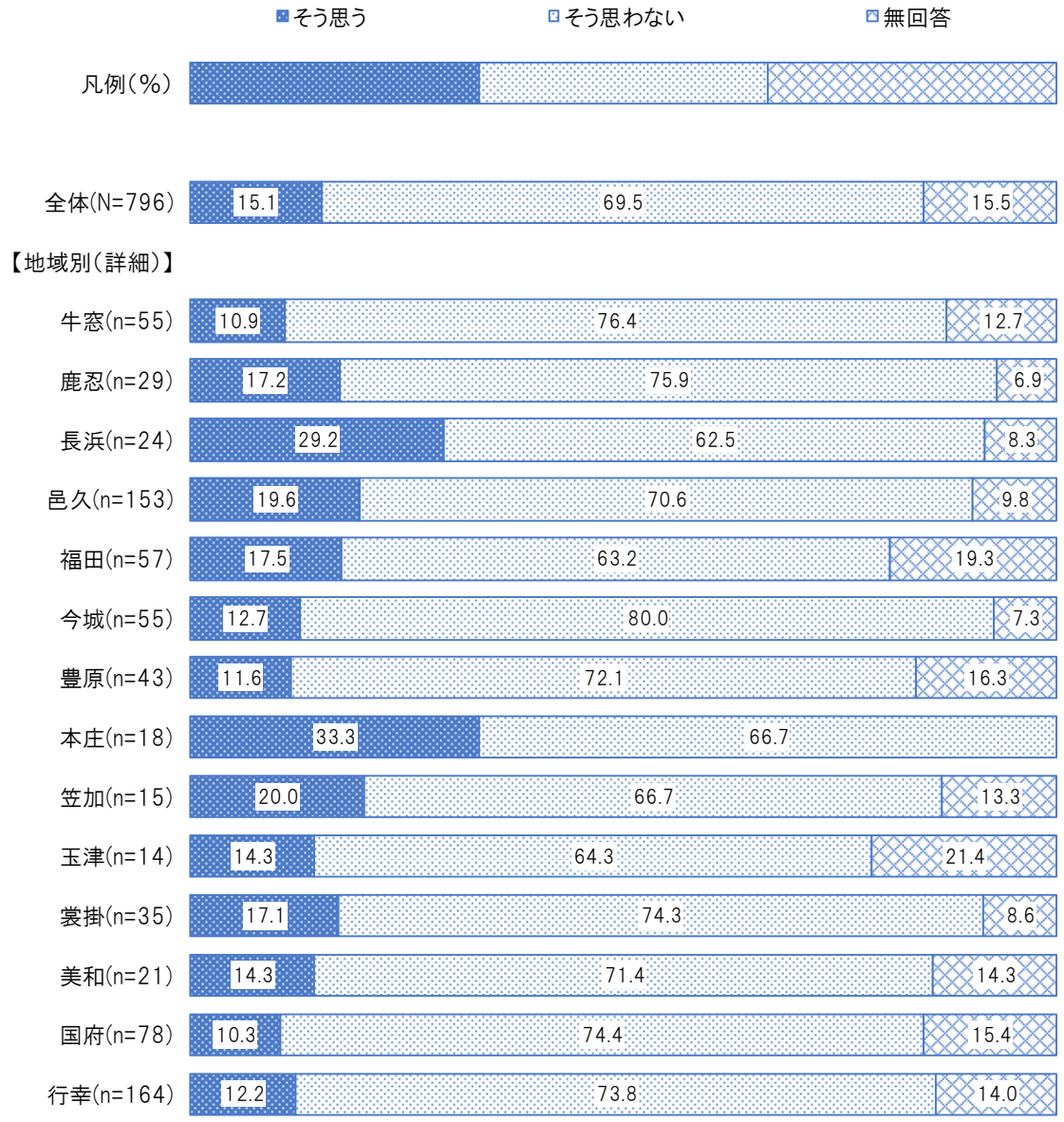
性別では大きな差はみられないが、年齢別では 29 歳以下で「そう思う」の割合が高くなっている。



人権が尊重されるまち実感度別では、実感がある（「そう思う」「まあそう思う」）層ほど「そう思う」の割合が高くなっている。

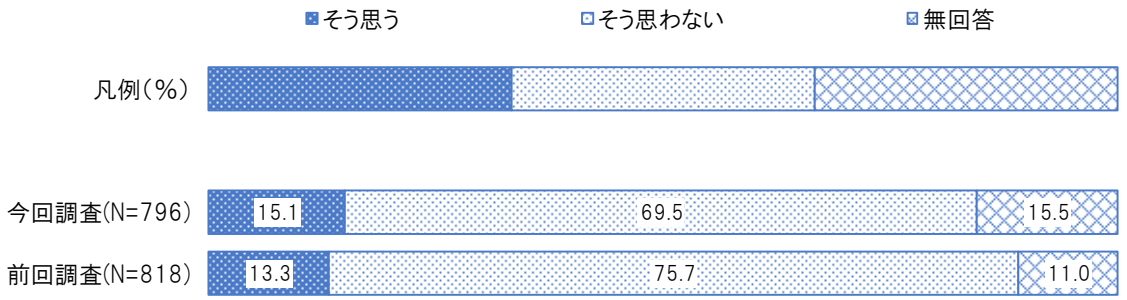


地域別でみると、「そう思う」は長浜、本庄などで高く、「そう思わない」は牛窓、鹿忍、今城などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「そう思わない」が減少している。



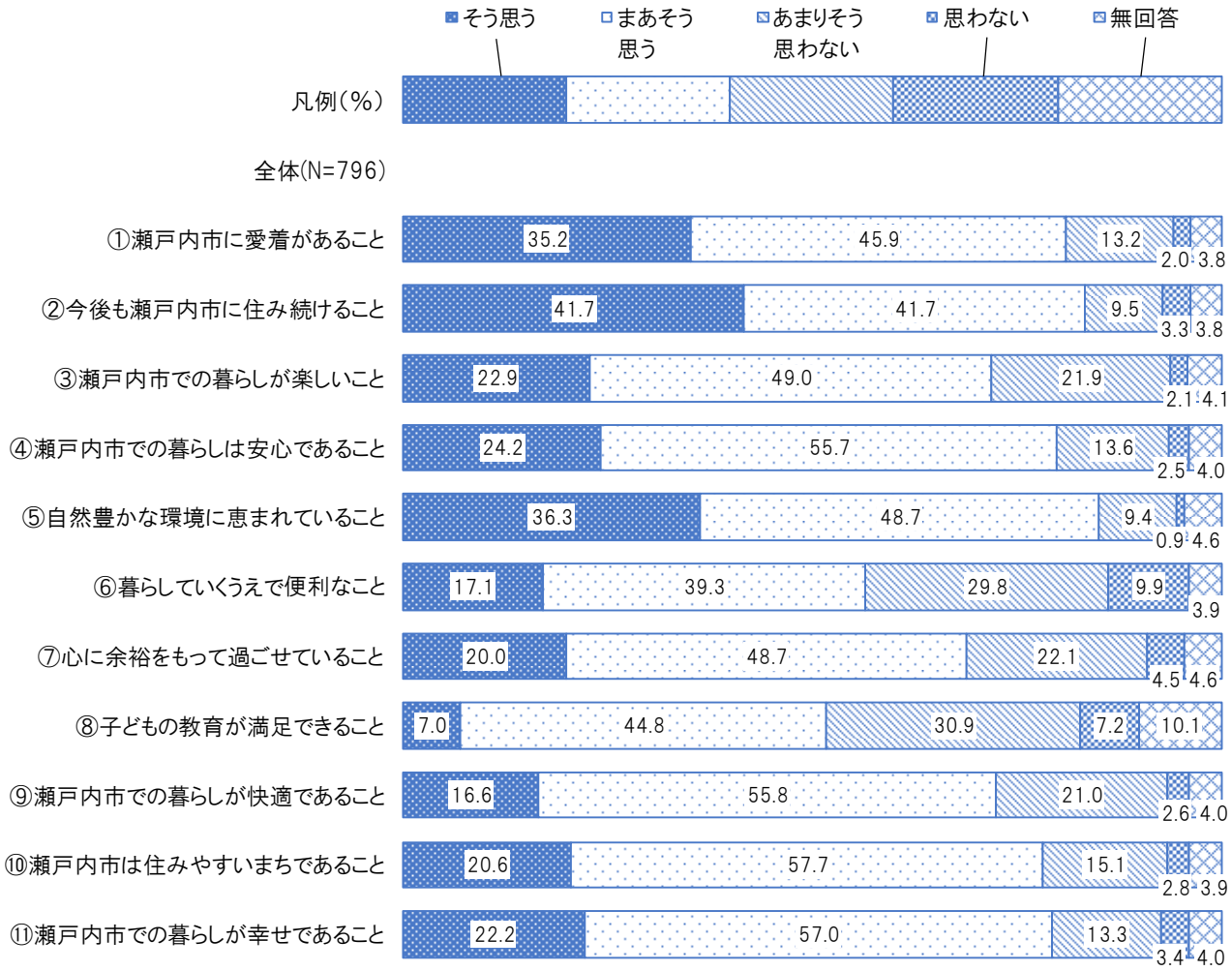
【３】瀬戸内市の暮らしについて

問３　あなたの瀬戸内市での暮らしについておたずねします。下記の(１)～(11)の質問ごとに、回答欄の４つの選択肢から、あてはまるもの１つを選んで、番号に○印をつけてください。

１　瀬戸内市の暮らしに関する評価

本市の暮らしに関する 11 項目について４段階評価で回答を得たところ、「そう思う」の割合が最も高かったのは「②今後も瀬戸内市に住み続けること」(41.7%) で、次いで「⑤自然豊かな環境に恵まれていること」(36.3%)、「①瀬戸内市に愛着があること」(35.2%) が続いており、いずれも「まあそう思う」を合計した『賛成意識』は８割以上を占めている。

一方、「あまりそう思わない」「思わない」を合計した『反対意識』は、「⑥暮らしていくうえで便利なこと」(39.7%)、「⑧子どもの教育が満足できること」(38.1%) などで高くなっている。

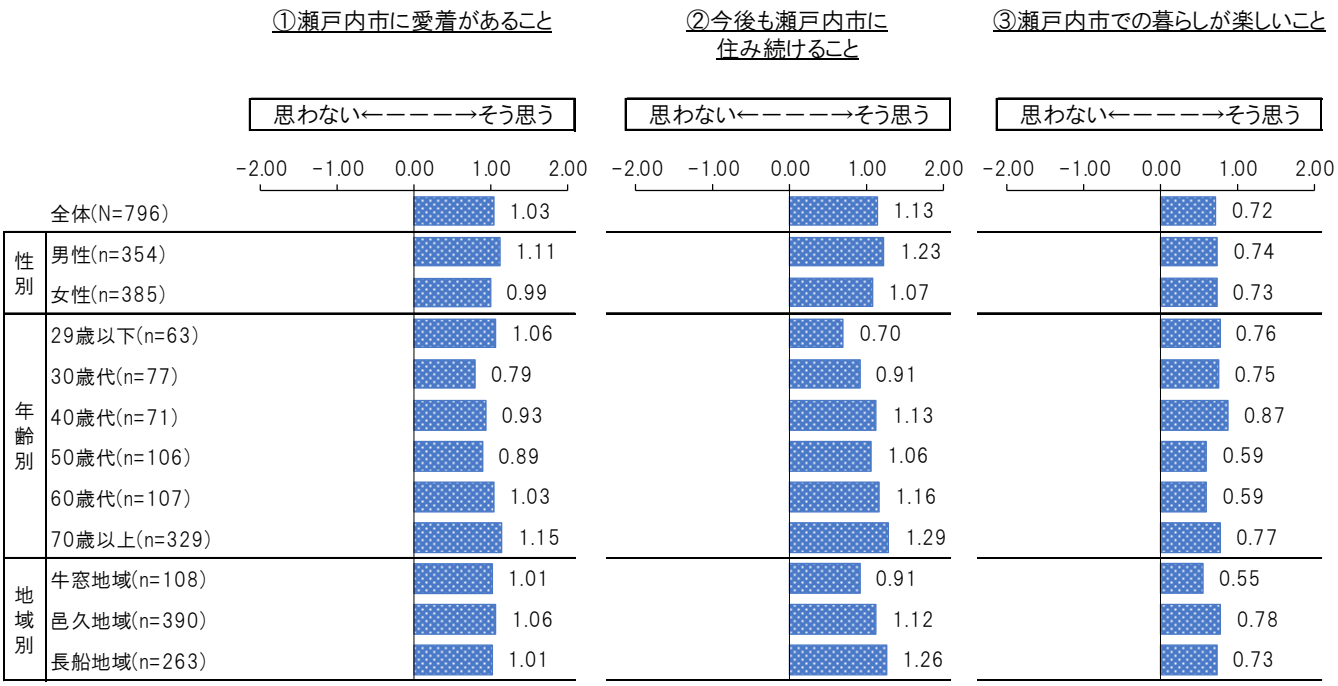


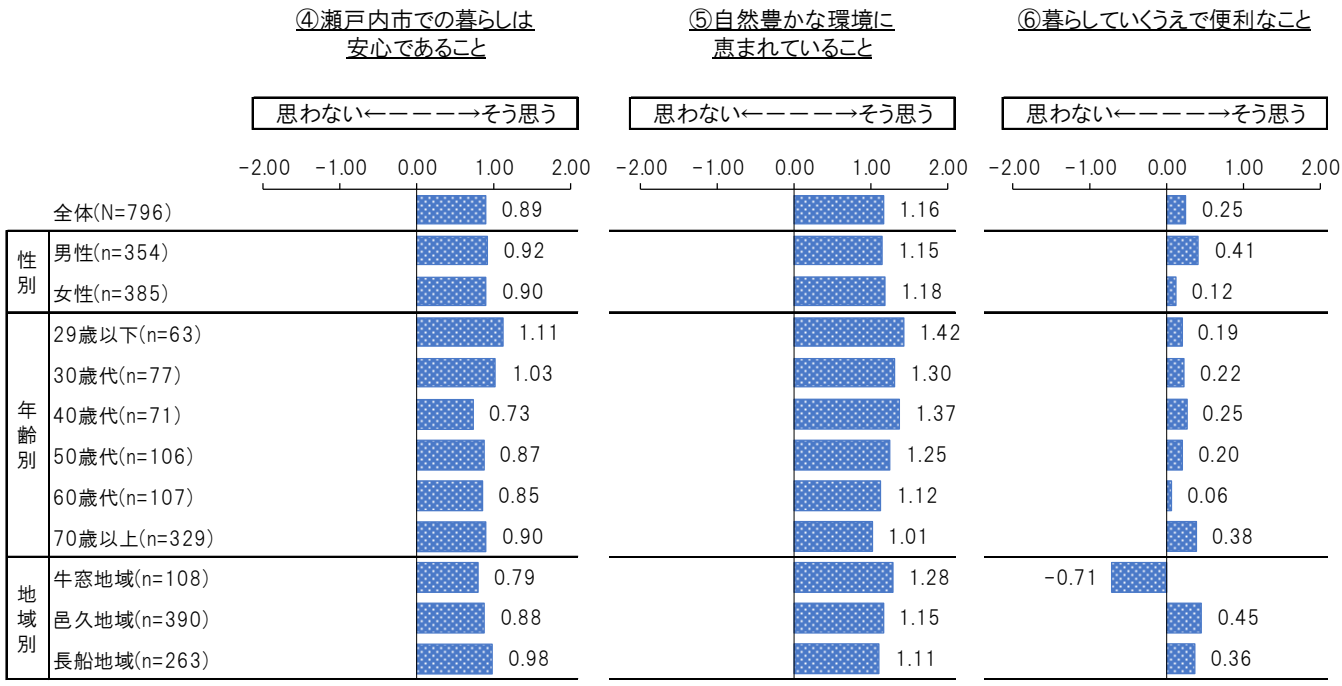
平均評定値による属性別傾向をみると、性別では「⑥暮らしていくうえで便利なこと」で男性の賛成意識が女性を大きく上回っている。

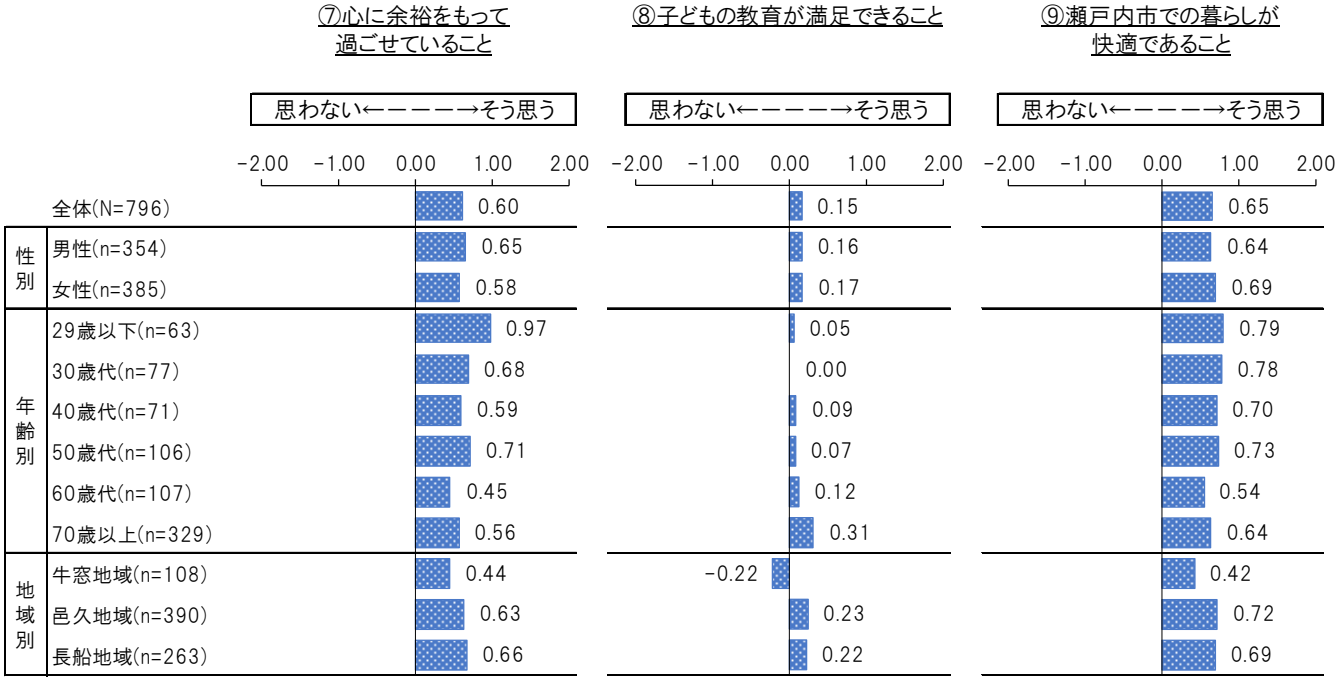
年齢別では、29 歳以下で「⑦心に余裕をもって過ごせていること」「⑩瀬戸内市は住みやすいまちであること」「⑪瀬戸内市での暮らしが幸せであること」、70 歳以上で「⑥暮らしていくうえで便利なこと」「⑧子どもの教育が満足できること」の賛成意識がそれぞれ高くなっている。また、おおむね若い年齢層ほど「⑤自然豊かな環境に恵まれていること」の賛成意識が高く、年齢が上がるほど「②今後も瀬戸内市に住み続けること」の賛成意識が高くなっている。

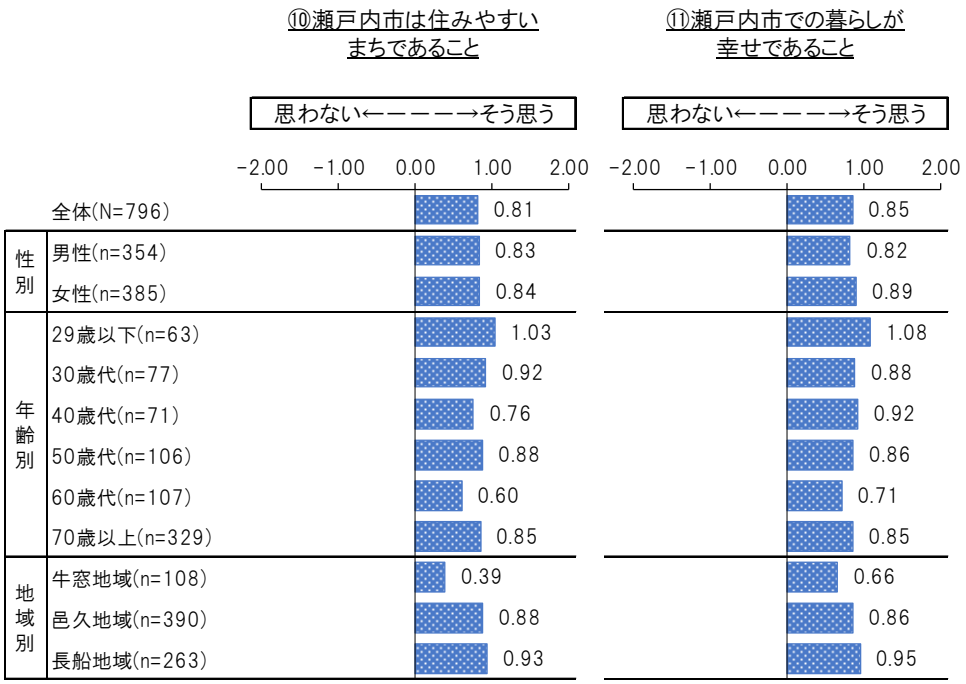
地域別に賛成意識をみると、長船地域で「②今後も瀬戸内市に住み続けること」が高くなっている。一方、牛窓地域は「⑥暮らしていくうえで便利なこと」「⑧子どもの教育が満足できること」の反対意識が他の地域に比べて高くなっている。

○平均評定値（加重平均値）は、「思わない」に－２点、「あまりそう思わない」に－１点、「まあそう思う」に＋１点、「そう思う」に＋２点の係数を、それぞれの回答件数に乗じ、加重平均して算出した値で、－２に近いほど反対、＋２に近いほど賛成を示す指標である。




④瀬戸内市での暮らしは安心であること
⑤自然豊かな環境に恵まれていること
⑥暮らしていくうえで便利なこと
思わない←－－－－→そう思う
-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00
全体(N=796) 0.89 1.16 0.25
性別
男性(n=354) 0.92 1.15 0.41
女性(n=385) 0.90 1.18 0.12
年齢別
29歳以下(n=63) 1.11 1.42 0.19
30歳代(n=77) 1.03 1.30 0.22
40歳代(n=71) 0.73 1.37 0.25
50歳代(n=106) 0.87 1.25 0.20
60歳代(n=107) 0.85 1.12 0.06
70歳以上(n=329) 0.90 1.01 0.38
地域別
牛窓地域(n=108) 0.79 1.28 -0.71
邑久地域(n=390) 0.88 1.15 0.45
長船地域(n=263) 0.98 1.11 0.36


⑦心に余裕をもって過ごせていること
⑧子どもの教育が満足できること
⑨瀬戸内市での暮らしが快適であること
思わない←－－－－→そう思う
-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00
全体(N=796) 0.60 0.15 0.65
性別
男性(n=354) 0.65 0.16 0.64
女性(n=385) 0.58 0.17 0.69
年齢別
29歳以下(n=63) 0.97 0.05 0.79
30歳代(n=77) 0.68 0.00 0.78
40歳代(n=71) 0.59 0.09 0.70
50歳代(n=106) 0.71 0.07 0.73
60歳代(n=107) 0.45 0.12 0.54
70歳以上(n=329) 0.56 0.31 0.64
地域別
牛窓地域(n=108) 0.44 -0.22 0.42
邑久地域(n=390) 0.63 0.23 0.72
長船地域(n=263) 0.66 0.22 0.69


⑩瀬戸内市は住みやすいまちであること
⑪瀬戸内市での暮らしが幸せであること
思わない←－－－－→そう思う
思わない←－－－－→そう思う
-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00
-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00
全体(N=796) 0.81 0.85
性別
男性(n=354) 0.83 0.82
女性(n=385) 0.84 0.89
年齢別
29歳以下(n=63) 1.03 1.08
30歳代(n=77) 0.92 0.88
40歳代(n=71) 0.76 0.92
50歳代(n=106) 0.88 0.86
60歳代(n=107) 0.60 0.71
70歳以上(n=329) 0.85 0.85
地域別
牛窓地域(n=108) 0.39 0.66
邑久地域(n=390) 0.88 0.86
長船地域(n=263) 0.93 0.95

【４】瀬戸内市誕生 20 周年について

問５　瀬戸内市は、平成 16 年 11 月 1 日に旧邑久郡３町が合併して誕生し、今年誕生 20 周年の節目を迎えます。合併後の市政を振り返り、印象に残っている出来事や事業などを教えてください。

１　合併後、印象に残っている出来事や事業（自由記述回答）

問５の記述欄では、１人の回答者が、複数の意見を記入している場合は分割するなどして、総計 320 件近い意見がみられた。以下は、それらの内容を項目ごとに整理・分類したものである。

最も多かった出来事は、「№1　商工業の発展」20 件で、岡山村田製作所をはじめとする企業やスーパー等が増えたことをあげた人が多く、次いで「№2　祭り・イベント（花火大会、瀬戸内バルーンフェスティバルの終了等）」（13 件）だった。

事業などで最も多かったのは、「№7　山鳥毛里帰りプロジェクトに関する意見」で 46 件、次いで「№8　錦海塩田跡地・太陽光発電事業に関する意見」（39 件）、「№9　瀬戸内市民図書館もみわ広場に関する意見」(23 件)、「№10　駅や駅周辺の整備に関する意見」(19 件)、「№11　道路整備に関する意見」（17 件）、「№12　合併・瀬戸内市の名称に関する意見」（14 件）などが上位にあがっている。

【集約結果】

分類	NO	項目	回答件数
出来事	1	商工業の発展(岡山村田製作所･スーパーの出店等)について	20
	2	祭り･イベント(花火大会、瀬戸内バルーンフェスティバルの終了等)について	13
	3	自然災害について	5
	4	新型コロナウイルス感染症の流行について	5
	5	天皇皇后両陛下岡山県行幸啓について	4
	6	晴れの国おかやま国体について	1
事業・取組	7	山鳥毛里帰りプロジェクトに関する意見	46
	8	錦海塩田跡地･太陽光発電事業に関する意見	39
	9	瀬戸内市民図書館もみわ広場に関する意見	23
	10	駅や駅周辺の整備に関する意見	19
	11	道路整備に関する意見	17
	12	合併･瀬戸内市の名称に関する意見	14
	13	市民病院等病院の整備に関する意見	14
	14	公共交通機関(市営バス等)に関する意見	11
	15	保育･教育事業に関する意見	9
	16	上下水道に関する意見	6
	17	文化施設(備前長船刀剣博物館･瀬戸内市立美術館)に関する意見	6
	18	子育て支援に関する意見	5
	19	ゆめトピアに関する意見	3
	20	防災に関する意見	2
	21	その他の事業･取組に関する意見	24
	22	その他	31
		合計	317

【5】自由意見

現在または将来に向けての市の行政やまちづくりにご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見の記述欄では、1人の回答者が、複数の意見を記入している場合は分割するなどして、総計530件近い意見がみられた。以下は、それらの内容を項目ごとに整理・分類したものである。

最も多かった意見は、「No.20 便利で快適な道路が通ったまち」が54件で最も多く、次いで「No.22 自由に行き来できるまち」(50件)、「No.39 市民ニーズにこたえる市役所があるまち」(46件)、「No.10 安心して笑顔で子育てできるまち」(30件)、「No.34 商業・サービス業の経営の安定化に取り組むまち 」(28件)、「No.13 いくつになっても安心して暮らせるまち」「No.37 にぎわいと活気のある観光のまち」(各24件)などの順となっており、道路や公共交通機関の整備を筆頭に、市民ニーズへの対応などが上位にあがっている。

一方、「No.1 みんなのおもいやりがあふれる人権尊重のまち」「No.31 消費者を守り育てるまち」に関する回答はみられなかった。

【自由意見集約結果】

施策大綱	分類NO	施策	今後の主な取組（略表記）	回答件数
未来に輝く人づくりと文化の創造	1	みんなの思いやりがあふれる人権尊重のまち	人権教育・人権啓発	0
	2	子どもが楽しく学び成長を実感できるまち	学校教育	10
	3	子どもの成長をみんなで見守るまち	家庭教育	2
	4	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	生涯教育	3
	5	スポーツを通じ健やかに暮らせるまち	スポーツ活動の場と機会	6
	6	国際社会にはばたく人を育むまち	国際理解のための学習機会	1
	7	歴史・文化や芸術を大切にするまち	文化財の保護と保存・情報発信	4
健やかでいきいきとした暮らしの実現	8	健やかに暮らせるまち	健康づくり活動への理解と意識啓発	1
	9	質の高い医療が受けられるまち	医療提供体制の充実	20
	10	安心して笑顔で子育てできるまち	子育て家庭への情報提供・相談体制	30
	11	働きながらでも安心して子育てできるまち	保育サービスの提供	8
	12	高齢者が元気なまち	高齢者の社会参加	7
	13	いくつになっても安心して暮らせるまち	ニーズに合った介護・福祉サービス	24
	14	高齢者を地域ぐるみで支えあうまち	地域福祉	8
	15	障がい者がいきいきと暮らせるまち	障がい者の社会活動の充実	5
	16	生活困窮者が自立できるまち	生活困窮者の自立支援	1
安全・安心で快適な暮らしの実現	17	活力を生み調和のとれた土地利用を進めるまち	土地利用の促進	18
	18	光輝く自然・まちなみが残るまち	故郷の原風景・自然景観の保存	9
	19	住んでみたい・住み続けたいと思える住宅があるまち	定住促進	22
	20	便利で快適な道路が通ったまち	道路整備	54
	21	河川・海岸・港湾が整備された安心なまち	河川の改修	4
	22	自由に行き来できるまち	公共交通機関の利用促進	50
	23	便利な情報ネットワークがあるまち	行政手続きにおけるオンライン化の促進	5
	24	安全で安心な水道水が飲めるまち	上水道の整備	5
	25	きれいな水を未来へ渡すまち	下水道の整備	3
	26	環境に配慮した美しいまち	ゴミの減量	8
	27	人と地球にやさしいまち	新エネルギーの導入	4
	28	防災意識の高いまち	防災・災害の防止	20
	29	交通事故ゼロをめざすまち	交通安全教育・啓発	5
	30	地域みんなで防犯に力を入れるまち	市民の防犯意識	4
	31	消費者を守り育てるまち	消費者教育の実施	0
活力ある産業と魅力ある観光都市の創出	32	農林業にやりがいを見出すまち	農業後継者の確保と集落営農組織の育成	13
	33	水産業に活力が生まれるまち	獲る漁業から育てる漁業への転換	3
	34	商業・サービス業の経営の安定化に取り組むまち	企業の支援（買物環境の創出）	28
	35	企業が進出しやすく経営が安定するまち	企業誘致に向けた環境整備	10
	36	雇用・労働環境が整ったまち	雇用機会の創出・拡大	8
	37	にぎわいと活気のある観光のまち	観光情報の効果的な発信	24
市民と協働（※）	38	透明で開かれた市役所があるまち	市民や団体などからの意見聴取	18
	39	市民ニーズにこたえる市役所があるまち	財政のスリム化	46
	40	みんなが知恵を出しあい助けあうまち	協働によるまちづくりの推進	14
	41	その他	その他	23
			合計	528

※ 市民と行政が協働で進める自主自立した都市の実現

重要な調査です★ご協力をお願いします

≪瀬戸内市　市民まちづくり意識調査≫

市民の皆様には、日頃から市政に対し格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市民まちづくり意識調査は、原則として２年に一度実施しており、市民の皆様のご意見を市政全般にわたってお聞きする大変重要な調査です。

今回の調査は、瀬戸内市がめざす将来（2040 年）の姿を、現在市民の皆様がどの程度実感し、あわせて、どんなまちの姿を重要視しているかについて把握するとともに、令和3年度を初年度とする第3次瀬戸内市総合計画の数値目標に対する現状値を把握するために実施するものです。

調査の実施にあたり、18 歳以上の市内居住者から、2,000 人を無作為に抽出したところ、あなたにお答えをお願いすることになりました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の目的、趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせください。なお、調査結果につきましては、市のホームページを通じてお知らせします。

なお、このアンケートは統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。

令和6年5月

瀬戸内市長 武 久 顕 也

返送の際は、この線にそって三つ折りにして封筒にお入れください。

ご記入にあたってのお願い

1. あて名のご本人がお答えください。
2. 回答方法は、（1つに○印）など、設問ごとに指定されています。
   お間違えのないようお答えください。
   ○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①）
3. ご記入いただいた調査票は **６月４日（火）** までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。（切手は不要です。）
4. ご記入は、ボールペン、鉛筆、シャープペンシルまたは万年筆でお願いします。
5. この調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

瀬戸内市 総合政策部 企画振興課
電話 0869-22-1113　FAX 0869-22-3304

瀬戸内市がめざしている姿に対する現在の実感度と重要度について

問1　瀬戸内市がめざしている将来（2040年）の姿に対する次の25項目ついておたずねします。
あなたが感じている**現在の「実感度」と「重要度」**について、1～25の項目ごとに、あなたの考えに一番近いものそれぞれ**1つに**○印をつけてください。

※「実感度」「重要度」の両方にご回答ください。

		現在の「実感度」（1つに○印）						あなたの「重要度」（1つに○印）				
		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない		特に重視する	重視する	あまり重視しない	重視しない	わからない
2	記載例：子どもたちが夢を育むことができるまち	4	(3)	2	1	0		4	(3)	2	1	0
1	安心して子どもを出産し、育てることができるまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
2	子どもたちが夢を育むことができるまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
3	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
4	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
5	高齢者が元気に暮らせるまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
6	人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
7	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
8	外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
9	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
10	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0

		現在の「実感度」（1つに○印）						あなたの「重要度」（1つに○印）				
		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない		特に重視する	重視する	あまり重視しない	重視しない	わからない
11	障がいがある人が毎日明るく、明日へ希望が持てるまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
12	生活に困窮する人が自立できるまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
13	市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持て、誇れるまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
14	地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
15	地域みんなで防犯に力を入れているまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
16	防災体制が整っており、災害に強いまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
17	かしこい消費者が多いまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
18	子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
19	農水産業で生活できるまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
20	商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
21	企業が進出しやすい条件が整っているまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
22	にぎわいと活気のある観光のまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
23	コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
24	市民の納税に対する意識が高いまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0
25	すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち	4	3	2	1	0	→	4	3	2	1	0

あなた自身の行動や考えについておたずねします

問2 あなたの日頃の行動や考えについておたずねします。
下記の(1)～(40)の質問ごとに、回答欄の2つの選択肢（(18)については4つ）から、あてはまるもの**1つを選んで**、番号に○印をつけてください。

質問		回答	
(1)	あなたは、ご自身の人権が守られていると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(2)	あなたは、慣習やしきたりで男女が平等になっていると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(3)	あなたは、人権問題について相談できる「なやみごと相談」の窓口を知っていますか	1 知っている	2 知らない
(4)	あなたは、近所の子どもに会ったときに、あいさつや声かけをしていますか	1 している	2 していない
(5)	あなたは、生涯学習講座などの活動に参加したことがありますか	1 ある	2 ない
(6)	あなたは、学習やスポーツの指導など、地域に貢献する活動をしていますか	1 している	2 していない
(7)	あなたは、週に2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続していますか	1 している	2 していない
(8)	あなたは、歴史や文化、芸術に関わる活動をしていますか	1 している	2 していない
(9)	あなたは、市が発信する子育て情報に満足していますか	1 満足している	2 満足していない
(10)	あなたは、市内の公共施設や商業施設などで、「バリアフリー化」（障がい者や高齢者にとって不便な障がいを取り除く取組）が進んでいると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(11)	あなたは、経済的な理由で日常生活が困難だと感じていますか	1 感じている	2 感じていない
(12)	あなたは、瀬戸内市の土地利用は、住宅や店舗、工場などが混在することなく、計画的に進められていると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(13)	あなたは、瀬戸内市の景観に満足していますか	1 満足している	2 満足していない
(14)	あなたは、瀬戸内市の道路は快適だと思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(15)	あなたは、瀬戸内市には快適に利用できる公園や緑地が整っていると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(16)	あなたは、バスや電車など、公共交通機関が利用しやすいと思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(17)	あなたは、電子マネーやクレジットカードなどのキャッシュレス決済を利用していますか	1 利用している	2 利用していない
(18)	あなたは、日常生活の中で、パソコンやスマートフォンなどの携帯電話でインターネットを活用していますか	1 パソコンで活用 2 携帯電話で活用 3 両方とも活用	4 活用していない

質　　問		回　　答	
(19)	あなたは、家庭から出るごみのリサイクルを実践していますか	1 実践している	2 実践していない
(20)	あなたは、日常生活で省エネを実践していますか	1 実践している	2 実践していない
(21)	あなたは、災害が起きたときのために、非常持出品を準備していますか	1 準備している	2 準備していない
(22)	あなたは、災害が起きたときの、最寄りの避難場所を知っていますか	1 知っている	2 知らない
(23)	あなたは、悪質商法などへの対応について相談できる市役所や県、警察などの「消費生活」に関する相談窓口を知っていますか	1 知っている	2 知らない
(24)	あなたは、農産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか	1 意識している	2 意識していない
(25)	あなたは、水産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか	1 意識している	2 意識していない
(26)	あなたは、瀬戸内市は日常生活品の買い物がしやすいまちだと思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(27)	あなたは、「広報せとうち」を読んでいますか	1 読んでいる	2 読んでいない
(28)	あなたにとって、「広報せとうち」の情報は役立っていますか	1 役立っている	2 役立っていない
(29)	あなたは、瀬戸内市のホームページを見たことがありますか	1 ある	2 ない
(30)	あなたにとって、瀬戸内市ホームページの情報は役立っていますか	1 役立っている	2 役立っていない
(31)	あなたは、広報紙やホームページで必要な市の情報を手に入れることができますか	1 できる	2 できない
(32)	あなたは、市政に関心がありますか	1 ある	2 ない
(33)	広報紙やホームページを通じて市の財政状況を公表していますが、あなたは、市の財政が改善されていると思いますか	1 そう思う	2 そう思わない
(34)	あなたは、市役所が行うまちづくりの取り組みについて満足していますか。	1 満足している	2 満足していない
(35)	あなたは、自治会などでの地域コミュニティ活動に参加していますか	1 参加している	2 参加していない
(36)	あなたは、過去1年間にボランティア、NPO活動に参加したことがありますか	1 ある	2 ない
(37)	あなたは、SDGs（持続可能な開発目標）について知っていますか	1 知っている	2 知らない
(38)	あなたは、SDGs の目標達成のために何らかの行動をしていますか	1 行動している	2 行動していない

質　　問		回　　答	
(39)	あなたは、性的少数者※に対して市民の関心が高まっていると感じますか	1 感じている	2 感じていない
(40)	あなたは、性的少数者※にとって瀬戸内市は暮らしやすい環境だと思いますか	1 そう思う	2 そう思わない

※性的少数者：恋愛対象が同性または両性の人、心の性と身体の性が一致しない、あるいは心の性がはっきりしない人の総称

瀬戸内市の暮らしについておたずねします

問3 あなたの瀬戸内市での暮らしについておたずねします。

下記の(1)～(11)の質問ごとに、回答欄の4つの選択肢から、あてはまるもの**1つを選んで**、番号に○印をつけてください。

質　　問		回　答			
		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	思わない
(1)	あなたは、瀬戸内市に愛着がありますか	4	3	2	1
(2)	あなたは、今後も瀬戸内市に住み続けたいと思いますか	4	3	2	1
(3)	あなたにとって、瀬戸内市での暮らしは楽しいですか	4	3	2	1
(4)	あなたの瀬戸内市での暮らしは、安心できるものですか	4	3	2	1
(5)	あなたの瀬戸内市での暮らしは、自然豊かな環境に恵まれていると思いますか	4	3	2	1
(6)	あなたにとって、瀬戸内市は暮らしていくうえで便利ですか	4	3	2	1
(7)	あなたは、瀬戸内市に暮らしていて、心に余裕をもって過ごせていますか	4	3	2	1
(8)	あなたにとって、瀬戸内市の子どもの教育は満足できるものですか	4	3	2	1
(9)	あなたの瀬戸内市での暮らしは、快適ですか	4	3	2	1
(10)	あなたにとって、瀬戸内市は住みやすいまちですか	4	3	2	1
(11)	あなたにとって、瀬戸内市での暮らしは幸せですか	4	3	2	1

あなたご自身のことについておたずねします

問4 あなた自身のことについて、それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を選んで 1 つに○印をつけてください。

(1) 性別		1 男　2 女　3 回答しない
(2) 年齢		□（本調査時のあなたの満年齢を記入してください。）
(3) 居住地		1 牛窓　2 鹿忍（鹿忍・千手）　3 長浜 4 邑久（尾張・山手・山田庄・豊安） 5 福田（豆田・福元・百田・宗三・福中） 6 今城（大富・福山・向山・北島） 7 豊原（東谷・豊原・大窪）　8 本庄（本庄・上山田・下山田） 9 笠加（上笠加・下笠加・箕輪・北池）　10 玉津（尻海・庄田） 11 裳掛（福谷・虫明）　12 美和（西須恵・東須恵・飯井） 13 国府（牛文・磯上・福里・土師） 14 行幸（福岡・服部・八日市・長船）
(4) 居住年数		1 1年未満　2 1年以上5年未満　3 5年以上 10 年未満 4 10 年以上 20 年未満　5 20 年以上
(5) 職業等 ※主なもの		1 農林水産業　2 自営業、会社経営 3 勤め人（会社員、公務員等）　4 パート、アルバイト 5 家事従事　6 学生　7 無職　8 その他（　　）
(6) 現住所への居住のきっかけ		1 生まれたときから　2 就職・就学・転勤・転職のため 3 結婚のため　4 親や子どもと同居・近居するため 5 住宅を住み替えたため　6 その他（　　）
(7) 家族構成		1 ひとり暮らし　2 夫婦のみ　3 2世代（親・子） 4 3世代（親・子・孫）　5 その他（　　）
※あてはまる方は、付問にもお答えください。	付問1	すべての方におたずねします。 ご家族の中に（自身を含む）65 歳以上の方はいらっしゃいますか。 1 いる　2 いない
	付問2	問（7）で「3 2世代（親・子）」または「4 3世代（親・子・孫）」を選んだ方のみお答えください。 ご家族の中に 20 歳以下の子どもはいらっしゃいますか。 1 いる　2 いない
	付問3	付問2で「1 いる」を選んだ方のみお答えください。お子さんは次のどの年代にあてはまりますか。（あてはまるものすべてに○印） 1 未就学児（6歳未満）　2 小学生・中学生 3 高校生・大学生・専門学校生・予備校生 4 その他（　　）
(8) 主な移動手段 ※旅行など特別な場合を除く		1 本人運転の自動車　2 家族運転の自動車 3 タクシー　4 バス　5 電車　6 自転車 7 徒歩　8 その他（　　）

最後に、瀬戸内市誕生20周年についておたずねします。

問5 瀬戸内市は、平成16年11月1日に旧邑久郡3町が合併して誕生し、今年誕生20周年の節目を迎えます。合併後の市政を振り返り、印象に残っている出来事や事業などを教えてください。

自 由 意 見

現在または将来に向けての市の行政やまちづくりにご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

＜自由意見欄＞

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は **6月4日（火）** までに同封の返信用封筒にてご返送願います。
（切手は不要です。）